中原遺跡群III・V・VII

1 9 9 6

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

中原遺跡群III・V・VII

1996

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

1．赤城山と中原遺跡群

2．中原遺跡群Ⅲ全景（Ｃ３・４，Ｄ３・４区）

3．中原遺跡群Ⅲ全景（Ｂ５，Ｃ４・５，Ｄ５区）

4．中原遺跡群Ⅴ全景（Ｄ２・３・４，Ｅ２・３・４区）

5．中原遺跡群Ｖ全景（Ｅ３・４，Ｆ３・４区）

6．中原遺跡群Ｖ全景（Ｄ６，Ｅ６・７，Ｆ６・７区）

7．中原遺跡群Ⅶ全景（Ｃ４，Ｄ４・５，Ｅ４・５区）

8．中原遺跡群出土遺物（古墳～奈良・平安時代）

序

前橋市は北に赤城山、西に榛名山を望む関東平野の北部を市域とした県都であります。北から南に貫流する利根川は、支流の広瀬川・桃木川・滝川などに清流を分流し「水と緑と詩の町」を潤し、幕末の横浜開港とともに生糸輸出が盛んになり「糸の町」として養蚕製糸で栄えてきました。今人口28万余を擁し、生涯教育都市を目指し、教育文化・商工業の調和のある「豊かで、すばらしい社会を築く街づくり」を推進しています。

前橋市では福祉、教育、文化、環境等の整備、拡充の施策のひとつとして、前橋工業団地造成組合のもとで工業団地・住宅団地の造成を行なっています。この一環として前橋市上増田町に工業団地造成事業を進めています。中原遺跡群は、それに先立つ埋蔵文化財発掘調査として、前橋市埋蔵文化財発掘調査団が実施することになりました。

中原遺跡群Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ（上増田工業団地造成地）の所在する上増田町は、中心市街地から東南東約８㎞の桃木川左岸に位置し、町域の中心部を荒砥川が北から南流する、自然環境の豊かな田園地帯であります。

発掘調査では、工業団地造成地約250,000㎡のうち、平成５・６・７年度事業として実施され、古墳時代、奈良・平安時代の住居址と818(弘仁９)年の関東地方を襲った地震被災の泥流埋没水田址・溝址などを広い範囲にわたり検出し、地域の歴史を解明する貴重な資料を得ることができました。

この調査報告書を刊行するにあたり、前橋工業団地造成組合を始め多くの関係機関の方々の御理解と御協力を得たことに対し厚く御礼申し上げます。

平成８年３月25日

前橋市埋蔵文化財発掘調査団
団長　大谷輝治

例　　言

1　本報告書は、前橋工業団地造成組合（管理者　小寺弘之）が造成する上増田工業団地に係る中原遺跡群Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ発掘調査報告書である。

2　遺跡の所在地
群馬県前橋市上増田町955番地外
　　同　　笂井町470番地外

3　調査は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団（団長　大谷輝治）指導のもとに、委託者　前橋工業団地造成組合（管理者　小寺弘之）の委託を受け、受託者　スナガ環境測設株式会社（代表取締役　須永眞弘　所在地　前橋市青柳町211－1）が実施した。

4　調査担当者　荻野博巳（スナガ環境測設株式会社　調査員）
　　園部守央（前橋市埋蔵文化財発掘調査団）

5　発掘調査期間　中原遺跡群Ⅲ　平成5年12月1日～平成6年3月15日
　　同　Ⅴ　平成6年4月28日～平成7年3月24日
　　同　Ⅶ　平成7年6月9日～平成7年8月22日
　　整理・報告書作成期間　平成7年8月23日～平成8年3月25日

6　調査面積　中原遺跡群Ⅲ　12,295㎡，Ⅴ　41,600㎡，Ⅶ　10,500㎡

7　出土遺物は前橋市教育委員会で保管する。

8　測量・調査計画を須永眞弘、調査‥荻野博巳・新保一美、測量‥板垣宏・勝田貞幸・佐々木智恵子・角田朱美、安全管理‥神津芳夫、作業事務‥柴崎信江が担当した。

9　本書は、原稿執筆・編集を荻野博巳、校正‥須永眞弘・金子正人、測量図書の整理校正トレース‥勝田貞幸、遺物の注記・復元‥新保一美、遺物実測・計測‥佐々木智恵子・岡田あゆ美、内業事務は柴崎信江・須永豊が担当した。

凡　　例

1　遺構名・略称

遺構名と略称は次の通りとした。

土師器住居址　H　　溝・水路遺構　W　　井戸址　I　　土坑　D

柱穴　P　　畦畔　A　　掘立柱遺構　B

2　遺構・遺物実測図の縮尺は次の通りである。

遺構　1/30，1/60，1/100，1/300，1/500

遺物　1/1，1/2，1/3，1/5

3　挿入図

国土地理院発行の５万分の１「前橋」，２万５千分の１「大胡」地形図，を使用した。

4　遺跡の位置の基準

基準点　国土地理院三角点および水準点を照合済み

Ａ１区Ａ０地点　第IX系座標値　　x＝40,200.000m　　y＝－61,500.000m

水準点　BM. Ｃ３区78.00m　Ｃ５区78.00m（中原III）

Ｄ３区78.00m　Ｅ３・４区78.00m　Ｆ３・４区77.50m

Ｄ６・Ｅ６区77.00m（中原Ｖ）

Ｄ４区77.50m（中原VII）以上を使用

等高線　5㎝

グリッド　4ｍ間隔

5　土層断面の土色名及び土器類の色調名は「新版標準土色帖」による。

6　土層注記及び本文中にはAs：浅間山，Hr：榛名山の略称を使用。

7　水田面積の算出については、1/100 の平面図をデジタイザ読込による座標面積計算で算出した。尚、小数点以下第２位まで記載した。

8　スクリーントーン使用は次の通りである。

位置図・遺物実測図（内黒）・標準堆積土層図…細かい斑

9　柱穴以外のＰは土器、Ｓは石を表す。

目　　次

序
例言
凡例
目次

Ⅰ　調査に至る経緯 …… 1
Ⅱ　遺跡の位置と歴史的環境 …… 1
Ⅲ　調査の経過 …… 4
　1．調査方針 …… 4
　2．調査経過 …… 4
Ⅳ　層　　序 …… 6
Ⅴ　中原遺跡群Ⅲ
　1．概要 …… 9
　2．遺構と遺物 …… 9
　（1）住居址 …… 9
　（2）平安時代の水田址 …… 9
　①水田の地形 …… 9
　②水田の区画 …… 10
　③畦畔 …… 10
　④水口、配水 …… 11
　⑤足跡 …… 11
　⑥地震による地割れ …… 12
　（3）溝・水路 …… 12
　（4）道跡 …… 12
Ⅵ　中原遺跡群Ⅴ
　1．概要 …… 23
　2．遺構と遺物 …… 23
　（1）住居址 …… 23
　（2）平安時代の水田址 …… 34
　①水田の地形 …… 34
　②畦畔と水田区画 …… 34
　③水口、配水 …… 35

④足跡……36
⑤地割れ・陥没水田……37
（3）溝・水路……37
（4）土坑……38
（5）掘立柱遺構……39
（6）井戸址……40
（7）畝状遺構……40
（8）溜池状遺構……41
（9）中原遺跡群Ⅴの植物珪酸体（プラント・オパール）分析……42
Ⅶ　中原遺跡群Ⅶ
1．概要……101
2．遺構と遺物……101
（1）平安時代の水田址……101
①水田の地形……101
②水田の区画……101
③畦畔……101
④水口、配水……102
⑤足跡……102
⑥陥没水田……103
（2）溝・水路……103
Ⅷ　ま　と　め……112
1．住居址について……112
2．水田址について……113

挿　図

頁
第1図中原遺跡群位置図
第2図中原遺跡群周辺遺跡図……2
第3図調査区・グリッド設定図……3
第4図発掘調査経過図……5
第5図標準堆積土層図……6
第6図1号住居址・カマド……18
第7図古墳時代の遺物……19
第8図1号・2号住居址……63
頁
第9図3号住居址・4号住居址カマド……64
第10図4号・5号住居址……65
第11図5号住居址・6号住居址カマド……66
第12図6号住居址……67
第13図7号住・カマド・8号住居址カマド…68
第14図8号・9号住居址……69
第15図9号住居址カマド・10号住居址……70
第16図10号住居址・カマド・11号住居址……71

第17図11号住カマド・12号住カマド１・２…72
第18図12・13号住居址……73
第19図13号住カマド・14号住居址・カマド…74
第20図15号住居址・15，16号住居址カマド…75
第21図16号・17号住居址・17号住居址カマド……76
第22図18号・19号住居址……77
第23図18号住居址・18・19号住居址カマド…78
第24図20号・25号住居址・20号住居址カマド……79
第25図25号住居址カマド・21・23・26号住居址……80
第26図21・23・26号住・21の1・2、23号カマド……81
第27図22号住居址・26号住居址カマド……82
第28図22号住カマド・24号住居址・カマド…83
第29図Ｅ４区W—10～12・水田・畦畔・水口等……84
第30図Ｄ３区W－４・水田・畦畔・水口等　85
第31図Ｄ３・４区W－５・畦畔・水口・陥没水田等……86
第32図Ｄ３・Ｅ３区土坑・掘立柱遺構……87
第33図Ｅ３・Ｆ３区土坑・掘立柱遺構……89
第34図Ｉ－１・２・B—４ ……91
第35図古墳時代の遺物（１）……92
第36図古墳時代の遺物（２）……93
第37図古墳時代の遺物（３）……94
第38図古墳時代の遺物（４）……95
第39図奈良・平安の遺物（１）……96
第40図古墳時代（５）、奈良・平安（２）……97
第41図古墳時代～近代・その他……98
第42図古墳時代～近世～近代の遺物 ……108
第43図Ｄ・Ｅ４区W－８・畦畔・水口・陥没水田 ……109
第44図中原遺跡群住居址分布図 ……111

付　図

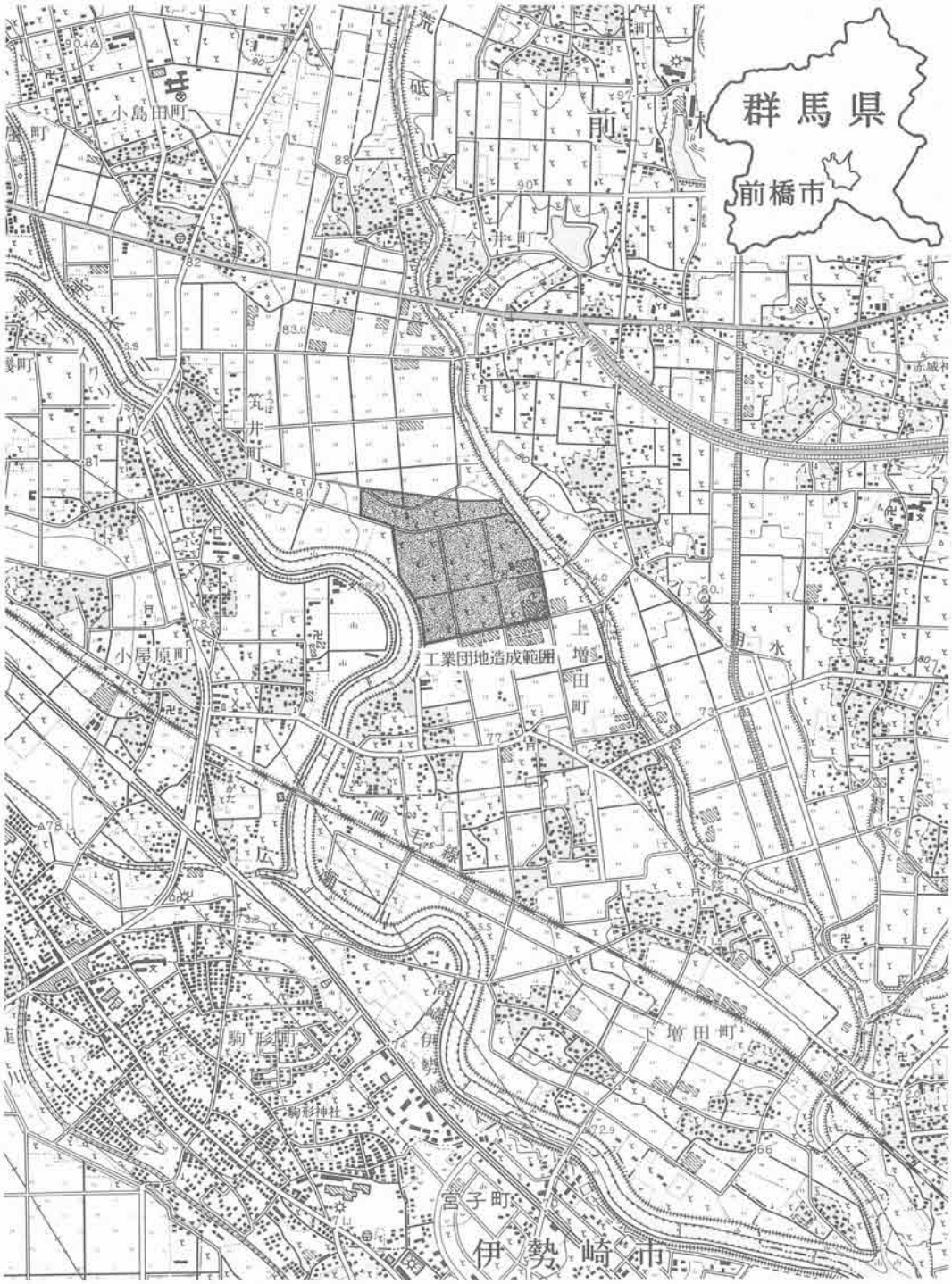
中原遺跡群Ⅲ全体図
中原遺跡群Ⅴ全体図　１・２
中原遺跡群Ⅶ全体図

写真図版

巻首図版　１～４
中原遺跡群Ⅲ　１～４
中原遺跡群Ⅴ　５～26
中原遺跡群Ⅶ　27～29

表

頁
中原遺跡群Ⅲ出土遺物観察表（Ⅲ）……13
水田址計測表（Ⅲ）……14
プラント・オパール分析結果（Ⅴ）……43
水田址計測表（Ⅴ）……48
土坑計測表（Ⅴ）……58
水田址計測表（Ⅶ）……104
溝・水路計測表（Ⅶ）……107
住居址編年表 ……112
頁
溝・水路計測表（Ⅲ）……13
畦畔断面計測表（Ⅲ）……16
中原遺跡群Ⅴ出土遺物観察表（Ⅴ）……44
畦畔断面計測表（Ⅴ）……53
溝・水路計測表（Ⅴ）……62
畦畔断面計測表（Ⅶ）……106
中原遺跡群Ⅶ出土遺物観察表（Ⅶ）……107



1:25,000

500m 0 500 1000 1500

第 1 図　中原遺跡群　位置図

I　調査に至る経緯

前橋市の東部田園地帯に上増田工業団地造成事業が実施されることになり、これに先立つ埋蔵文化財発掘調査について、前橋工業団地造成組合と前橋市教育委員会での協議により、埋蔵文化財の包蔵状況を把握するため、平成３年度に造成面積約250,000㎡の試掘調査を実施することになり、前橋市埋蔵文化財発掘調査団の指導のもとに、前橋工業団地造成組合の委託を受け、スナガ環境測設株式会社で調査に入った。

試掘調査の期間は、平成３年12月12日から平成４年３月16日まで行なわれ、その結果水田址、住居址等の遺構が確認され、平成４年度から中原遺跡群として実施されることになり、引き続き平成５・６・７年度にわたり調査を実施した。

II　遺跡の位置と歴史的環境

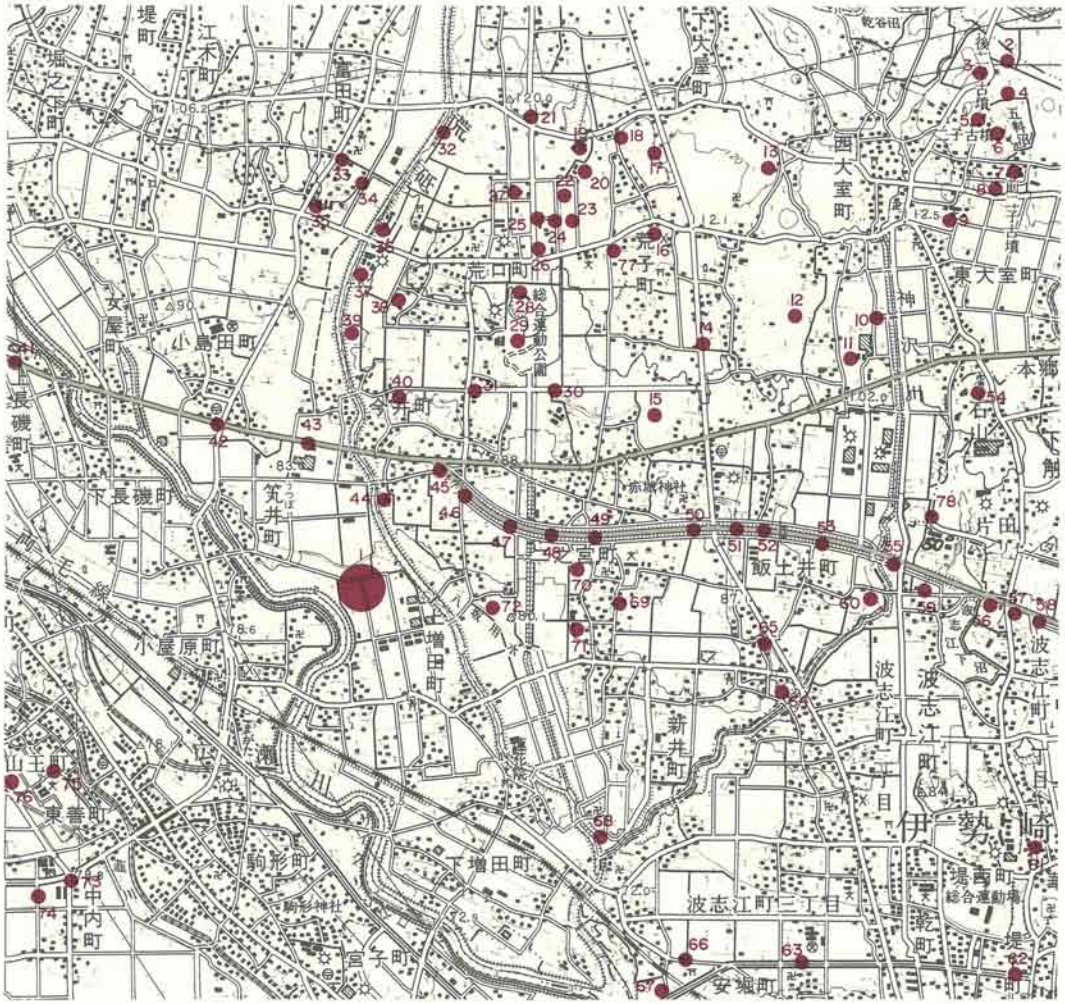
中原遺跡群は、県庁や市役所などの官庁街より国道50号線を東へ８㎞程の所に位置し、桃木川の左岸にあります。この一帯は、旧利根川の氾濫原堆積物である沖積砂礫を下層に埋める広瀬川低地帯上にある。

遺跡の範囲は、上増田町字中原を中央に、それに隣接する周辺字地名は、東に字三本松、字田村屋敷、南に字弥火田、字鯨田、西に字天上堰、北に笂井町東南端の字八反田ほかと、今井町の西南端部などから成る上増田工業団地造成地約25ヘクタールである。

造成地の大半を占める上増田町は、町域約192ヘクタールを東西に三つ割にして、東を一級河川荒砥川が南流し、その左岸（東部）は水田地帯、それに連担する赤城火山斜面で火砕岩層の微高地に、農家住宅などと桑園、畑地があり、今井町、二之宮町、下増田町と隣接している。町の西端を南流する一級河川桃木川は上流で利根川から分れ、広瀬川を経て田口町で分流している。

この広瀬川に合流する手前0.3㎞程の所を、東西に鉄橋で横断するＪＲ両毛線があり、鉄路を0.5㎞程西進すれば、小屋原町の駒形駅に至る。

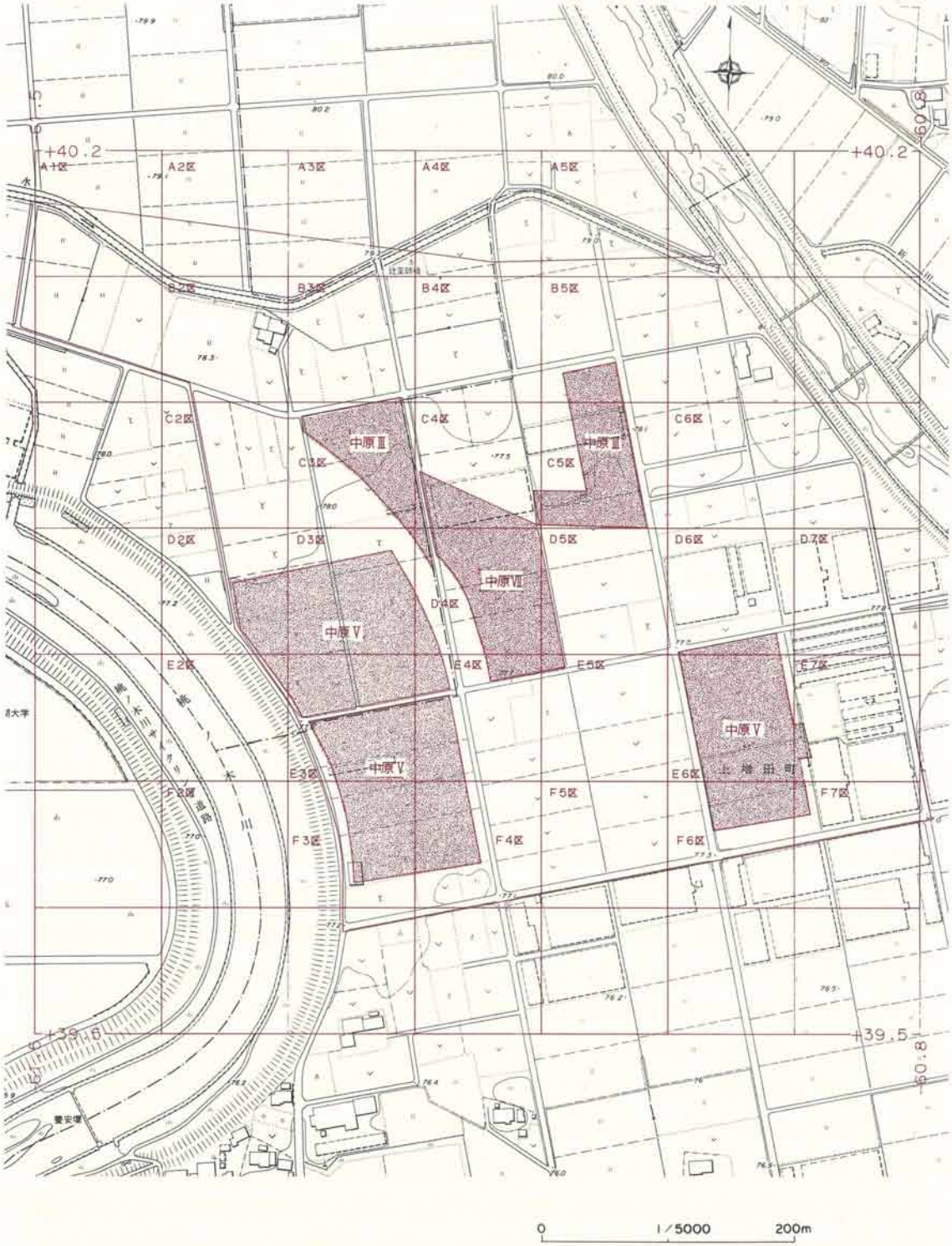
本遺跡群の北東に近接する二之宮町には、縄文～弥生～古墳時代住居址の荒砥前原遺跡や弥生中期～古墳～平安期住居址の荒砥島原遺跡がある。また多くの古墳や東道跡の推定地・国史跡の女堀遺構などがあり、11世紀頃の社格制度の呼称の上野国二宮（二宮赤城神社）は、県重文の納曽利面や市重文梵鐘などを今に伝えている。この二之宮町から北東へ３㎞程に、東・西大室町にまたがる国史跡の前二子・中二子・後二子古墳があり、この時代の高い東国文化の中枢の地であったことをうかがい知ることができる。



1.中原遺跡群 2.下縄引遺跡 3.上縄引遺跡 4.内堀遺跡群 5.後二子古墳 6.中二子古墳 7.前二子古墳 8.荒砥上諏訪遺跡 9.大室小学校校庭遺跡 10.荒砥東原遺跡 11.丸山古墳 12.立野古墳 13.阿久山古墳 14.荒砥荒子遺跡 15.荒砥上ノ坊遺跡 16.荒砥中屋敷遺跡 17.堤東遺跡 18.川篭皆戸遺跡 19.荒子小学校校庭遺跡 20.大久保遺跡 21.新山遺跡 22.中鶴谷遺跡 23.頭無遺跡 24.柳久保水田遺跡 25.柳久保遺跡 26.下鶴谷遺跡 27.諏訪遺跡 注28.荒砥大日塚遺跡C 29.鶴谷遺跡 30.荒砥大日塚遺跡B 31.荒砥大日塚遺跡A 32.荒砥諏訪西遺跡 33.東原古墳 34.東原遺跡 35.宮下遺跡 36.荒砥宮田遺跡 37.荒砥前田遺跡 38.荒口前原遺跡 39.荒砥北原遺跡 40.荒砥北三木堂遺跡 41.野中天神遺跡 42.笂井八日市遺跡 43.今井白山遺跡 44.今井神社古墳 45.今井道上・道下遺跡 46.二之宮谷地遺跡 47.二之宮洗橋遺跡 48.二之宮千足遺跡 49.二之宮宮下西遺跡 50.二之宮宮東遺跡 51.飯土井上組遺跡 52. 飯土井中央遺跡 53.飯土井二本松遺跡 54.石山遺跡 55.波志江今宮遺跡 56.波志江天神山遺跡 57.波志江六反田遺跡 58.波志江中峰岸遺跡 59.宮貝戸古墳群 60.二之堰古墳群 61.台所山古墳 62.八幡町遺跡 63.中組遺跡 64.赤石城址遺跡 65.宿畑古墳群 66.お富士山古墳 67.西太田遺跡 68. 荒砥前原遺跡 69.青柳遺跡 70.荒砥天之宮遺跡 71.島原遺跡 72.宮原遺跡 73.前田遺跡 74.西三並遺跡 75.上陽10号墳 76.阿弥陀山古墳 77.荒砥下押切遺跡 78.牛伏遺跡

(注：荒砥大日塚遺跡 A.古墳～奈良・平安集落, B. B軽石下水田, C. 弥生～古墳・B軽石下水田)

第 2 図　　中原遺跡群周辺遺跡図



第3図 調査範囲・グリッド設定図

Ⅲ　調査の経過

1．調査方針

平成３年の試掘調査の結果をもとに、平成４年から平成５、６、７年と継続して調査が実施され、広範囲の面積を調査しなければならないため、各年度毎に面積を分け、平成５年度は12,295㎡、６年度41,600㎡、７年度10,500㎡の調査を実施した。尚、遺跡名称は旧地籍の「中原」より小字名を採用し、年度によって中原遺跡群Ⅲ（平成５年度調査）、Ⅴ（平成６年度）、Ⅶ（平成７年度）に分けて名称を使用した。

調査区の設定は、平成３年度の試掘調査時に設定した公共座標に合わせて調査区を設定し、東西方向に延びる調査区を算用数字で、南北方向に延びる調査区をアルファベットで呼称して100×100mの大グリッドとし、その中を４m毎に小グリッドを設定した。グリッドの呼称は北西杭の名称を使用した。また水準点は、公共水準ＢＭから測設した。

図面作成は、原則として1/10・1/20・1/40・1/100等の縮尺を使用し、作図を行なった。

遺物は、遺構・グリッド単位で層位毎に収納し、重要遺物と判断した遺物は、遺物分布図、遺物台帳に記載をし、付番処理をして収納した。また遺構・遺物等の写真撮影も行ない記録した。

2．調査経過

中原遺跡群の調査は、平成５年、６年、７年と各年度に分けて本調査を実施した。

平成５年度調査は、中原遺跡群Ⅲを実施することになり、12月１日より表土掘削に入り、洪水堆積層で埋まった平安時代の水田址や中世～近代までの溝、水路、道跡などを検出し、１面目の調査を終了した。また、２面目の調査は水田面下遺構確認トレンチにより、古墳時代の住居址１軒を検出し、３月15日までに遺構の測量・写真等の記録や遺物の収納などを行ない、終了した。

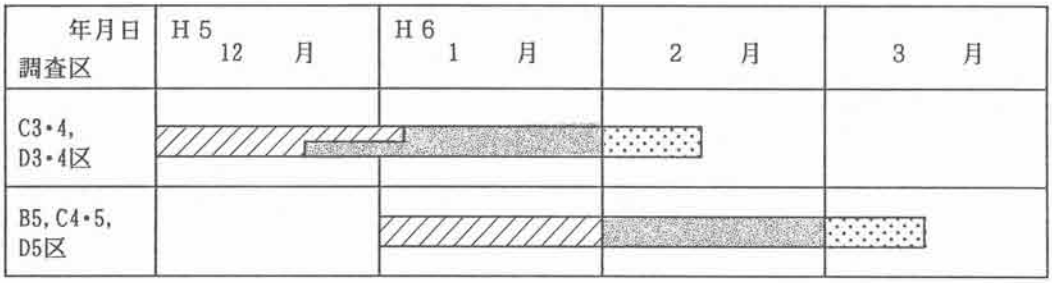
中原遺跡群Ⅴの調査は、平成６年４月28日より実施した。調査面積が広く、離れている調査区もあり、大きく３区画に分けて行なった。１区画（東西方向の道路を挟んで北側）は、４月から９月にかけて行ない、１面目の調査では、古墳時代の住居址２軒と平安時代の水田址、溝址や中世～近代までの遺構などを検出した。また２面目の調査では、古墳時代の住居址８軒が検出された。２区画（道路南側）は７月より表土掘削に入り、１区画と並行しながら12月まで作業を行ない、平安時代水田址や溝址、中世～近世までの遺構を検出した。３区画（１、２区画より約200m東）は、10月より表土掘削に入り、２区画と並行して３月24日まで行なわれた。１面目の調査で、奈良・平安時代の住居址７軒と水田址、溝址などや中世～近代までの遺構を検出した。また２面目の調査では、１面目で検出した住居址の東側より、奈良・平安時代の住居址９軒を検出した。各区の調査は遺構の測量・写真等の記録や遺物の収納などを行ない終了した。

中原遺跡群Ⅶは、平成７年６月９日より実施した。始めに調査区の残土の搬出を行ない、表土

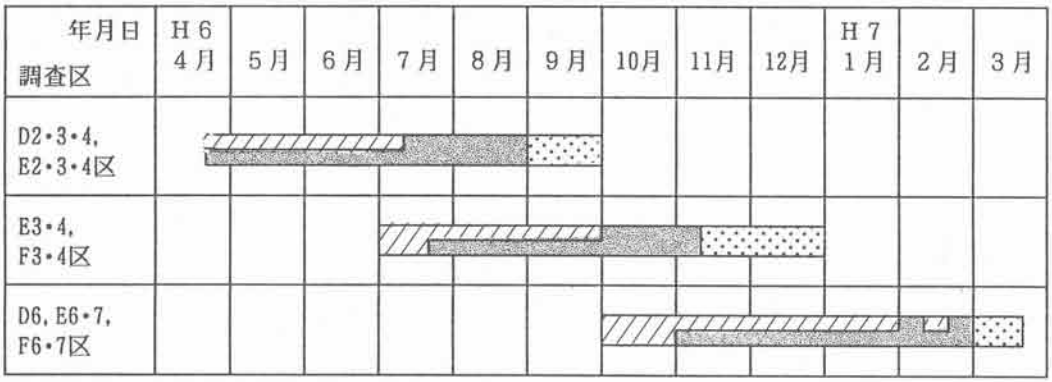
の掘削に入り、洪水堆積層で埋まった平安時代の水田址や溝址、中世～近代までの遺構を検出した。また遺構の測量・写真等の記録や遺物の収納などを行ない８月22日に調査を終了した。

第４図　発掘調査経過図

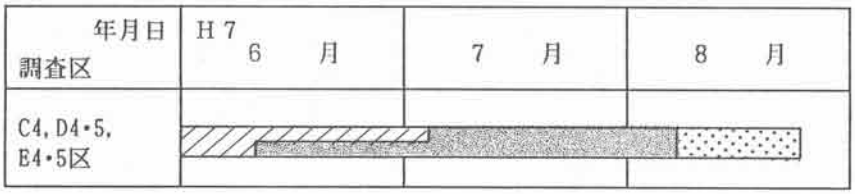
中原遺跡群Ⅲ　　Ｈは平成



中原遺跡群Ⅴ



中原遺跡群Ⅶ



表土掘削
プラン確認

遺構掘り下げ
図面作成等

仕上げ
全体写真撮影

Ⅳ 層　　序

中原遺跡群は、赤城山の南麓に広がる扇状地の末端部に位置し、利根川の旧流路で広瀬川低地帯の左岸にあたる後背湿地上に位置する。遺跡群は東側に赤城山より南流する荒砥川、西側には桃木川（旧利根川の流路）がある。古くから、これらの河川によって、生活が営まれた場所と推定され、様々な自然災害や河川の氾濫、洪水等が繰り返され直接的や間接的に影響を及ぼした地域と思われる。

本遺跡群は、旧流路、小河川、中洲状のあった所に位置すると推定され、堆積土層状況に違いが見られる。各区で見られる堆積土層には、浅間Ｂ軽石（1108年降下）、榛名ＦＰ（６世紀中葉降下）、榛名ＦＡ（６世紀初頭降下）、浅間Ｃ軽石（４世紀中葉降下）などの火山噴出物降下堆積物の混入が見られる。また平安時代水田面上を覆った（褐灰色粗砂層　礫を含む）堆積土層は、818（弘仁９）年の地震による洪水堆積層と言われ、河川に挟まれた本遺跡群全体に見られる。

中原遺跡群Ⅲ・Ⅴ・Ⅶで確認した層序については、基本的に下記に示した通りである。

Ⅰ　灰褐色土層　粘性・締まりなし
　　細砂・小礫を含む（耕作土）

Ⅱ　灰褐色土層　粘性なく締まりややあり
　　As—Ｂ軽石を含む
（As—Ｂ軽石が帯状に細長く見られる調査区もある）

Ⅲ　暗褐色土層　粘性・締まりややあり
　　細砂と軽石粒を含む

Ⅳ　灰褐色細砂粗砂層　小礫を含む
（818年洪水堆積層）

Ⅴ　褐灰色土層　粘性・締まりあり　Hr—FP粒を
　　わずか含む（平安時代水田層）

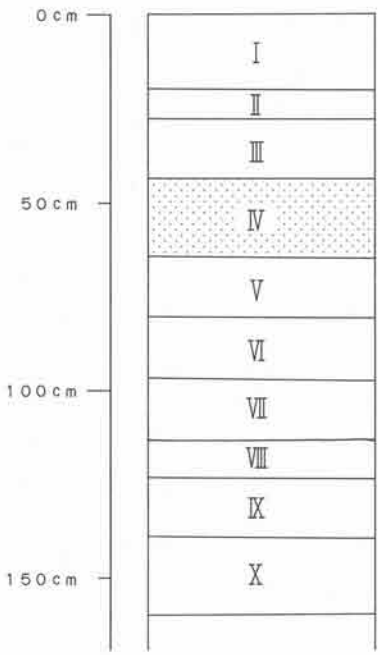
Ⅵ　暗褐色土層　粘性・締まりあり　Hr—FP粒と
　　黄色を呈するHr—FAが細長く入る
（古墳時代の住居址確認面に見られる）

Ⅶ　暗褐色土層　粘性ややあり・締まりあり
　　As—Ｃ軽石を含む

Ⅷ　暗褐色土層　粘性・締まりあり
　　As—Ｃ軽石を20％以上含む

Ⅸ　暗褐色粘質土層

Ⅹ　灰黄褐色微砂層



第５図　標準堆積土層図

V　中原遺跡群 III

1．概要

本年度の発掘調査では、1面目から水田址96面、溝・水路跡4条、道跡1か所、2面目の調査では、住居址1軒が検出された。水田址は、818（弘仁9）年の地震に起因する洪水堆積層によって覆われた平安時代のものである。また、平成4年度調査の中原遺跡群IIと同一の水田になることが判明した。2面目で検出された住居址は、鬼高式の土器を伴うもので、古墳時代後期にあたると考えられる。

2．遺構と遺物

（1）住居址

H－1号住居址（第6図、図版1）

位　置　C5－Y5・6，D5－A5・6グリッド

床面積　16.05㎡　　**主軸方向**　N－75°－E

形　状　長辺4.40m，短辺4.06mの隅丸方形を呈する。壁高は平均59cmを測る。

床　面　ほぼ平坦な床で、As—C軽石・炭化物・焼土粒を含む土層を床としている。

カマド　東壁のほぼ中央に位置し、カマド全体に粘土が使用されている。主体部・焚口を住居内に有し、煙道部を壁外に持つ。全長120cm、焚口部幅約26cm、主軸方向N－77°－Eを測る。燃焼部には長さ18cm、幅10cm程の支脚石が残っていた。

柱　穴　3か所確認した。住居の北壁側にP－1、南壁側にP－2・3を確認した。ほぼ円形を呈する。P－1径32cm、深さ33cm、P－2径30cm、深さ29cm、P－3径32cm深さ30cmを測る。

備　考　住居址の全体に炭化材や焼土の分布が見られることから焼失住居の可能性が強い。また黄色砂層で埋まった地割れ跡も検出されている。

遺　物　図示したものは、№1～7坏・8高坏・9甑・10,11甕・12壺などがある。時期は古墳時代後期と思われる。

（2）平安時代の水田址

①水田の地形

荒砥川と桃木川に挟まれた広瀬川低地帯と呼ばれている地域にあり、水利等において水田に適した地域である。

水田址は、818（弘仁9）年の赤城山南麓一帯で起こった地震に起因する洪水堆積物で埋まったものである。調査区は中原遺跡群II（平成4年度調査実施）に続くC3・4，D3・4区とB5，C4・5，D5区に位置する水田址である。

C3・4、D3・4区は27号水田の標高78.30mを最高値に、南方向の54号水田の標高77.35m

を最低値に95cmの比高差を測る三角形状の調査区である。Ｂ５，Ｃ４・５，Ｄ５区は調査区の北西隅の55号水田の西側で標高78.35mを最高値に、調査区東側中央付近に位置する80号水田の標高77.55mを最低値に80cmの比高差を測る南北に細長く南側で西方向へ広がる逆Ｌ字状を呈する調査区である。全体に東側寄りは水田区画がはっきり残り、西側方向は微高地状に上がる傾向で水田区画は不明瞭である。調査区全体では、北側より南側への勾配となる。

②水田の区画（全体図、図版１～３）

調査区に見られる水田区画は長方形と平行四辺形状のものが大半を占めるが、それ以外に不定形な区画も見られる。区画の大きさに規則性が見られるものは、Ｃ３区内の平行四辺形状の水田やＢ５，Ｃ５区内の方形状のものなどがある。また調査区内には、東西・南北方向に伸びている大畦畔の一部があり、その大畦畔を挟んで北側と南側の区画形状に違いが見られる。Ｃ３，Ｄ３・４区は、大畦畔を挟んで北側が半折型に近い形状を呈し、その中は平行四辺形状に区画している。南側も半折型に近い形状だが、区画内は一定の形状を示さない。Ｂ５，Ｃ４・５区は、北側がふぞろいの四角形状区画が多く見られ、南側は細長い四辺形状のものが見られる。全体に大区画畦畔（大畦畔）内は規則性を持たない。

③畦畔（全体図、図版１～３）

調査区内に見られる畦畔は、東西・南北方向に規則的に伸びる区画もあるが、他は曲線のものが多く、走行に違いが見られる。畦畔は水田面と同じ褐灰色粘質土層で作られている。また幅の大小の差により、大畦畔と小畦畔と言うように分かれている。ここで見られる大畦畔は一水田区画を囲むものではなく、条里制水田の区画に当てはまるものと思われる。

検出された大畦畔は東西方向に伸びるものと、南北方向に伸びるものを検出した。Ｃ３区内の大畦畔は前回の調査区（中原遺跡群Ⅱ）の隣に位置し、走行は前回検出したものと一致する。またＣ５区内にも東西方向に伸びる大畦畔を確認した。西側で形状が不明瞭となり、他の小畦畔も形状が不明になる。

確認された大畦畔の規模は、Ｃ３区内の南北畦畔で確認長9.0m、上端幅70～120cm、下端幅40～90cm、水田面との比高差は東側で12～13cm、西側で13～14cmを測る。さらに東西畦畔では確認長50.3m、上端幅35～75cm、下端幅70～130cm、水田面との比高差は南側で13.5～21cm、北側で5.5～12.5cmを測る。またＣ５区内の東西畦畔では確認長35m、上端幅45～150cm、下端幅85～170cm、水田面との比高差は南側で３～15.5cm、北側で６～24.5cmの間を測る。全体に断面は、台形状（かまぼこ形）で、幅の広いものは上端幅150cm，下端幅170cm、幅の狭いものでは、上端幅35cm，下端幅70cmを測り、小畦畔と比較すると大畦畔は平均上端幅で31.9cm、下端幅で35.8cm程幅広くなっている。

また水田の区画割りに見る水田形状は、大畦畔を挟んで様相が異なっていることがわかり、個々

の水田区画には大きさや形状などに規則性は見られない。河川に挟まれた地形から洪水等の自然災害などを受け易い場所と思われ、区画（畦畔）もその都度作り替えた結果と思われる。

④水口、配水（全体図、図版２・３）

区画を区切った畦畔には水口があり、水の取り入れや配水がこの部分によって行なわれてきたことがうかがわれる。水口の位置は、基本的には一区画の水田を囲む東西・南北方向の畦畔に数か所あり、各水田に配水している。各調査区での水口からの配水経路は、Ｃ３・４，Ｄ３・４区では調査区北側の12号水田（78.22m）から南側の52号水田（77.45m）までの配水経路が見られ、比高差は77cmを測る。また各畦畔に見られる水口の幅も上端幅で16～68cm、下端幅４～34cmの範囲のものが見られる。さらに流水部分には侵食による窪みがあり、とくに大畦畔に作られた水口部分の窪みは他のものより侵食跡がはっきり残っている。また１号から54号水田中、１・９・10・11・13・26・27・28・29・30・51・53号水田では、区画が部分的なため水口は検出されなかった。全体に北から南への勾配を利用した配水となっている。

Ｂ５，Ｃ４・５，Ｄ５区は、55号から92号までの水田が検出された。南北に細長く北西から南東側へやや勾配を持ち、水田を覆った砂礫層の堆積も東側の方が厚く、畦畔・水田面の残りが良い。各水田の配水経路を見ると、北側の57号水田（78.05m）から87号水田（77.65m）までの配水が見られる。比高差は40cmを測り、北側から南東方向へ勾配を持つ。

また水口は、畦畔の交差部付近や中央部に見られる。幅は上端幅で13～53cm，下端幅で６～38cmの範囲のものがある。さらに流水による侵食跡も数か所認められている。

他に検出された55号～92号水田中、55・56・61・63・74・80・81・82・88・89・90・91・92号水田には水口が検出されず、全体での流水経路は不明である。また水田への取水のための溝・水路等は確認されず、一部水田面と畦畔を切っている溝を確認したが水田に伴う溝か不明である。（水口の流水方向は、全体図に記載し、報告する）

⑤足跡（全体図、図版２・３）

調査区全体に人間の足跡が数多く認められた。その形状は明瞭なものと形状が崩れていて凹凸のみを残すものとがあり、比較的洪水堆積砂礫層が厚く堆積している所は足跡の残りも良い。

Ｃ３・４，Ｄ３・４区内の４・18・34・39・40・41号水田に見られる足跡は、比較的明瞭に残っている。足跡は水田内を斜め方向に歩行した跡が残っている。

またＢ５，Ｃ４・５，Ｄ５区では66号水田に残る足跡は明瞭に残る。歩行は東側畦畔に沿って南北方向に歩行跡が見られる。

さらにＣ３区内39・40・41号水田にまたがって見られる足跡は、北東から南西方向に歩行が見られ、足跡の大きさは20～23cm、窪みは２～３cm程残る。またＣ５区の66号水田に見られる足跡は、大きさ22～24cmを測り、窪みも2.5～４cm程残る。

⑥地震による地割れ

地震に伴う現象は、確認トレンチにより検出された古墳時代の住居址床面に見られる黄色砂層が、地割れの亀裂に入り込んで検出されており、地下での液状化現象が発生したことがうかがわれる。また地震の発生時期は、住居址の出土遺物から推定すると、6世紀以後と思われる。

（3）溝・水路（全体図、図版3・4）

調査区全体に検出した溝・水路跡は4条で、平安時代の水田面や畦畔を掘り込んでいる溝や新しい水路跡などがある。C3区内に検出されたW－1・2は南北方向に作られ、洪水堆積層と畦畔・水田面を掘り込んで、底に歐穴状の流水痕が見られた。遺物はわずか土師器片が検出されている。またC4・5区で検出された溝はW－3・4と2条あり、W－3は東西方向に作られW－1・2と同じ洪水堆積層や水田面・畦畔を掘り込んでいる溝で、東壁断面にはAs—B軽石層下より掘り込みが見られることや洪水層・水田層までの掘り込みがあることから、水田址より新しい溝と考えられる。さらに近代から現代まで水路として使用されていたW－4を検出した。遺物は、W－3からは検出されず、W－4からは土器片に混じって五輪塔や近代以後の遺物などを検出した。（各調査区の溝・水路等の計測値は、一表に記載し報告する）

（4）道跡（全体図、図版4）

C5－R8・9～C5－U10・11グリッド内に道跡を検出した。平安時代水田址がとぎれた西側のやや微高地に位置し、圧縮された土層と小礫を含む土層で検出された。長さは約18mまで確認でき、幅は2.6～3.0m程で、高さは断面により約30cm程ある。また付近には近世以後の遺物を含むW－4などもあり、土地改良前まで使用されていた新しいものと思われる。

中原遺跡群Ⅲ出土遺物観察表

注：法量は①口径②底径③胴部最大径④頸部径⑤裾部径⑥器高⑦長さ⑧幅⑨厚み⑩穿孔をcmで1⑪重量をｇで表し、( )は推定値を示す。

番号	出土位置	器形(種)	法量	①胎土②焼成③色調④残存	器形・製作技法の特徴
1	H－1	坏(土師)	①12.1②11.9⑥5.3	①稠密 黒雲母 石英 軽石粒 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/8 ④ほぼ完	立ち上がり中央部にふくらみを持つ 外面立ち上がり部横ナデ 底部ヘラ削り 内面の外周1/2まで横ナデ 底部中央部ヘラ磨き 古式土器を思わせる硬質土器 内外1/4程の黒色吸炭あり 模倣坏
2	H－1	坏(土師)	①12.6②11.9⑥5.0	①密 黒雲母 石英 軽石粒 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/8 ④完形	口端部やや外反する 外面立ち上がり部横ナデ 底面ヘラ削り 内面底面にかかる横ナデ 底面2/3までヘラ磨き 内外1/5程黒色吸炭 古式土器に近い硬質土器 模倣坏
3	H－1	坏(土師)	①11.8②11.6⑥5.2	①稠密 黒雲母 石英 長石 軽石粒 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/8 ④完形	半球状の丸い身部 赤色塗彩 外面立ち上がり部横ナデ 低面ヘラ削り 内面ヘラ研磨後底面にかかる横ナデ 模倣坏
4	H－1	坏(土師)	①12.4②11.2③4.6	①稠密 黒雲母 ②良好 ③橙2.5YR6/8 ④4/5	扁平な底部 立ち上がり中央部にふくらみを持たせ口端部を外反 外面立ち上がり部横ナデ 底面ヘラ削り 内面全面ヘラ磨き後底面にかかる横ナデ 赤色塗彩 模倣坏
5	H－1	坏(土師)	①12.8②12.2⑥5.1	①稠密 黒雲母 石英 軽石 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/8 ④4/5	口端部外反 赤色塗彩 外面立ち上がり部横ナデ 底部ヘラ削り 内面立ち上がり部横ナデ 底面ヘラ研磨後同心円状の横ナデを全面に施す 古式土器 模倣坏
6	H－1	坏(土師)	①12.6②11.6⑥5.1	①稠密 黒雲母 軽石 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/8 ④1/2	立ち上がり部外反 赤色塗彩 外面立ち上がり部横ナデ 底部ヘラ削り 内面立ち上がり部横ナデ 底部ヘラ研磨後底面1/2から立ち上がり部まで横ナデ 古式土器 底面から立ち上がり部まで黒褐色吸炭あり 模倣坏
7	H－1	坏(土師)	①16.4②16.1⑥6.6	①稠密 黒雲母 石英 軽石粒 ②良好 ③赤10R5/8 ④1/2	赤色塗彩 外面立ち上がり部横ナデ 底部ヘラ削り 内面底部ヘラ研磨 立ち上がりから底面にかけて横ナデ 模倣坏
8	H－1	高坏(土師)	⑤9.4 ⑥3.6	①稠密 黒雲母 軽石 頁岩粒 ②良好 ③赤10R5/8 ④脚部完形	低く広い接地面を持つ安定した作り 坏部に押し込む作り外面横ナデ 内面横ナデ 赤色塗彩 古式土器
9	H－1	甑(土師)	①28.2②8.9⑥31.9	①密 黒雲母 軽石 ②良 ③にぶい橙7.5YR6/4 ④4/5	口広の単孔型 外面口縁部横ナデ 体部縦位のヘラ削り 内面ヘラナデ 体部に黒色吸炭あり
10	H－1	甕(土師)	①17.6②5.1 ④19.9⑥33.1	①密 黒雲母 軽石 ②良 ③にぶい橙7.5YR6/4 ④1/3	胴部中位に最大径を持つ 外面ヘラ削り 口縁部横ナデ 内面ヘラナデ 口縁部横ナデ 下半部黒色吸炭 上部から口縁にかけて二次焼成焔を受ける
11	確トレンチ C5-U1 グリッド	小型甕(土師)	①13.1②5.5③13.9 ④11.5⑥13.0	①稠密 黒雲母 軽石 石英 長石 頁岩粒 ②良好 ③橙2.5YR6/6 ④ほぼ完形	平底で丸い体部 外面の器肌が荒れる 外面頸部から口端部横ナデ 体部～底部ヘラ削り後ヘラ研磨 内面口端部から頸部横ナデ 内面ヘラ磨き 底部から第2節(4.8cm)まで作りそれから上部を作り足す 2/3以上に二次焼成焔と黒色吸炭を受ける 古式土器
12	確トレンチ C5-U1 グリッド	小型壷(土師)	②6.8 ⑥(12.8)	①密 黒雲母 石英 軽石 頁岩 ②良好 ③にぶい橙7.5YR6/4 ④2/5	赤色塗彩痕が残る 外面縦位のヘラ磨き 内面ヘラナデ 古式土器に近い比重

溝・水路計測表

(推定値)

No.	長さ (m)	深さ (cm)	底のレベル (m)	勾配 (%)	幅 (cm)	流水方向	位置 (グリッド)	備考
W-1	(25)	N 6 S 7	N77.89 S77.70	7.60	上50～100 下20～30	N→S	C3-M2021 ～ D3-A20	畦畔・水田面を削っている
2	(24.9)	N 8 S 6	N77.83 S77.69	5.62	上60～90 下20～30	N→S	C3-M22 ～ C3-S21	畦畔・水田面を削っている
3	32.3	W20 E38	W77.83 E77.52	9.60	上67～84 下30～48	W→E	C5-O・P10 ～ C5-O19	畦畔・水田面を削っている
4	(58.1)	N142 S213	N76.65 S75.85	13.77	上300-425 下175-285	N→S	C4-R・S24 ～ D5-A1011	土地改良前まで使用

※各溝の土層注記

W－1　1　灰褐色粘質土層　2灰色細砂粗砂層軽石粒を含む

W－2　1　灰色粗砂層と軽石と灰褐色粘質土を含む（歐穴状に底が掘られ、確認時に818年洪水層・水田面・畦畔を切っていた。As－B軽石と礫を含んでいる。）

W－3　1　褐灰色土層粘性・締まりややあり細砂とFP粒を含む　2褐灰色土層粘性・締まりあり軽石と灰色シルトをわずか含む　3褐灰色土層粘性・締まりややあり細砂を含む

W－4　1　灰褐色土層を基本に細砂・小礫を含む砂質土層で埋まっている

水田址計測表

（　）は推定値・検出面積及び推定形状，N・S・E・W は畦畔位置を示す

田面No.	面積(㎡)	東畦(m)	南畦(m)	西畦(m)	北畦(m)	形状	水口(か所)	備考
1	(23.86)	(8.6)	—	—	—	不明	—	東が大畦
2	(68.84)	(10.9)	(15.0)	—	—	不明	S=2	—
3	(238.18)	10.5	25.2	(6.2)	(15.0)	(横長方形)	N=1,S=1	西が大畦
4	(110.46)	(9.4)	—	(2.4)	25.2	不明	N=1,E=1	西が大畦
5	(77.98)	(11.4)	(16.5)	—	—	不明	S=1	—
6	(123.75)	6.5	25.2	(1.9)	(16.5)	平行四辺形	N=1,S=1	—
7	206.16	(9.3)	25.7	9.0	25.2	平行四辺形	N=1,S=1,E=1	—
8	229.78	11.1	26.1	11.3	25.7	平行四辺形	N=1,E=1	—
9	(127.72)	(10.4)	—	(9.4)	15.1	不明	—	—
10	(99.44)	7.9	(8.9)	(10.4)	11.0	(台形)	—	南が大畦
11	(14.78)	(5.3)	—	—	7.1	不明	—	北が大畦
12	(12.01)	(4.0)	(6.1)	—	—	不明	E=1	—
13	(48.57)	6.2	(14.2)	—	(6.1)	不明	—	—
14	(65.59)	4.2	(21.7)	—	(14.2)	不明	S=1	—
15	(287.98)	14.9	22.9	—	(21.7)	平行四辺形	N=1,E=1	—
16	222.52	12.1	23.1	11.1	22.9	平行四辺形	S=2	—
17	175.07	3.3	21.2	14.4	23.1	台形	N=2,S=3,W=1	—
18	164.54	7.9	22.9	7.9	21.2	横長方形	N=3,S=3	南が大畦
19	(77.65)	7.6	(8.2)	(5.3)	12.2	不定形	N=1	北が大畦
20	28.51	5.1	6.8	4.0	6.9	横長方形	N=1,S=1	北が大畦小区画
21	(38.13)	(9.2)	—	—	8.2	不明	—	—
22	(91.36)	13.1	(5.6)	(12.6)	6.7	不定形	N=1,S=2	—
23	(15.05)	(5.3)	—	—	(5.6)	不明	N=1	—
24	54.66	19.1	2.8	18.2	3.4	不定形	S=1,E=2,W=1	北が大畦
25	(16.45)	6.4	(1.9)	(5.3)	2.8	(縦長方形)	N=1,E=1,W=1	小区画
26	(1.75)	(1.2)	—	—	(2.3)	不明	—	—
27	(10.89)	—	(1.4)	(3.5)	—	不明	—	—
28	(3.58)	(3.5)	(5.2)	—	—	不明	—	—
29	(40.62)	—	(14.9)	(0.7)	(9.1)	不明	—	—
30	(1.24)	—	—	(3.9)	(1.4)	不明	—	—
31	(54.90)	—	(17.2)	(4.1)	(14.9)	不明	S=1,W=1	—
32	(103.95)	—	(18.9)	7.0	(17.2)	不明	N=1	—
33	(99.86)	—	(21.9)	6.9	(18.9)	不定形	S=1	—
34	98.35	10.6	10.1	11.1	9.2	方形	S=1,E=1	足跡有
35	227.05	19.8	11.9	22.0	10.1	縦長方形	N=1	南が大畦
36	(103.41)	—	(7.4)	15.9	(9.2)	不明	N=1,S=1	—
37	(79.65)	—	(6.7)	11.1	(7.4)	不明	N=1,S=1	南が大畦
38	24.93	(7.1)	—	10.1	(6.9)	三角形	W=1	北が大畦
39	63.16	17.4	—	19.9	6.9	台形	E=1	北が大畦、足跡有
40	123.74	25.9	—	29.8	7.0	不定形	N=1,S=2,W=1	北が大畦
41	207.37	3.1	23.0	15.4	26.1	不定形	N=2S=1E=1W=1	足跡有
42	143.46	5.3	23.3	7.0	23.0	横長方形	N=1,E=1	—
43	(122.43)	8.9	(14.9)	(1.2)	23.3	(横長方形)	N=1,S=1	足跡有
44	(63.55)	5.8	(5.7)	—	(14.9)	不明	N=1,S=1	陥没有
45	(16.98)	(6.1)	—	—	(5.7)	不明	N=1,E=1	陥没有
46	(3.94)	—	(1.5)	(8.5)	—	不明	S=1	—
47	(19.91)	—	(4.2)	7.3	(1.5)	不明	N=1,S=1	—
48	(21.00)	—	(5.9)	4.9	(4.2)	不明	N=1,S=1	—

田面No.	面積(m²)	東畦(m)	南畦(m)	西畦(m)	北畦(m)	形状	水口(か所)	備考
49	(29.76)	—	(6.9)	6.1	(5.9)	不明	N=1,E=1	足跡多数
50	(22.35)	—	(8.1)	4.0	(6.9)	不明	E=1	—
51	(126.76)	—	(16.1)	12.3	(8.1)	不明	—	—
52	(47.41)	(6.7)	—	(6.1)	7.9	不明	W=1	—
53	(124.35)	—	(4.9)	(6.7)	(8.2)	不明	—	—
54	(24.53)	—	—	—	(4.9)	不明	—	—
55	—	(8.6)	—	—	—	不明	—	—
56	(31.09)	(9.7)	4.4	(8.6)	—	(縦長方形)	—	—
57	(1.70)	(1.0)	(4.6)	—	—	不明	S=1	—
58	(123.04)	10.2	12.1	(9.7)	(4.6)	(横長方形)	N=1,E=1	—
59	(15.39)	—	(9.0)	(1.0)	—	不明	S=1	—
60	(103.64)	—	(11.0)	10.2	(9.0)	不明	N=1,E=1	—
61	(29.40)	(7.5)	(5.0)	7.2	4.4	(縦長方形)	—	—
62	43.81	3.6	12.9	(4.2)	12.1	横長方形	E=1	—
63	(133.72)	(25.5)	(5.1)	(26.5)	(5.0)	(縦長方形)	—	—
64	191.00	19.1	10.3	(12.5)	12.9	縦長方形	S=1,E=1	—
65	(287.09)	—	(15.3)	21.5	(11.0)	不明	W=2	—
66	115.56	11.0	11.3	11.5	10.3	方形	E=1	足跡有
67	106.83	10.0	10.3	11.0	11.1	方形	N=1,W=1	—
68	(55.31)	—	7.0	10.0	(4.2)	不明	S=1	—
69	—	—	—	—	(5.1)	不明	E=1	—
70	102.12	9.9	(10.9)	(11.0)	11.3	方形	—	—
71	111.32	10.7	11.0	11.3	10.3	方形	S=1,E=1	—
72	(80.55)	—	9.5	10.7	7.0	不明	N=1,S=1,W=1	—
73	—	—	—	—	—	不明	—	—
74	32.03	11.9	3.3	10.7	5.6	不定形	—	—
75	(177.01)	—	16.9	12.5	15.0	不定形	N=2,S=1	—
76	—	(4.1)	—	—	—	不明	E=1	南が大畦
77	—	—	3.1	(4.1)	—	不明	S=1,W=1	南が大畦
78	78.92	20.4	5.5	18.1	—	不定形	S=1,E=1,W=1	南が大畦
79	291.61	(23.9)	11.9	25.4	16.9	不定形	N=1,W=1	南が大畦
80	(50.54)	—	6.2	(23.9)	—	不明	—	南が大畦
81	—	(20.2)	—	—	—	不明	—	北が大畦
82	—	—	—	(20.2)	8.0	不明	—	北が大畦
83	162.25	36.2	9.7	32.2	6.0	不定形	N=1	北が大畦
84	152.46	35.2	5.0	36.2	5.2	縦長方形	N=1,E=1	北が大畦
85	120.54	37.3	5.0	35.2	3.9	不定形	E=2,W=1	北が大畦
86	175.84	(9.4)	—	28.8	(10.8)	不明	W=1	北が大畦
87	(24.33)	—	(2.0)	(17.9)	—	不明	W=1	—
88	(38.96)	(5.4)	(3.8)	8.9	9.2	不定形	—	—
89	23.44	4.0	8.9	—	10.4	不定形	—	—
90	(41.21)	—	—	(5.5)	15.0	不明	—	—
91	(6.24)	—	(5.2)	—	(4.4)	不明	—	—
92	(18.01)	—	(6.1)	4.0	(5.2)	不明	—	—

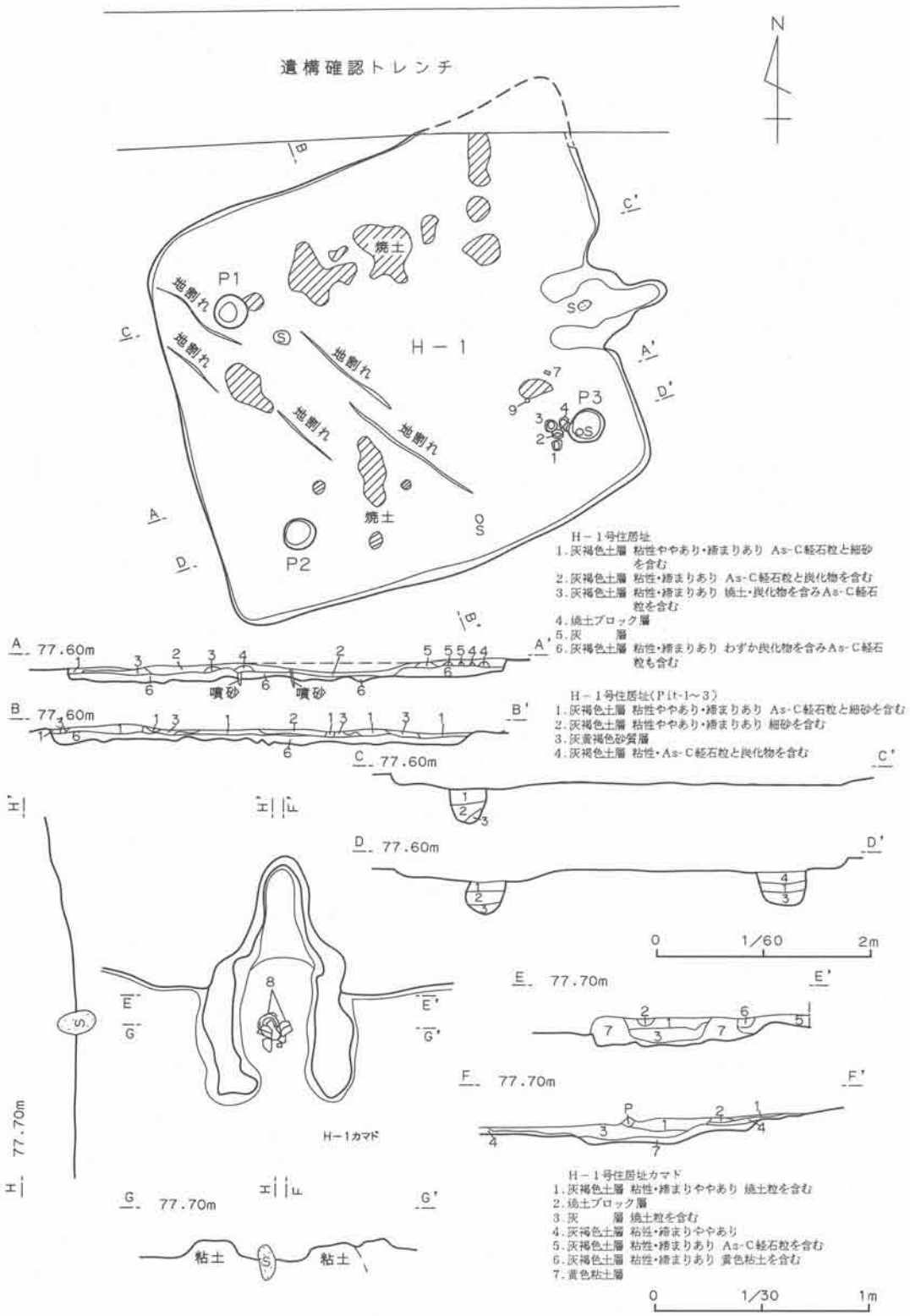
畦畔断面計測表

単位：cm

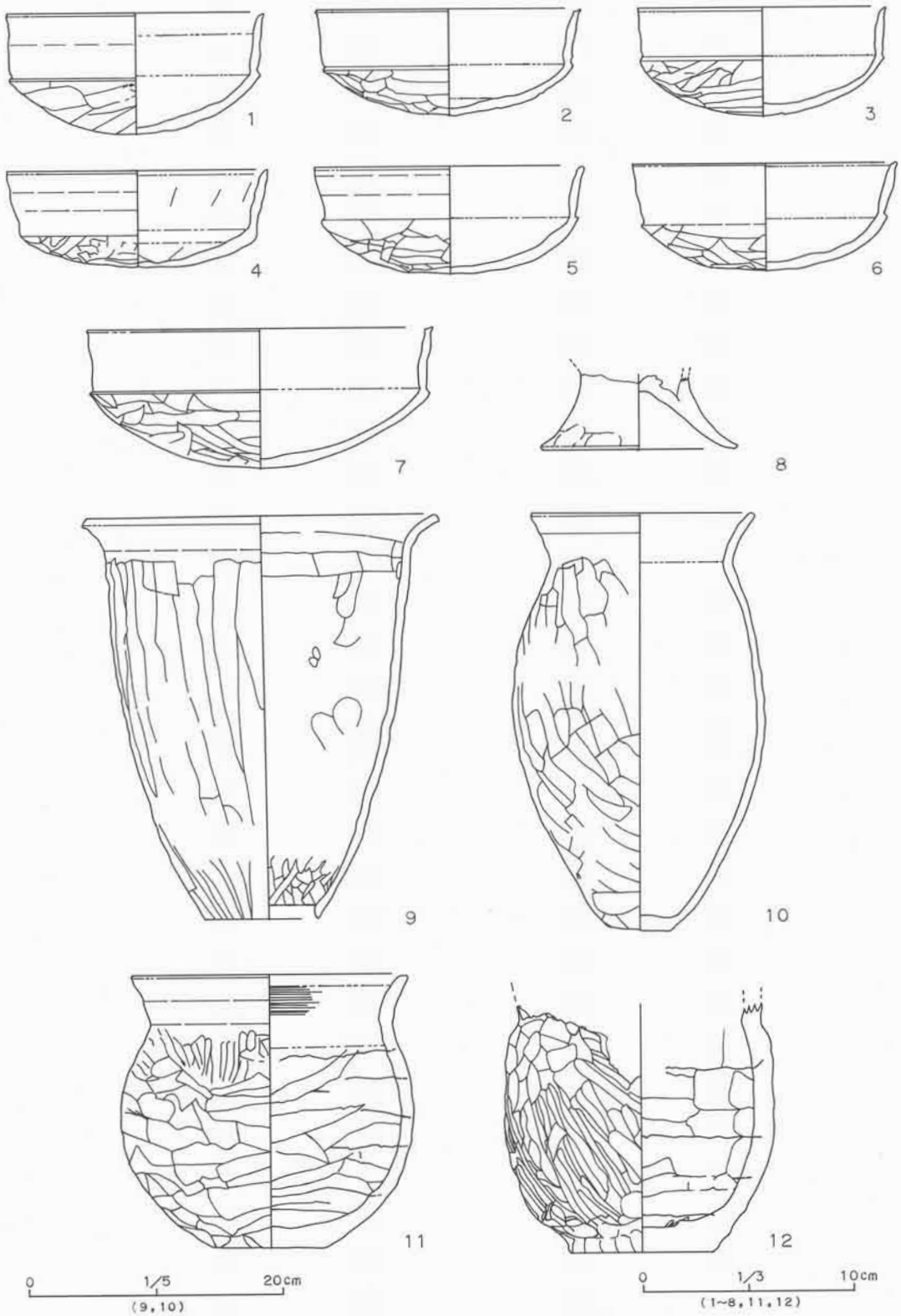
No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ N	S	E	W	No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ N	S	E	W
A-1	C3-A・B18	18	35	4	12	—	—	49	C3-M19	18	36	—	—	8	12
2	C3-A19	16	31	—	—	7	7	50	C3-N13	21	50	—	—	10	9
3	C3-A21①	27	41	8	10	—	—	51	C3-N15	47	83	11	18	—	—
4	C3-A21②	16	35	3	4	—	—	52	C3-N16	18	38	—	—	5	8
5	C3-A22	19	42	6	5	—	—	53	C3-N17	45	72	12	18	—	—
6	C3-B21	15	42	10	15	—	—	54	C3-N18①	15	32	—	—	13	13
7	C3-B22	22	33	4	9	—	—	55	C3-N18②	44	76	8	12	—	—
8	C3-C8	25	52	—	—	5	6	56	C3-N19	31	47	—	—	5	9
9	C3-C17	21	39	5	11	—	—	57	C3-N20	52	71	8	22	—	—
10	C3-C18	20	39	5	8	—	—	58	C3-N21	48	64	8	14	—	—
11	C3-C19	26	42	—	—	8	8	59	C3-N23	47	65	10	13	—	—
12	C3-C21	23	52	6	10	—	—	60	C3-O・P14	15	42	5	10	—	—
13	C3-D2	50	68	—	—	7	12	61	C3-O16	21	64	—	—	10	5
14	C3-D6	18	32	5	9	—	—	62	C3-O17	11	36	6	11	—	—
15	C3-D12	22	48	4	6	—	—	63	C3-O22	18	35	—	—	11	6
16	C3-D13・14	20	48	—	—	5	8	64	C3-O23	19	35	—	—	6	8
17	C3-D19	33	52	—	—	9	8	65	C3-O24	34	50	—	—	6	5
18	C3-E8	24	53	—	—	8	9	66	C3-P16	24	41	—	—	5	4
19	C3-E10	18	41	7	10	—	—	67	C3-P18・19	20	50	—	—	9	9
20	C3-E13・14	36	56	—	—	2	3	68	C3-P24	23	53	—	—	4	5
21	C3-E19	21	30	12	10	—	—	69	C3-Q18	24	50	—	—	4	6
22	C3-E21	19	37	7	9	—	—	70	C3-Q22	27	37	5	10	—	—
23	C3-F13	13	60	—	—	8	7	71	C3-Q24	35	54	—	—	8	7
24	C3-F21	18	33	9	11	—	—	72	C3-R17	24	47	5	7	—	—
25	C3-G・H6	20	43	4	7	—	—	73	C3-R18	30	59	5	10	—	—
26	C3-G8	18	43	—	—	8	10	74	C3-R24①	32	48	—	—	6	7
27	C3-G10	17	42	6	6	—	—	75	C3-R24②	20	40	—	—	12	8
28	C3-G13・14	35	56	—	—	5	7	76	C3-S18①	27	48	—	—	8	6
29	C3-G16	15	54	4	14	—	—	77	C3-S18②	17	35	—	—	5	7
30	C3-G19	28	46	—	—	12	9	78	C3-S20	16	29	—	—	13	4
31	C3-G・H22	22	26	8	10	—	—	79	C3-S24①	22	46	—	—	13	14
32	C3-H13	32	51	—	—	6	4	80	C3-S24②	20	44	—	—	7	4
33	C3-H18・19	25	45	—	—	4	7	81	C3-T18	22	34	4	9	—	—
34	C3-H・I20	23	52	6	10	—	—	82	C3-T24	23	41	11	6	—	—
35	C3-H21	16	35	—	—	12	12	83	C3-U21	21	36	4	10	—	—
36	C3-I8	23	46	—	—	8	7	84	C3-V・W22	15	34	6	9	—	—
37	C3-I・J10	13	40	7	12	—	—	85	C3-V24	18	34	—	—	8	8
38	C3-I16	16	34	4	9	—	—	86	C3-X23	23	29	10	11	—	—
39	C3-J13	19	45	—	—	9	10	87	C3-X23・24	31	46	—	—	8	5
40	C3-J19	21	55	—	—	8	11	88	C3-Y23	23	42	—	—	18	15
41	C3-J21・22	19	42	—	—	8	8	89	C4-R0	20	38	8	8	—	—
42	C3-K19	28	52	—	—	5	6	90	C4-S・T0	22	44	12	8	—	—
43	C3-K22	21	36	—	—	9	8	91	C4-U0	16	35	5	8	—	—
44	C3-K24	25	47	3	6	—	—	92	C4-V0	15	41	8	14	—	—
45	C3-L11	15	34	—	—	3	4	93	D4-B1	31	47	—	—	5	9
46	C3-L13・14	23	50	—	—	12	15	94	D4-F・G3	30	66	5	13	—	—
47	C3-L15	23	46	8	10	—	—	95	B5-R12①	29	40	4	8	—	—
48	C3-M・N12	66	74	10	12	—	—	96	B5-R12②	26	50	—	—	9	5

単位：cm

No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ				No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
97	B5-R13	30	46	7	10	—	—	126	C5-J15	16	40	4	8	—	—
98	B5-S8	27	50	—	—	8	7	127	C5-K13・14	23	50	—	—	12	3
99	B5-T12	25	50	—	—	10	4	128	C5-L13	32	45	—	—	8	4
100	B5-U8	22	50	4	5	—	—	129	C5-M15	22	44	—	—	11	6
101	B5-U11	27	51	4	10	—	—	130	C5-N17・18	17	42	—	—	14	6
102	B5-U14	23	32	7	13	—	—	131	C5-O・P11	95	120	7	4	—	—
103	B5-V11	24	45	4	6	—	—	132	C5-O12	35	64	—	—	7	6
104	B5-W8	28	—	—	3	—	—	133	C5-P13	64	99	19	7	—	—
105	B5-X9	29	60	—	—	11	8	134	C5-P15・16	62	102	18	6	—	—
106	B5-X12	30	50	—	—	9	6	135	C5-P18	72	111	20	16	—	—
107	C5-A・B11	20	60	6	4	—	—	136	C5-S15	21	60	—	—	14	7
108	C5-B13	22	48	9	8	—	—	137	C5-S17	27	45	—	—	8	8
109	C5-B15	29	60	5	9	—	—	138	C5-T14	51	68	—	—	8	4
110	C5-C9	48	70	—	—	11	4	139	C5-T17	30	51	—	—	8	9
111	C5-C12	34	40	—	—	8	4	140	C5-U19・20	38	66	—	—	8	9
112	C5-C15	28	21	—	—	14	6	141	C5-V19	32	58	—	—	4	10
113	C5-D9	48	80	4	7	—	—	142	C5-X16	34	69	4	8	—	—
114	C5-D10	35	69	9	7	—	—	143	C5-X17①	28	70	9	9	—	—
115	C5-D13	34	60	7	9	—	—	144	C5-X17②	49	82	—	—	7	10
116	C5-D15	22	50	5	6	—	—	145	C5-X18	46	73	3	7	—	—
117	C5-E9	41	51	—	—	13	4	146	C5-X19①	65	97	6	4	—	
118	C5-E12	26	52	—	—	11	3	147	C5-X19②	22	47	7	11	—	—
119	C5-F15	23	60	—	—	14	7	148	C5-X20	29	56	12	9	—	—
120	C5-G11	37	—	5	—	—	—	149	C5-Y15	33	60	4	11	—	—
121	C5-G13	32	46	8	7	—	—	150	C5-Y17	32	66	—	—	9	12
122	C5-G14	27	55	8	10	—	—	151	C5-Y18	39	62	4	12	—	—
123	C5-G15	25	60	5	7	—	—	152	C5-Y19	21	61	—	—	8	4
124	C5-I13	18	35	—	—	9	3	153	D5-A20	—	42	6	—	—	—
125	C5-J13	18	50	7	10	—	—								



第6図　1号住居址・カマド実測図



第7図 古墳時代の遺物

Ⅵ　中原遺跡群Ⅴ

1．概要

本年度の発掘調査では、1面目から水田址が 243面、溝・水路跡24条、畝状遺構、溜池状遺構が各1か所、土坑が363基、掘立柱遺構4か所、井戸址3基、集石1か所を検出した。また1、2面目調査を合わせて住居址26軒が検出されている。

水田址は、818（弘仁9）年の地震に起因する洪水堆積層で覆われて検出されていることから、平成4、5度調査で検出した水田址と同一のものである。その他の遺構は、洪水堆積層や水田層を掘り込んでいることから、中世以降のものと考えられる。さらに2面目から検出した住居址は、検出遺物より古墳時代中期～後期までのもの10軒と奈良・平安時代の住居址16軒である。

2．遺構と遺物

（1）住居址

H－1号住居址（第8図、図版5）

位　置　E3－G5・6・7，H5・6・7グリッド

床面積　14.79m²　　**主軸方向**　N－120°－E

形　状　長辺4.24m，短辺3.74mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均12cmを測る。

床　面　ほぼ平坦な床で、軽石粒とHr—FAを含む。住居址中央に床下土坑が検出された。長径2.3m，短径1.7m，深さ16cmを測り、楕円形を呈する。

備　考　遺物の分布範囲を広げて検出した。覆土中に小礫（川石）の混入やHr—FAの堆積も見られた。住居址全体はやや小さい。カマド・柱穴等は検出されなかった。

遺　物　図示したものは、№1・2坏、3埦、4高坏、5～10石製模造品などで、時期は古墳時代後期前半～中葉と思われる。

H－2号住居址（第8図、図版5）

位　置　E3－H8・9グリッド

床面積　11.30m²　　**主軸方向**　N－97°－E

形　状　長辺4.09m，短辺3.21mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均12cmを測る。

床　面　平坦でAs—C軽石を含む土層を床としている。

備　考　遺物分布範囲を広げて検出し、覆土に礫が多く含まれ、Hr—FAの堆積も見られた。住居址全体はやや小さい。カマド・柱穴等は検出されなかった。

遺　物　図示したものは、№11坏、12・13・14埦などがある。時期は古墳時代中期後半～後期前半と思われる。

H－3号住居址（第9図、図版5）

位　置　D３－P４・５，Q４・５グリッド

床面積　(21.97)m²　　**主軸方向**　N－44°－E

形　状　長辺5.39m，短辺4.80mの隅丸方形を呈する。壁高は平均27cmを測る。

床　面　平坦な床で全体に３～４cm程の白色粘土の貼り床が施されている。

柱　穴　住居址の四隅に検出した。P－１は長径27cm、短径26cm、深さ39cmのほぼ円形、P－２長径31cm、短径26cm、深さ33cmのほぼ円形、P－３径20cm、深さ24cmの円形、P－４長径32cm、短径26cm、深さ29cmの楕円形を呈する。

備　考　炭化物の分布範囲を広げて検出した。また床面に炭化物や灰の分布が見られたことから焼失住居の可能性も考えられる。カマドは検出されなかった。

遺　物　図示したものは、№15蓋、16・17・18埦、19壷、20高坏などがある。時期は古墳時代中期後半～後期前半と思われる。

H－４号住居址（第９・10図、図版５・６）

位　置　D３－Q５・６，R５・６グリッド

床面積　(18.96)m²　　**主軸方向**　N－162°－E

形　状　長辺4.88m，短辺4.55mの隅丸方形を呈する。壁高は平均32.5cmを測る。

床　面　平坦で炭化物とAs－C軽石を含む土層を床としている。

カマド　東壁中央やや南寄りに位置し、全長100cm、全幅74cm、焚口部幅29cm、主軸方向N－79°－Eを測る。全体に黄色粘土が使用され、支脚石の代わりに使用したと思われる逆さに伏せた高坏を検出した。他に甕、坏片なども検出している。

柱　穴　住居址の四隅に検出した。P－１は径30cm、深さ24cmの円形、P－２長径26cm、短径25cm、深さ14cmのほぼ円形、P－３径29cm、短径26cm、深さ19cmのほぼ円形、P－４長径24cm、短径21cm、深さ19cmの楕円形を呈する。

貯蔵穴　住居南東隅、カマド右側に礫を掘り込んで作られている。長径84cm、短径50cm、深さ33cmの楕円形を呈する。貯蔵穴からは、土師器・甑が検出した。

備　考　Hr－FAの分布範囲より広げ、検出した。壁の残りも良く、全体には焼土・炭化物の分布が見られる。

遺　物　図示したものは、№21・22甑、23壷、24高坏、25石製模造品勾玉などがある。時期は古墳時代中期後半～後期前半と思われる。

H－５住居址（第10・11図、図版６）

位　置　D３－T６・７・８，U６・７・８，V６・７・８グリッド

床面積　35.85m²　　**主軸方向**　N－177°－E

形　状　長辺6.40m，短辺6.23mの隅丸方形を呈する。壁高は平均29.5cmを測る。

床　面　小礫を含む平坦な床で、炭化物の混入が見られる。

炉　北壁側中央付近に検出した。長径98cm、短径81cm、深さ３～10cmを測る。焼土・灰に混じって石が１点検出した。

柱　穴　住居址の四隅に検出した。Ｐ－１は長径51cm、短径44cm、深さ27cmのほぼ円形、Ｐ－２長径36cm、短径33cm、深さ26cmのほぼ円形、Ｐ－３長径43cm、短径34cm、深さ30cmの楕円形、Ｐ－４長径48cm、短径44cm、深さ25cmのほぼ円形を呈する。

備　考　大型の住居址で、暗褐色土層や炭化物範囲で検出した。住居址の覆土や床面には、川石の混入や焼土・炭化物の分布が多く見られ、焼失住居の可能性が考えられる。

遺　物　図示したものは、№26甕、27坩、28石製模造品剣形などがある。時期は古墳時代中期中葉～中期後半と思われる。

Ｈ－６号住居址（第12図、図版６）

位　置　Ｄ３－Ｕ４・５，Ｖ３・４・５・６，Ｗ４・５・６，Ｘ４・５グリッド

床面積　(61.94)m²　　**主軸方向**　Ｎ－149°－Ｅ

形　状　長辺8.20m，短辺7.90mの隅丸方形を呈する。壁高は平均11.2cmを測る。

床　面　平坦で全体に焼土・炭化物を含む土層を床としている。

カマド　東壁の中央南寄りに位置し、全長180cm、全幅104cm、焚口部幅28cm、主軸方向Ｎ－55°－Ｅを測る。両袖が住居内に長く作られている。遺物は土師器高坏、甕片などが検出した。

柱　穴　住居址の四隅とカマド南側に検出した。Ｐ－１は長径29cm、短径20cm、深さ25cmの楕円形、Ｐ－２長径29cm、短径26cm、深さ40cmのほぼ円形、Ｐ－３径28cm、短径25cm、深さ35cmの楕円形、Ｐ－４長径27cm、短径23cm、深さ52cmの楕円形、Ｐ－５長径39 cm、短径32cm、深さ27cmの楕円形を呈する。

備　考　大型の住居址で、焼土・炭化物の分布が見られる。

遺　物　カマド付近で土師器の坏が２枚に重なって検出した。図示したものは、№29・30・33・34埦、31・32坏、35甕などがある。時期は古墳時代中期後半～後期前半と思われる。

Ｈ－７号住居址（第13図、図版７）

位　置　Ｄ３－Ｙ５・６，Ｅ３－Ａ５・６グリッド

床面積　10.31m²　　**主軸方向**　Ｎ－２°－Ｅ

形　状　長辺3.47m，短辺3.42mの隅丸方形を呈する。壁高は平均13.4cmを測る。

床　面　平坦な床で焼土・炭化物の分布が見られ、耕作痕による掘り跡が残る砂質の床である。

カマド　西壁中央付近に位置し、全長115cm、全幅104cm、焚口部幅33cm、主軸方向Ｎ－89°－Ｅを測る。全体が黄色粘土を使用して住居内に作られている。燃焼部は四角形に作られ、煙道部は住居内より作られている。遺物は、土師器甕片などを検出した。

柱　穴　住居址の四隅に検出した。P－1は長径24cm、短径22cm、深さ18cmのほぼ円形、P－2長径20cm、短径18cm、深さ22cmのほぼ円形、P－3長径20cm、短径16cm、深さ22cmの楕円形、P－4長径22cm、短径19cm、深さ21cmの楕円形を呈する。

備　考　小さい住居址でカマド付近を中心に焼土・炭化物の分布が見られる。土器もカマド付近に多く検出されている。

遺　物　図示したものは、№36坏、37埦、38高坏、39・40甕などがある。時期は古墳時代中期後半～後期前半と思われる。

H－8号住居址（第13・14図、図版7）

位　置　D3－X8・9・10，Y8・9・10グリッド

床面積　(28.34)m²　　**主軸方向**　N－154°－E

形　状　長辺6.30m，短辺5.46mの長方形を呈する。壁高は平均35.6cmを測る。

床　面　平坦でAs－C軽石を含む土層を床としている。数か所に地震によると思われる噴砂跡が見られた。

カマド　東壁の中央やや南側に位置し、トレンチにより煙道部を切られている。全長不明、全幅74cm、焚口部幅29cmを測る。主軸方向N－70°－Eを測る。黄色粘土を使用し、長さ21cm、幅15cmの支脚石や長さ17～22cm、幅13～15cmの左右の袖石などが検出されている。遺物は土師器甕、坏片などを検出した。

柱　穴　南東隅に検出した。長径37cm、短径36cm、深さ33cmのほぼ円形を呈する。

備　考　やや大きい住居址で、確認時Hr－FAの分布や川石などの混入が見られた。また床面には焼土、炭化物の分布も見られた。

遺　物　図示したものは、№41・42坏、43・44埦、45高坏、46石製模造品剣形などがある。時期は古墳時代後期前半～中葉と思われる。

H－9号住居址（第14・15図、図版7・8）

位　置　E3－A9，B8・9・10，C9グリッド

床面積　12.60m²　　**主軸方向**　N－37°－E

形　状　長辺4.70m，短辺3.60mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均35.6cmを測る。

床　面　平坦で小礫や細砂・As－C軽石を含む土層を床としている。

カマド　東壁の中央やや南よりに位置し、全長113cm、全幅91cm、焚口部幅27cm、主軸方向N－32°－Eを測る。住居内には黄色粘土を使用した両袖が伸び、燃焼部には長さ27cm、幅8～10cm程の支脚石を検出した。遺物は土師器坏、高坏、甕片を検出した。

柱　穴　南東隅に検出した。長径29cm、短径25cm、深さ19cmの楕円形を呈する

貯蔵穴　カマドの右側に位置し、ほぼ完形の甕が検出された。長径67cm、短径52cm、深さ36cmの

楕円形を呈す

備　考　やや細長く小さい住居址で、覆土に炭化物を含み、床面に川石や小礫の混入が見られた。

遺　物　図示したものは、№47坏（受身）、48蓋、49埦、50・51甕、52・53甑などがある。時期は古墳時代中期後半～後期前半と思われる。

Ｈ－10号住居址（第15・16図、図版８）

位　置　Ｄ３－Ｙ１・２，Ｅ３－Ａ０・１・２，Ｂ１・２グリッド

床面積　27.58㎡　　**主軸方向**　Ｎ－48°－Ｅ

形　状　長辺5.73m，短辺5.44mの隅丸方形を呈する。壁高は平均16.6cmを測る。

床　面　ほぼ平坦な床で、小礫が混入している。また焼土・炭化物も床面全体に見られる。

カマド　東壁の中央やや南側に位置し、全長100cm、全幅85cm、焚口部幅23cm、主軸方向Ｎ－46°－Ｅを測る。黄色粘土を使用して作られ、焚口付近に高坏が２個逆さに伏せた状態で検出された。

柱　穴　北壁側に２か所と南西隅側に１か所検出した。Ｐ－１は長径28cm、短径27cm、深さ28cmのほぼ円形、Ｐ－２長径30cm、短径28cm、深さ23cmのほぼ円形、Ｐ－３径25cm、短径22cm、深さ23cmの楕円形を呈する。

貯蔵穴　南東隅に検出し礫層まで掘り込んでいる。長径94cm、短径86cm、深さ32cmの楕円形を呈する。

備　考　住居址検出時、Hr—FAや川石等の分布が見られ、覆土の中には焼土、炭化物の混入があり、焼失住居の可能性が考えられる。

遺　物　図示したものは、№54坏（受身）、55坏、56・57壷、58・59甕、60・61高坏、62・63石製模造品有孔円板（鏡）、64・65剣形、68・69勾玉、66ビーズ玉、67管玉などや70砥石がある。時期は古墳時代中期後半～後期前半と思われる。

Ｈ－11号住居址（第16・17図、図版12）

位　置　Ｅ６－Ｙ８・９，Ｆ６－Ａ８・９グリッド

床面積　13.85㎡　　**主軸方向**　Ｎ－150°－Ｅ

形　状　長辺4.25m，短辺3.63mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均5.3cmを測る。

床　面　北側がやや下がり気味でAs—C軽石を含む土層を床としている。

カマド　東壁の南寄りに位置し、全長140cm、全幅118cm、焚口部幅43cm、主軸方向Ｎ－66°－Ｅを測る。黄色粘土を使用し、燃焼部分がほぼ四角形に作られている。遺物は土師器甕片などを検出した。

柱　穴　南東隅に検出した。長径40cm、短径39cm、深さ12cmのほぼ円形を呈する。

備　考　Ｗ－16と重複する。床、壁面が残っていることから、本住居跡が新しいと思われる。

遺　物　土師器甕、坏片などを検出したが、図示できる遺物はなかった。

Ｈ－12号住居址（第17・18図、図版13）

位　置　Ｆ６－Ｂ９・10・11，Ｃ９・10・11グリッド

床面積　(18.38)㎡　　**主軸方向**　Ｎ－142°－Ｅ

形　状　長辺4.95m，短辺4.18mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均22.3cmを測る。

床　面　ほぼ平坦で、軽石粒を含む土層を床としている。カマド前がW－17によって掘り込まれている。

カマド　東壁の中央①と南寄り②に位置し、２基を有す。カマド①は全長51cm、全幅47cm主軸方向Ｎ－80°－Ｅを測る。カマド②は全長75cm、全幅64cm、主軸方向Ｎ－60°－Ｅを測る。①は焼土・灰の残りが多く、遺物は、土師器甕、坏片などを検出した。②は焼土・灰が①に比べて少ない。全体の残りは②の方が良く、①より新しいと思われ、カマドの作り替えと思われる。遺物は土師器甕片などを検出した。

備　考　住居址はカマドを２基有し、作り替えが考えられる。W－17と重複し、住居址の床面が掘り込まれている。さらにW－16も住居址下に続くと思われる。柱穴、貯蔵穴は検出されなかった。

遺　物　図示したものは、№71埦、72・73坏、75蓋、74坏などがある。時期は平安時代と思われる。

Ｈ－13号住居址（第18・19図、図版13）

標　高　76.60～76.73m（平均76.67m）

床面積　7.40㎡（調査面積）　　**主軸方向**　Ｎ－172°－Ｅ

形　状　長辺4.74m、短辺不明、形状不明。壁高は平均13.8cmを測る。

床　面　ほぼ平坦で、わずか炭化物を含む床で、南側は黄灰色粘土の分布が見られる。W－23と重複している。

カマド　東壁の中央やや南寄りに位置し、全長161cm、全幅135cm、焚口部幅62cm、主軸方向Ｎ－84°－Ｅを測る。燃焼部には、長さ35cm、幅15cm程の支脚石も検出されている。また煙道部より土師器坏（ほぼ完形）や甕片などを検出している。

柱　穴　北東・南東隅に検出した。Ｐ－１は径19cm、深さ15cmの円形、Ｐ－２長径19cm、短径17cm、深さ17cmのほぼ円形を呈する。

備　考　一部の床面に粘土が見られ、貼り床と思われる。その下に灰や炭化物を敷いた痕跡が見られ、床がやや窪んでいる。またW－23と重複し住居址の床が残っていることからW－23が古いと思われる。

遺　物　図示したものは、№76坏などがある。時期は奈良～平安時代と思われる。

Ｈ－14号住居址（第19図、図版13）

位　置　Ｆ６－Ｄ10・11，Ｅ10・11グリッド

床面積　10.27㎡　　**主軸方向**　Ｎ－158°－Ｅ

形　状　長辺3.82ｍ、短辺3.01ｍの隅丸方形を呈する。壁高は平均11.0㎝を測る。

床　面　ほぼ平坦で軽石と細砂を含む土層を床としている。西壁側はW－16に切られている。

カマド　東壁の中央やや南寄りに位置し、全幅79㎝、全長108㎝、焚口部幅32㎝、主軸方向Ｎ－68°－Ｅを測る。焚口付近に構築材と思われる長さ18㎝、幅７㎝程の石を検出している。全体に残存状態が良くない。遺物は坏片などを検出した。

柱　穴　北東・南東隅に検出した。Ｐ－１は長径20㎝、短径19㎝、深さ12㎝のほぼ円形、Ｐ－２長径21㎝、短径20㎝、深さ11㎝のほぼ円形を呈する。

備　考　住居址の東側にW－17、西側にW－16・22があり、東側のW－17はカマドの煙道部近くを流れ、西側のW－16・22は住居址西壁を切っている。

遺　物　土師器甕、坏、須恵器坏などを検出したが図示できる遺物はなかった。

Ｈ－15号住居址（第20図、図版13・14）

位　置　Ｆ６－Ｆ９・10，Ｇ９・10グリッド

床面積　10.78㎡　　**主軸方向**　Ｎ－178°－Ｅ

形　状　長辺3.89ｍ、短辺3.23ｍの隅丸長方形を呈する。壁高は平均18㎝を測る。

床　面　ほぼ平坦で軽石と微砂を含む土層を床としている。

カマド　東壁の中央やや南寄りに位置し、全長122㎝、全幅104㎝、焚口部幅34㎝、主軸方向Ｎ－80°－Ｅを測る。黄色粘土を使用し、燃焼部分がやや四角形に作られている。また燃焼部には、長さ25㎝、幅15㎝の支脚石や右袖の構築材と思われる石（長さ26～30㎝、幅７～11㎝）２個も検出された。また須恵器の蓋（完形）や甕・坏片などを検出している。

柱　穴　住居址の四隅に検出した。Ｐ－１は長径21㎝、短径20㎝、深さ23㎝のほぼ円形、Ｐ－２径24㎝、深さ21㎝円形、Ｐ－３は長径22㎝、短径17㎝、深さ15㎝の楕円形、Ｐ－４は径20㎝、深さ21㎝の円形を呈する。

備　考　W－23と重複し、本住居址がW－23を切っているので新しい。

遺　物　ヘラ書き文字のある坏片などが検出した。図示した遺物は№77蓋、78坏などがある。時期は平安時代と思われる。

Ｈ－16号住居址（第20・21図、図版14）

位　置　Ｆ６－Ｂ12・13，Ｃ12・13グリッド

床面積　16.90㎡　　**主軸方向**　Ｎ－67°－Ｅ

形　状　長辺4.42ｍ、短辺4.11ｍの隅丸長方形を呈する。壁高は平均7.5㎝を測る。

床　面　ほぼ平坦で、焼土・炭化物・軽石を含む土層を床としている。

カマド　東壁の中央やや南寄りに位置し、全長107cm、全幅61cm、焚口部幅40cm、主軸方向N－65°－Eを測る。カマドの残存状態は良くない。

備　考　H－17号住居址と重複し、本住居址がH－17を切っていることから新しい。柱穴・貯蔵穴は検出されなかった。

遺　物　土師器甕、坏片などを検出したが図示できる遺物はなかった。

H－17号住居址（第21図、図版14）

位　置　F6－C12・13，D12・13グリッド

床面積　(24.23)m²　　**主軸方向**　N－75°－E

形　状　長辺5.04m、短辺4.91mの隅丸方形を呈する。壁高は平均8.0cmを測る。

床　面　ほぼ平坦で、軽石を含む土層を床としている。

カマド　東壁の中央に位置し、全長69cm、全幅55cm、焚口部幅35cm、主軸方向N－80°－Eを測る。構築材の粘土ブロックは見られるが、焼土・炭化物・灰等はあまり見られない。残存状態は良くない。

備　考　H－16号住居址と重複し、H－16に切られていることから本住居址が古い。柱穴・貯蔵穴は検出されなかった。

遺　物　土師器甕、坏、須恵器坏片などを検出したが図示できる遺物はなかった。

H－18号住居址（第22・23図、図版14・15）

位　置　F6－A17・18，B17・18グリッド

床面積　13.46m²　　**主軸方向**　N－163°－E

形　状　長辺4.54m、短辺3.22mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均16.8cmを測る。

床　面　やや窪みが見られるが、ほぼ平坦で砂質土層の面を床としている。

カマド　東壁の中央やや南寄りに位置し、全長142cm、全幅56cm、焚口部幅41cm、主軸方向N－72°－Eを測る。黄色粘土を使用し、燃焼部の掘り込みが深く作られている。遺物は土師器甕・坏片などが検出した。

柱　穴　北壁側・南西隅に検出した。P－1は長径30cm、短径26cm、深さ24cmの楕円形、P－2長径29cm、短径26cm、深さ26cmの楕円形、P－3長径27cm、短径24cm、深さ21cmの楕円形を呈する。

貯蔵穴　南東隅に検出した。確認面や覆土中に川石が含まれていた。長径93cm、短径87cm、深さ63cmの楕円形を呈する。遺物は土師器坏、須恵器甕片などを検出した。

備　考　H－19号住居址と南壁側で重複する。H－19を切っていることから本住居址が新しい。

遺　物　図示したものは、貯蔵穴より№79坏、80埦などがある。時期は平安時代と思われる。

H—19号住居址（第22・23図、図版15）

位　置　F 6 —B17・18，C17・18グリッド

床面積　14.91m²　　**主軸方向**　N—169°—E

形　状　長辺4.11m、短辺3.53mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均12.8cmを測る。

床　面　ほぼ平坦で砂質土層の面を床としている。

カマド　東壁の中央やや南寄りに位置し、全長164cm、全幅76cm、焚口部幅34cm、主軸方向N—92°—Eを測る。やや住居址東壁に対して全体が南方向に傾いている。黄色粘土を使用し、燃焼部の掘り込みがやや深く作られている。遺物は土師器甕、坏片などを検出した。

柱　穴　住居址の四隅に検出した。P—1は径30cm、深さ27cmの円形、P—2長径30cm、短径28cm、深さ20cmの楕円形、P—3長径33cm、短径28cm、深さ23cmの楕円形、P—4長径26cm、短径24cm、深さ22cmのほぼ円形を呈する。

備　考　H—18号住居址と北側で重複する。H—18に切られていることから本住居址が古い。

遺　物　図示したものは、№81坏、82甕などがある。時期は奈良～平安時代と思われる。

H—20号住居址（第24図、図版15）

位　置　F 6 —A18・19，B18・19グリッド

床面積　12.05m²　　**主軸方向**　N—71°—E

形　状　長辺3.76m、短辺3.51mの隅丸方形を呈する。壁高は平均7.0cmを測る。

床　面　平坦で軽石を含む土層を床としている。

カマド　東壁の中央やや南寄りに位置し、全長123cm、全幅105cm、焚口部幅42cm、主軸方向N—74°—Eを測る。黄色粘土を使用し、燃焼部がほぼ四角形に作られ、掘り込みがやや深い。遺物は土師器坏、甕片などを検出している。

柱　穴　住居址の四隅に検出した。P—1は長径27cm、短径26cm、深さ15cmの楕円形、P—2長径25cm、短径22cm、深さ18cmの楕円形、P—3長径26cm、短径24cm、深さ14cmの楕円形、P—4長径22cm、短径20cm、深さ18cmの楕円形を呈する。

備　考　H—25号住居址と北側で重複する。H—25を切っていると思われ、本住居址が新しい。

遺　物　図示したものは、№.83坏などがある。時期は平安時代と思われる。

H—21号住居址（第25・26図、図版16）

位　置　F 6 —C19・20，D19・20グリッド

床面積　15.71m²　　**主軸方向**　N—174°—E

形　状　長辺4.82m、短辺3.47mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均22.7cmを測る。

床　面　ほぼ平坦で、焼土・炭化物を含む土層を床としている。

カマド　東壁中央①と南寄り②に2基が位置する。カマド①は全長153cm、全幅68cm、焚口部幅58

cm、主軸方向N－80°－E、カマド②は全長146cm、全幅86cm、焚口部幅43cm、主軸方向N－90°－Eを測る。黄色粘土を使用し、焼土・灰の残りも①より②の方が多く、②には熱を受けて割れた安山岩質の支脚石も検出された。①よりも②の方が残りが良く、①から②への作り替えと思われる。遺物は①から土師器甕、坏、甕、須恵器蓋片などを検出し、②からは土師器甕、坏片など多く検出した。

柱　穴　南東隅に検出した。径26cm、深さ22cmの円形を呈する。

備　考　確認面に灰が見られ、その分布範囲を発掘した。カマドは2基検出され、残存状況から作り替えと思われる。また床面全体にも灰・炭化物の分布が見られ、焼失住居の可能性が考えられる。H－23・26号住居址との重複関係は、H－23・26を切っているので本住居址が新しい。

遺　物　図示したものは、№84坏、85埦、86蓋などがある。時期は平安時代と思われる。

H－22号住居址（第27・28図、図版16）

位　置　F6－D17・18・19，E17・18・19グリッド

床面積　15.48m²　　**主軸方向**　N－77°－E

形　状　長辺4.38m、短辺3.87mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均24.8cmを測る。

床　面　ほぼ平坦で軽石を含む土層を床面としている。

カマド　東壁の中央やや南寄りに位置し、全長133cm、全幅79cm、焚口部幅53cm、主軸方向N－83°－Eを測る。黄色粘土を使用して作られ、燃焼部はやや深く掘り込まれている。遺物は土師器甕、坏片など多数検出した。

柱　穴　北東・南西隅とカマド前、北西隅の西壁寄りに検出した。P－1長径37cm、短径35cm、深さ31cmの楕円形、P－2長径32cm、短径30cm、深さ32cmの楕円形、P－3長径34cm、短径32cm、深さ26cmの楕円形、P－4長径37cm、短径34cm、深さ22cmを楕円形を呈する。

貯蔵穴　南東隅に検出した。長径110cm、短径72cm、深さ22cmの楕円形を呈する。

備　考　住居址全体に焼土・灰等の分布が見られ、とくにカマド付近に多く残っていた。

遺　物　図示したものは、№87・88坏、89埦などがある。時期は平安時代と思われる。

H－23号住居址（第25・26図、図版16）

位　置　F6－C19・20，D19・20グリッド

床面積　(14.11)m²　　**主軸方向**　N－83°－E

形　状　長辺3.88m、短辺3.54mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均14.0cmを測る。

床　面　平坦で軽石を含む土層を床としている。

カマド　東壁の中央に位置し、全長123cm、全幅80cm、焚口部幅44cm、主軸方向N－81°－Eを測る。遺物は土師器坏片や鉄製品が検出した。

柱　穴　北西隅に検出した。長径39cm、短径25cm、深さ21cmの楕円形、遺物は土師器甕片が２点検出されている。

備　考　H―21号住居址と南側が半分以上重複する。本住居址が切られていることから古いと思われる。

遺　物　図示したものは、№90坏、91鉄鏃などがある。時期は奈良～平安時代と思われる。

H―24号住居址（第28図、図版17）

位　置　F６―B19・20，C19・20グリッド

床面積　12.28m²　　**主軸方向**　N―70°―E

形　状　長辺4.28m、短辺3.17mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均11.5cmを測る。

床　面　平坦で軽石を含む土層を床としている。

カマド　北壁の中央やや南寄りに位置し、全長152cm、全幅66cm、主軸方向N―11°―Wを測る。黄色粘土を使用して北向きに作られている、遺物は土師器甕、坏片などを検出している。

備　考　柱穴・貯蔵穴は検出されなかった。

遺　物　図示したものは、№92坏などがある。時期は平安時代と思われる。

H―25号住居址（第24・25図、図版17）

位　置　E６―Y18，F６―A18・19グリッド

床面積　6.35m²（調査面積）　　**主軸方向**（N―３°―E）推定

形　状　長辺(3.15)m、短辺(2.55)mの隅丸長方形を呈すると思われる。壁高は平均8.3cmを測る。

床　面　平坦で砂質土層を床としている。

カマド　東壁に位置し、煙道部分はW―13によって切られている。残存長85cm、全幅97cm、焚口部幅45cm、主軸方向はN―83°―Eを測る。残存状態は燃焼部まで残っている。遺物は土師器甕、坏片などを検出した。

備　考　北壁側はW―13と重複し、南壁側でH―20号住居址と重複する。住居址全体の残存状態は良くない。重複関係はW―13とH―20号住居址によって切られていることから、本住居址が一番古いと思われる。また他の住居址に比べ小さい。柱穴・貯蔵穴は検出されなかった。

遺　物　土師器坏、甕片などを検出したが図示できる遺物はなかった。

H―26号住居址（第25・26・27図、図版17・18）

位　置　F６―D19・20，E19・20グリッド

床面積　(12.36)m²　　**主軸方向**　N―81°―E

形　状　長辺3.90m、短辺3.41mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均18.7cmを測る。

床　面　カマド前に窪みが見られ、西壁方向へ上がっている。軽石を含む土層を床としている。

カマド　東壁の中央やや南寄りに位置し、全長101cm、全幅67cm、焚口部幅42cm、主軸方向N－81°－Eを測る。黄色粘土を使用し、右袖には長さ14cm、幅10cm程の石が検出した。遺物も土師器甕片や須恵器蓋片などを検出した。

備　考　H－21号住居址と重複する。H－21に切られていることから、本住居址が古いと思われる。柱穴・貯蔵穴は検出されなかった。

遺　物　図示したものは、№93坏、94甕などがある。時期は平安時代と思われる。

（2）平安時代の水田址

①水田の地形

本遺跡は、荒砥川と桃木川に挟まれた広瀬川低地帯と呼ばれている地域であり、北側は赤城山の裾野が広がる。調査した水田址は818（弘仁9）年の赤城山南麓一帯で起こった地震に起因する洪水堆積物で埋まった水田址である。調査区は東西方向に伸びる道路を挟んで、北側の調査区D2・3・4、E2・3・4区（標高77.95～77.20m）の水田があり、南側にはE3・4、F3・4区（標高77.50～76.55m）の水田址がある。さらに180m程東にはD6、E6・7、F6・7区（標高76.80～76.40m）の水田址がある。水田面はD2区の標高77.95mを最高点としてF4区の標高76.55mを最低点として140cmの比高差を測ることができる。東側調査区はD6区の標高76.80mからF7区の標高76.40mを測り40cmの比高差がある。水田はこの高低差を利用した水田でD2区よりF7区に北から南へ約3.4/1000の勾配を利用し各水田への給水、排水を行っていたと思われる。また水田に付随する溝も同方向に水が流れている。

②畦畔と水田区画（全体図2の1・2、第29～31図、図版9・11・12・18・19）

調査区全体に見られる畦畔は、条里制に基づく坪単位を構成する大畦畔とその中を区割りする畦畔とがある。その大畦畔の一部が各調査区に検出され東西、南北方向に直交するかたちで検出されている。また他の調査区の大畦畔とはつながりが見られ、方向や距離もほぼ109mの長さに一致するが、畦畔の幅や大きさは色々あり、規則性は見られない。大畦畔は全体には直線的であるが、個々の畦畔で見るとやや曲線を描く。

各調査区D・2・3・4、E2・3・4区で見られる畦畔は、東西・南北方向に直交する大畦畔を基幹にしてその中に方向性の違う畦畔が区画をなしている。その中にはさらに狭く仕切られた区画や地形に沿った曲線の畦畔もあり、等高線に沿う方向に作られている。全体に区画は細長く、畦畔の方向性には部分的な統一は見られるが、全体では規則性が見られない。また南北方向の大畦畔は途中から湾曲して北側の大畦畔とずれが生じている。

E3・4、F3・4区は、東西方向に貫く大畦畔を境に、北側は南北方向に細長く間隔の狭い畦畔区画が並び、南側は大畦畔と直角方向に長い畦畔が作られている。その中を東西方向の畦畔

で細長い区画に仕切っている。畦畔の方向性にはやや規則性が見られるが、１枚の水田の大きさには規則性がなく、全体では条里水田の半折型区画に類似し、東西方向の畦畔で約12間（約21.8m）の長さに近い区画が見られる。

Ｄ６、Ｅ６・７、Ｆ７区は、東西・南北方向の大畦畔が部分的に検出され、その大畦畔を挟んで北側の区画は、数本の畦畔が南北方向に細長い区画を作っているのが見られる。南側は曲線の畦畔が不規則な区画を作っている。また大畦畔北側に見られる区画は、半折型区画の東西12間（約21.8m）南北30間（約54.5m）の区画に類似している。さらに大畦畔・小畦畔と呼ばれるように畦畔の形状に差が見られる。全体に畦畔の形状は台形状（かまぼこ形）で、小畦畔の大きさは上端10～60cm、下端28～120cmのものがある。大畦畔は、上端20～100cm、下端46～128cmまでの大きさを測り、小畦畔と比較すると大畦畔は上端幅で10～40cm、下端幅で８～18cm程幅広くなっている。さらに大畦畔の方向も、東西方向はＮ－93°－Ｅで、南北方向ではＮ－１°－Ｅを測り、ほぼ東西、南北方向が直交するかたちで規則性が見られる。また小畦畔は大小の区画に合わせた様々な長さで曲線のものが見られ、走行性も東西・南北方向に直交する作りはわずかで、他は地形に合わせた作りの畦畔が多く検出されている。

さらに完全に１区画をなす水田面積を見ると、Ｄ２・３・４、Ｅ２・３・４区は7.47㎡～224.41㎡の区画があり、Ｅ３・４、Ｆ３・４区では56.83㎡～517.00㎡までの区画がある。また一部に条里制に類似している区画も見られるが、面積も123.68㎡～260.22㎡と大きさも規則性がない。さらにＤ６、Ｅ６・７、Ｆ６・７区は24.34㎡～296.88㎡までの水田が見られるが、個々の水田区画には規則性がない。他にＤ３区、Ｅ６区内に大畦畔に沿って細長い区画が検出されている。東西方向に細長く水路状の形をした区画で、水田に伴う溝に続くものもあり、水利系統の一つと考えられる。

③水口、配水（全体図２の１・２、第29～31図、図版９・11）

全体を洪水堆積物で覆われた水田は、区画や面積などに統一性が見られないが、畦畔には水口があり、水の取り入れや配水がこの部分によって行われていたことがわかる。水口は水田区画内に一定の水をためるための施設で、稲の育成を助けるための流路である。さらに１区画の水深は均一であることが条件で、一般に10cm以上の差がある水田区画の稲は育ちにくいとされており、湛水の深さを平均に保つことがよい水田と言われている。調査区の水田は、ほとんどが微傾斜地にあり、一区画の水深にあまり差が見られない。また水田形状も長方形に近いものや帯状に長いものなど大きさも様々である。

Ｄ２・３・４、Ｅ２・３・４区は調査区の西寄りに位置し、道路を挟んで北側に広がる水田区画である。水田は１号～112号まで検出され、標高は７号水田の77.95mを最高地として106号水田の77.20mを最低地として比高差を75cm測り、北から南東隅方向へ配水していたと思われる。

検出された水口は、81か所あり比較的比高差の少ない区画が大きい西側よりも、水田が細長く

比高差のある東側区画の方が多く検出されている。水口の幅は上端幅14～65cm、下端幅８～40cm、掘り込みは４～15cmの深さのものが検出されている。またW－６から６・７号水田への給水水口や水田からW－２・５などへの排水水口も検出された。さらに、89号水田から一段低い91号水田へ水を流すための配水経路（W－４）など検出されている。

道路を挟んで南側調査区Ｅ３・４、Ｆ３・４区は113号～193号水田があり、113号水田の標高77.50mを最高地に、193号水田の76.55mを最低地とし、95cmの比高差の水田がある。水口は66か所検出され比較的規則性が見られる西側の水田区画に多く見られ、南北方向にのびる畦畔と左右に別れる東西方向の畦畔交差部分に検出されている。

水口の幅は、上端幅16～74cm、下端幅10～32cm、掘り込みは４～16cmの深さのものが検出されている。また157号水田よりW－11への細長い排水用水口も検出されている。他にW－11からW－12への給水や157号水田からの排水水口も検出されている。

東側の調査区Ｄ６、Ｆ６・７、Ｆ６・７区は194号～243号水田まで検出した。198号水田の標高76.80mを最高地に242号水田の76.40mを最低地として比高差40cmを測る。水口は、22か所検出され、帯状の長四角形や四角形に近い水田区画に多く検出されている。

水口の幅は上端幅15～50cm、下端幅13～33cm、掘り込みは５～15cmの深さのものが検出されている。

また全調査区の水田に伴う溝・水路等は、W－１・２・４・５・６・11・12などが検出されている。水田と水口、溝、水路等の関係は水田を営むためには一体化していなければならず、中原遺跡群Ｖの水田址にも上記のような溝・水路等があり、一体化が見られる。

（水口の流水方向は全体図に記載し報告する）

④足跡（全体図２の１・２、第29～31図、図版９・11・18）

調査区全体に洪水堆積砂礫層で埋まった人間の足跡が多数検出された。足跡は形状の明瞭なものと形状が崩れて窪みを残すものとが見られた。水田面を覆った洪水堆積砂礫層が厚く堆積している所は、良好に残っている。Ｄ３区内の12・16・82・91号水田に見られるものは、水田内や溝近くを東西方向や南北方向に歩行した状況がわかる。またＥ６区内の201・202号水田内にも足跡群が検出されている。足跡の大きさは、23～24cm前後のものが多く見られ、水田面には踏み跡が３～４cm前後の窪みとなって残っている。耕作痕ははっきりしたものはなく、耕作時に利用した動物の蹄痕もはっきりしたものは検出されなかった。

⑤地割れ・陥没水田（全体図２の１・２、第31図、図版９・18・19）

調査区の水田面を覆った洪水堆積層は、818（弘仁９）年の地震に伴う山崩れに起因して埋まったものである。その地震によると思われる影響が各調査区に見られ、地割れや液状化現象に伴う噴砂状の立ち上がりなどが見られる。その現象はH－８号住居址の床面や土坑№313、W－16、ト

レンチ深掘り断面などに見られる。その内でW—16は溝底や壁面に見られ、溝に深掘りトレンチを入れ、断面観察を行なったところ、明褐灰色粘質土層から黒褐色土層、As—C軽石を含む灰褐色土層まで見られた。また地割れに伴う土層は黄褐色微砂層や黒褐色土層・明褐灰色土層を含む細砂粗砂層などが見られる。さらに水田面には陥没した所が数か所に見られ、各水田にまたがって蛇行しながら続いている。確認された水田面は、15・16・17・19・21・22・79号水田にあり、陥没幅は6～8.5m前後で、水田面との陥没差は最大35cm、最小25cmを測る。また水田面を区切る畦畔にも見られ、通常よりも最大30cm、最小16cm陥没している。さらに東側調査区内の238号水田内にも円形状の陥没跡が見られる。他に15・16・17・19・22・79号水田内に見られる陥没跡は、前回調査した中原遺跡群IIの陥没水田址から続く。さらにトレンチにより陥没水田下を調査してみたところレンズ状に砂層の堆積が見られ、古い溝か水路状の窪みがあったところが地震による液状化現象によって陥没したと思われる。

（3）溝・水路（全体図2の1・2、第18・29～31図、図版9～12・18・19）

調査区全体に検出した溝・水路は24条あり、平安時代水田面を中心に、前後の土層面で確認され、平安時代水田に伴うものや、近世～現代まで使用されていた水路などを検出した。

北側調査区D2・3・4，E2・3・4区では、水田に伴うW—1・2・4・5・6・7・8などがあり、水田への給水・排水の水路としての役割りをしていたと思われ、両端には畦畔を伴い水田と同じ洪水堆積砂礫層で埋まっていた。W—1・2・5・6・7・8は前回調査をした中原遺跡群IIのW—31・32・37・38・39・41と接続する。W—4は水田に囲まれた中に位置し、89号水田の排水水口より流れてきた水を一段低い91号水田に流すための溝と考えられるが、溝に川石や砂の堆積が見られることから、湧水があった溝とも考えられ、さらに水量調節や作業道具などを洗う場所とも推測される。W—9は水田と畦畔を切っている溝で、浅い掘り込みが確認できるが、全体は不明である。W—3は前回調査した中原遺跡群IIのW—42と接続する土地改良前の水路である。

南側調査区E3・4，F3・4区では、北側の調査区より続くW—3・10・11やW—11より分岐しているW—12などが検出されている。その中で水田に伴う溝はW—11・12がある。W—11は両端に畦畔を伴い、南流する。さらにE4—R4グリッド付近でW—12へ分岐し、東側水田へ分水する用途を持った溝と推測される。他にE4—T3グリッド内には、水田からの排水の水口も検出されている。またW—10と数か所が重複している。W—3・10は土地改良前まで使用していた水路で、W—3のE4—P5グリッド付近よりW—10が分岐している。W—10には側面補強に使用したと思われる杭列も検出している。遺物は近世以後のものが検出されている。

東側調査区D6，E6・7，F6・7区では、水田面を掘り込んでいる溝や住居址を切っている溝、住居址に切られている溝など合わせて12条検出されている。W—13・14は水田面や畦畔を切って調査区の北西隅より南東隅へ流れている。W—15はW—13より分岐して、W—17に接続し

て住居址を切っている。遺物は、W—13・15から流れ込みの土器片や近世以後の遺物が検出されている。W—16は住居址より下層に位置し、溝の底面には地震による地割れ跡や断面に見られる黄色砂層など液状化現象も見られた。W—18・19は幅の狭い溝で、重複している。W—20・24は途中で分岐し下流で合流している。またW—24には西側のW—16へ流水した跡も見られ、W—16・18・20・24は、ほぼ同じ時代の溝と思われる。W—19はやや新しく、W—21はW—16に切られていて古い。さらにW—22は平安時代の住居址を壊しており、W—23は住居址によって壊されている。東側調査区では、直接水田に関係する溝・水路は検出されていないが、水田や住居址を切っている溝や住居址によって切られている溝などが検出されている。また土地改良前まで使用されていた水路や、住居址よりも古いと思われる溝などを検出している。遺物も流れ込みの物が多く、とくにW—13は近世以後の遺物が多く検出されている。またW—14・16からは土師器坏や須恵器甕片などの古墳〜奈良・平安時代の遺物が検出されている。W—15・17からは、水路の補強材に使用した杭列やW—17より溜池状遺構への給水水口などが検出されている。

全体に西側の調査区では、水田への給水・排水のための溝・水路が検出され、東側調査区では古い溝よりも新しい溝・水路が全体を占め、水田に伴わないものが多く検出されている。

（各調査区の溝・水路等の計測値は一表に記載し報告する。）

（4）土坑（第32・33図、図版9・11）

調査区のD3，E3，F3区に363基の土坑が検出された。これらは相互に密接するものや広い範囲に位置するものなどがある。掘り込みはAs—B軽石を含む土層から水田面を覆った洪水堆積層、水田層まで見られ、覆土もAs—B軽石や細砂・軽石粒を含む土層で埋まっているものが多く検出されている。時期は、水田層を掘り込んでいることや覆土にAs—B軽石の混入が見られるため、平安時代以後のものと思われる。また数基の土坑は検出位置がほぼ等間隔のものや左右対称に一列に並ぶものがあり、掘立柱遺構を構成する柱穴列と考えられるため、掘立柱遺構（B—1〜4）として報告する。（土坑の計測値は、一表に記載し報告する）

（5）掘立柱遺構

B—1（第32図）

E3—H13・14，I13・14グリッド内に位置する。6個の柱穴で構成している。形状は長軸25〜37cm、短軸は23〜31cmで掘り込みは、14〜25cmまでの大きさがあり、円形・楕円形を呈する。柱穴は1×2間の大きさで組まれ、柱穴間の長さは1間で250〜270cm、2間では170〜200cmまでの間隔を測る。覆土は、軽石粒・細砂を含む、粘性・締まりのない灰褐色・褐灰色土層で埋まっている。

B－2（第33図）

E３－N10・11，O10・11グリッド内に位置する。５個の柱穴で構成している。形状は、長軸18～40cm、短軸15～19cm、掘り込みは13～16cmまでの大きさがあり、楕円形・不定形を呈する。柱穴は１×２間の大きさで南側は幅広い１間で組まれ、柱穴間の長さは１間180～190cm、南側で330cm、２間では、160cmまでの間隔を測る。覆土は細砂・軽石粒を含む、粘性・締まりのない暗褐色土層で埋まっている。

B－3（第33図）

F３－F15・16，G15グリッド内に位置する。６個の柱穴で構成している。形状は、長軸20～29cm、短軸15～22cmで、掘り込みは15～26cmまでの大きさがあり、楕円形・隅丸長方形・不定形などを呈する。柱穴は１×２間の大きさで組まれ、東側と南側は幅広い１間で組まれている。柱穴間の長さは、幅広い１間で320cm、２間では、150～180cmを測り、ほぼ方形となる。覆土は、細砂・軽石粒を含む粘性・締まりのない暗褐色土層で埋まっている。

B－4（第33・34図、図版12）

F３－F12，G12・13グリッド内に位置する。８個の柱穴で構成している。形状は長軸19～33cm、短軸18～27cm、掘り込みは21～50cmまでの大きさがあり、楕円形・不定形を呈する。柱穴は２×２間の大きさで組まれ、柱穴間の長さは、１間で140～210cmを測り、東西方向の幅広い２間では400～410cm、南北方向の２間では290～310cmで、ほぼ長方形となる。覆土は細砂・軽石粒を含む、粘性・締まりのない暗褐色土層で埋まっている。

（６）井戸址

Ｉ－１号井戸址（第34図、図版10）

位　置　E３－H13グリッド

形　状　開口部径182～195cmのほぼ円形で、底の西コーナーは角状、断面形は逆台形を呈する。深さは確認面より120～130cm程で砂礫層に達し、底面まで151cmを測る。

備　考　確認面は砂礫層の面に位置し、覆土は暗灰褐色・褐灰色の細砂・小礫を含む土層で埋まっている。壁面には川原石や小礫が数多く見られた。遺物は検出されなかった。時期は水田を覆った砂礫層（818年の洪水堆積層）を掘り込んでいることから水田より新しい時代のものと考えられる。

Ｉ－２号井戸址（第34図、図版11）

位　置　E３－I13グリッド

形　状　開口部径140～155cmのほぼ円形で、断面形はロート状を呈し、中位から下位にかけて北

壁寄りに掘り込まれている。深さは確認面より150cmを測る。

備　考　確認面はＩ－１と同じく、砂礫層に位置し、覆土は暗灰褐色・褐灰色・褐色の小礫を含む土層で埋まっており、壁面には礫（川原石）が多く見られた。遺物は土師器片２点が検出した。時期は土層断面よりＩ－１号井戸とほぼ同時期と考えられる。

Ｉ－３号井戸址（図版12）

位　置　Ｅ３－Ｘ13グリッド

形　状　開口部径120～140cm前後の楕円形で、断面形はロート状と思われるが上位から70～80cm程の所より径を狭めながら掘り込まれ、底へ進むにつれて再び径を拡げ砂礫層に達する。深さは確認面より145～150cmを測る。

備　考　確認面は砂礫層に位置し、覆土は暗褐色・褐色・黄色の砂質層や818年の洪水堆積層を含む土層で埋まっている。底には、10cm以上の川原石が多く見られた。遺物は検出されなかった。また、１・２号井戸址とは南側に約60m程離れて所在し、造りも簡素である。時期は水田面を掘り込んでいることから水田より新しい時代のものと思われる。

（７）畝状遺構（全体図２の２、図版19）

Ｅ６，Ｆ６調査区の中央付近とＦ６区の東側に位置し、Ｅ６－Ｘ14・15，Ｙ14・15，Ｆ６－Ａ14・15，Ｂ14～16，Ｃ14～16，Ｄ14～16，Ｅ14～16，Ｆ14～16，Ｇ15・16，Ｈ16グリッド内と東側のＦ６－Ｇ22，Ｈ20～22，Ｉ19～21グリッド内に位置する。標高は76.70～76.85mと東側の76.50～76.60m内にある。確認面には、炭化物・遺物片等が多く見られた。畝の窪みは長・短合わせて21本確認され、長いもので12.8m、短いもので2.0mを測り、掘り込みは深いもので35cm、浅いもの８cmを測る。畝から畝までの幅は1.4～2.0mを測り、窪み部分は灰色砂質土で埋まっている。また畝や覆土の中にも炭化物や土器片が検出されており、耕作時に含まれたものと思われる。さらに畝状遺構を挟んで東側と西側に奈良・平安時代の住居址が位置し、東側の住居址は、畝状遺構より下層で検出され、西側の住居址は、低い位置にあることから、住居址よりも新しい遺構と思われる。遺物は土師器、須恵器片が検出されている。

（８）溜池状遺構（全体図２の２、図版19）

調査区のＥ６－Ｗ10，Ｅ６－Ｘ10・11，Ｅ６－Ｙ10，11，Ｆ６－Ａ10・11，Ｆ６－Ｂ10・11グリッドに位置する。確認面はＷ－13・17と同じ面で検出した。形状は長方形を呈し、南北に長く長径13.8～14.7m、短径3.7～4.2m、深さは80～90cmを測り、上面は灰色砂質層、中位以下は、灰色粘質土層（シルト層）が、10～20cmのレンズ状に堆積している。壁面は、褐色・黄褐色粘質土層で硬く締まっている。底は、灰色粘質土層で植物のはん紋（酸化跡）が見られる。また土層断面を見るとレンズ状に堆積し、灰色粘質層や酸化跡が見られることから渇水時と貯水時とが考

えられ、季節によって利用法が異なったと思われる。また貯水容量は平均値から約47.8kℓと思われる。遺物は近世以後の遺物などが検出され、近年まで使用されていたと思われる。

（9）中原遺跡群Ⅴの植物珪酸体（プラント・オパール）分析

1．はじめに

中原遺跡群Ⅴの発掘調査では、As-Bの下位にある洪水堆積物直下から水田遺構が検出された。ここでは同遺構における稲作跡の検証を主目的として分析を行った。

2．試料

試料は、F4-F10グリッド、F3-P20グリッド、E4-A0グリッド、E3-A0グリッド、E6-A20グリッド、F6-F20グリッドの6地点について、水田遺構の検出層を中心に計10点が採取された。また、F6-D15グリッド付近で検出された畝状遺構では畝上部より灰化物が採取された。

3．分析法

植物珪酸体の抽出と定量は、プラント・オパール定量分析法（藤原，1976）をもとに、次の手順で行った。

1）試料の絶乾（105℃・24時間）

2）試料約1gを秤量、ガラスビーズ添加（直径約40μm、約0.02g）

※電子分析天秤により1万分の1gの精度で秤量

3）電気炉灰化法による脱有機物処理

4）超音波による分散（300W・42KHz・10分間）

5）沈底法による微粒子（20μm以下）除去、乾燥

6）封入剤（オイキット）中に分散、プレパラート作成

7）検鏡・計数

同定は、イネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体をおもな対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位：10-5g）をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。換算係数は、イネは赤米、キビ族はヒエ、ヨシ属はヨシ、ウシクサ族はススキ、タケ亜科はネザサ節の値を用いた。その値は2.94（種実重は1.03）、8.40、6.31、1.24、0.48である。

4．分析結果

水田跡の検証が主目的であることから、同定および定量はイネ、キビ族、ヨシ属、ウシクサ族（ススキ属など）、タケ亜科（おもにネザサ節）の主要な5分類群に限定した。これらの分類群について定量を行い、その結果を表1に示した。

5．考察

1）稲作跡の検証

水田跡（稲作跡）の検証や探査を行う場合、一般にイネの植物珪酸体が試料１ｇあたりおよそ5,000個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している。また、その層にイネの密度のピークが認められれば、上層から後代のものが混入した危険性は考えにくくなり、その層で稲作が行われていた可能性はより確実なものとなる。以上の判断基準にもとづいて稲作の可能性について検討を行った。

水田遺構が検出された洪水直下層について分析を行った結果、６試料のすべてからイネが検出された。密度は平均6,500個/g と高い値である。また、同層は直上を洪水層で覆われていることから、上層から後代のものが混入したことは考えにくい。したがって、同層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

2）畝状遺構の灰化物について

Ｆ６区では As-B の下位にある洪水堆積物直下から畝状遺構が検出され、その畝上部では炭混りの灰化物が認められた。分析の結果、この灰化物からはウシクサ族（ススキ属など）が約24万個/g と極めて多量に検出された。ウシクサ族にはススキ属やチガヤ属、サトウキビ属などが含まれるが、植物珪酸体の形状からここで検出されたものは、そのほとんどがススキ属に由来するものと考えられる。したがって、この灰化物の給源植物はおもにススキ属と推定される。

6．まとめ

以上のように、水田遺構が検出された洪水直下層からはイネが多量に検出され、同層で稲作が行われていたことが分析的に検証された。また、Ｆ６区畝状遺構跡で検出された灰化物はおもにススキ属に由来するものと推定された。（古環境研究所報告書抜粋）

参考文献

杉山真二・松田隆二・藤原宏志（1988）

機動細胞珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用－古代農耕追究のための基礎資料として－．考古学と自然科学，20:p.81-92.

藤原宏志（1976）

プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)－数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法－．考古学と自然科学，9:p.15-29.

藤原宏志・杉山真二（1984）

プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)－プラント・オパール分析による水田址の探査－．考古学と自然科学，17:p.73-85.

表１　中原遺跡群Ｖの植物珪酸体(プラント・オパール)分析結果

※主要な分類群について計数

検出密度(単位：×100個/ｇ)

分類群＼試料	F4-F10グリッド			F3-P20		E4-A0		E3-A0	E6-A20	F6-F20	F6区
	1	2	3	1	2	1	2	1	1	1	畝状跡
イネ	31	30	38		89	15	38	55	100	70	10
キビ族(ヒエ属など)	8	8									
ヨシ属	8	8	15		7	22	8	16	14		10
ウシクサ族(ススキ属など)	84	38	23	45		37		8	36	83	2356
タケ亜科(おもにネザサ節)	46		15	23	22	22	46	23	93	83	48

推定生産量(単位：kg/m²・cm)

イネ	0.90	0.89	1.12		2.60	0.44	1.12	1.61	2.94	2.06	0.29
キビ族(ヒエ属など)	0.64	0.64									
ヨシ属	0.48	0.48	0.96		0.47	1.40	0.48	0.98	0.88		0.63
ウシクサ族(ススキ属など)	1.04	0.47	0.28	0.56		0.46		0.10	0.45	1.03	29.21
タケ亜科(おもにネザサ節)	0.22		0.07	0.11	0.11	0.11	0.22	0.11	0.45	0.40	0.23

※試料の仮比重を1.0と仮定して算出。

中原遺跡群Ⅴ出土遺物観察表

注：法量は①口径②底径③胴部最大径④頸部径⑤裾部径⑥器高⑦長さ⑧幅⑨厚み⑩穿孔をcmで⑪重量をｇで表し、（ ）は推定値を示す。

番号	出土位置	器形(種)	法量	①胎土②焼成③色調④残存	器形・製作技法の特徴
1	H－1	坏(土師)	①(14.3)⑥4.5	①雲母 軽石 粗粒石を含む 稠密 ②良好 ③赤10R4/8 ④3/4	丸く内彎する口端部を持つ 内外共粗い研磨 外面は立上がりにもおよぶ 口縁部横ナデ 身部ヘラ削り後研磨 内面口縁部横ナデ 水流による剝離が著しい
2	H－1	坏(土師)	①(14.2)⑥5.4	①雲母 軽石 頁岩を含む密 ②良好 ③橙2.5YR6/6 ④3/4	内斜口縁 浅い身部 外面口縁部横ナデ 身部ヘラ削り後斜位の研磨部分的に剝離あり 内面口縁部横ナデ 身部ヘラ研磨
3	H－1	塊(土師)	①(12.7)⑥6.4	①黒雲母 軽石 稠密 ②良好 ③にぶい赤褐2.5YR5/4 ④3/4	内斜口縁 鋭角に削った身部 外面口縁部横ナデ 身部粗いヘラ削り 後ヘラ研磨 黒灰色二次焼成痕あり 内外面赤色塗彩 内面口縁部横ナデ 身部ヘラ研磨
4	H－1	高坏(土師)	①(15.6) ⑤10.7⑥11.8	①雲母 軽石 稠密 ②やや良 ③明赤褐2.5YR5/6 ④3/4	柱状の脚に水平な裾をつける 身部外面に稜を持つ 口～身まで横ナデ 底部縦研磨一部指圧痕あり 脚部ヘラ削り後横研磨 裾部横ナデ 内面脚部ヘラ横削り 接合部はめ込み
5	H－1	石製模造品(勾玉)滑石	⑦3.5⑧1.4 ⑨0.35⑪4.70	③緑灰10GY5/1④完形	刃物による粗削状態
6	H－1	石製模造品(剣)滑石	⑦3.8⑧2.0 ⑨0.6⑪7.18	③褐灰7.5YR6/1④完形	みがきの初期の段階 その後二次的な剝離
7	H－1	石製模造品(剣)滑石	⑦2.5⑧1.6 ⑨0.3⑪2.07	③暗緑灰7.5GY6/1④未完成	面取り直後 未穿孔
8	H－1	石製模造品(鏡)滑石	⑦2.8⑧2.9 ⑨0.35⑩6.97	③緑灰7.5YG1/5 ④完形	ある程度みがきが進んだ状態
9	H－1	石製模造品(鏡)滑石	⑦2.3⑧2.3 ⑨0.3⑩3.87	③緑灰7.5GY5/1④完形	刃物による粗削りからみがきに入った状態
10	H－1	石製模造品(鏡)滑石	⑦1.8⑧1.6 ⑨0.2⑩1.72	③オリーブ灰5GY5/1 ④完形	面取り穿孔直後 外面一部欠損
11	H－2	坏(土師)	①14.0⑥5.4	雲母 軽石 石英 稠密 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/6 ④完形	口縁部内彎 器肌が粗い 外面口縁部横ナデ 体部ヘラ削り後ヘラナデ 内面口縁部横ナデ 体部ヘラ研磨
12	H－2	塊(土師)	①14.2②4.0 ⑥5.3	①雲母 軽石 稠密 ②温度は低いが良好 ③橙2.5YR6/6 ④2/3	口端部「く」の字状に外反 上部に最大径を持つ 外面口縁部横ナデ 身部ヘラ削り後ヘラ研磨 内面口縁部横ナデ 身部ヘラ研磨
13	H－2	椀(土師)	①14.0⑥7.2	①雲母(粗粒)軽石 稠密 ③橙 5YR6/6 ④2/3	外反する口縁を持つ 中央部に最大径を持つ 外面口縁部横ナデヘラ 削り後研磨 内面口縁部横ナデヘラ研磨
14	H－2	椀(土師)	①(9.8)②4.9 ⑥7.3	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③明赤褐25YR5/8 ④3/4	平底気味の底部から丸味を持ちながら短く外反する口縁部 外面口縁部横ナデヘラ削り後ヘラ研磨 内面口縁部横ナデヘラ研磨
15	H－3	蓋(須恵)	①(17.2)⑥3.8	①稠密 ②良好 ③灰N6/0 ④3/4	焼成時の焼きによる自然釉 底部ヘラ切り 内外面 右回転ロクロ整形
16	H－3	塊(土師)	①12.6⑥6.7	①雲母 軽石 頁岩 稠密 ②良好 ③橙25YR6/6 ④ほぼ完	半球形の身部から口縁部で外反する 外面口縁部横ナデヘラ削り後ヘラ研磨 内面口縁部横ナデヘラ削り後ヘラ研磨
17	H－3	塊(土師)	①(14.0) ⑥(7.0)	①黒母 軽石 稠密 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/6 ④1/2	「く」の字状に外反し端部を上にそらせる 外面口縁部ヘラ研磨 体部ヘラ削り後斜位のヘラ研磨 内面口縁部横ナデ 体部斜位のヘラ研磨
18	H－3	椀(土師)	①(10.0)②4.0 ⑥4.7	①雲母 軽石 稠密②良好③赤橙10R6/8④3/4	小型の椀 外面口縁部横ナデ 体部指圧痕ありヘラ削り 内面口縁部横ナデ 指圧痕あり ヘラ研磨
19	H－3	壺(土師)	①(10.0) ⑥10.1	①雲母 頁岩 軽石 稠密 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/6 ④3/4	比重大 小型広口壺 外面口縁部横ナデ後ヘラ研磨 胴部ヘラ削り後 ヘラ研磨 内面口縁部横ナデ 胴部ヘラナデ 底部ヘラ削り後ヘラ研磨
20	H－3	高坏(土師)	①20.2⑥15.1 ⑥12.5	①雲母 軽石 頁岩 長石 やや密 ②良好 ③橙2.5YR6/8 ④2/3	比重大 水平な底部の端を稜として緩やかに外反する口縁部 坏部にラッパ状の脚と緩やかに広がる裾 外面口縁部横ナデ後粗い研磨 底部横ナデ 脚部縦位の研磨 裾部横ナデ 内面口縁部横ナデ後研磨 底部ヘラ研磨 脚部ヘラ削り 裾部ヘラ削り後外周ヘラナデ 接合部無調整(5回ヘラ回し)
21	H－4	甑(土師)	①13.3②7.7 ⑥3.30	①雲母 軽石 密 ②良好 ③にぶい黄橙10YR7/4 ④ほぼ完形	浅い頸部 口縁部からまっすぐ下部にすぼめた長胴形 外面口縁部横ナデ 体部ヘラ削り後みがき 内面口縁部横ナデヘラによるナデつぶし 孔部ヘラ調整
22	H－4	甑(土師)	①(15.5)②5.0 ⑥14.3⑩内1.8 外径1.5	①雲母 軽石 頁岩 長石 稠密 ②良好 ③橙7.5YR6/6 ④口縁部一部欠損	比重大 単孔 折り返し口縁 鉢状を呈す 外面口縁部横ナデ後ヘラ研磨 体下半部粗いヘラ削り後研磨 底部ヘラ調整 内面口縁部横ナデ ヘラによるナデつぶし 胴部ヘラ削り後ヘラ研磨 底部周縁ヘラ調整
23	H－4	壺(土師)	①(15.9) ③15.2 ⑥13.7	①雲母 軽石 長石 石英 密 ②温度が低いが密 ③橙2.5YR6/6 ④ほぼ完形	丸底の底部から中心部を最大径に持ち短く外反気味に立つ口縁部 外面最大径の部分から付け足す作り 口縁部横ナデ 胴部ナデ後研磨 底部ヘラ調整 内面口縁部横ナデ 胴部ナデ後研磨 底部ナデ調整
24	H－4 カマド	高坏(土師)	①16.8 ⑤(12.8) ⑥13.2	①雲母 軽石 長石 稠密 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/8 ④裾部一部欠損	底部に稜を有し緩やかに開く身部 柱状の脚部に水平な裾をつける 外面口縁部横ナデ 体部ナデ後研磨 脚部削り後研磨 内面口縁部横ナデ 体部ナデ後放射状の研磨 脚部ヘラ調整(7回ヘラ回し)裾部ナデ
25	H－4	石製模造品(勾玉)滑石	⑦2.1⑧0.7 ⑨0.6 ⑪2.53	③明褐灰5YR7/2 ④完形	硬質頁岩 完成品
26	H－5	壺(土師)	①13.4②6.0 ③32.2⑥30.0	①雲母 軽石 稠密 ②温度は低いが良好 ③にぶい黄橙10YR7/3 ④5/6	三重折り返し口縁 2/3を最大径を持つ 壺型 外面口縁部横ナデ斜位の櫛目 胴上部ヘラ研磨 接合部斜位の櫛目 下部横の櫛目 底部ヘラ調整 内面口縁部横ナデ 頸部横櫛目 胴部ヘラ調整
27	H－5	坩(土師)	①11.0⑥9.7	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/6 ④5/6	比重大 上底の底部から扁平な体部を作り口辺部を大きく開く 外面口縁部横ナデ後横位のヘラ研磨 口辺部ヘラ削り 体部接合部櫛状工具を用い一部ヘラ削り 一部横位のヘラ研磨 内面底部ヘラ研磨 口縁部ヘラナデ後一部ヘラ研 磨接合部指ナデ
28	H－5	石製模造品(剣)滑石	⑦5.5⑧2.0 ⑨0.4⑪10.40	③青灰5PB5/1 ④完形	面取り 穿孔直後

注：法量は①口径②底径③胴部最大径④頸部径⑤裾部径⑥器高⑦長さ⑧幅⑨厚み⑩穿孔をcmで⑪重量をgで表し、( )は推定値を示す。

番号	出土位置	器形(種)	法量	①胎土②焼成③色調④残存	器形・製作技法の特徴
29	H－6	埦(土師)	①15.0②3.5 ⑥6.6	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③橙2.5Y R6/6 ④完形	緩やかに外反する口端部 僅かな底部を持つ 外面口縁部横ナデヘラ削り後ヘラみがき 内面口縁部横ナデ 体部ヘラ研磨
30	H－6	埦(土師)	①13.4⑥5.2	①雲母 軽石 石英 密 ②やや良 ③赤橙10R6/8 ④完形	垂直に立ち上がる口端部 外面口縁部横ナデ 体部ヘラ削り後ヘラ研磨 内面口縁部横ナデ 体部ヘラ研磨
31	H－6	坏(土師)	①12.8⑥4.8	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③橙7.5Y R7/6 ④完形	やや内彎する口縁 丸い身 外面口縁部横ナデヘラ削り 内面口縁部 横ナデ 身部ナデつぶし
32	H－6	坏(土師)	①(14.7)②5.0 ⑥5.7	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③明赤褐2.5Y R5/8 ④3/4	平底の底部から丸味を持って立ち上がり口縁に至る 外面口縁部横ナデヘラ削り後ヘラ研磨 内面口縁部横ナデ 体部横ナデ後縦位のヘラ研磨
33	H－6	埦(土師)	①13.4②4.0 ⑥5.5	①石英 雲母 軽石 稠密 ②良好 ③橙2.5Y R6/8 ④完	外面は垂直に立ち上がるが内面は「く」の字に外反する 外面口縁部 横ナデ 体部ヘラ削り 内面口縁部横ナデ 体部横ナデ(ナデつぶし)
34	H－6	埦(土師)	①12.1②6.7 ⑥7.6	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③赤褐10R6/6 ④完形	口縁部緩やかに外反し胴上部に最大径を持つ 外面口縁部横ナデヘラ削り 内面口縁部横ナデヘラ研磨
35	H－6	甕(土師)	①16.4②7.0 ③25.6⑥29.6	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③橙5Y R6/6 ④ほぼ完形	中心部を最大径に持ち緩やかな「く」の字の口縁 外面口縁部横ナデ 体部ヘラ削り部分的にヘラみがき 底部ヘラ調整 内面口縁部横ナデ ヘラによるナデつぶし
36	H－7	坏(須恵)	①12.9⑥4.6	①稠密 ②良好 ③灰N6/0 ④完形	丸底の底部に水平な稜から直線的に立ち上がる口縁部 外面ヘラ調整 内面左回転ロクロ整形
37	H－7	埦(土師)	①13.9②4.0 ⑥5.8	①雲母 軽石 密 ②良好 ③橙2.5Y R6/8 ④完形	浅く外反する口端部 外面口縁部横ナデ 体部ヘラ削り 内面口縁部 横ナデ 体部ナデつぶし
38	H－7	高坏(土師)	①17.0⑥11.8	①黒雲母 軽石 稠密 ②良好 ③明赤褐2.5Y R5/6 ④裾部5/6欠損	底部に稜を有し浅く開く身部 柱状の脚部及び水平に開く裾を持つ 外面口縁部裾部横ナデ 底部ヘラ削り 脚部みがき内面口縁部横ナデ 脚部ヘラ削り 接合部はめ込み
39	H－7	甕(土師)	①17.7②6.6 ⑥27.6	①雲母(粗粒)石英 軽石 密 ②良好③橙5Y R6/6④ほぼ完形(一部胴欠損)	胴下部に最大径 坏状の底部に上部を付けたした 外面口縁部櫛目後 横ナデ 胴上部斜位の櫛目 胴下部粗いヘラ削り 底部ヘラ調整 内面口縁部横ナデ 接合部はヘラ調整 胴部はヘラによるナデつぶし
40	H－7	甕(土師)	①(19.6)②8.3 ⑥31.9	①雲母 軽石 密②良好 ③橙5Y R6/6④3/4	「く」の字に外反する短い口縁 外面口縁部横ナデ 胴部縦横斜位のヘラ削り 内面口縁部横ナデ 胴部ナデつぶし
41	H－8	坏(土師)	①14.2②5.5 ⑥6.8	①雲母 軽石 密 ②良好 ③明赤褐2.5Y R5/6 ④ほぼ完形(底部一部欠)	底部から口縁部に真っ直ぐ開く鉢形 外面口縁部横ナデ 体部ヘラ削り後ヘラ研磨 底部ヘラ調整 内面口縁部横ナデヘラ研磨
42	H－8	坏(土師)	①13.2⑥4.7	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③明赤褐2.5Y R5/8 ④完形	丸い底部から稜を作らずに立ち上がらせて口縁部を持つ(模倣坏) 外面口縁部横ナデ後ヘラ研磨 身部ヘラ研磨 内面口縁部横ナデヘラ研磨 体部ヘラ削り後放射状のヘラ研磨
43	H－8	埦(土師)	①(14.2)②8.0 ⑥6.2	①黒雲母 軽石 石英 頁岩 密 ②良好 ③赤10R5/6 ④ほぼ完形	底部を持ち緩やかに内彎する口縁 外面口縁部横ナデヘラ削り後ヘラ研磨 内面口縁部横ナデヘラ研磨
44	H－8 カマド	埦(土師)	①(12.1)⑥7.5	①雲母 軽石 密 ②良 ③赤10R5/6 ④2/3	平底を有しほぼ球形状な胴体部を持ち緩く開いた口縁 外面口縁部 横ナデ 胴部ヘラ削り後ヘラ研磨 底部ヘラ調整後ヘラ研磨 内面口縁部横ナデ 胴部ヘラ削り
45	H－8	高坏(土師)	①19.2 ⑥(14.0)	①雲母 軽石 長石 稠密 ②良好 ③橙5Y R6/6 ④3/4	比重大 坏部の稜は不明瞭 脚、坏の接合は細い 外面口縁部横ナデ 体部ヘラ削り後研磨 脚部斜位の研磨 内面口縁部横ナデ 底部研磨
46	H－8	石製模造品(剣)滑石	⑦3.3⑧1.5 ⑨1.25⑪3.36	③灰白5Y R8/2	縦に2穴 完成品
47	H－9	坏(須恵)(受身)	①10.8⑥4.6	①稠密 ②良好 ③灰白N7/0 ④完形	比重大 幅広の稜から内傾する立ち上がりを持つ口縁部 右回転ロクロ整形 外面底部ヘラ切り後調整
48	H－9	蓋(須恵)	①(12.6) ⑥(3.9)	①稠密 ②良好 ③灰白N7/0 ④1/2	比重小 回転ロクロ整形 外面焼成時の自然釉 底部ヘラ切り
49	H－9	埦(土師)	①14.4⑥6.3	①雲母 軽石 頁岩 稠密 ②良好 ③赤10R5/6 ④完形	扁平な球形の身から付け足すような口縁部 外面口縁部～体部ヘラ削り後ヘラ研磨 内面口縁部横ナデヘラによるナデつぶし
50	H－9	甕(土師)	①17.4⑥26.7	①雲母 軽石 石英 密 ②良 ③にぶい褐7.5Y R6/3 ④完形	丸底 無花実型 肩をもつ頸部から「く」の字に外反する口縁部 外面口縁部横ナデ体～底部ヘラ削り後ヘラ研磨 内面口縁部横ナデ 体部 ナデつぶし
51	H－9	甕(土師)	①18.3②7.0 ⑥26.3	①雲母 軽石 密 ②良好 ③橙2.5Y R6/8 ④完形	坏状の底部に上部を付け足した型の甕 外面口縁部横ナデ 体部ヘラ削り部分的にヘラ研磨 表面は剝離摩耗 内面口縁部横ナデ水性タールが水平に付着 体部ナデつぶし 部分的にヘラ研磨
52	H－9	甑(土師)	①(20.8) ②10.0 ⑥23.6	①雲母 軽石 石英 長石 密 ②良 ③にぶい黄橙10Y R6/4 ④ほぼ完(口縁一部欠)	最大径を胴中心に 丸味を帯びた胴部 広口の口縁部 外面口縁部横ナデ 胴部ヘラ削り 内面口縁部横ナデ 胴部ヘラナデ
53	H－9	甑(土師)	①(24.6)②8.7 ⑥(27.2)	①雲母 軽石 長石 頁岩 密 ②良好 ③にぶい橙7.5Y R7/3 ④3/4	内部底面に対向する5角状の突起部あり (スノコ等の)受け具か？桟か？外面口縁部横ナデ 体部削り 肋骨状に輪積み根認められる 内面口縁部横ナデ 体部ヘラ研磨
54	H－10	坏(須恵)(受身)	①9.5②4.4 ⑥4.4	①稠密 ②良好 ③黄灰2.5Y6/1 ④完形	比重大 小振りで端正なつくり 水平な稜から内傾する立ち上がりをもつ 焼成時の自然釉 内外面左回転ロクロ整形 底部ヘラ切り
55	H－10	坏(土師)	①(14.0)②5.2 ⑥5.4	①雲母 軽石 密 ②温度が低いが良好 ③明赤褐2.5Y R5/6 ④4/5	肉厚な底部に浅く外反する口縁部 外面口縁部横ナデ 体部ヘラ削り 内外植物タール付着 内面口縁部横ナデ 身部ヘラによるナデつぶし
56	H－10	壺(土師)	①10.2②8.6 ⑥14.5	①雲母 軽石 密 ②良 ③橙2.5Y R6/6 ④4/5	平底 球形状の体部から頸部で一旦括れ緩やかに外反する口縁部 外面口縁部横ナデ 胴上部ヘラ削り後ヘラ研磨 胴下部櫛目ガキ 内面口縁部横ナデ 外部ヘラのナデつぶし
57	H－10	壺(土師)	①9.6⑥10.3	①雲母 軽石 密 ②良好 ③にぶい赤褐10R6/4 ④3/4	小型 ほぼ球形の体部から広口の口縁部を垂直に作る 表面剝離 外面口縁部横ナデ 体部ヘラ削り後ヘラ研磨 内面口縁部横ナデ 体部ヘラのナデつぶし

注：法量は①口径②底径③胴部最大径④頸部径⑤裾部径⑥器高⑦長さ⑧幅⑨厚み⑩穿孔をcmで⑪重量をｇで表し、（ ）は推定値を示す。

番号	出土位置	器形(種)	法量	①胎土②焼成③色調④残存	器形・製作技法の特徴
58	H－10	甕(土師)	①19.0⑥26.5	①雲母 石英 軽石 頁岩 稠密 ②良好 ③にぶい橙7.5Y R7/4 ④3/5	球形の体部に丸底 口縁部作りだし 外面口縁部横ナデ頸～底部櫛目内面口縁部横ナデ 体部ヘラ削り後ヘラ研磨
59	H－10	甕(土師)	①17.3⑥24.0	①雲母 軽石 密 ②良好 ③橙5 Y R7/6 ④3/4	球形な体部に丸底 外面口縁部横ナデ頸～底部ヘラ削り 内面口縁部 横ナデ体部ヘラ削り後部分的に研磨
60	H－10	高坏(土師)	①17.5⑤12.5 ⑥13.1	①雲母 軽石 密②良好③赤10R4/8 ④完形	水平な接地面を持つ裾 外面坏部櫛目 脚部櫛目後ヘラ研磨 底部ヘラ削り 内面口縁部横ナデ 底部中心櫛目 脚部ヘラ整形（7回ヘラ廻し）裾部横ナデ 接合部突起部縦のヘラ研磨調整
61	H－10	高坏(土師)(埦形)	①(15.2)⑤6.4 ⑥15.8	①雲母 石英 軽石 稠密 ②良好 ③明赤褐2.5Y R5/6 ④ほぼ完	埦状の坏部 ほぼ水平な接地面を持つ 外面口縁部横ナデ 坏部ヘラ削り 脚部縦位のヘラ研磨 裾部横ナデ 内面口端部ヘラナデ調整 口縁部横ナデ 坏部ヘラ研磨 脚部ヘラ削り（7回ヘラ廻し）裾部横ナデ後一部ヘラ調整 接合部突起をヘラナデ調整
62	H－10	石製模造品(鏡)滑石	⑦2.5⑧2.5 ⑨0.25⑩4.78	③緑灰7.5G Y5/1 ④完形	面取り 穿孔直後
63	H－10	石製模造品(鏡)滑石	⑦1.8⑧2.5 ⑨0.25⑩3.44	③緑灰10G Y6/1 ④完形	鏡(田ゲタ)完成品
64	H－10	石製模造品(剣)滑石	⑦3.5⑧1.5 ⑨0.25⑩3.73	③明褐灰5Y R7/1 ④完形	完成品
65	H－10	石製模造品(剣)滑石	⑦2.9⑧1.3 ⑨0.25⑩2.91	③にぶい黄橙10Y R7/2 ④完形	面取り 穿孔直後
66	H－10	ビーズ(玉)	⑦0.4⑧0.4 ⑨0.4⑩0.20 ⑪0.14	③青灰10G6/1 ④完形	
67	H－10	石製模造品(臼玉)滑石	⑦0.4⑧0.45 ⑨0.4⑩0.2 ⑪0.24	③緑灰10G Y5/1 ④完形	
68	H－10	石製模造品(勾玉)	⑦2.8⑧0.9 ⑨0.4⑩0.20 ⑪3.37.	③灰N6/1 ④完形	完成品
69	H－10	石製模造品勾玉(滑石)	⑦2.1⑧0.8 ⑨0.6⑩0.18 ⑪2.42	③明緑灰10G Y7/1 ④完形	完成品
70	H－10	砥石	⑦(10.5)⑧5.7 ⑨5.0⑪210	③灰白2.5Y8/2 ④1/3	四面使用 砂岩
71	H－12	高台付(須恵)	⑥(4.7)	①稠密 ②良好 ③灰5Y5/1 ④1/4	大型の高台「ハ」の字状に外反する 外面ロクロ整形 自然釉付け高台 内面ロクロ整形
72	H－12	坏(須恵)	①(12.6)②7.0 ⑥4.1	①やや粗い ②良好 ③明紫灰5R P7/1 ④ほぼ完	左回転ロクロ整形 比重大 外面一部自然釉 回転糸切り無調整
73	H－12	坏(須恵)	①(13.0)②7.6 ⑥3.5	①稠密 ②良好 ③明紫灰5P7/1 ④4/5	右回転ロクロ整形外面底部回転糸切り後ヘラ調整
74	H－12	坏(土師)	①(13.0)②8.0 ⑥3.0	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③橙2.5Y R6/6 ④1/2	安定した底部 体部直線気味に外反し 口縁部短く内彎する 外面体～底部ヘラ削り 内外面口縁部横ナデ 内面体～底部ナデ調整
75	H－12	蓋(須恵)	③3.5摘 ⑥(2.4)④2/3	①密 ②良好 ③灰白5YR8/1	丸味を持つ天井部 摘貼付 内外面ロクロ整形
76	H－13	坏(土師)	①(12.8)⑥3.4	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③にぶい橙5YR6/4 ④ほぼ完	明確な底部を持たず丸味を帯びて身を作り口縁部を垂直に持つ 外 面口縁部横ナデ 身部ヘラ削り 内面口縁部横ナデ身部ヘラナデ
77	H－15	蓋(須恵)	①17.7③摘4.2 ⑥4.0	①密 ②良好 ③明青灰5P7/1 ④完形	右回転ロクロ整形 ボタン型摘 端の部分を90收に返した口縁 外面ロクロによるヘラ削り 内面焼成時の自然釉
78	H－15	坏(土師)		①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③明赤褐5Y R5/6 ④小片	「大井」のヘラ書き 外面ヘラ削り 内面ヘラナデ
79	H－18貯	坏(土師)	①(12.0)②9.5 ⑥2.9	①雲母 軽石 長石 密 ②良 ③橙2.5Y R6/6 ④1/2	平底体部緩やかに内彎しながら口縁部に至る 内外面横ナデ 外面体部指押さえ 体～底部ヘラ削り 内面体～底部ナデ調整
80	H－18貯	埦(土師)	①13.3②7.4 ⑥5.1	①雲母 軽石 頁岩 密 ②良 ③橙7.5Y R7/6 ④完形	内黒 左回転ロクロ整形 外面底部回転糸切り後ヘラ調整
81	H－19	坏(土師)	①(14.0) ⑥(3.2)	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③橙5Y R6/8 ④1/3	丸底 底部より緩やかに内彎して口縁部で内傾する 内外面口縁部横位のナデ 体～底部削り 内面体部ナデ調整
82	H－19	甕(土師)	①(22.6) ⑥(6.2)	①雲母 軽石 長石 稠密 ②良好 ③橙5Y R7/6 ④口縁部1/3残	肩部で稜をなし口縁部で外傾する 内外面横ナデ 外面肩部ヘラ削り 内面体部横ナデ調整
83	H－20	坏(土師)	①12.5②11.0 ⑥3.2	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③にぶい黄橙10Y R7/2 ④完形	小振りで内部緩やかに外反する口縁 外面口縁部横ナデ 体部ヘラ削り 内面口縁部横ナデ 体部ヘラナデ
84	H－21	坏(土師)	①(12.2)②9.0 ⑥3.1	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③にぶい橙7.5Y R7/6 ④1/2強	平底 体部は内彎して立ち上がり口縁部変換点で弱く括れる 内外面口縁部横ナデ 外面体～底部ヘラ削り 内面体～底部ナデ調整
85	H－21	埦(須恵)	②6.2⑥(3.5)	①密 ②良好 ③灰2Y6/1 ④1/3	小振りの埦 内外面ロクロ整形 外面底部ヘラ切り痕
86	H－21	蓋(須恵)	①(14.6)③摘径4.3⑥(3.3)	①密 ②良好 ③灰白7.5Y7/1 ④1/3	天井部環状の摘 平坦 体部は緩やかに段をつけながら外傾し摘貼付外面口縁端部は直立する 内外面ロクロ整形 内面一定方向のナデ
87	H－22	坏(土師)	①11.8②9.5 ⑥2.7	①黒雲母 軽石 稠密 ②良好 ③にぶい橙5Y R7/4 ④完形	平底で内彎する口縁 外面口縁部横ナデ 底部ヘラ削り 内面口縁部 横ナデ 底部ヘラナデ
88	H－22	坏(土師)	①11.8②9.5 ⑥4.3	①雲母 軽石 稠密 ②良好 ③橙7.5Y R6/6 ④1/2	平底 体部は緩やかに内彎して口縁部に至る 内外面口縁部横ナデ 外面体～底部ヘラ削り 内面体～底部ナデ調整
89	H－22	高台付埦(須恵)	①11.8 ⑥4.3	①雲母 石英 密 ②良好 ③褐灰10Y R6/1 ④2/3	断面台形状の短い高台 緩やかに内彎する体部 貼付高台 内外面ロクロ整形

注：法量は①口径②底径③胴部最大径④頸部径⑤裾部径⑥器高⑦長さ⑧幅⑨厚み⑩穿孔をcmで⑪重量をgで表し、( )は推定値を示す。

番号	出土位置	器形(種)	法量	①胎土②焼成③色調④残存	器形・製作技法の特徴
90	H－23 カマド	坏(土師)	①(12.8)⑥3.4	①雲母 長石 石 糊密 ②良好 ③橙7.5Y R7/6 ④1/4	丸底気味 体部は緩やかに内彎し口縁部で外反する 内外面口縁部横ナデ 外面体～底部ヘラ削り 内面体～底部ナデ調整
91	H－23 カマド	鉄族 (鉄製品)	⑦13.7⑪11.79	④完形	炭素と錫を含む鍛造 火のし型 鏃身部長さ2.1幅1.1厚み0.4 篦被部長さ9.0幅0.6厚み0.4茎部長さ2.6
92	H－24	坏(須恵)	①(11.6)⑥3.7	①雲母 石英 密 ②良好 ③灰5Y6/1 ④2/3	僅かに上げ底 体部緩やかに外傾して開く 内外面ロクロ整形 底部糸切り未調整
93	H－26	坏(須恵)	①(12.0)⑥3.5	①密 ②良好 ③灰10Y5/1 ④1/3	平底の底部から直線的に開く体部 内外面ロクロ整形
94	H－26 カマド	甕(土師)	①(20.8) ⑥(8.0)	①雲母 軽石 長石 糊密 ②良好 ③橙5Y R6/6 ④口縁部1/3残	胴部から肩部に緩やかに内彎し口縁部上半で外傾する 内外面横ナデ 外面胴部ヘラ削り 内面胴部ヘラ削り後ナデ調整
95	確トレンチ1 (E3-B10)	高坏(土師)	①(22.0)⑤13.8 ⑥15.1⑩1.2	①雲母 軽石 頁岩 長石 糊密 ②良好 ③明褐7.5Y R7/2 ④2/3	大径の坏 3円窓を持つロート状の緩やかな脚部 接合部はめ込み 外面口縁部横ナデ後ヘラ研磨 口縁～体部下端までヘラ研磨 底部脚部ヘラ研磨 裾部横位のヘラ研磨 内面口縁部横ナデ 身・底部ヘラ研磨 脚部横位ヘラ研磨 接地面ヘラ調整
96	確トレンチ3 (E3-D9)	小型甕 (土師)	①12.2⑥18.3	①雲母 頁岩 軽石 密 ②良 ③にぶい黄橙10Y R7/3 ④4/5	整った型 有稜口縁を思わせる三段の輪積 胴部中心に最大径 外面口縁部横ナデ指押し 体部刷毛目 底部丁寧なヘラ調整 内面口縁部横ナデ 胴部ナデつぶし
97	確トレンチ3 (E3-C9)	甕(土師)	①(16.2)②7.3 ⑥(31.4)	①雲母 軽石 石英 密 ②良 ③にぶい橙7.5Y R6/4 ④1/2	坏状の底部に上部を付け足した甕 外面口縁部横ナデ後ヘラナデ 胴部ヘラ削り一部ヘラみがき 底部ヘラ調整 内面口縁部横ナデ 胴部ヘラナデ
98	確トレンチ3 (E3-G10)	手捏形土器 (土師)	①(4.1)②3.1 ⑥8.5	①雲母 軽石 密 ②良好 ③橙5Y R6/6 ④完形	柱状の粘土塊に無花実型の坏部をつける ゴブレット型 外面手捏後体～底部ヘラ研磨 内面口縁部横ナデ 体下部ヘラナデ 底部篦磨き
99	確トレンチ4 一括	壷(土師)	②5.7③17.2 ④6.7⑥11.0	①雲母 軽石 頁岩 糊密 ②温度低いが良好 ③橙5Y R6/6 ④口縁部欠損	小径の底を持ち扁平な体部にせまい口縁を持つ 算盤玉型 外面口縁部横ナデ 体部ヘラ削り後ヘラ研磨 底部ヘラ研磨 内面口縁部横ナデ 体部ヘラ研磨
100	確トレンチ4 一括	壷(土師)	①6.0②4.7 ⑥8.5	①雲母 長石 石英 軽石 密 ②良好 ③にぶい黄橙10Y R7/4 ④完形	ミニチュア壷 平底に上部に巻き足していた造り 外面口縁部手捻り後ヘラ研磨 胴部ヘラ削り後ヘラ研磨 底部ヘラ調整 内面口縁部手捻り後ヘラ研磨 胴部ヘラナデ
101	D3-S5 グリッド	耳環	⑦2.4⑧2.6 ⑨0.5⑪9.32	③緑青 ④完形	青銅製
102	D3-Q9 グリッド	紡錘車 (滑石)	⑤4.8⑨1.5 ⑩1.0⑪47.11	③にぶい褐7.5Y R6/3 ④完形	刃物による整形
103	D3-Q4 グリッド	壷	③19.0 ⑥(19.7)	①雲母 石粒 軽石 やや密 ②良好 ③赤10R5/8 ④4/5	下部に最大径を持つ算盤玉型 外面口縁部横ナデヘラ研磨 胴部ヘラ削り後ヘラ研磨大半剝離 内面口縁部横ナデヘラ研磨 胴部ヘラ研磨
104	D3-X20 グリッド	坏(土師)	①(13.2)⑥3.5	①雲母 軽石 糊密 ②良好 ③にぶい橙2.5YR6/4 ④3/4	明確な底部を持たず緩やかに外反する口縁部 外面口縁部横ナデ 身部ヘラ削り 内面口縁部横ナデ 身部ヘラナデ
105	E3-Y19 グリッド	有茎石鏃 (石英)	⑦1.85⑧1.0 ⑨0.4⑩0.60	③灰白10Y8/1 ④完形	
106	E6-Y9 グリッド	蓋(土師)	①11.8②11.1 ⑥3.7	①雲母 頁岩 軽石 糊密 ②温度は低いが良好 ③橙5Y7/6 ④完形	低い身部 口縁部は僅か稜をとどめて外反気味に立ち上がる 外面口縁部横ナデ 体部丁寧なヘラ削り後ヘラナデ 内面口縁部横ナデ 模倣坏
107	E6-Y19 グリッド	紡錘車 (滑石)	⑤(3.9) ⑩(0.9) ⑪(12.14)	③暗緑灰10G R4/1 ④底部欠損1/2弱	刃物による整形
108	E6-C15 グリッド	坏(土師)	①(13.8) ②(9.4) ⑥2.3	①雲母 軽石 密 ②温度は低いが密 ③橙5Y R6/6 ④2/5	外内面に「牧」の字の墨書 外面口縁部横ナデ 体底部ヘラ削り 内面口縁部横ナデ 底部ヘラナデ
109	E6-C15 グリッド	坏(土師)	①(12.4)⑥3.5	①雲母 軽石 糊密 ②良好 ③にぶい橙5Y R6/4 ④口縁部1/4欠損	明確な底部を持たず角度を持って身部を作りやや開き気味の口縁部を持つ 外面口縁部横ナデ 身部ヘラ削り 内面口縁部横ナデ 身部ナデつぶし
110	E6-D3 グリッド	坏(須恵)	①(13.2)②6.0 ⑥3.6	①粗 ②良好 ③灰10Y5/1 ④3/4	右回転ロクロ整形 外面底部回転糸切り無調整
111	E6-T20 グリッド	灯明皿 (土師)	①(8.8)②4.2 ⑥2.4	①雲母 長石 軽石 密 ②良 ③橙5Y R6/8 ④口縁1/4欠	90收分割3点に灯心による煤付着 外面左回転ロクロ整形 底部回転糸切り無調整 端部ヘラ整形 内面中心部に茎状痕あり 底面篦磨痕
112	F6-F20 グリッド	坏(須恵)	①(14.4)②8.0 ⑥4.1	①粗い ②良好 ③明青5P B7/1 ④2/3	左回転ロクロ整形 外面底部回転糸切り後外周をヘラ調整 暗褐色「メ」印あり
113	F7-G1 グリッド	埦(須恵)	①(20.0) ⑤(11.1)⑥4.5	①密 ②良好 ③赤灰 Hue6/1 ④3/4	広口高台 右回転ロクロ整形 比重大 外面回転糸切り後高台貼付 ロクロ調整 重ね痕
114	E3-P14グリッド	鎌(鉄製品)	⑦(10.5) ⑧1.2 ⑨0.5 ⑪20.21		細身 小振りな鎌
115	E6-P22グリッド	鋤(鉄製品)	⑦29.3 ⑧4.3 ⑨1.9 ⑪620		田越し用農具
116	F6-F20グリッド	刀子(鉄製品)	⑦(18.0) ⑧1.4 ⑨0.7 ⑪45.39		炭素を含む鍛造
117	F6-A11グリッド	鉄族(鉄製品)	⑦(11.2) ⑧0.9 ⑨0.9 ⑪24.36		炭素を含む鍛造
118	E3-I13グリッド	古銭			1039年初鋳 皇宋通寶
119	E6-T10グリッド	古 銭			
120	E6-V8グリッド	古 銭			寛永通寶
121	E6-V10グリッド	古 銭			寛永通寶
122	E6-M7グリッド	古 銭			2銭銅貨 明治10年
123	E6-U10グリッド	五輪塔	⑦(12.5) ⑪1310		赤城の火山岩 室町時代末期 空風輪の下部 柄の長さ5.3 柄の幅7.0
124	E6-U10グリッド	石 臼	⑧(27.0) ⑨6.9 ⑪1480		赤城火山岩 1/4残

水田址計測表

（　）は推定値・検出面積及び推定形状，N・S・E・Wは畦畔位置を示す

田面No.	面積（㎡）	東畦（m）	南畦（m）	西畦（m）	北畦（m）	形状	水口（か所）	備考
1	(32.82)	(13.4)	—	—	—	不明	—	—
2	(153.68)	(18.1)	(9.9)	(13.4)	—	(縦長方形)	—	南が大畦
3	(554.59)	18.9	28.5	(18.1)	(21.6)	(横長方形)	N＝1	南が大畦
4	(67.53)	(8.1)	(21.6)	(8.1)	—	不明	S＝1	—
5	(220.02)	27.2	9.9	(27.0)	—	(縦長方形)	E＝1	南が大畦
6	(193.13)	30.1	(13.1)	27.2	—	(三角形)	E＝2，W＝1	W-6より 取水
7	(383.77)	15.0	(14.1)	(32.0)	(29.9)	不定形	W＝2	W-6より 取水
8	(60.86)	(9.1)	(9.8)	—	(4.2)	不明	S＝1	—
9	(101.65)	20.1	4.9	(25.7)	—	不定形	E＝1	—
10	152.27	5.2	(25.6)	(9.1)	21.5	不定形	N＝1，S＝1	—
11	168.08	15.4	18.3	15.0	5.7	三角形	—	南が大畦
12	135.85	17.9	10.1	15.4	5.2	不定形	N＝1，E＝1	足跡有
13	(336.69)	15.0	11.0	25.0	(28.5)	不定形	S＝1，W＝1	—
14	(10.62)	—	(4.9)	(4.5)	—	不明	S＝2	—
15	(190.70)	(17.2)	8.0	14.0	(4.9)	不明	E＝2，W＝2	陥没水田
16	210.69	28.0	1.8	32.9	8.8	不定形	E＝4，W＝2	陥没水田・足跡
17	(249.94)	12.0	11.6	(17.2)	(22.0)	(台形)	S＝2，W＝2，E＝1	—
18	116.67	18.4	2.3	14.0	12.0	不定形	N＝2，S＝2	—
19	224.41	17.8	6.2	19.1	25.6	台形	S＝2，W＝2	陥没水田
20	69.78	16.4	15.0	8.9	—	三角形	N＝1，W＝2	南が大畦
21	156.38	15.1	8.9	10.2	20.1	不定形	N＝2	南が大畦
22	122.64	23.1	14.1	18.5	—	三角形	N＝1，S＝2，E＝1	南が大畦・足跡有
23	(73.81)	—	(1.6)	(39.0)	—	不明	W＝2	—
24	(7.20)	—	—	5.2	(1.6)	不明	—	—
25	(336.14)	23.2	(12.1)	—	(26.1)	不明	E＝1	北が大畦
26	(69.12)	(7.9)	—	—	(12.1)	不明	—	—
27	27.79	2.6	7.9	4.9	12.3	不定形	—	—
28	59.25	10.1	9.7	5.4	9.9	台形	W＝1	—
29	155.48	21.9	9.9	12.9	9.2	台形	—	北が大畦
30	17.73	13.1	2.3	13.1	4.1	不定形	—	北と東が大畦
31	75.00	20.8	3.1	17.9	8.8	台形	—	東が大畦
32	—	17.9	(8.7)	—	12.7	不明	—	—
33	—	14.1	10.9	—	(8.7)	不明	—	—
34	31.19	16.0	(3.8)	14.1	3.1	(縦長方形)	—	小区画・東が大畦
35	(12.67)	(4.0)	4.4	5.3	(3.8)	(台形)	—	小区画・東が大畦
36	42.00	5.3	8.1	4.1	10.9	(台形)	—	小区画
37	39.82	11.3	4.1	12.0	4.4	(縦長方形)	—	小区画・東が大畦
38	113.28	12.0	8.9	13.9	8.1	縦長方形	—	—
39	—	(9.9)	1.0	(10.6)	—	不明	—	—
40	—	(4.0)	(2.0)	—	—	不明	—	—
41	(9.34)	6.3	(1.4)	—	(2.0)	不明	—	—
42	(7.18)	(7.2)	—	—	(2.4)	不明	—	—
43	(91.20)	13.1	(7.0)	(9.1)	13.0	不定形	—	東が大畦
44	(28.93)	(13.9)	—	—	(7.0)	不明	—	東が大畦
45	(419.43)	(36.9)	4.9	41.7	10.2	不定形	—	北が大畦
46	(453.41)	(23.1)	22.0	(25.8)	(13.1)	不定形	E＝1	W-9に切られ、北が大畦
47	(278.52)	12.5	19.4	(16.1)	(22.1)	(横長方形)	S＝1	北が大畦
48	(208.14)	9.3	24.7	(11.1)	22.0	(横長方形)	—	W-9に切られる

（　）は推定値・検出面積及び推定形状，N・S・E・Wは畦畔位置を示す

田面No	面積(m²)	東畦(m)	南畦(m)	西畦(m)	北畦(m)	形状	水口(か所)	備考
49	(296.39)	(11.5)	26.0	(9.9)	29.6	(横長方形)	—	W-9に切られる
50	(385.77)	26.9	(16.1)	25.6	13.9	(縦長方形)	N＝1，S＝1，W＝1	—
51	95.08	15.1	6.8	14.9	5.5	縦長方形	E＝1	—
52	136.51	18.8	7.1	18.9	6.8	縦長方形	S＝1	—
53	125.68	18.1	4.0	18.9	7.1	不定形	N＝1	—
54	(188.53)	11.8	(20.0)	(10.3)	(16.1)	(横長方形)	N＝1，S＝1	—
55	(195.80)	(8.1)	43.3	8.1	26.0	(横長方形)	—	W-9に切られる
56	—	14.0	(26.1)	計	(63.3)	不明	N＝1	—
57	—	(18.9)	10.9	30.3	—	(縦長方形)	—	—
58	(32.12)	(2.3)	—	(1.5)	10.9	不明	—	—
59	—	(15.1)	—	(21.2)	—	不明	—	—
60	—	(11.1)	—	(15.1)	—	不明	—	—
61	(78.74)	(10.2)	—	(11.1)	(7.2)	不明	—	—
62	(83.24)	(12.3)	—	(10.2)	8.9	不定形	E＝1	—
63	—	(0.9)	—	(8.2)	(3.0)	不明	N＝1	—
64	—	(9.9)	(3.0)	4.1	14.0	不定形	W＝1	—
65	(3.01)	(0.8)	—	(0.9)	(3.3)	不明	—	—
66	—	—	—	0.8	—	不明	—	—
67	117.99	10.9	9.7	14.0	9.1	縦長方形	S＝1	—
68	120.19	—	17.8	10.9	17.1	不定形	S＝1	—
69	138.32	17.8	7.4	20.0	8.6	縦長方形	—	—
70	29.28	3.7	7.9	4.0	8.2	横長方形	N＝1，E＝1	小区画
71	56.53	7.1	7.2	9.3	7.9	菱形	S＝1	—
72	27.26	14.9	3.7	10.7	3.2	不定形	S＝2，W＝1	—
73	46.64	12.1	7.2	15.6	2.9	不定形	S＝1，E＝1，W＝2	—
74	20.94	9.8	—	6.4	7.2	三角形	N＝1，E＝1	小区画
75	46.72	13.9	6.9	4.5	7.2	不定形	N＝1，E＝1	—
76	122.62	24.9	9.8	9.8	11.1	台形	S＝2，W＝1	—
77	7.47	4.0	5.1	3.9	—	三角形		小区画
78	106.97	14.5	6.1	13.1	6.9	不定形	E＝1，W＝2	足跡有
79	(121.94)	—	(27.3)	6.1	20.9	不定形	S＝1，N＝1	足跡有
80	87.46	3.3	17.4	7.3	17.9	不定形	N＝1	足跡有
81	112.14	19.9	8.9	5.0	17.4	台形	S＝3，W＝1	—
82	100.21	9.5	10.4	13.8	8.9	不定形	N＝1	足跡方向性有
83	39.01	7.0	3.6	10.2	4.2	不定形	S＝2，W＝1	—
84	31.50	12.2	—	17.9	6.9	不定形	—	—
85	138.47	24.8	4.5	23.9	7.4	縦長方形	—	—
86	(33.23)	(8.0)	(4.6)	(8.1)	4.5	縦長方形	S＝1	—
87	(104.61)	(24.5)	(9.7)	(25.1)	—	(三角形)	—	—
88	(94.29)	24.9	(5.8)	(27.7)	3.6	平行四辺形	E＝1	—
89	(171.89)	20.8	(6.0)	24.9	10.9	不定形	N＝3，E＝1，W＝1	
90	(109.74)	24.0	(5.3)	22.3	1.1	不定形	W＝1	—
91	197.55	7.9	22.1	9.9	22.4	不定形	N＝2，S＝1	足跡方向性有
92	91.73	13.0	7.9	10.3	7.9	横長方形	N＝2，E＝1	—
93	148.76	9.1	17.9	6.9	29.8	不定形	N＝2，S＝2，W＝2	W-4より給水
94	107.78	6.8	18.9	5.4	17.9	不定形	N＝3，S＝1	足跡方向性有
95	87.60	12.3	9.1	10.0	6.8	不定形	N＝1，S＝1	—
96	162.69	5.9	28.2	8.5	28.0	不定形	N＝2，W＝1	足跡方向性有
97	(63.91)	16.3	—	(18.2)	(5.3)	不定形	E＝2	—

（　）は推定値・検出面積及び推定形状，N・S・E・Wは畦畔位置を示す

田面No	面積(m²)	東畦(m)	南畦(m)	西畦(m)	北畦(m)	形状	水口(か所)	備考
98	(65.65)	(7.9)	(9.0)	(8.0)	(9.4)	(方形)	—	—
99	(63.88)	(8.0)	8.1	(9.0)	(8.0)	(方形)	S＝1	—
100	(59.97)	(11.5)	(6.5)	(13.9)	(3.7)	不定形	—	—
101	—	(13.9)	—	(9.9)	(4.6)	不定形	—	—
102	(2.16)	(0.9)	—	—	(6.5)	不明	—	—
103	(44.64)	(9.9)	(6.0)	2.5	8.1	不定形	N＝1	—
104	(4.67)	—	—	(0.9)	(6.0)	不明	—	—
105	(69.88)	(10.3)	—	(9.9)	(9.0)	不定形	—	—
106	(100.51)	(5.0)	—	(5.1)	19.9	(横長方形)	N＝2	足跡方向性有
107	141.71	13.0	19.9	3.0	25.1	台形	N＝2S＝2E＝1W＝1	〃
108	157.54	7.6	25.1	5.2	28.2	台形	S＝2	〃
109	(0.81)	—	(1.0)	(4.3)	—	不明	—	—
110	(9.30)	—	(2.1)	(6.2)	(1.0)	不明	—	—
111	(6.99)	—	(2.7)	(3.3)	(2.1)	不明	—	—
112	(10.44)	—	—	(7.7)	(2.7)	不明	—	—
113	(45.06)	(12.0)	—	—	—	不明	—	—
114	(142.80)	(17.9)	—	(12.0)	—	(縦長方形)	—	南が大畦と思われる
115	(166.50)	(20.1)	11.0	(17.9)	—	(台形)	—	南が大畦
116	(104.97)	(22.0)	3.8	(20.1)	—	(縦長方形)	—	南が大畦
117	(108.83)	(21.9)	4.9	(22.0)	—	(縦長方形)	—	南が大畦
118	(101.20)	(23.9)	4.9	(21.9)	—	(縦長方形)	—	南が大畦
119	(75.53)	(23.3)	4.1	(23.9)	—	不定形	—	南が大畦
120	(34.41)	(17.2)	—	(15.0)	—	不明	—	—
121	(104.23)	(27.5)	4.1	(25.5)	—	平行四辺形	S＝1，E＝1	南が大畦
122	(100.70)	(28.1)	4.5	(27.5)	—	平行四辺形	E＝1，W＝1	南が大畦
123	(214.12)	(30.1)	7.2	(28.1)	—	平行四辺形	S＝1，W＝1	南が大畦
124	(161.02)	(32.1)	7.1	(30.1)	—	不定形	—	南が大畦
125	(3.73)	—	(6.0)	—	—	不明	—	—
126	(308.24)	(33.8)	11.2	(32.1)	(6.0)	不定形	E＝1	南が大畦
127	(4.24)	—	(9.0)	—	—	不明	—	—
128	(162.30)	(11.8)	13.8	(13.9)	(9.0)	不定形	S＝2	—
129	259.97	24.0	11.0	22.8	13.8	不定形	N＝2，W＝1	南が大畦
130	(177.14)	(11.2)	(11.9)	—	(12.9)	不定形	—	—
131	(98.60)	9.8	(9.1)	—	(11.9)	不明	—	—
132	(93.32)	18.0	(1.9)	—	(9.1)	不明	S＝1	—
133	(7.01)	(9.0)	—	—	(1.9)	不明	N＝1	—
134	123.68	5.4	22.0	(7.1)	21.9	横長方形	S＝1，E＝1	—
135	144.16	5.1	23.2	9.0	22.0	不定形	N＝1，S＝1	—
136	109.59	4.9	23.3	4.9	23.2	平行四辺形	N＝1，S＝2	—
137	224.80	10.0	24.3	10.9	23.3	不定形	N＝2，S＝2	—
138	122.52	6.9	24.0	4.9	24.3	台形	N＝2，S＝2	—
139	105.97	3.9	24.1	5.7	24.0	不定形	N＝2，S＝2	—
140	(155.41)	7.1	(23.1)	(5.1)	24.1	平行四辺形	N＝2，S＝1	—
141	(101.93)	4.2	(21.4)	—	(23.1)	不明	N＝1，S＝1	—
142	(182.60)	10.1	(19.8)	—	(21.4)	不明	N＝1，S＝1	足跡多数
143	(180.91)	12.6	(18.5)	—	(19.8)	不明	N＝1，S＝1，E＝1	足跡多数
144	(169.67)	10.0	(17.0)	—	(18.5)	不明	N＝1，S＝1，E＝	足跡多数
145	(221.49)	14.3	(17.2)	—	(17.0)	不明	N＝1，E＝1，	足跡多数
146	(137.39)	(6.9)	—	—	(17.2)	不明	—	足跡多数

（　）は推定値・検出面積及び推定形状，N・S・E・Wは畦畔位置を示す

田面No.	面積(㎡)	東畦(m)	南畦(m)	西畦(m)	北畦(m)	形状	水口(か所)	備考
147	246.19	13.0	22.0	10.9	24.1	台形	N＝2，E＝1，W＝1	北が大畦
148	142.37	6.7	19.9	7.9	22.0	不定形	S＝1	—
149	96.20	7.0	19.9	4.0	19.9	不定形	N＝1，S＝1	—
150	118.98	4.9	20.0	8.0	19.9	台形	N＝1，S＝1	—
151	143.47	6.1	20.0	7.9	20.0	横長方形	N＝1，S＝1	—
152	250.37	12.1	(20.9)	14.5	20.0	不定形	N＝1，S＝2	—
153	134.84	7.8	20.0	6.4	(20.9)	台形	N＝2，S＝1	足跡有
154	201.24	9.8	(19.9)	11.1	20.0	不定形	N＝1S＝1E＝1W＝1	足跡有
155	260.22	14.3	18.9	13.6	(19.9)	不定形	N＝1，S＝1，W＝1	足跡有
156	(330.02)	(17.3)	—	(17.6)	18.9	不明	N＝1，W＝1	足跡有
157	141.37	18.9	—	26.0	(11.8)	三角形	E＝1	足跡方向性有
158	189.91	27.4	10.2	(39.0)	7.3	不定形	S＝1，W＝1	北が大畦
159	(32.20)	(15.9)	2.3	(11.0)	—	不定形	—	—
160	(60.59)	(11.0)	7.4	10.7	5.7	不定形	—	—
161	182.94	22.9	8.5	23.7	7.4	縦長方形	—	—
162	68.19	22.5	3.4	22.9	4.0	縦長方形	N＝1	—
163	201.64	26.1	9.0	22.5	8.5	不定形	—	足跡多数
164	56.83	(4.9)	(12.0)	6.1	11.9	横長方形	—	足跡多数
165	(257.19)	(14.5)	(21.1)	10.3	(24.4)	不定形	S＝1，W＝1	足跡多数
166	(103.46)	(6.9)	15.2	8.5	(17.1)	不定形	N＝1，S＝2	足跡多数
167	(31.14)	(7.6)	(6.9)	6.1	—	不定形	—	—
168	(116.15)	(26.0)	—	(26.7)	2.3	不明	N＝1	足跡多数
169	(250.07)	(28.1)	—	(26.0)	11.0	不明	N＝1，E＝1	足跡多数
170	(189.40)	(27.0)	—	(28.1)	7.9	不定形	W＝1	足跡多数
171	(42.90)	—	(11.9)	(9.1)	—	不明	—	W-3に切られる
172	(59.10)	—	(13.9)	(9.9)	(11.9)	不明	—	W-3に切られる
173	(26.90)	—	—	—	(13.9)	不明	—	W-3に切られる
174	6.13	(4.1)	(3.1)	6.0	—	不定形	N＝1	W-10に切られる
175	9.35	—	(5.0)	3.0	(3.1)	不定形	S＝1	W-10に切られる
176	(111.12)	(16.0)	(7.9)	(18.5)	(5.0)	不定形	N＝1，S＝1	W-10に切られる
177	(33.62)	(3.0)	9.0	(4.9)	—	不明	S＝1	—
178	(7.98)	—	(2.2)	(4.9)	—	不明	—	—
179	88.65	11.8	8.1	11.1	9.0	不定形	N＝1，S＝1	—
180	(83.38)	—	—	9.9	(2.2)	不明	W＝1	—
181	(53.94)	18.8	(3.9)	18.8	(3.0)	不明	N＝1，S＝1	W-10に切られる
182	(52.71)	14.2	(4.8)	(14.5)	(3.9)	不明	N＝1S＝1E＝1	W-10に切られる
183	517.00	34.1	19.0	30.0	14.5	不定形	N＝2，S＝1	W-10に切られる
184	(130.03)	(21.5)	2.5	34.1	1.5	不定形	S＝1	—
185	(5.85)	—	(1.0)	(10.1)	—	不明	S＝1	—
186	(8.20)	31.9	—	—	(4.8)	不明	N＝1S＝1E＝1	W-10に切られる
187	776.10	42.7	24.1	31.9	12.9	不定形	N＝1S＝3E＝2W＝2	W-10に切られる
188	150.96	19.5	7.2	24.9	8.6	不定形	N＝1，S＝1，W＝2	—
189	(47.65)	—	(3.0)	21.5	(1.0)	不明	N＝1，S＝1	—
190	(25.73)	—	—	(20.8)	(3.0)	不明	N＝1	—
191	(160.86)	(20.2)	(5.9)	26.3	2.6	不定形	N＝1，W＝1	—
192	(10.62)	(5.9)	—	(1.6)	(2.7)	不明	—	—
193	(37.00)	(1.6)	—	(5.1)	24.1	不明	N＝3，W＝1	—
194	(88.46)	(20.2)	—	—	—	不定形	—	W-14に切られる
195	(116.21)	(22.0)	—	(20.2)	—	(縦長方形)	—	W-14に切られる

（　）は推定値・検出面積及び推定形状，N・S・E・Wは畦畔位置を示す

田面No.	面積 (m²)	東畦 (m)	南畦 (m)	西畦 (m)	北畦 (m)	形状	水口 (か所)	備考
196	(166.63)	(24.0)	8.9	(22.0)	—	(縦長方形)	—	東が大畦
197	(53.52)	(39.3)	—	—	8.9	(縦長方形)	—	W-14に切られる
198	(58.80)	(10.4)	(14.0)	—	—	不明	—	—
199	(538.04)	(23.8)	36.1	(3.1)	(14.0)	不定形	E＝1	
200	(549.90)	(22.3)	—	(32.0)	36.1	平行四辺形	—	W-14に切られる
201	(318.45)	(12.5)	(41.0)	(9.0)	—	不定形	E＝1	W-14に切られる
202	(132.03)	12.9	(13.0)	18.3	(39.3)	不明	—	—
203	—	—	—	(4.0)	(13.0)	不明	—	—
204	29.72	12.9	2.9	12.9	2.7	縦長方形	—	—
205	—	—	—	—	—	不明	—	—
206	(153.80)	(18.0)	9.8	(16.3)	—	(縦長方形)	S＝1，E＝1	—
207	120.82	13.9	8.8	13.9	9.8	縦長方形	N＝1，S＝1	—
208	(348.41)	(31.9)	11.8	(33.5)	—	(縦長方形)	W＝1	—
209	(36.72)	—	(5.0)	(9.2)	—	不明	S＝1	—
210	(86.90)	—	(7.7)	15.0	(5.0)	不明	N＝1	—
211	(47.56)	—	(9.2)	5.3	(7.7)	不明	S＝1	—
212	24.34	7.2	3.5	(7.2)	3.1	不定形	N＝1	小区画
213	35.05	8.0	4.0	7.2	5.7	台形	—	小区画
214	54.31	5.9	10.9	4.8	11.8	横長方形	S＝1	小区画
215	27.80	2.8	11.9	3.2	10.9	横長方形	N＝1	小区画
216	(94.32)	—	11.5	9.9	(9.2)	不明	N＝1，S＝1	—
217	(164.01)	(52.3)	3.5	(51.9)	3.5	縦長方形	W＝1	南が大畦
218	(176.93)	(50.5)	3.3	(52.3)	4.0	縦長方形	—	南が大畦
219	190.32	16.1	12.0	16.2	11.9	縦長方形	—	—
220	(436.83)	(35.2)	(13.9)	(34.3)	12.0	縦長方形	—	W-14に切られる
221	68.42	(22.5)	3.5	18.9	3.7	縦長方形	N＝1	—
222	37.35	12.2	3.2	12.4	3.5	縦長方形	S＝2	—
223	(51.00)	(13.2)	—	(18.8)	3.2	(縦長方形)	N＝2	W-14に切られる
224	(8.65)	—	(8.9)	—	(9.0)	不定形	—	W-14に切られる
225	(118.57)	—	(9.9)	12.9	7.8	不明	W＝1，S＝1	—
226	(180.60)	(11.9)	17.9	9.6	(9.9)	不定形	N＝1，S＝1，E＝1	—
227	(30.58)	—	(5.0)	(8.2)	—	不明	S＝1	—
228	296.88	17.5	16.9	18.1	17.9	台形	N＝1	—
229	(37.95)	—	(6.0)	6.9	(5.0)	不明	N＝1，S＝1，W＝1	—
230	(55.35)	—	(8.1)	8.0	(6.0)	不明	N＝1，S＝1	—
231	(42.08)	—	(4.9)	6.3	(8.1)	不明	N＝1，S＝1	—
232	(198.71)	10.8	(18.9)	(13.2)	16.9	不定形	E＝1	—
233	(18.56)	—	(3.5)	10.8	4.9	不明	N＝1，W＝1	—
234	(33.17)	1.4	(15.9)	—	(18.9)	不定形	—	W-14に切られる
235	(2.86)	—	(4.0)	1.4	(3.5)	不明	—	南が大畦
236	(127.08)	8.1	(10.7)	(14.0)	14.8	不定形	E＝1	北が大畦
237	(154.21)	(27.0)	(6.8)	(35.1)	(11.7)	不定形	W＝1	北が大畦
238	(399.40)	(37.2)	—	(25.0)	(10.7)	不定形	—	W-13に切られる
239	(100.34)	(15.8)	7.2	(10.2)	(11.0)	不定形	E＝1	W-13に切られる
240	(390.88)	(21.0)	(13.2)	(27.0)	(15.9)	不定形	E＝1	W-14に切られる
241	(93.80)	—	—	(21.0)	(4.0)	不明	W＝1	W-14に切られる
242	(184.64)	(18.8)	(16.1)	(15.8)	(9.0)	台形	W＝1	W-13に切られる
243	(70.51)	—	(3.2)	(18.8)	—	不明	—	W-14に切られる

畦畔断面計測表

単位：cm

No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ				No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
A-1	D2-J23	23	38	6	9	—	—	49	D3-O1	35	72	6	8	—	—
2	D2-K17・18	26	47	—	—	8	6	50	D3-O3	50	80	8	8	—	—
3	D2-O19	75	92	15	13	—	—	51	D3-O17	18	36	—	—	6	12
4	D2-O22	82	99	9	15	—	—	52	D3-O19	28	50	—	—	11	3
5	D2-O24	40	85	11	11	—	—	53	D3-O23	17	40	—	—	12	11
6	D2-P20・21	22	42	—	—	9	7	54	D3-O24	42	60	—	—	6	2
7	D2-Q23	28	42	—	—	4	11	55	D3-P9	60	96	9	2	—	—
8	D2-R22	28	46	3	5	—	—	56	D3-P11	80	106	6	4	—	—
9	D2-S・T16	28	65	4	7	—	—	57	D3-P13	43	64	2	7	—	—
10	D2-S18	29	40	—	—	4	7	58	D3-P14	20	60	10	8	—	—
11	D2-S20	32	54	—	—	7	4	59	D3-P15	38	60	6	7	—	—
12	D2-S22	30	55	—	—	9	13	60	D3-P17	62	90	9	7	—	—
13	D2-T20	30	60	5	5	—	—	61	D3-P・Q18	60	86	13	2	—	—
14	D2-U18	30	70	—	—	5	6	62	D3-P・Q21	50	78	8	8	—	—
15	D2-U22	22	53	—	—	7	7	63	D3-Q14・15	27	50	—	—	15	8
16	D2-U24	103	127	—	—	6	13	64	D3-Q19	45	115	15	12	—	—
17	D2-W24	50	65	8	6	—	—	65	D3-Q20	25	60	8	13	—	—
18	D2-X23	60	35	3	5	—	—	66	D3-R7	22	30	—	—	5	5
19	D3-F12	53	70	3	3	—	—	67	D3-R12	18	(60)	—	—	9	2
20	D3-F13	23	47	—	—	5	9	68	D3-R18	28	53	7	10	—	—
21	D3-G14	15	29	9	6	—	—	69	D3-R18・19	24	60	8	10	—	—
22	D3-H8①	38	43	2	5	—	—	70	D3-R20	28	50	12	17	—	—
23	D3-H8②	29	35	—	—	11	6	71	D3-R22	29	60	—	—	7	5
24	D3-H10	25	35	15	7	—	—	72	D3-S10	39	56	3	9	—	—
25	D3-H17	20	46	—	—	12	7	73	D3-S12	26	54	4	9	—	—
26	D3-H21	31	70	—	—	16	16	74	D3-S13	50	80	5	5	—	—
27	D3-I7	24	60	6	21	—	—	75	D3-S16	22	60	6	7	—	—
28	D3-J2	62	81	—	—	18	16	76	D3-S17	18	50	—	—	8	8
29	D3-J10	35	51	9	4	—	—	77	D3-S・T18	19	40	8	7	—	—
30	D3-J18	34	52	—	—	9	6	78	D3-S19	25	60	11	9	—	—
31	D3-J20	7	32	10	10	—	—	79	D3-S20	16	60	—	—	12	8
32	D3-J21	29	72	—	—	14	10	80	D3-S22	34	60	4	9	—	—
33	D3-K0	29	34	—	—	12	15	81	D3-T7	35	58	—	—	5	4
34	D3-K12①	20	42	13	2	—	—	82	D3-T15	(20)	(45)	—	—	12	—
35	D3-K12②	31	46	—	—	12	8	83	D3-T16	10	32	9	10	—	—
36	D3-K15	20	34	—	—	8	6	84	D3-T17	20	44	—	—	3	4
37	D3-L11	30	60	7	3	—	—	85	D3-T18	23	38	4	7	—	—
38	D3-L12	30	60	—	—	13	5	86	D3-T20	26	45	6	7	—	—
39	D3-L14	18	40	12	9	—	—	87	D3-T21①	21	43	6	6	—	—
40	D3-L17	18	32	—	—	8	9	88	D3-T21②	20	62	7	10	—	—
41	D3-L21	25	40	—	—	7	7	89	D3-T24	23	40	3	6	—	—
42	D3-M0	25	60	—	—	8	16	90	D3-U・V5	40	74	2	3	—	—
43	D3-M15	23	45	—	—	10	6	91	D3-U11	17	50	—	—	10	8
44	D3-N10	40	60	—	—	5	2	92	D3-U13	30	55	—	—	5	2
45	D3-N13	43	72	12	2	—	—	93	D3-U15	26	62	—	—	20	5
46	D3-N17	44	58	—	—	6	6	94	D3-U21	15	50	—	—	12	8
47	D3-N21	25	42	9	11	—	—	95	D3-U・V24	20	50	5	12	—	—
48	D3-N23	21	42	—	—	12	13	96	D3-V16	20	40	8	10	—	—

単位：cm

No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ				No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
97	D3-V17	34	46	—	—	4	7	146	E3-D11	15	36	4	6	—	—
98	D3-V19	25	60	10	9	—	—	147	E3-D13	30	60	—	—	6	3
99	D3-V22	15	33	9	9	—	—	148	E3-D17	20	50	—	—	4	4
100	D3-W8	26	43	—	—	9	6	149	E3-D19	10	50	—	—	14	6
101	D3-W12	5	46	5	11	—	—	150	E3-D23	—	—	—	—	9	—
102	D3-W13	20	55	—	—	3	4	151	E3-E2	31	53	3	13	—	—
103	D3-W15	15	58	—	—	18	8	152	E3-E16	30	60	3	2	—	—
104	D3-W17	30	43	6	6	—	—	153	E3-F1	36	55	—	—	8	2
105	D3-W18	29	51	—	—	8	5	154	E3-F2・3	87	107	—	—	4	12
106	D3-W20・X21	13	70	7	18	—	—	155	E3-F14	27	50	—	—	6	4
107	D3-X4	20	46	3	11	—	—	156	E3-F22	24	43	—	—	16	8
108	D3-X14	20	40	8	10	—	—	157	E3-F23	30	55	—	—	10	5
109	D3-X16	12	53	16	5	—	—	158	E3-G・H14	47	73	2	8	—	—
110	D3-X17	30	50	—	—	5	8	159	E3-G15	17	62	2	5	—	—
111	D3-Y0	35	55	—	—	9	6	160	E3-G20	12	50	—	—	13	7
112	D3-Y1①	123	134	—	—	3	11	161	E3-G24	14	70	—	—	15	12
113	D3-Y1②	37	55	2	3	—	—	162	E3-H11	30	80	9	12	—	—
114	D3-Y8	26	50	—	—	2	2	163	E3-H16	20	54	—	—	11	3
115	D3-Y12	34	60	—	—	3	11	164	E3-H18	27	47	—	—	18	8
116	D3-Y14	25	59	—	—	6	3	165	E3-H19	30	70	7	5	—	—
117	D3-Y17	20	33	4	2	—	—	166	E3-H・I21	20	70	—	—	2	11
118	D3-Y18	26	60	5	6	—	—	167	E3-H24	18	34	—	—	9	3
119	D3-Y24	10	45	8	6	—	—	168	E3-I1	36	49	4	4	—	—
120	D4-O1	18	58	3	4	—	—	169	E3-I12	28	60	—	—	7	9
121	D4-R0	22	45	7	8	—	—	170	E3-I17	21	70	—	—	4	4
122	D4-T・U0	14	40	9	11	—	—	171	E3-I19	18	60	7	11	—	—
123	D4-T2	20	38	9	8	—	—	172	E3-J1・2	85	110	—	—	8	9
124	D4-V0	21	42	—	—	5	9	173	E3-J10	22	37	—	—	10	7
125	D4-V2	14	40	9	10	—	—	174	E3-J12	18	47	—	—	11	10
126	D4-W0	11	40	7	8	—	—	175	E3-K6	31	50	—	—	9	4
127	D4-X2	16	60	10	13	—	—	176	E3-K8	26	41	—	—	9	8
128	D6-X20	30	46	—	—	10	7	177	E3-K24	25	43	7	6	—	—
129	D6-Y14	20	36	—	—	4	6	178	E3-L2	38	70	4	4	—	—
130	D6-Y15	21	48	—	—	10	11	179	E3-L4①	23	44	—	—	4	6
131	D6-Y17	13	28	—	—	13	7	180	E3-L4②	33	50	—	—	2	2
132	D6-Y21	20	46	9	10	—	—	181	E3-L18	30	55	—	—	8	11
133	E3-A12	20	43	5	11	—	—	182	E3-L22	25	60	—	—	10	7
134	E3-A16	20	44	—	—	7	4	183	E3-M14・15	16	50	—	—	8	12
135	E3-A22	41	70	8	7	—	—	184	E3-O7	20	42	—	—	4	5
136	E3-B12	15	40	—	—	12	9	185	E3-O9	22	42	—	—	10	9
137	E3-B・C14	10	45	6	10	—	—	186	E3-O11・12	26	50	—	—	10	5
138	E3-B17	20	50	—	—	8	5	187	E3-O13	26	47	—	—	5	4
139	E3-B22・23	—	—	—	—	8	—	188	E3-O16	23	52	—	—	10	6
140	E3-C15	20	70	—	—	3	4	189	E3-O16・17	50	63	—	—	6	2
141	E3-C17・18	16	40	—	—	7	5	190	E3-O19	20	35	—	—	9	10
142	E3-C21	40	120	—	—	14	5	191	E3-O23	22	35	—	—	9	8
143	E3-C23	20	60	7	7	—	—	192	E3-P18	22	39	—	—	12	8
144	E3-D1	17	60	—	—	4	6	193	E3-Q14	12	28	—	—	5	6
145	E3-D4	43	70	3	6	—	—	194	E3-Q16・17	30	80	—	—	6	6

単位：cm

No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ				No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
195	E3-R9	62	100	14	14	—	—	244	E4-W5	26	60	—	—	13	8
196	E3-R12	44	80	8	18	—	—	245	E4-W7	26	70	—	—	10	7
197	E3-R13	66	90	8	13	—	—	246	E4-X7	20	36	8	16	—	—
198	E3-R・S16	40	54	11	10	—	—	247	E4-X8①	—	—	—	—	8	—
199	E3-R17	25	55	—	—	11	8	248	E4-X8②	28	45	—	—	9	13
200	E3-R18・19	15	60	—	—	13	11	249	E4-Y2	15	50	3	10	—	—
201	E3-R22・23	20	63	—	—	11	9	250	E4-Y5	32	70	8	18	—	—
202	E3-S12	40	80	—	—	4	4	251	E6-B15	20	46	—	—	6	6
203	E3-S17	32	80	15	9	—	—	252	E6-B16	10	37	8	8	—	—
204	E3-S18	37	71	16	10	—	—	253	E6-B20	25	42	—	—	7	8
205	E3-S20	42	70	13	12	—	—	254	E6-C6	39	59	—	—	7	13
206	E3-S21	31	70	16	16	—	—	255	E6-C7	20	57	—	—	15	13
207	E3-S23	59	90	22	12	—	—	256	E6-C9	100	128	—	—	14	10
208	E3-S24	70	100	7	11	—	—	257	E6-C11	17	42	—	—	17	16
209	E3-T15	30	48	5	7	—	—	258	E6-C21	16	37	6	7	—	—
210	E3-T17	27	50	—	—	13	4	259	E6-D15	27	55	—	—	14	9
211	E3-T23	23	50	—	—	15	8	260	E6-D17	20	47	—	—	13	10
212	E3-U17・18	37	60	—	—	6	4	261	E6-D21	11	42	—	—	17	12
213	E3-V15	28	50	5	7	—	—	262	E6-E8・9	20	50	6	5	—	—
214	E3-V17・18	47	64	—	—	8	5	263	E6-E20	15	44	—	—	13	6
215	E3-V20	40	48	—	—	4	3	264	E6-E21	16	42	7	7	—	—
216	E3-W16	23	40	5	9	—	—	265	E6-F15①	20	48	10	8	—	—
217	E3-W17・18	30	70	—	—	5	4	266	E6-F15②	20	43	—	—	7	5
218	E3-W19	38	50	2	3	—	—	267	E6-F16	13	40	6	12	—	—
219	E3-X18	28	40	—	—	6	7	268	E6-F18	22	53	7	10	—	—
220	E3-X23①	26	60	—	—	11	8	269	E6-F20	20	38	—	—	16	9
221	E3-X23②	22	64	—	—	6	6	270	E6-G9	48	78	—	—	18	7
222	E3-Y12	22	37	—	—	5	3	271	E6-G15	10	57	—	—	15	5
223	E3-Y18	54	65	—	—	4	2	272	E6-G16	17	33	—	—	10	6
224	E3-Y20	30	60	8	4	—	—	273	E6-G17	18	47	—	—	8	8
225	E4-A0	16	40	—	—	4	2	274	E6-G18	16	38	4	10	—	—
226	E4-A2	16	29	6	9	—	—	275	E6-G20	8	41	—	—	12	10
227	E4-C2	15	38	9	9	—	—	276	E6-G22	20	47	10	13	—	—
228	E4-E1	17	42	5	12	—	—	277	E6-H15	10	50	4	7	—	—
229	E4-G2	15	70	12	18	—	—	278	E6-H16	16	40	3	5	—	—
230	E4-K0	17	42	9	12	—	—	279	E6-H17	23	40	—	—	12	7
231	E4-M0	20	50	—	—	14	7	280	E6-H18	16	38	8	11	—	—
232	E4-M7	30	80	8	9	—	—	281	E6-H20	10	38	—	—	12	7
233	E4-N2	18	40	5	9	—	—	282	E6-H21	14	36	—	—	12	10
234	E4-P0	20	60	—	—	17	7	283	E6-I20	14	39	—	—	13	8
235	E4-P7	30	62	8	9	—	—	284	E6-J12	23	44	—	—	9	10
236	E4-S1	82	110	22	12	—	—	285	E6-J15	35	44	—	—	9	8
237	E4-U0	18	51	—	—	16	8	286	E6-J17	20	42	—	—	13	6
238	E4-U5	21	50	—	—	12	10	287	E6-J・K22	17	50	9	12	—	—
239	E4-U6	21	60	8	13	—	—	288	E6-K16	30	52	—	—	12	6
240	E4-U7	21	37	—	—	7	7	289	E6-L10	20	59	—	—	9	7
241	E4-U8	22	60	—	—	3	11	290	E6-L20	22	36	—	—	12	9
242	E4-V8	30	60	3	11	—	—	291	E6-L21	18	35	—	—	11	10
243	E4-W0	35	60	—	—	6	3	292	E6-M17	21	41	—	—	12	9

単位：cm

No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ				No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
293	E6-M23	11	32	12	16	—	—	342	F3-C12	20	50	—	—	4	4
294	E6-N21	20	47	—	—	12	16	343	F3-C15	30	40	5	7	—	—
295	E6-O20	10	44	—	—	12	9	344	F3-C17①	37	56	—	—	5	5
296	E6-P10	38	75	—	—	8	9	345	F3-C17②	20	40	—	—	2	4
297	E6-P14	30	60	—	—	13	6	346	F3-C18	30	49	2	5	—	—
298	E6-P20	21	36	4	7	—	—	347	F3-C23	30	60	—	—	3	2
299	E6-Q15	29	59	—	—	10	8	348	F3-D12	30	55	—	—	7	2
300	E6-Q16	28	54	—	—	14	8	349	F3-D17・18	20	60	—	—	10	6
301	E6-Q20・21	20	40	—	—	19	9	350	F3-D20	15	40	2	10	—	—
302	E6-R20	20	44	—	—	5	4	351	F3-E12	25	60	—	—	7	5
303	E6-R23	20	47	10	13	—	—	352	F3-E15	16	30	7	6	—	—
304	E6-S14	10	40	—	—	13	6	353	F3-E17	28	40	—	—	9	6
305	E6-S20	24	49	—	—	10	9	354	F3-E23	39	50	—	—	5	5
306	E6-T14	20	39	—	—	6	4	355	F3-F15	15	42	9	11	—	—
307	E6-T22	27	47	7	8	—	—	356	F3-F23	40	61	—	—	4	4
308	E6-U15	48	96	13	13	—	—	357	F3-G17	30	50	—	—	3	4
309	E6-U16	32	75	8	10	—	—	358	F3-G21	34	53	8	10	—	—
310	E6-U17	62	89	16	14	—	—	359	F3-G22・23	47	70	—	—	5	6
311	E6-U18①	26	46	4	2	—	—	360	F3-G・H23	30	70	5	4	—	—
312	E6-U18②	21	50	4	8	—	—	361	F3-H17	40	60	—	—	7	6
313	E6-U19①	11	40	5	4	—	—	362	F3-H22・23	30	60	—	—	6	4
314	E6-U19②	24	44	5	10	—	—	363	F3-I15	20	38	9	5	—	—
315	E6-U22	20	46	6	6	—	—	364	F3-I20	30	50	—	—	5	6
316	E6-V18	18	46	—	—	11	8	365	F3-I22・23	30	60	—	—	5	4
317	E6-W18	20	46	5	3	—	—	366	F3-K16	20	60	5	7	—	—
318	E6-X15	—	—	—	—	8	—	367	F3-K17・18	29	39	—	—	6	4
319	E6-X16	—	—	8	—	—	—	368	F3-K22	34	62	3	6	—	—
320	E6-X19	20	63	—	—	11	5	369	F3-L22・23	30	70	—	—	5	4
321	E6-Y21	22	41	—	—	11	6	370	F3-L24	22	61	3	7	—	—
322	E7-L0	13	42	—	—	14	12	371	F3-M17	22	40	—	—	9	6
323	E7-M1	20	50	9	18	—	—	372	F3-N16	28	60	7	9	—	—
324	E7-N0①	20	47	—	—	15	6	373	F3-N17	30	51	—	—	5	6
325	E7-N0②	17	37	—	—	10	8	374	F3-N22	30	52	—	—	7	3
326	E7-O1	16	45	10	9	—	—	375	F3-O20	20	50	3	6	—	—
327	E7-P0	10	34	—	—	11	7	376	F3-P17	20	60	—	—	7	2
328	E7-Q0	16	38	—	—	13	8	377	F3-P23	40	70	—	—	4	2
329	E7-Q1	26	45	5	9	—	—	378	F3-Q15	42	60	4	5	—	—
330	E7-R0①	20	47	8	6	—	—	379	F3-R17	20	60	—	—	8	3
331	E7-R0②	19	33	—	—	10	8	380	F4-B8	21	37	—	—	12	8
332	E7-T0	22	55	—	—	16	9	381	F4-C0	25	55	—	—	4	2
333	E7-U0	40	56	5	3	—	—	382	F4-C1	18	50	—	—	3	4
334	E7-V0	40	73	6	6	—	—	383	F4-D4	10	50	—	—	11	10
335	E7-W0	27	49	—	—	11	7	384	F4-E4	24	60	10	13	—	—
336	F3-A15	28	50	2	4	—	—	385	F4-F0①	40	58	1	3	—	—
337	F3-A18	40	48	—	—	3	3	386	F4-F0②	20	50	4	2	—	—
338	F3-B12	30	55	—	—	4	4	387	F4-F2	14	33	3	10	—	—
339	F3-B15	42	50	2	3	—	—	388	F4-F5	22	45	—	—	11	8
340	F3-B21	20	50	6	4	—	—	389	F4-F9	22	46	—	—	9	11
341	F3-B23	10	40	—	—	7	2	390	F4-F10	25	50	—	—	7	4

単位：cm

No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ				No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
391	F4-G1	26	50	—	—	6	1	409	F4-P12	20	40	—	—	6	7
392	F4-G・H7	28	47	3	10	—	—	410	F4-Q3	33	52	—	—	5	14
393	F4-H4	20	55	2	10	—	—	411	F4-R5	23	60	8	9	—	—
394	F4-H5	20	40	—	—	13	6	412	F4-R7	20	50	6	6	—	—
395	F4-H8	24	50	6	12	—	—	413	F4-R9・10①	25	50	—	—	15	8
396	F4-H10	20	42	—	—	4	11	414	F4-R9・10②	43	78	—	—	13	10
397	F4-I5	19	30	—	—	8	7	415	F4-R10・11	15	40	—	—	9	8
398	F4-I10	20	40	—	—	8	10	416	F4-A16	15	39	—	—	5	6
399	F4-J0	28	47	3	9	—	—	417	F6-B・C20	36	69	—	—	17	7
400	F4-J8	25	42	—	—	5	8	418	F6-B・C22	18	63	13	11	—	—
401	F4-K2	10	50	3	2	—	—	419	F6-B24	26	41	8	11	—	—
402	F4-L1	28	56	2	10	—	—	420	F6-C・D21	16	30	8	11	—	—
403	F4-L2	30	49	3	10	—	—	421	F6-C23	20	40	—	—	11	14
404	F4-L11	20	40	6	8	—	—	422	F6-E20・21	44	67	—	—	15	5
405	F4-M9・10	24	41	—	—	8	9	423	F6-F21	35	78	14	6	—	—
406	F4-N1	32	45	—	—	5	5	424	F7-D0・1	27	50	—	—	20	9
407	F4-O9・10	13	40	—	—	10	10	425	F7-F・G0	70	186	13	8	—	—
408	F4-P4	20	40	—	—	6	6	426	F7-F1	110	206	16	13	—	—

土 坑 計 測 表

（ ）は推定値単位：m形状：①円形②楕円形③隅丸方形④隅丸長方形⑤不定形

No.	所在グリッド	長 径	短 径	深 さ	形状
D-1	E3-E4	0.35	0.34	0.18	①
2	E3-E5	0.29	0.27	0.17	①
3	E3-G3	0.40	0.37	0.40	①
4	E3-G4	0.43	0.41	0.24	①
5	E3-G3	0.29	0.27	0.18	②
6	E3-G4	0.25	0.22	0.13	②
7	E3-G4	0.28	0.26	0.17	①
8	E3-G4	0.19	0.17	0.14	②
9	欠番	—	—	—	—
10	E3-H3	0.25	0.20	0.17	②
11	E3-G・H3	0.37	0.34	0.21	⑤
12	E3-H3	0.23	0.22	0.12	①
13	E3-G4	0.27	0.26	0.19	①
14	E3-H4	0.39	0.30	0.29	②
15	E3-H2	0.27	0.24	0.35	②
16	E3-H3	0.20	0.20	0.14	①
17	E3-H3	0.23	0.20	0.08	②
18	E3-H3	0.27	0.27	0.08	①
19	E3-H3	0.33	0.30	0.26	②
20	E3-H3	0.35	0.31	0.20	②
21	E3-I2	0.33	0.27	0.13	②
22	E3-H3	0.25	0.20	0.20	②
23	E3-H4	0.24	0.22	0.13	①
24	E3-I3	0.28	0.27	0.20	①
25	E3-I3	0.65	0.56	0.26	②
26	E3-I3	0.28	0.22	0.22	②
27	E3-H・I3	0.33	0.29	0.12	②
28	E3-I3・4	0.32	0.29	0.23	②
29	E3-I4	0.25	0.24	0.11	①
30	E3-G・H4	0.33	0.27	0.23	②
31	E3-G・H4・5	0.35	0.28	0.36	②
32	E3-H4	0.23	0.21	0.11	②
33	E3-H4・5	0.34	0.32	0.13	②
34	E3-H4	0.34	0.28	0.23	②
35	E3-H5	0.32	0.29	0.16	②
36	E3-H5	0.27	0.22	0.25	②
37	E3-H5	0.28	0.23	0.36	②
38	E3-H・I4	0.30	0.25	0.12	②
39	E3-I4	0.27	0.25	0.22	②
40	E3-I4	0.23	0.21	0.20	②
41	E3-I4	0.27	0.23	0.21	②
42	E3-I4	0.38	0.33	0.41	②
43	E3-I4	0.38	0.29	0.40	②
44	E3-I4・5	0.30	0.27	0.14	②
45	E3-I5	0.34	0.30	0.23	②
46	E3-J3・4	0.25	0.24	0.10	①
47	E3-K4	0.39	0.32	0.07	②
48	E3-K3・4	0.27	0.24	0.30	②
49	E3-J2	0.22	0.18	0.12	②
50	E3-I10	0.27	0.25	0.32	②
51	E3-I11	0.41	0.28	0.21	②
52	E3-I11	0.33	0.25	0.16	②
53	E3-I11	0.26	0.23	0.15	②
54	E3-H・I11・12	0.31	0.27	0.16	②
55	E3-I12	0.25	0.25	0.08	①
56	E3-I12	0.32	0.23	0.23	②
57	E3-I10	0.29	0.22	0.15	②
58	E3-I11	0.44	0.38	0.05	②
59	E3-I12	0.35	0.30	0.30	②
60	E3-J11	0.36	0.29	0.28	②
61	E3-J11	0.26	0.23	0.16	②
62	E3-J11	0.43	0.35	0.22	②
63	E3-J11	0.21	0.17	0.21	②
64	E3-J11	0.24	0.19	0.17	②
65	E3-J11	0.24	0.22	0.16	②
66	E3-J12	0.26	0.23	0.16	②
67	E3-K11	0.25	0.20	0.17	②
68	E3-K11	0.28	0.21	0.15	②
69	E3-K11	0.28	0.26	0.22	②
70	E3-K11	0.23	0.18	0.14	②
71	E3-K12	0.30	0.25	0.16	②
72	E3-J12	0.21	0.21	0.13	①
73	E3-J12	0.35	0.32	0.17	②
74	E3-J12	0.25	0.23	0.22	②
75	E3-K12	0.31	0.26	0.31	②
76	E3-K12	0.39	0.34	0.08	②
77	E3-K12	0.36	0.24	0.11	②
78	E3-H13	0.32	0.27	0.20	②
79	E3-H13	0.25	0.23	0.14	②
80	E3-H14	0.28	0.28	0.16	①
81	E3-H14	0.35	0.29	0.15	②
82	E3-I13	0.33	0.31	0.25	②
83	E3-I13	0.32	0.22	0.15	②
84	E3-H14	0.37	0.25	0.23	②
85	E3-H14	0.22	0.18	0.17	②
86	E3-I14	0.27	0.26	0.19	②
87	E3-I14	0.31	0.28	0.20	②
88	E3-H13	0.30	0.27	0.18	②
89	E3-G11	0.37	0.30	0.22	②
90	E3-G11	0.23	0.23	0.17	①
91	E3-G11	0.30	0.26	0.23	②
92	E3-G12	0.33	0.27	0.20	②
93	E3-H11	0.35	0.33	0.21	②
94	E3-I10	0.46	0.45	0.12	①
95	E3-H12	0.31	0.25	0.19	②
96	E3-H11	0.28	0.27	0.14	②
97	E3-G4	0.27	0.26	0.23	①
98	E3-N10	0.19	0.17	0.07	②

（　）は推定値単位：m形状：①円形②楕円形③隅丸方形④隅丸長方形⑤不定形

No.	所在グリッド	長径	短径	深さ	形状
99	E3-N10	0.18	0.15	0.04	②
100	E3-N10	0.20	0.19	0.14	②
101	E3-N11	0.33	0.18	0.06	②
102	E3-N10	0.16	0.14	0.06	②
103	E3-O10	0.32	0.17	0.03	②
104	E3-O10	0.22	0.21	0.08	①
105	E3-N・O11	0.40	0.17	0.05	⑤
106	E3-O・P7	0.29	0.23	0.08	②
107	E3-P6	0.25	0.19	0.12	②
108	E3-Q9	0.45	0.32	0.09	⑤
109	E3-Q9	0.25	0.23	0.07	①
110	E3-R10・11	0.25	0.22	0.05	②
111	E3-S9	0.23	0.20	0.15	②
112	E3-S10	0.22	0.20	0.22	③
113	E3-S11	0.28	0.22	0.33	②
114	E3-S11	0.20	0.21	0.15	②
115	E3-S11	0.23	0.23	0.08	①
116	E3-S10	0.33	0.27	0.10	②
117	E3-U10・11	0.35	0.22	0.06	②
118	E3-U11	0.29	0.24	0.18	①
119	E3-U11	0.34	0.33	0.07	①
120	E3-U11	0.29	0.25	0.15	②
121	E3-U11	0.35	0.29	0.34	②
122	E3-U11	0.35	0.30	0.17	②
123	E3-U・V9・10	0.85	0.59	0.12	⑤
124	E3-U・V10	0.28	0.24	0.13	②
125	E3-V10	0.19	0.19	0.14	①
126	E3-V10	0.23	0.19	0.06	②
127	E3-V10・11	0.45	0.35	0.12	②
128	E3-V9・10	0.35	0.32	0.21	②
129	E3-V10	0.25	0.24	0.11	②
130	E3-V10	0.28	0.23	0.07	②
131	E3-V10	0.35	0.30	0.19	②
132	E3-V11	0.23	0.19	0.15	②
133	E3-V11	0.21	0.14	0.09	④
134	E3-V11	0.30	0.28	0.08	②
135	E3-V11	0.19	0.19	0.13	①
136	E3-V11	0.35	0.35	0.22	①
137	E3-V11	0.35	0.29	0.16	②
138	E3-V11	0.23	0.22	0.15	②
139	E3-V11	0.18	0.17	0.06	①
140	E3-V10	0.20	0.18	0.10	⑤
141	E3-V10	0.25	0.19	0.04	②
142	E3-V11	0.32	0.30	0.12	②
143	E3-V11	0.28	0.26	0.13	②
144	E3-V11	0.23	0.23	0.15	①
145	E3-V11	0.18	0.18	0.08	①
146	E3-V11	0.33	0.24	0.12	⑤
147	E3-V11	0.22	0.18	0.09	⑤
148	E3-V11	0.26	0.24	0.06	②
149	E3-V11	0.38	0.22	0.11	②
150	E3-V11	0.29	0.24	0.13	②
151	E3-V11	0.25	0.22	0.11	②
152	E3-V11	0.36	0.33	0.16	②
153	E3-V11	0.34	0.29	0.14	②
154	E3-V11	0.37	0.34	0.13	②
155	E3-V11	0.24	0.20	0.12	②
156	E3-W9・10	0.24	0.23	0.04	②
157	E3-W10	0.35	0.31	0.14	②
158	E3-W10	0.25	0.24	0.09	②
159	E3-V10	0.30	0.27	0.31	②
160	E3-W10	0.22	0.22	0.12	①
161	E3-W10	0.31	0.24	0.02	②
162	E3-W10	0.22	0.14	0.07	②
163	E3-V10	0.28	0.25	0.14	②
164	E3-V10	0.30	0.28	0.19	①
165	E3-V・W11	0.31	0.27	0.24	②
166	E3-V・W11	0.40	0.38	0.25	②
167	E3-W11	0.41	0.40	0.15	①
168	E3-V12	0.41	0.38	0.16	②
169	E3-V11	0.31	0.26	0.09	②
170	E3-V・W11・12	0.41	0.35	0.11	②
171	E3-W10	0.27	0.25	0.18	②
172	E3-W10・11	0.33	0.25	0.06	②
173	E3-V・W10	0.50	0.42	0.10	②
174	E3-W11	0.20	0.19	0.20	①
175	E3-W11	0.25	0.23	0.08	②
176	E3-W11	0.21	0.19	0.13	②
177	E3-W11	0.25	0.24	0.09	②
178	E3-W11	0.21	0.19	0.04	③
179	E3-W11	0.37	0.24	0.06	②
180	E3-W12	0.40	0.34	0.03	②
181	E3-W11	0.20	0.20	0.07	①
182	E3-W11	0.19	0.18	0.14	①
183	E3-W11	0.35	0.30	0.14	②
184	E3-W12	0.23	0.15	0.06	⑤
185	E3-T12	0.32	0.25	0.09	②
186	E3-T12	0.27	0.26	0.06	②
187	E3-T12	0.25	0.23	0.12	⑤
188	E3-T13	(0.58)	0.44	0.11	②
189	E3-T13	0.37	0.20	0.23	⑤
190	E3-T13	0.27	0.26	0.30	②
191	E3-T13	0.30	0.26	0.30	②
192	E3-T13	0.29	0.27	0.06	②
193	E3-S14	0.34	0.32	0.19	②
194	E3-T14	(0.31)	0.29	0.27	②
195	E3-T14	(0.40)	0.20	0.10	⑤
196	E3-T14	0.31	0.21	0.12	②
197	E3-T14	0.29	0.26	0.12	②
198	E3-T14	0.64	0.44	0.21	②

（　）は推定値単位：m形状：①円形②楕円形③隅丸方形④隅丸長方形⑤不定形

No.	所在グリッド	長径	短径	深さ	形状
199a	E3-T15	0.34	0.28	0.06	⑤
199b	E3-T15	(0.35)	0.20	0.19	②
200	E3-U13	0.28	0.26	0.14	②
201	E3-U13	0.23	0.22	0.09	①
202	E3-U13	0.30	0.26	0.24	②
203	E3-U13	0.23	0.18	0.19	②
204	E3-U13	0.26	0.23	0.12	②
205	E3-U13	0.29	0.23	0.10	②
206	E3-U13	0.20	0.18	0.07	②
207	E3-U13	0.28	0.24	0.16	②
208	E3-U13	0.32	0.25	0.24	②
209	E3-U14	0.29	0.27	0.27	②
210	E3-U14	0.28	0.22	0.13	②
211	E3-U12	0.29	0.26	0.09	②
212	E3-U12	0.23	0.20	0.13	②
213	E3-U12	0.23	0.20	0.14	②
214	E3-U12	0.26	(0.25)	0.15	②
215	E3-U12	0.22	(0.18)	0.14	②
216	E3-U12	0.23	0.20	0.09	②
217	E3-U12	0.26	0.22	0.10	②
218	E3-U12	0.24	0.21	0.14	②
219	E3-U12	0.30	0.24	0.06	②
220	E3-U12	0.21	0.20	0.08	①
221	E3-U12	0.22	0.20	0.13	②
222	E3-U12	0.21	0.18	0.08	②
223	E3-U12	0.34	0.31	0.12	②
224	E3-U12	0.25	0.24	0.14	①
225	E3-U12	0.28	0.23	0.05	②
226	E3-U12	0.18	0.15	0.04	②
227	E3-U12	0.22	0.21	0.10	①
228	E3-U12	0.28	0.27	0.10	②
229	E3-U・V12	0.40	0.39	0.10	①
230	E3-V12	0.25	0.21	0.12	②
231	E3-V12	0.27	0.26	0.09	②
232	E3-V12	0.23	0.22	0.12	②
233	E3-V12	0.20	0.19	0.10	②
234	E3-V12	0.23	0.21	0.07	②
235	E3-V12	0.24	0.22	0.08	②
236	E3-V12	0.20	0.20	0.08	①
237	E3-V12	0.15	0.15	0.10	①
238	E3-V12	0.26	0.22	0.14	②
239	E3-V13	0.37	0.25	0.32	⑤
240	E3-U・V13	0.30	0.28	0.19	②
241	E3-V13	0.31	0.26	0.23	②
242	E3-U・V14	0.24	0.22	0.11	②
243	E3-V14	0.26	0.23	0.14	②
244	E3-V14	0.49	0.49	0.04	①
245	E3-T15	0.40	0.32	0.40	②
246	E3-T15	0.45	0.27	0.19	⑤
247	E3-U15	0.60	0.57	0.09	②
248	E3-S13	0.25	0.21	0.13	②
249	E3-S14	0.28	0.25	0.06	②
250	E3-S14	0.34	0.28	0.34	②
251	E3-S14	0.33	0.29	0.09	②
252	E3-S14	0.30	0.27	0.07	②
253	E3-S14・15	0.48	0.35	0.18	②
254	E3-S15	0.32	0.26	0.17	②
255	E3-S15	0.48	0.30	0.16	②
256	E3-T14	0.29	0.27	0.15	②
257	E3-T15	0.28	0.27	0.13	①
258	E3-T15	0.32	0.30	0.29	②
259	E3-T15	0.33	0.30	0.13	②
260	E3-S15	0.26	0.24	0.20	②
261	E3-T15	0.22	0.21	0.10	①
262	E3-T15	0.27	0.25	0.21	②
263	E3-S・T15	0.25	0.24	0.18	①
264	E3-T16	0.29	0.27	0.14	②
265	E3-S15	0.23	0.21	0.11	②
266	E3-T14	0.30	0.24	0.11	②
267	E3-T14・15	0.26	0.22	0.10	②
268	E3-T15	0.24	0.21	0.11	②
269	E3-T15	0.32	0.30	0.12	②
270	E3-F・G12	0.30	0.25	0.21	②
271	F3-G12	0.19	0.18	0.22	②
272	F3-G13	0.33	0.26	0.25	⑤
273	F3-G13	0.23	0.22	0.30	②
274	F3-G13	0.30	0.23	0.24	②
275	F3-F15	0.27	0.15	0.26	⑤
276	F3-F15	0.29	0.22	0.15	⑤
277	F3-F15	0.29	0.26	0.15	⑤
278	F3-F15・16	0.24	0.21	0.23	②
279	F3-G13	0.28	0.27	0.25	②
280	F3-G13	0.27	0.25	0.24	②
281	E3-T15	0.40	0.25	0.09	②
282	E3-T13	0.25	0.23	0.36	②
283	E3-T14	0.27	0.22	0.11	②
284	E3-T14	0.25	0.24	0.10	②
285	E3-U15	0.35	0.32	0.14	②
286	E3-U12	0.30	0.27	0.16	⑤
287	E3-T13	0.40	0.26	0.11	②
288	E3-T・U13	0.18	(0.18)	0.07	⑤
289	E3-T・U13	0.26	(0.20)	0.07	⑤
290	E3-U12・13	0.24	0.23	0.16	②
291	E3-U12	0.46	0.21	0.13	⑤
292	E3-U12	0.30	0.28	0.05	②
293	E3-U12・13	0.34	0.30	0.08	②
294	E3-V14	0.28	0.24	0.09	②
295	E3-T14	0.41	0.27	0.34	⑤
296	E3-T14	0.19	0.17	0.11	②
297	E3-T14	0.29	0.28	0.31	①

（　）は推定値単位：m形状：①円形②楕円形③隅丸方形④隅丸長方形⑤不定形

No.	所在グリッド	長径	短径	深さ	形状
298	E3-U14	0.33	0.29	0.05	②
299	E3-T14	0.25	0.21	0.08	②
300	E3-U14	0.25	0.24	0.15	①
301	E3-U12	0.20	0.20	0.06	①
302	E3-U12	0.36	0.34	0.10	⑤
303	E3-U13	0.39	0.37	0.16	②
304	F3-G12	0.30	0.22	0.50	⑤
305	F3-F15	0.20	0.15	0.25	④
306	F3-G15	0.21	0.17	0.19	②
307	D3-X・Y4	0.97	0.90	0.07	②
308	D3-X・Y5	1.06	0.97	0.09	②
309	D3-Y6	1.06	1.00	0.16	②
310	D3-B5	1.05	1.02	0.10	②
311	D3-B6	0.77	0.76	0.15	③
312	E3-K・L9	1.07	1.07	0.22	①
313	E3-I15	0.97	0.92	0.26	①
314	E3-G12	0.95	0.78	0.07	②
315	E3-O9・10	0.92	0.90	0.11	②
316	E3-M12	0.65	0.52	0.04	②
317	E3-T13	0.92	0.84	0.10	②
318	E3-U12・13	1.13	1.09	0.16	②
319	E3-U13	0.70	0.68	0.07	②
320	E3-V13	0.83	0.83	0.05	①
321	E3-V12・13	1.24	1.10	0.15	③
322	E3-V・W12	1.06	0.98	0.38	②
323	E3-V13	1.09	1.08	0.60	②
324	E3-V13	0.93	0.87	0.33	②
325	E3-V14	1.02	0.92	0.09	③
326	E3-V14	0.86	0.80	0.60	②
327	E3-W13	1.08	0.93	0.45	③
328	E3-V・W13	1.04	(0.92)	0.31	③
329	E3-V・W12・13	0.92	0.86	0.24	③
330	E3-V・W12・13	1.12	(0.97)	0.47	②

No.	所在グリッド	長径	短径	深さ	形状
331	E3-W13	1.07	1.01	0.30	②
332	E3-W13	0.65	0.64	0.35	①
333	E3-X13	0.97	0.95	0.15	②
334	E3-W・X14・15	1.02	0.95	0.31	②
335	E3-X14	0.94	0.88	0.10	②
336	E3-W14	0.45	0.42	0.27	②
337	E3-W14	0.82	0.79	0.15	①
338	E3-X12	0.93	0.89	0.30	②
339	E3-X12・13	1.18	1.13	0.30	②
340	E3-W11・12	1.10	1.07	0.11	③
341	E3-X11	1.10	1.07	0.36	②
342	E3-X11	1.03	0.99	0.28	②
343	E3-Y10・11	1.09	1.00	0.31	②
344	E3-Y11	1.01	(0.94)	0.30	②
345	E3-Y10・11	1.05	1.00	0.37	②
346	F3-B11	1.11	1.06	0.17	②
347	F3-C11	1.09	1.03	0.20	②
348	F3-A14	0.93	0.87	0.16	②
349	F3-B14	0.99	0.89	0.20	②
350	F3-C12	(0.87)	0.80	0.07	②
351	F3-D12	1.00	0.96	0.12	②
352	F3-E13	1.11	1.07	0.08	②
353	F3-E13・14	(0.82)	(0.80)	0.16	②
354	F3-E・F13	0.96	0.94	0.15	②
355	F3-D14	0.74	0.69	0.04	②
356	F3-D15	0.86	0.71	0.07	②
357	E3-Y16	0.73	0.69	0.36	②
358	F3-E15	0.89	0.89	0.08	①
359	F3-G16	0.99	0.91	0.64	②
360	F3-G17	1.21	1.18	0.21	②
361	F3-J17	1.10	0.99	0.10	②
362	E3-S12	1.55	1.22	0.65	③
363	E3-U・V14	0.90	0.88	0.13	①

注：D－79・80・82・84・86・88・99・100・101・103・105・270・271・272・273・274・275・276・277・278・279・280・304・305・306は、掘立柱遺構（B－1～4）を構成する柱穴列となる。

溝・水路計測表

注：（ ）は推定値、N．S．W．Eは方向を示す

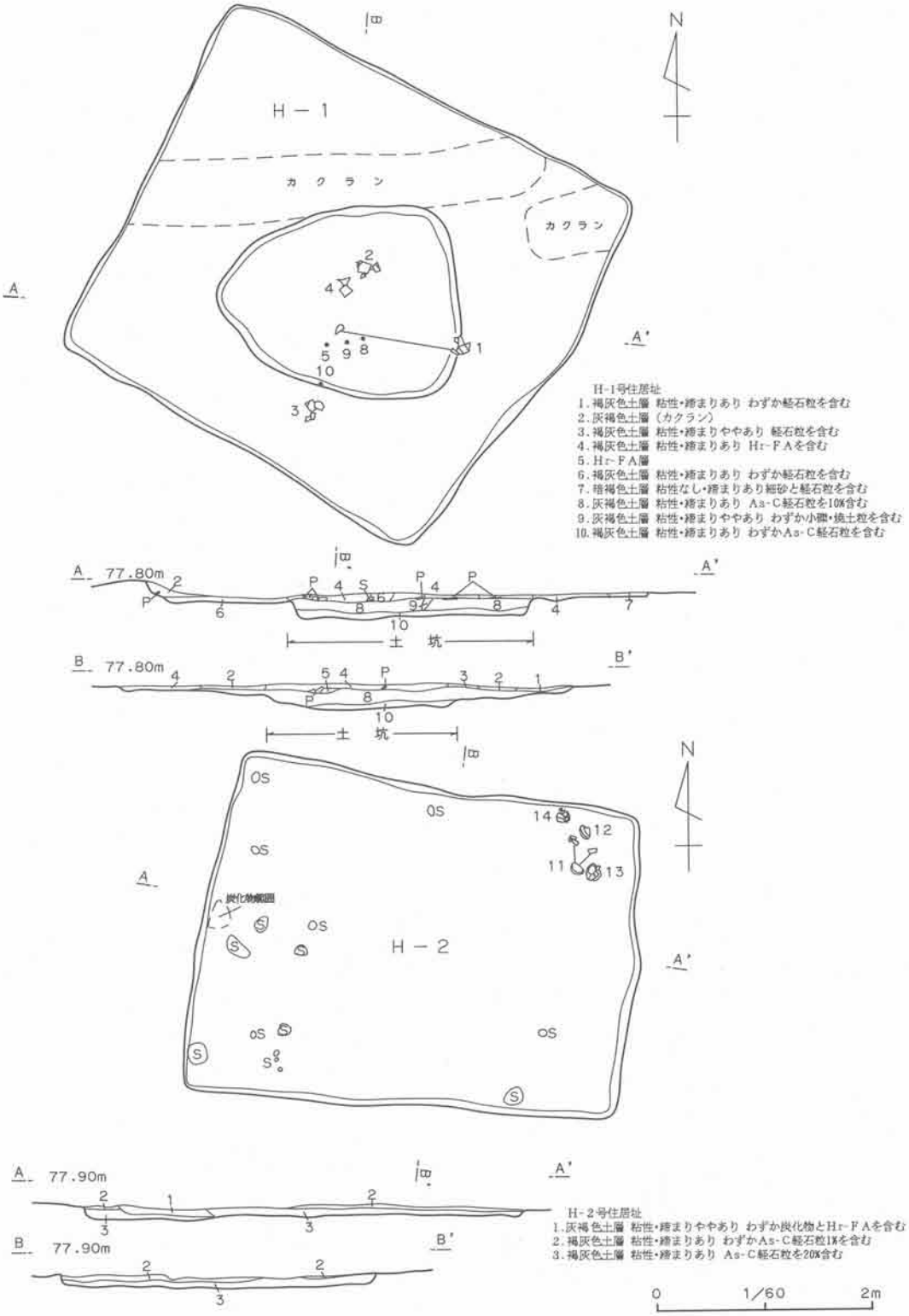
No.	長さ (m)	深さ (cm)	底のレベル (m)	溝勾配 (%)	溝幅 (cm)	水流方向	溝の位置 (グリッド)	堆積土層 (注記No.)	備考
W-1	(40.0)	W 94 E 106	W76.42 E76.39	(9.25)	上326～543 下224～310	N→S	D3-D・E18 ～D4-M24	③⑬	中原IIのW－31と同じ溝水田に伴う
2	46.0	W 42 E 38	W76.89 E77.00	3.26	上150～235 下 54～ 74	N→S	D4－U3・ 4～E4-H4	③⑬	水田に伴う溝水田と同時期に使用されていたと思われる
3	61.9	W125 E124	W75.99 E75.86	2.91	上432～720 下182～484	N→S	D4－B5・ 6～E4-S8	⑥⑨	近世の遺物を検出した（1区と2区にまたがる）
4	7.3	N 33 S 31	N77.28 S77.27	－	上 86～106 下 50～95	W→E	D3-X18 ～20	⑫	水口から水を取り入れ一時的に水をためて水量を調節する施設か水路の勾配は東から西へ6.38である
5	17.2	N 9 S 7	N77.29 S77.22	10.20	上120～174 下 94～162	W→E	D3-Q23 ～D4-Q2	⑫	W－2へと合流する排水路と思われる
6	30.9	W 22 E 23	W77.78 E77.78	3.23	上105～142 下 43～ 70	N→S	D3-H・13～ D3-O5・6	⑫	中原IIのW－32と同じ溝水田に伴う
7	(12.9)	N 25 S 23	N77.37 S77.37	(5.43)	上 50～130 下 22～ 75	W→E	D2-U16 ～D2-V19	⑫	中原IIのW－37と同じ溝東側不明
8	(28.8)	W 22 E 21	W77.40 E77.43	(5.00)	上 59～106 下 40～ 77	N→S	E2-C23～ E3-H0	⑨⑪	中原IIのW－38と同じ溝北側不明
9	(51.1)	W 6 E 5	W77.92 E77.90	(3.13)	上 56～ 76 下 51～ 72	N→S	D3-Q4～ E3-D7	⑨	46・48・49・55号水田と畦畔を切っている
10	112.7	W 50 E 43	W76.32 E76.28	1.49	上138～277 下 48～ 92	N→S	E4－P4・ 5～F4-R3	⑤⑩	W-3とほぼ同時期に使用されていたと思われるW-3より分流されている E4-Y3・4グリッド付近より北側に4.87で下がている
11	121.7	W 44 E 37	W76.53 E76.62	2.22	上 70～163 下 20～ 90	N→S	E4-J4～F4 -X03	①②	W－2と同じ溝で水田に伴うもの
12	6.8	W 14 E 11	W76.74 E76.84	33.63	上 64～102 下 38～66	N→S	E4-R・S4	⑫	W－11と同時期に使用されてW－11より分流され東側の水田に水を供給していたものと思われる
13	153.2	W 72 E 73	W76.06 E76.06	2.68	上295～519 下 80～150	N→S	E6-F・G4 ～F7-H0	②⑥⑮	W－15を切っている近世の溝と思われる水田・畦畔を切っている
14	149.4	W 16 E 14	W76.60 E76.66	3.21	上173～288 下 46～112	N→S	E6-A・B4～ F7-B・C1・2	⑥⑨	水田・畦畔を切っている東側で二股に分かれる
15	28.8	W 40 E 26	W76.23 E76.21	7.82	上118～184 下 18～ 59	N→S	E6－N7・ 8～E6-U8	②⑭	水田・畦畔を切っているW－18を切っている
16	64.0	W 48 E 44	W76.11 E76.12	4.46	上105～264 下 30～ 77	N→S	E6-P5～ F6-F11	③⑥⑦	南側でW－22に切られ不明H－11・12・14号住居址を切っている
17	57.4	W 32 E 32	W76.27 E76.29	1.25	上83～143 下 43～100	N→S	E6-W9 ～F6-J13	②⑧⑭	H－12号住居址を切っている
18	20.8	W 8 E 9	W76.70 E76.71	2.40	上 44～ 84 下 14～ 36	N→S	E6-M5～E 6-R7	①⑥⑮	水田面を掘り込んでいるW－19に切られている
19	9.2	N 9 S 9	N76.62 S76.63	4.89	上 43～ 75 下 24～ 37	W→E	E6-N5～E 6-O・P7・8	②⑥	W－18を切りW－15に切られている
20	22.9	W 11 E 12	W76.64 E76.64	2.18	上 59～130 下 24～ 92	N→S	E6-N5～E 6-T8	②⑥⑪	W－24と重複し一旦分流し再度重複している
21	2.8	N 30 S 29	N76.39 S76.39	7.14	上 63～ 84 下 31～ 34	W→E	E6-U6～E 6-T・U7	③⑥⑨⑭	大部分が調査区外W－16に切られている
22	45.6	W 22 E 22	W76.35 E76.34	3.07	上 54～ 75 下 26～ 50	N→S	F6－A7・ 8～F6-J13	④⑥⑨	W－16を切り最南でW－17と重複している
23	(15.7)	W 17 E 16	W76.48 E76.48	(15.70)	上 43～ 80 下 26～ 42	N→S	F6-B8～F 6-F9	③⑥	H－15号住居址に切られている
24	19.1	W 15 E 10	W76.63 E76.70	3.14	上 72～114 下 42～ 66	N→S	E6-O5～E 6-S8	②⑥⑪	W－20と重複しているW－16へと注ぐ

（溝・水路計測表　堆積土層ナンバー）

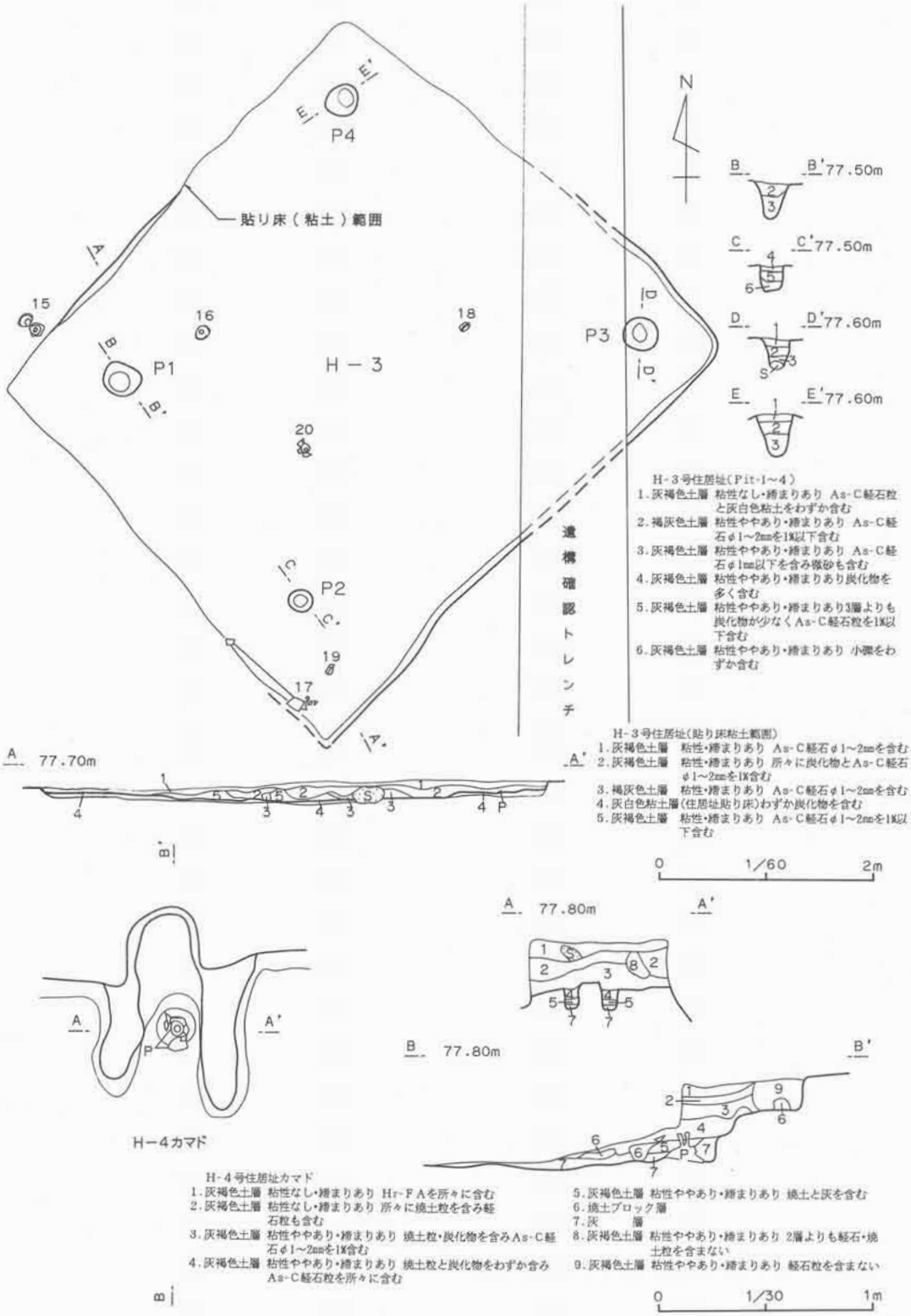
① 灰色細砂層
② 灰色細砂粗砂層
③ 灰色細砂粗砂層　Hr－FP を含む
④ 褐色土層　細砂・軽石粒を含む
⑤ 灰褐色土層　細砂・軽石粒とブロックの As－B を含む
⑥ 灰褐色土層　細砂・Hr－FP を含む
⑦ 灰褐色土層　Hr－FP と As－C を1％含む
⑧ 灰褐色微砂層　軽石粒を含む
⑨ 灰褐色細砂層　Hr－FP を含む

凡　例

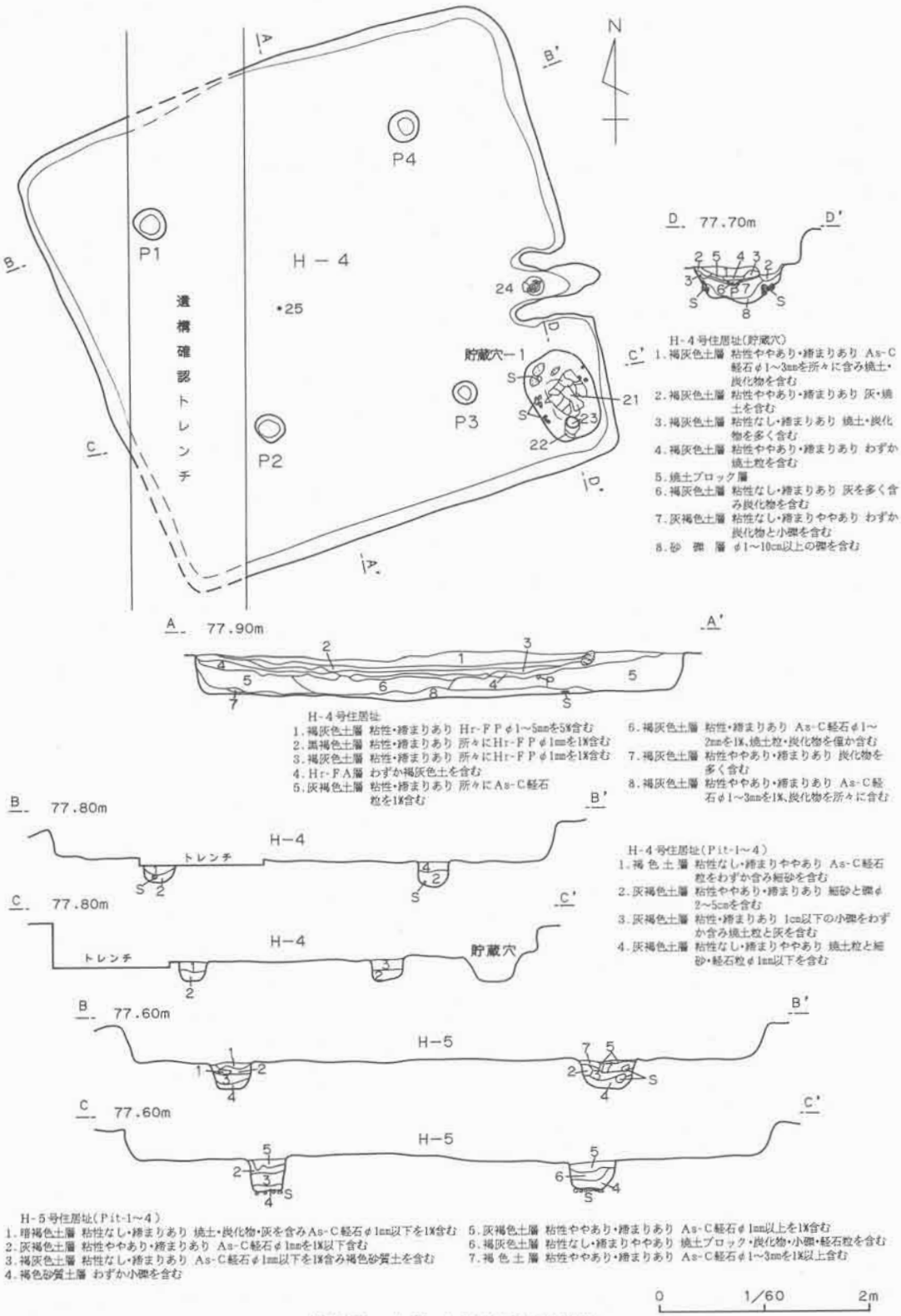
⑩ 灰褐色砂礫層　Hr－FP を含む
⑪ 褐灰色土層　Hr－FP を含む
⑫ 褐灰色細砂粗砂層　小礫を含む（洪水堆積層）
⑬ 褐灰色砂礫層　（洪水堆積層）
⑭ 暗褐色土層　軽石粒を含む
⑮ 暗褐色土層　Hr－FP を含む
⑯ 暗褐色砂質層



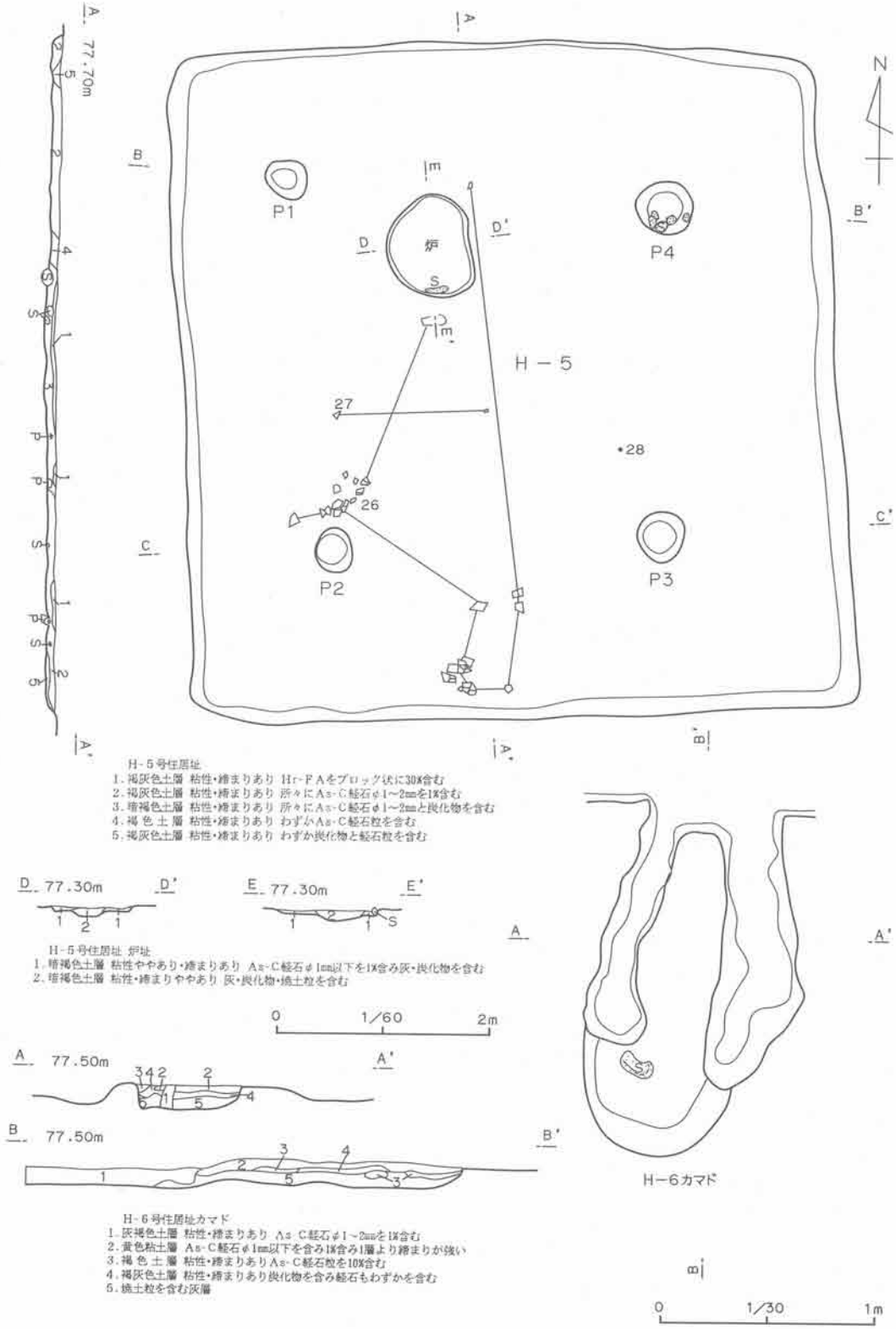
第8図　1号・2号住居址実測図



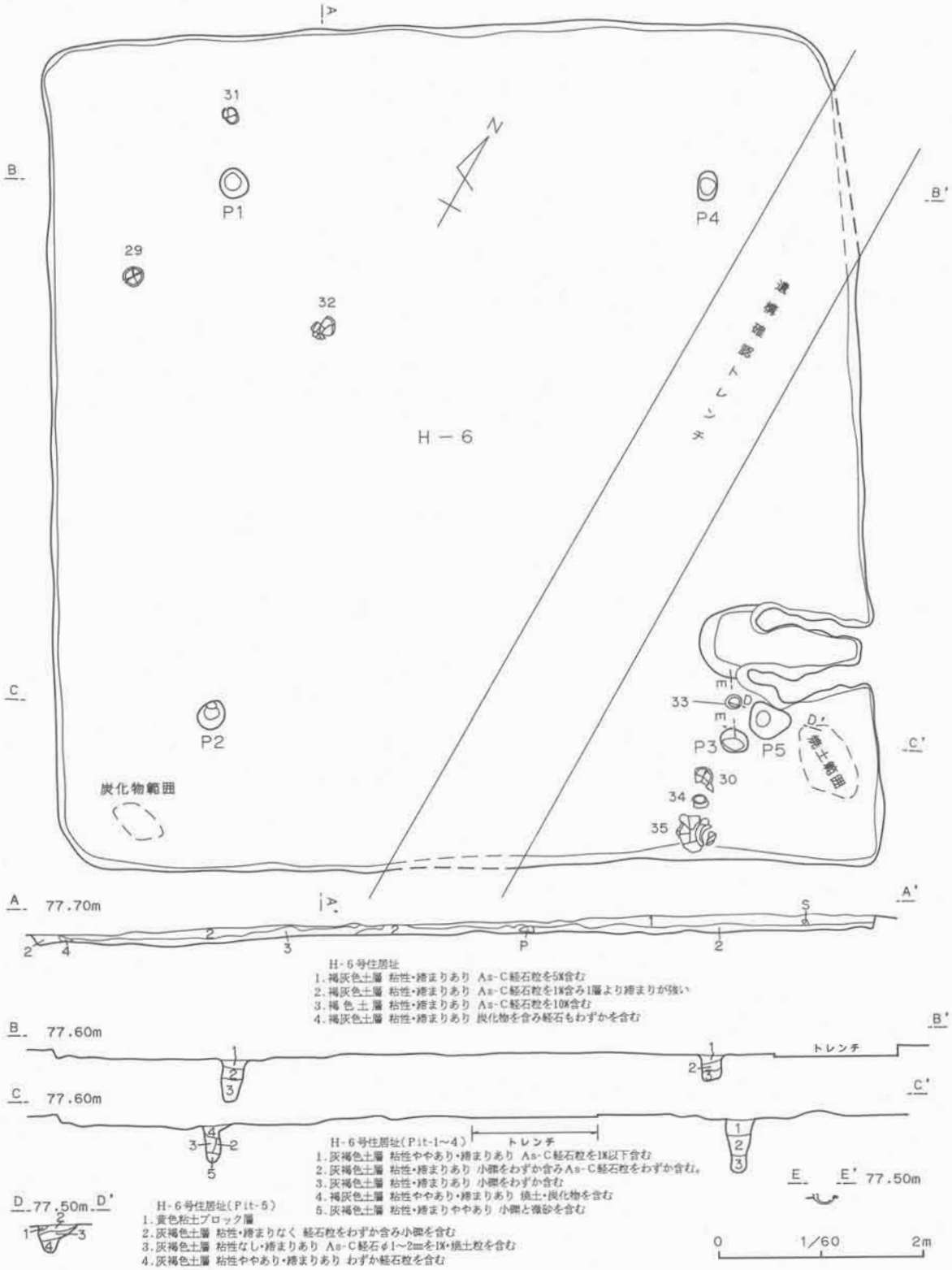
第9図　3号住居址・4号住居址カマド実測図



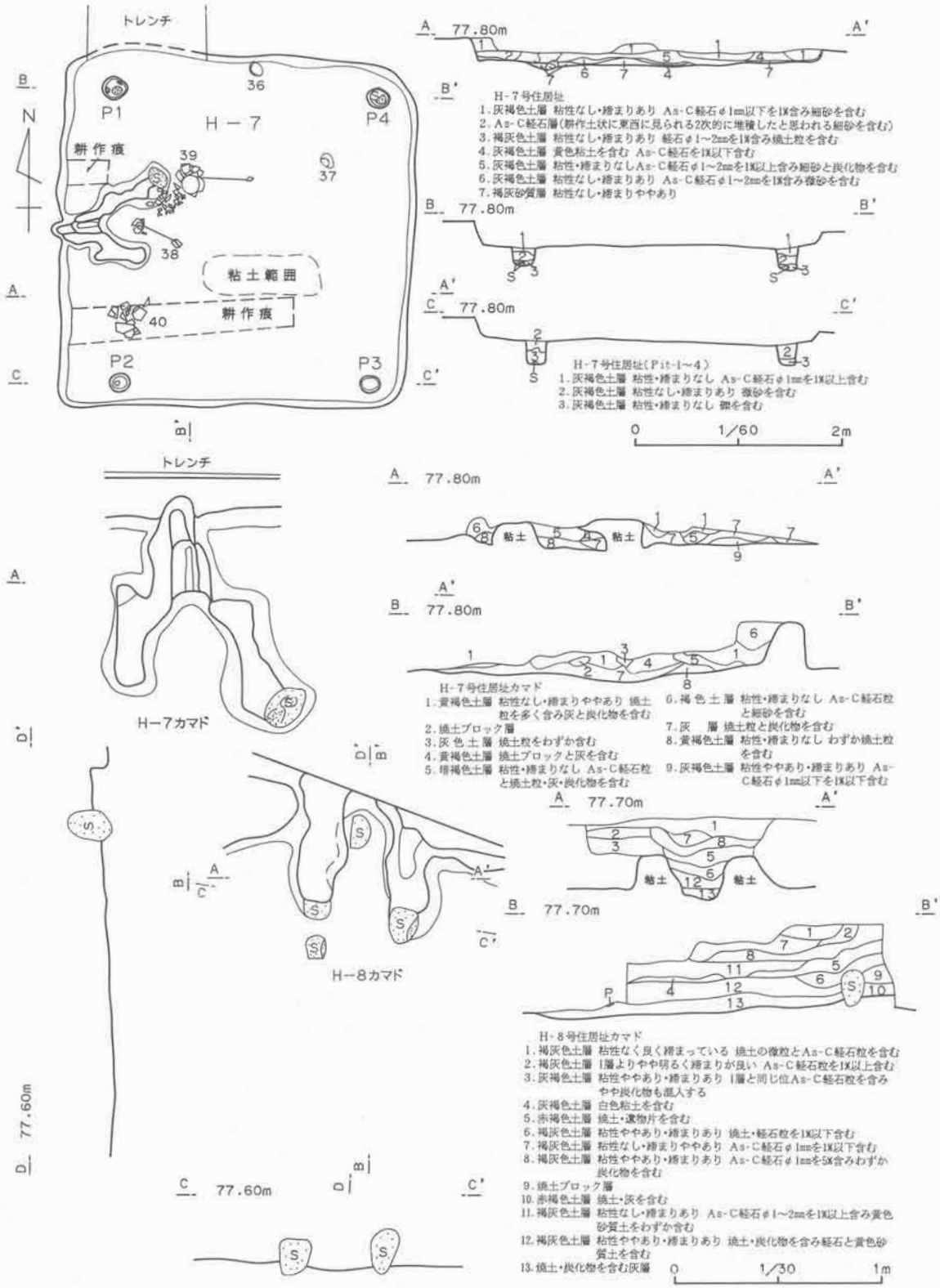
第10図　4号・5号住居址実測図



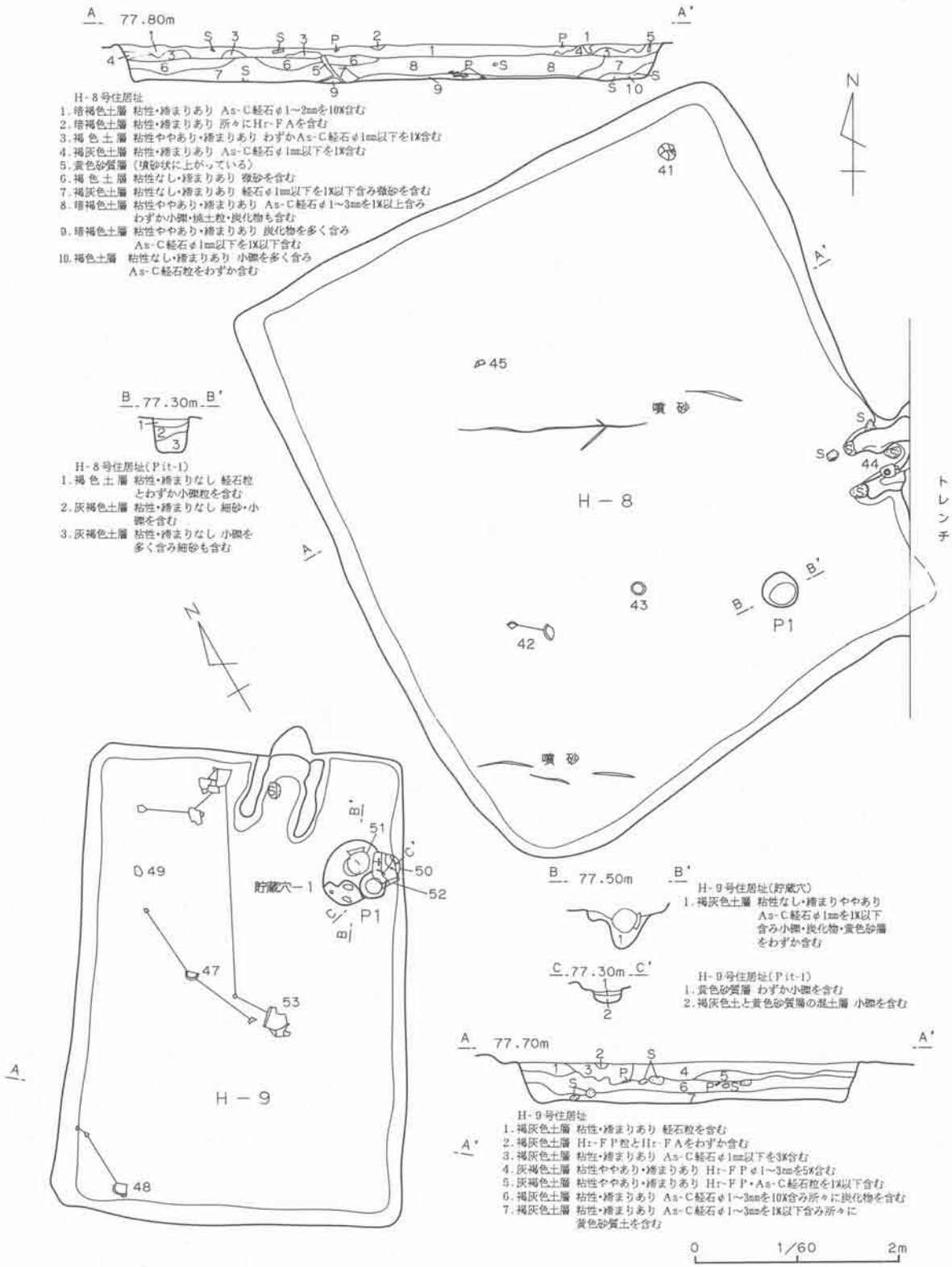
第11図　5号住居址・6号住居址カマド実測図



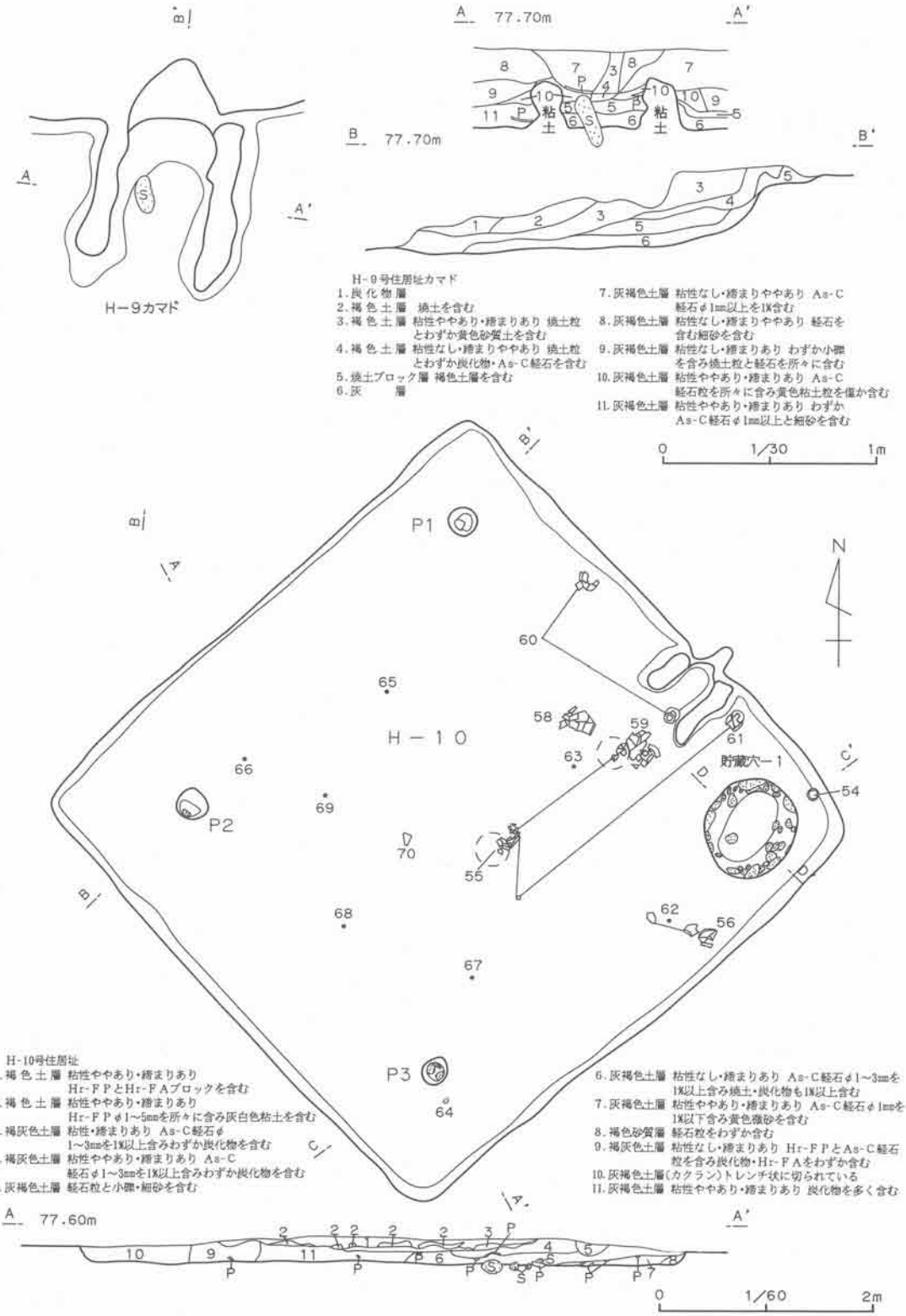
第12図　6号住居址実測図



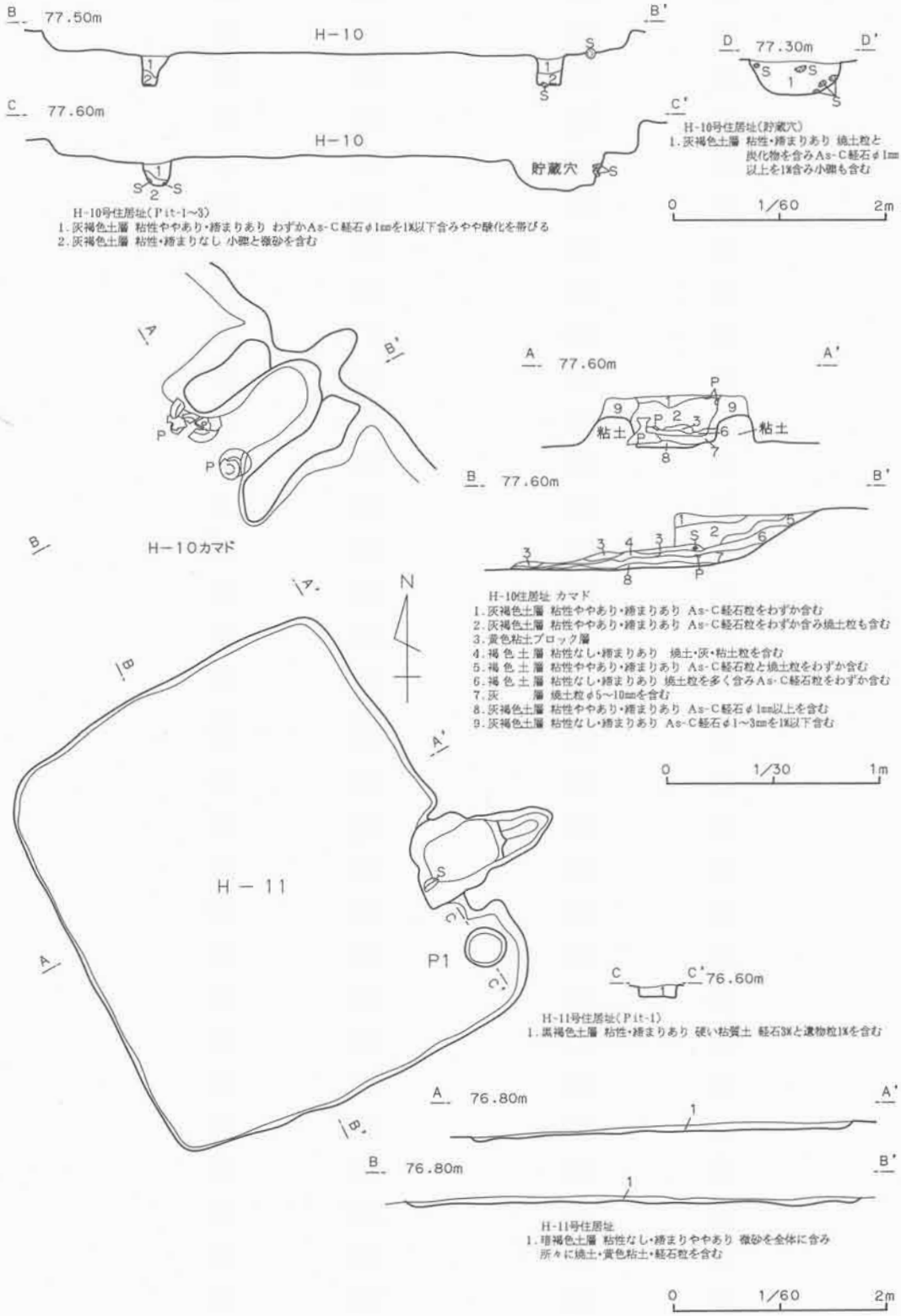
第13図　7号住居址・カマド・8号住居址カマド実測図



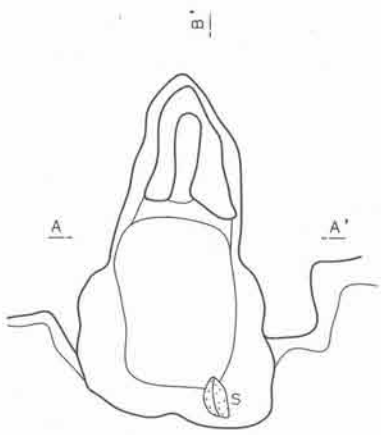
第14図　8号・9号住居址実測図



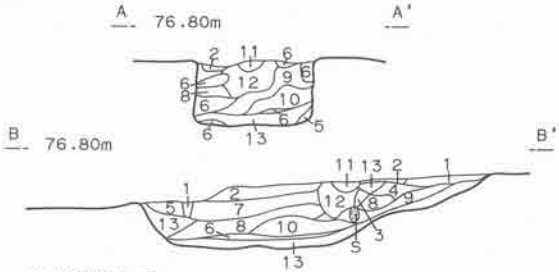
第15図　9号住居址カマド・10号住居址実測図



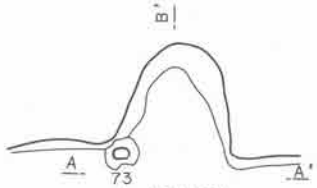
第16図　10号住居址・カマド・11号住居址実測図



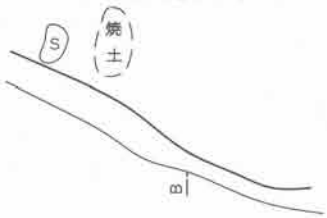
H－11カマド

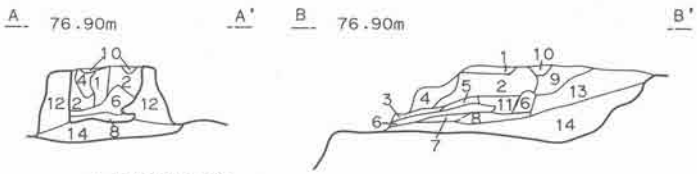


H-11号住居址カマド
1. 焼土ブロック(灰を1%含む)
2. 暗褐色土層 粘性なし・締まりあり Hr-FP φ1～2mmを1%以下と微砂を含む
3. 赤褐色土層 焼土を含む
4. 暗褐色土層 粘性・締まりあり 灰を1%以上含む
5. 黄色粘土ブロック層
6. 赤褐色焼土ブロック層
7. 暗褐色土層 粘性なし・締まりあり Hr-FP φ1mmを1%含み焼土粒を所々に含む
8. 暗褐色土層 粘性・締まりありHr-FP φ1mm以下を1%含み焼土粒を含む
9. 暗灰褐色土層 粘性・締まりなし 焼土粒を10%と黄色粘土粒を5%含み軽石粒を1%以下含む
10. 混　土　層 黄色粘土30%と焼土50%・灰20%を含む
11. 混　土　層 黄色粘土70%と焼土25%・灰 5%を含む
12. 混　土　層 暗褐色土40%と焼土ブロック60%を含む わずかHr-FP・As-C軽石を含む
13. 明褐色土層 灰層ブロックとわずか焼土粒を含む

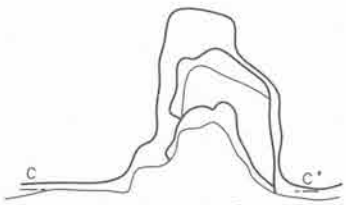


H－12カマド1

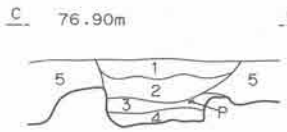


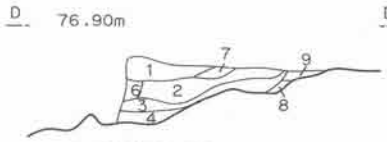


H-12号住居址カマド①
1. 灰褐色土層 粘性なし・締まりあり 微砂を含みわずか軽石粒を含む
2. 灰褐色土層 粘性なし・締まりあり 微砂を含み焼土・炭化物を1%含む
3. 混　土　層 焼土ブロック50%・灰40%・灰褐色土10%を含む
4. 灰褐色土層 焼土ブロック30%含む
5. 灰褐色土層 焼土粒10%含む 微砂を含む
6. 灰褐色土層 焼土粒10%と灰1%含む
7. 灰　　層
8. 灰褐色土層 焼土粒・炭化物・Hr-FP φ1mmを1%以下含む
9. 灰褐色土層 粘性ややあり・締まりあり わずか焼土粒を含みHr-FP φ1mm以上を1%含む
10. 焼土ブロック層
11. 灰褐色土層 粘性ややあり・締まりあり 焼土粒1%・軽石粒φ1mmを1%以下含みわずか灰を含む
12. 灰褐色土層 粘性なし・締まりあり わずか焼土粒と炭化物と微砂を含む
13. 灰褐色土層 粘性ややあり・締まりあり 灰・焼土粒・炭化物を含む
14. 暗褐色土層 粘性・締まりややあり Hr-FP粒を含み焼土・炭化物を含む



H－12カマド2

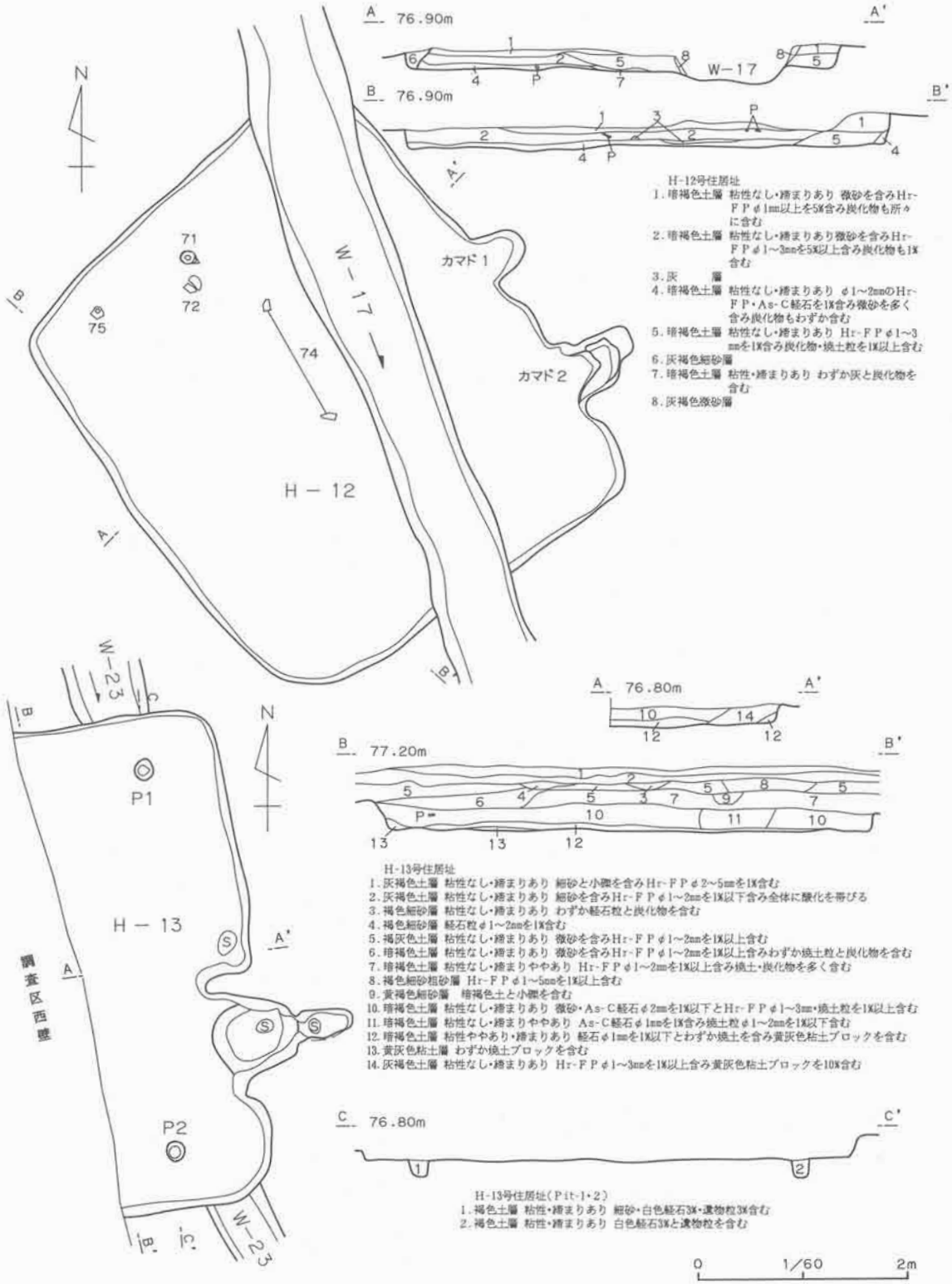




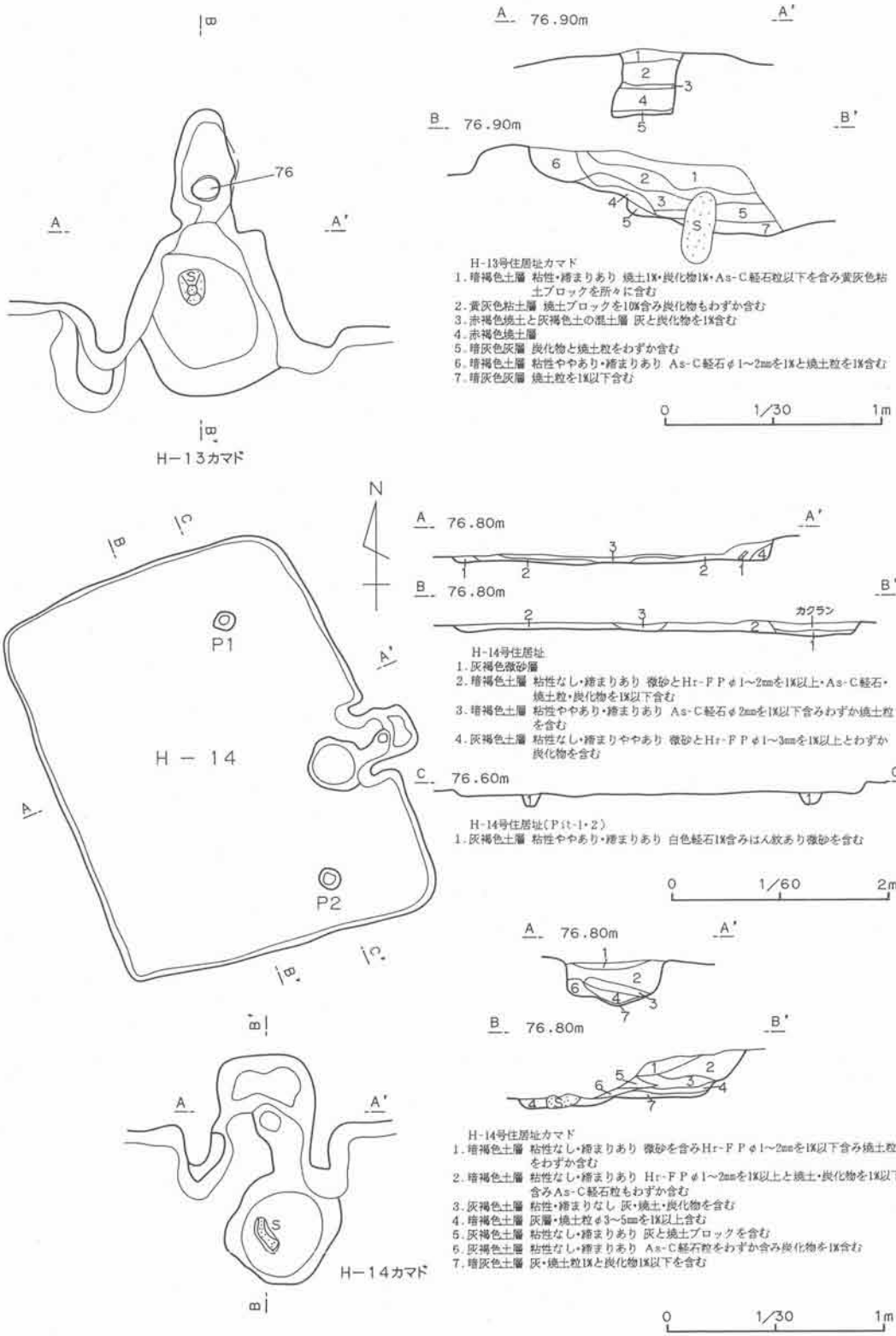
H-12号住居址カマド②
1. 灰褐色土層 粘性なし・締まりあり 焼土粒1%・炭化物1%以下含み微砂も含む
2. 灰褐色土層 粘性なし・締まりややあり 微砂と焼土粒1%以下とわずか軽石粒を含む
3. 褐 色 土 層 粘性なし・締まりややあり 焼土粒1%以上と灰・粘土ブロックを1%含む
4. 灰褐色土層 粘性・締まりややあり 焼土粒を1%以下含みHr-FP φ1mmを1%含む
5. 灰褐色土層 粘性なし・締まりあり 焼土粒1%・粘土粒1%以上とHr-FP粒を1%含む
6. 灰褐色土層 粘性なし・締まりあり 微砂を多く含み わずかHr-FP粒1%以下と焼土粒を含む
7. 灰色微砂層
8. 赤褐色焼土ブロック層
9. 赤褐色土層 灰と焼土を含む

0　1/30　1m

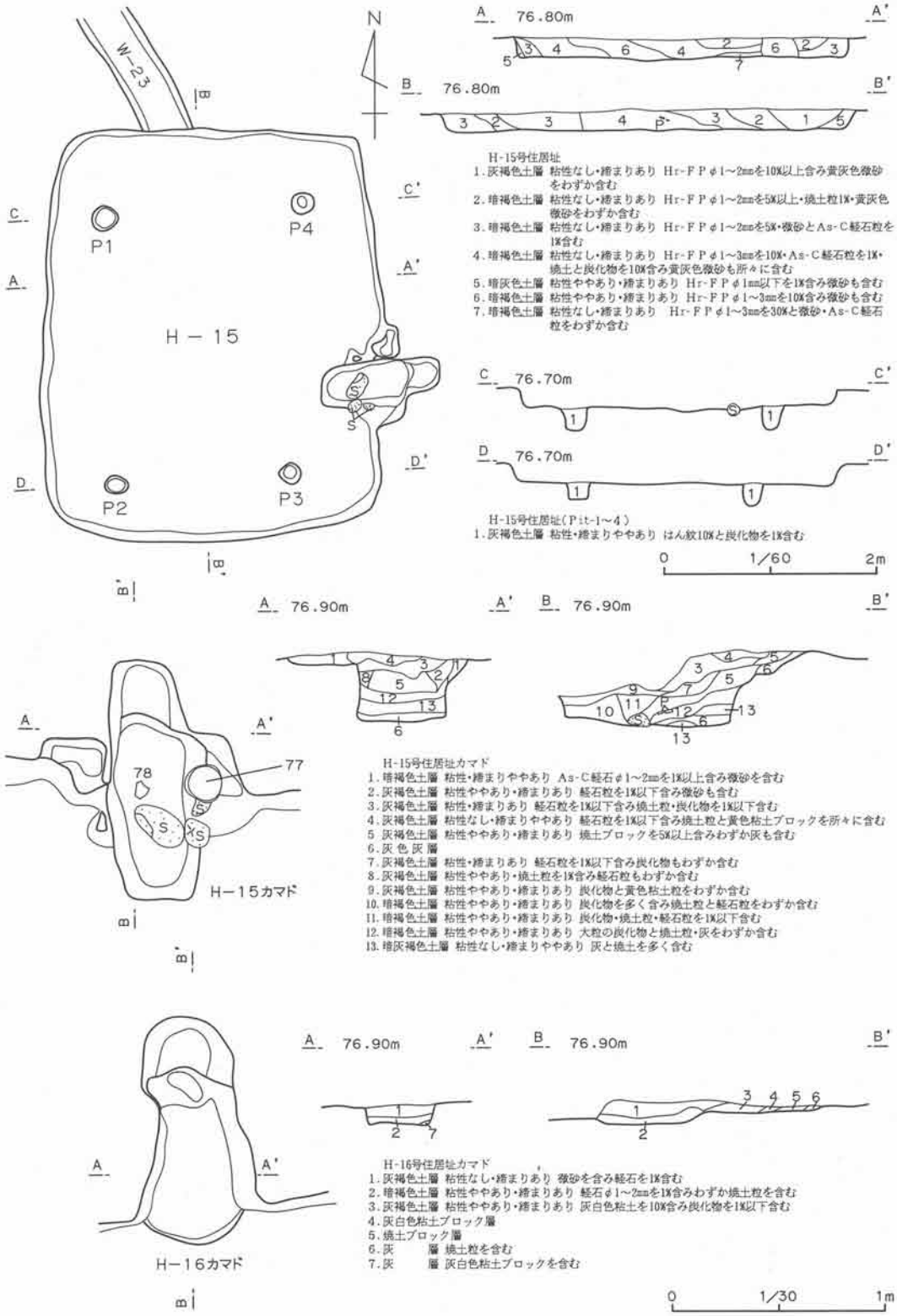
第17図　11号住居址カマド・12号住居址カマド1・2実測図



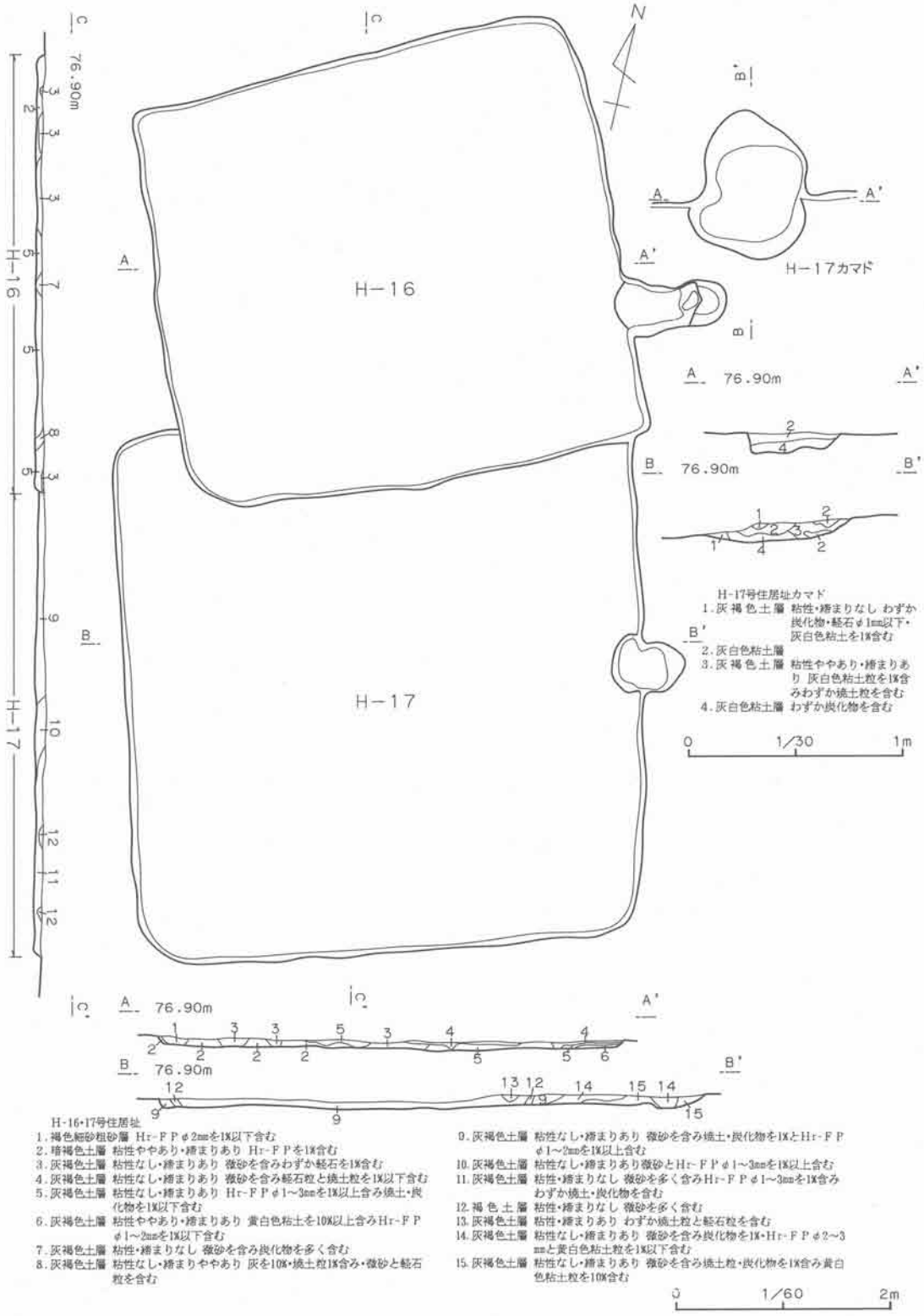
第18図　12号・13号住居址実測図



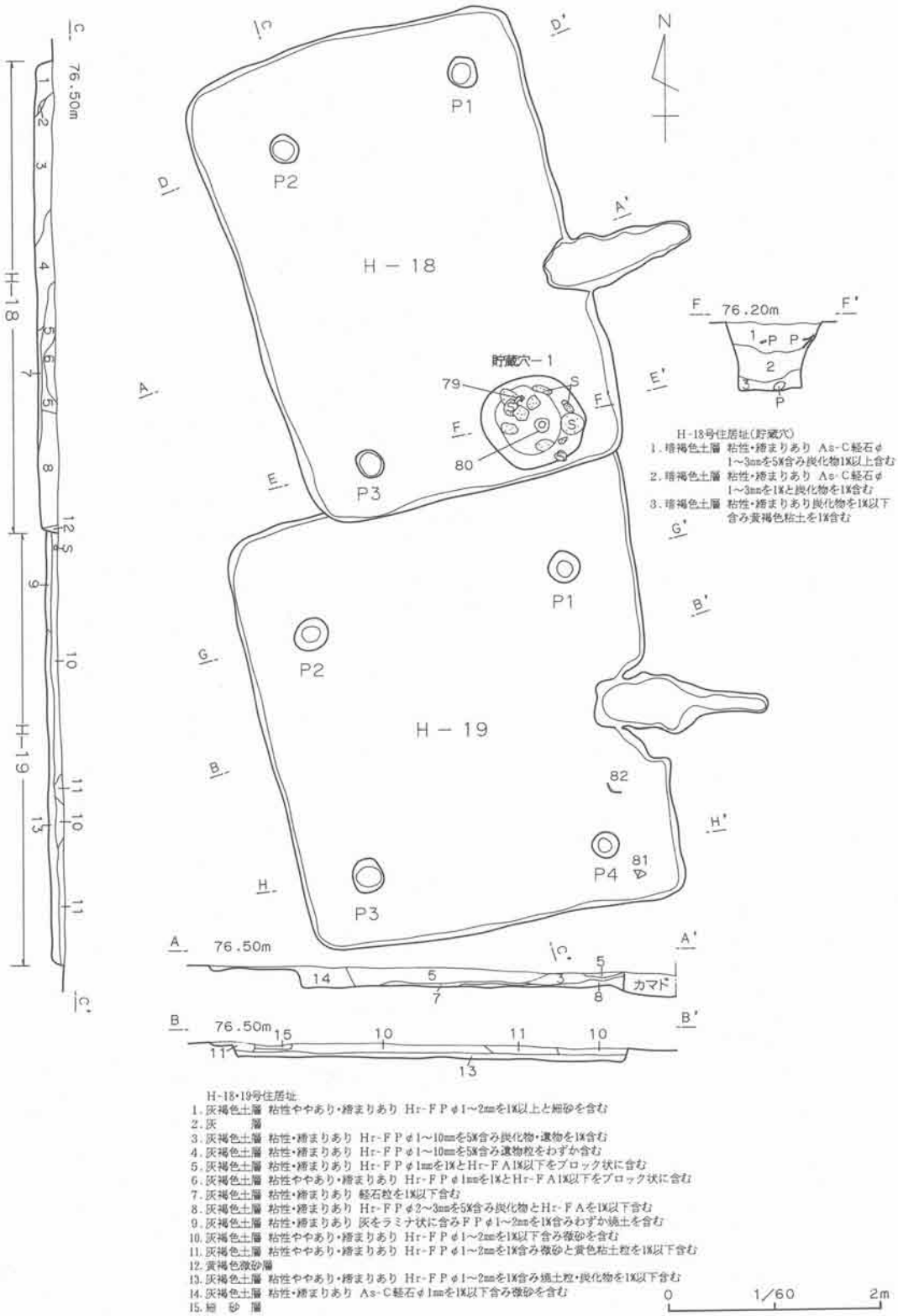
第19図　13号住居址カマド・14号住居址・カマド実測図



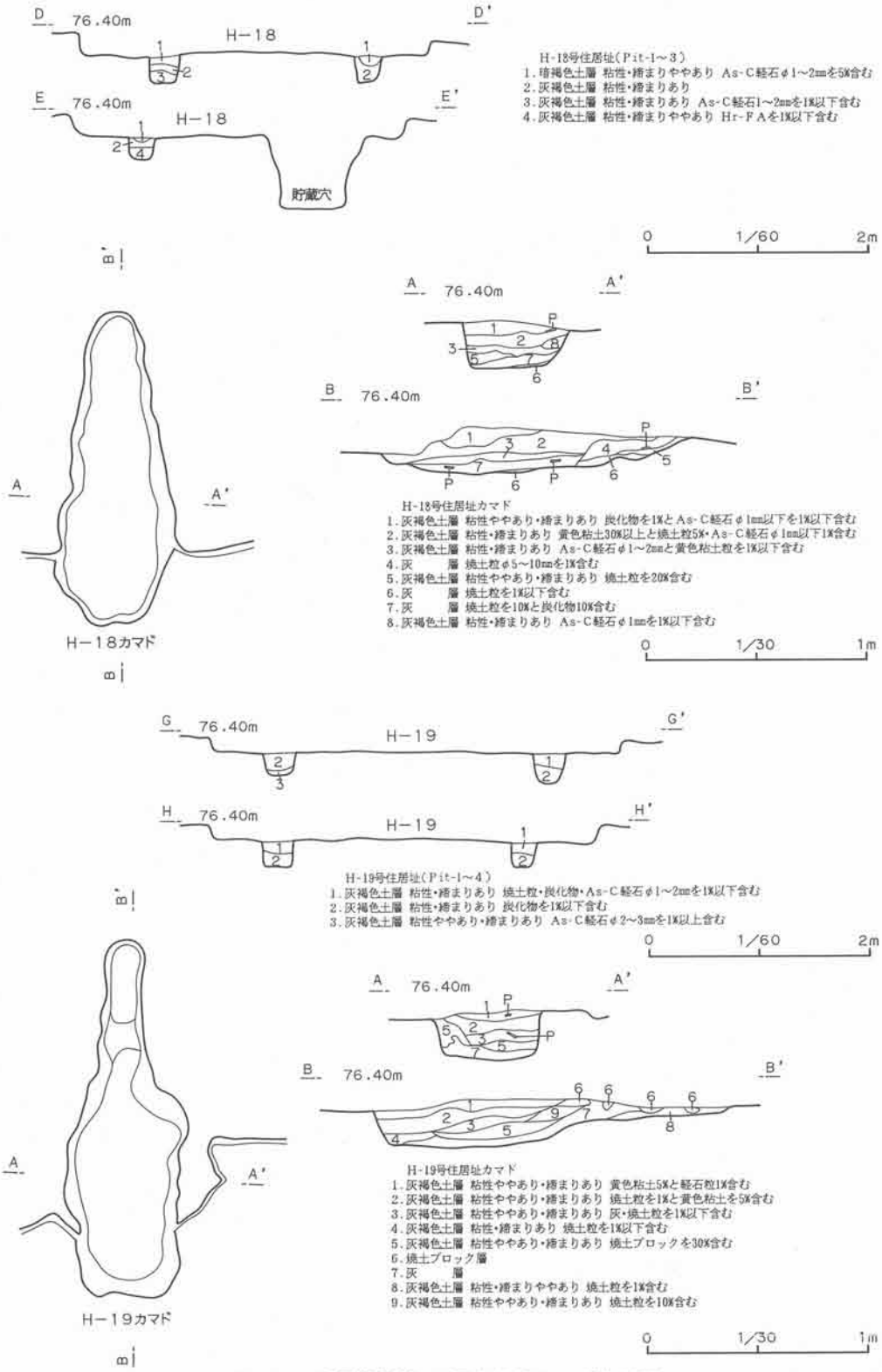
第20図　15号住居址・15・16号住居址カマド実測図



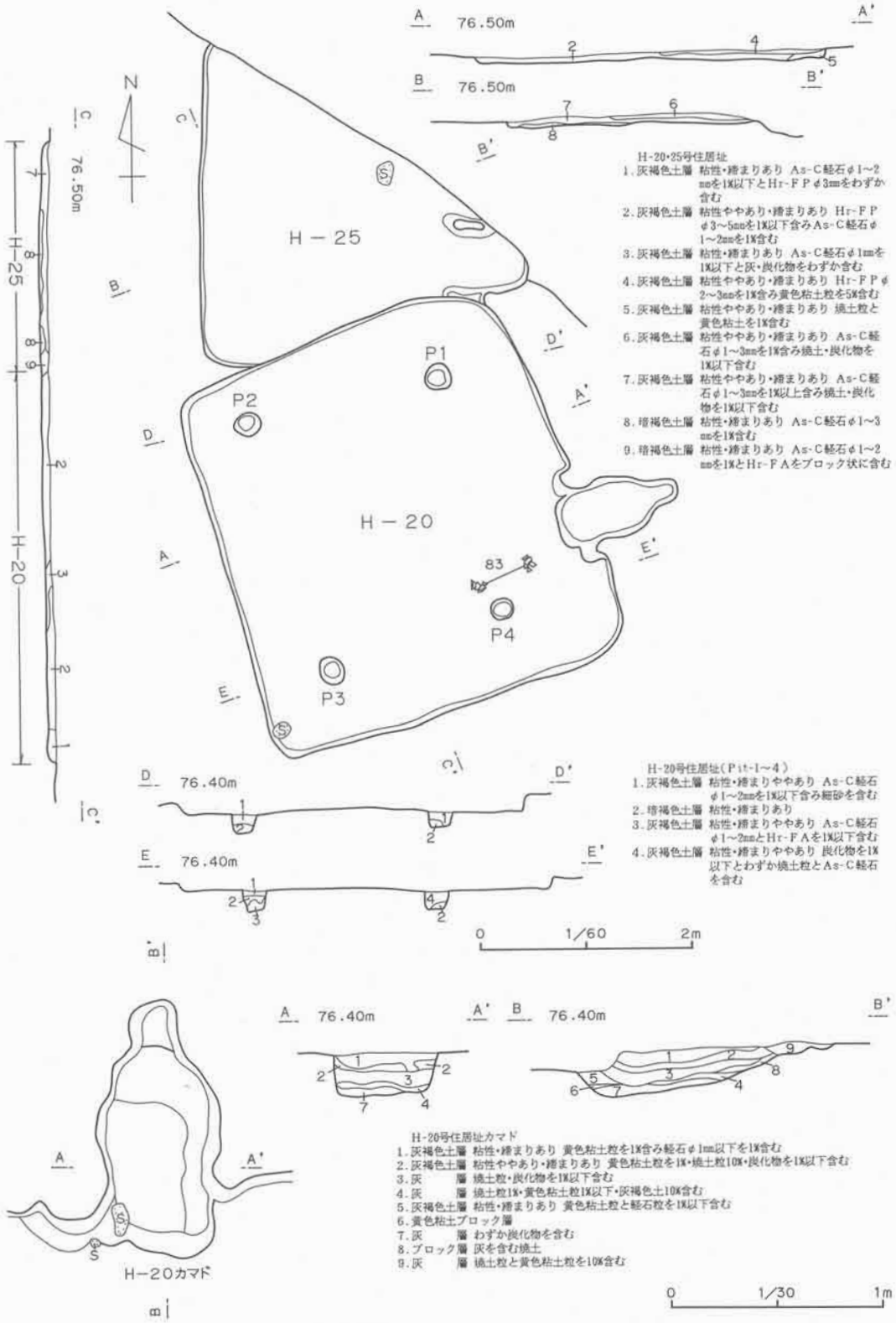
第21図　16号・17号住居址・17号住居址カマド実測図



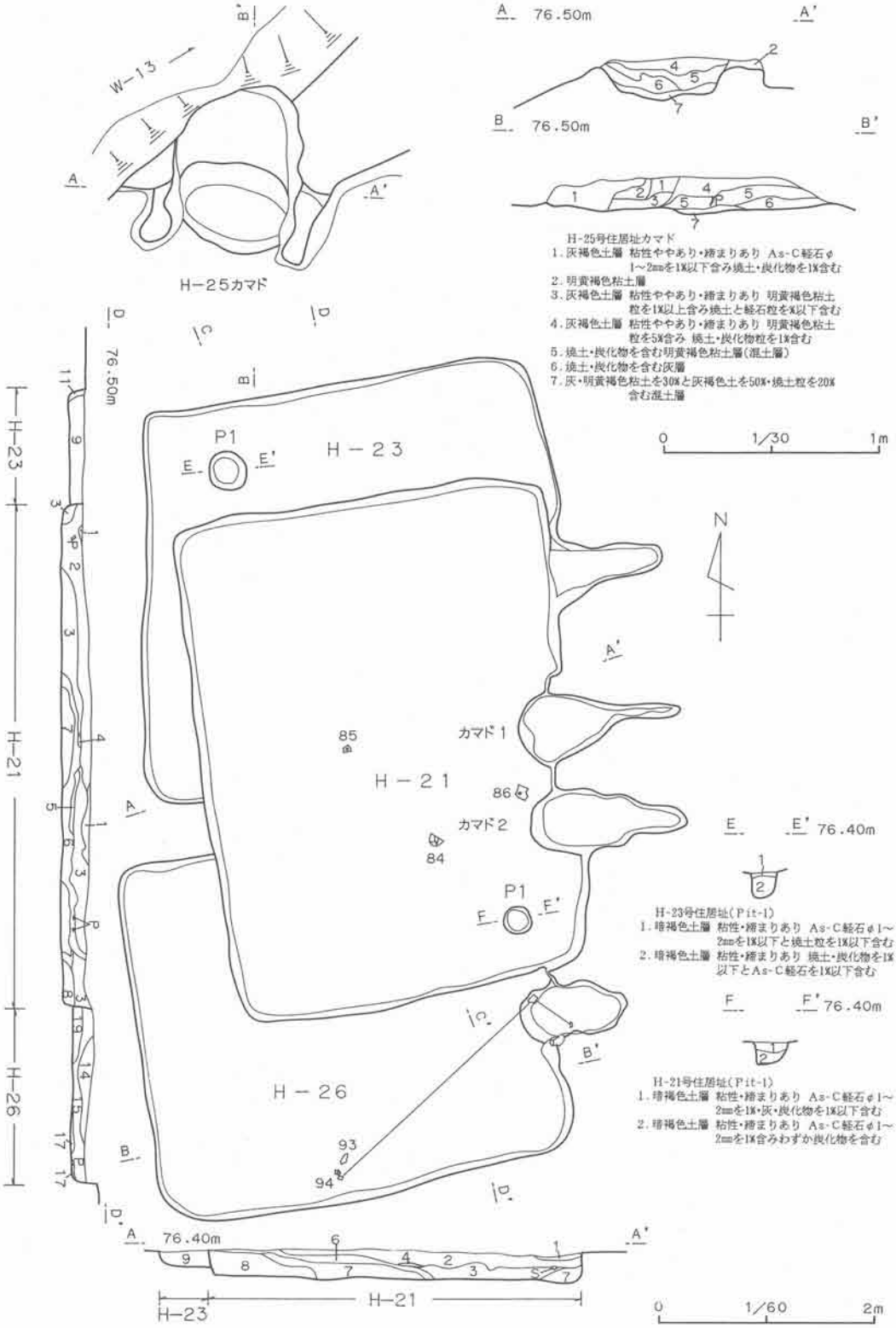
第22図　18号・19号住居址実測図



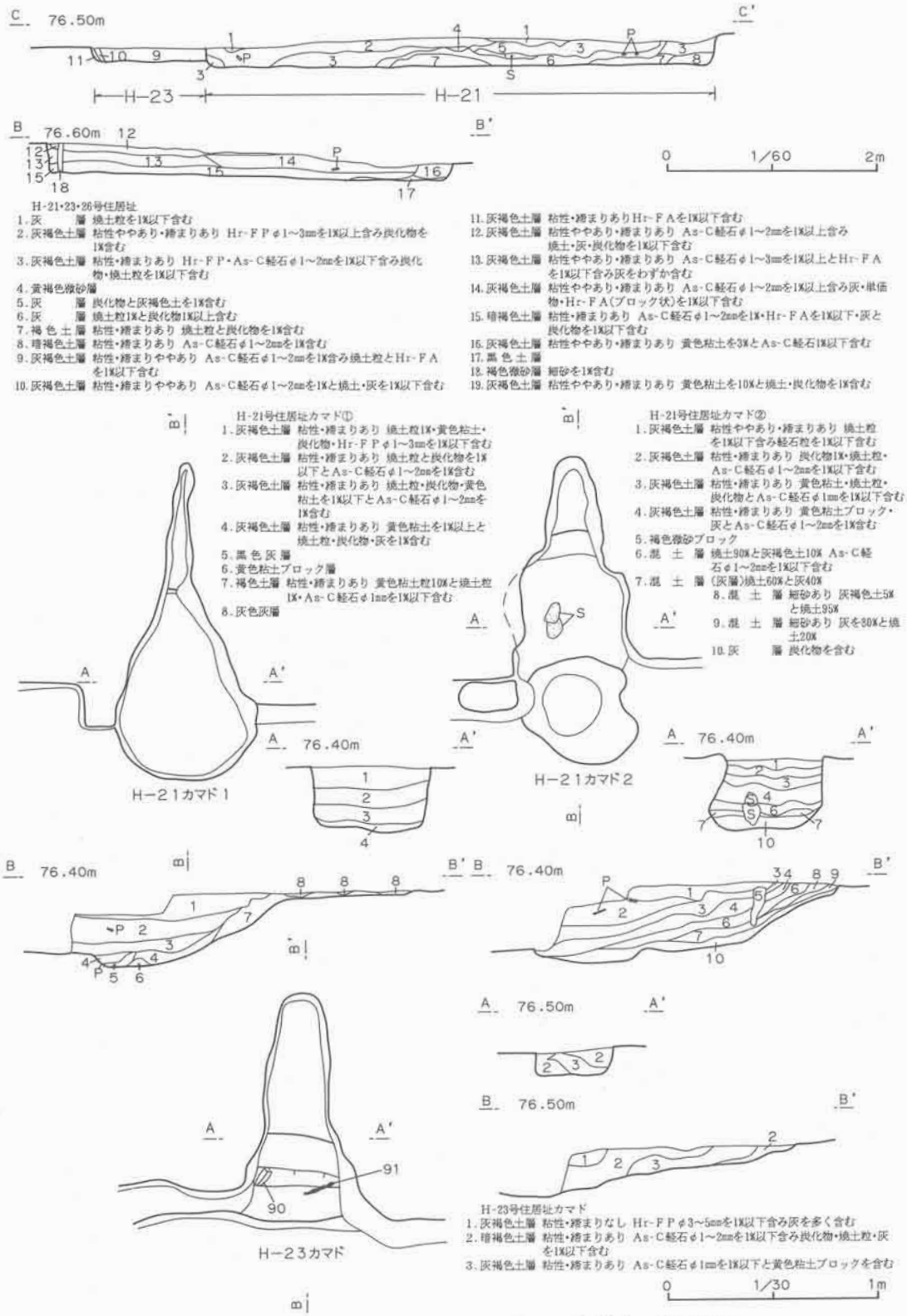
第23図　18号住居址・19号住居址カマド実測図



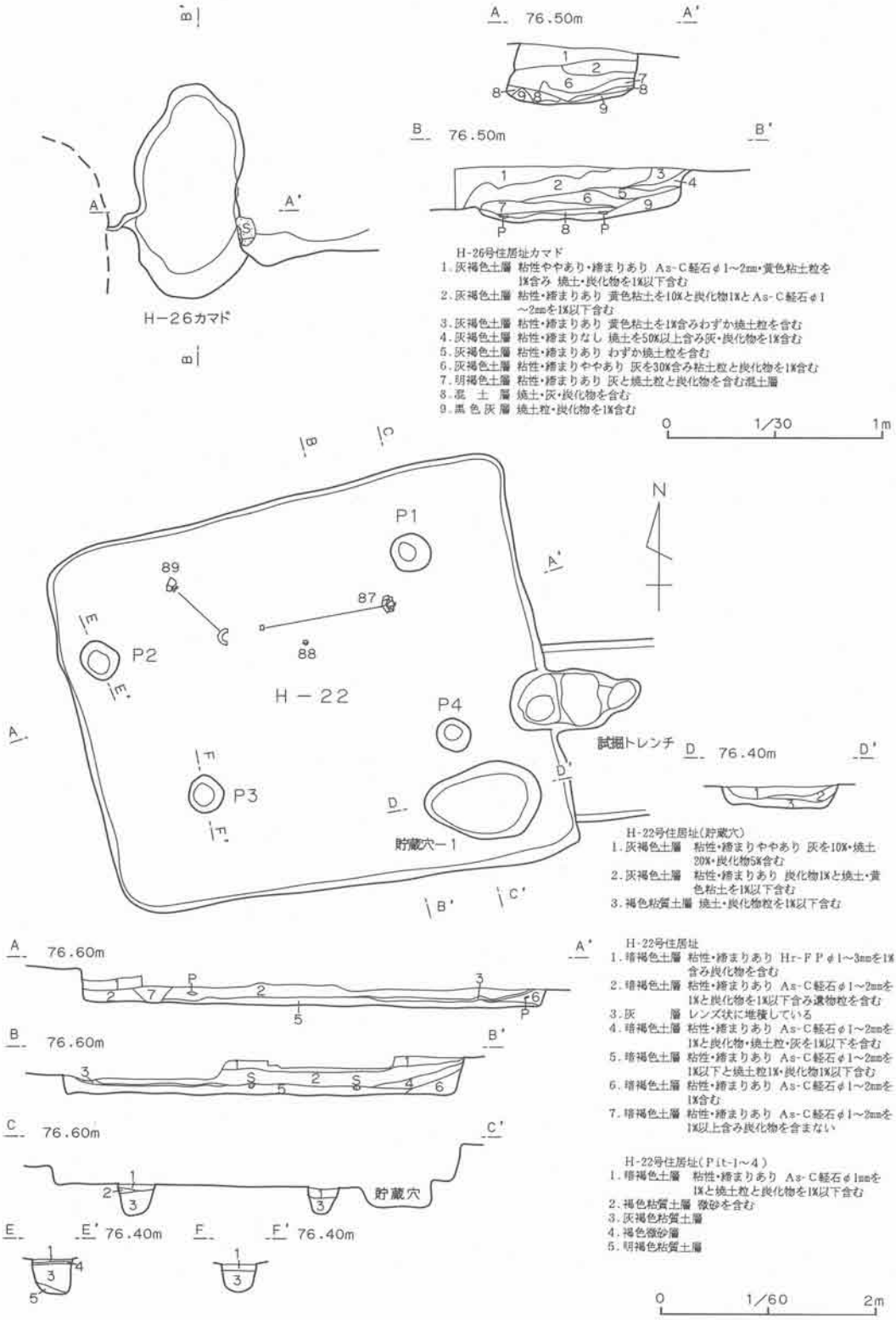
第24図　20号・25号住居址・20号住居址カマド実測図



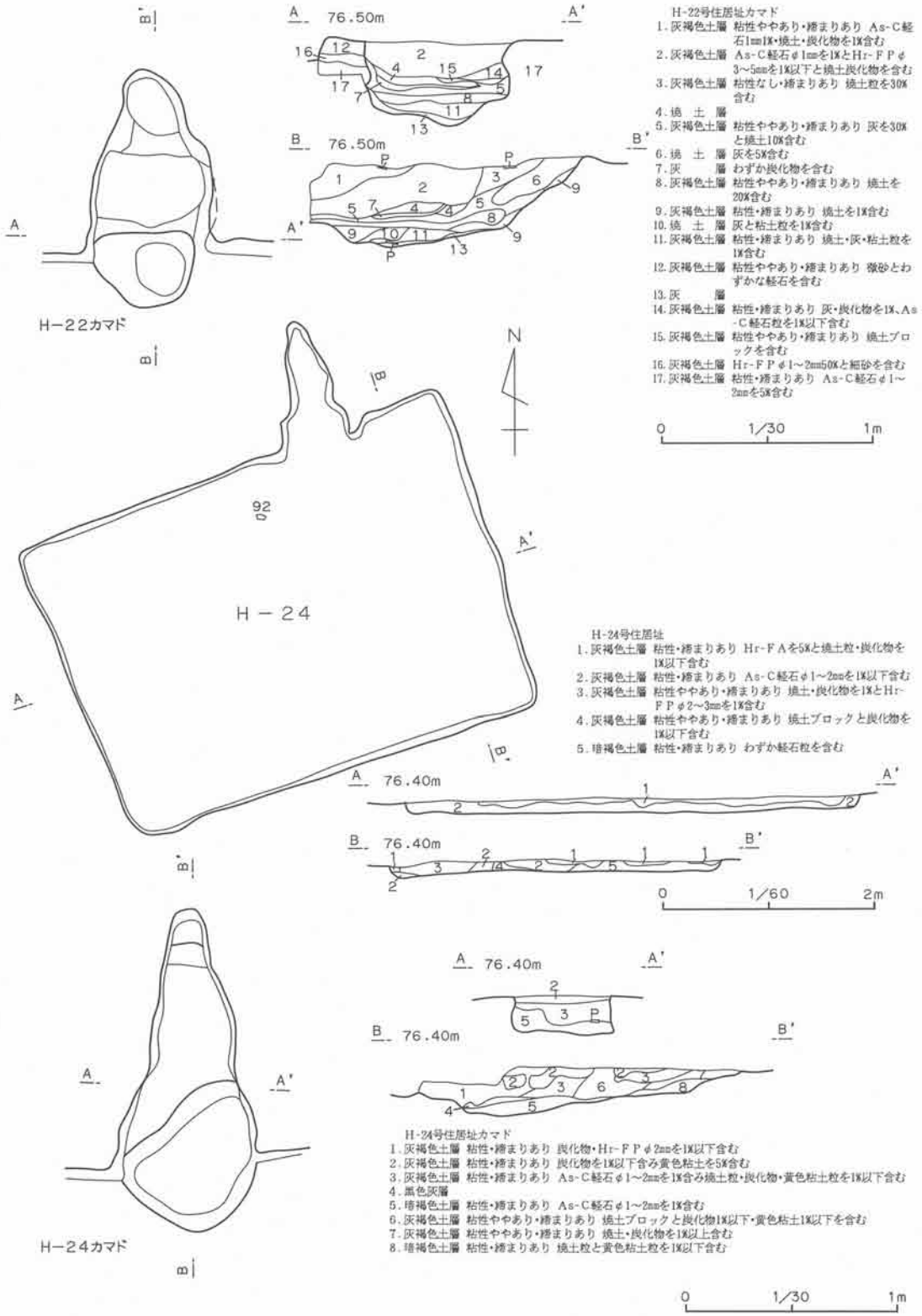
第25図　25号住居址カマド・21・23・26号住居址実測図



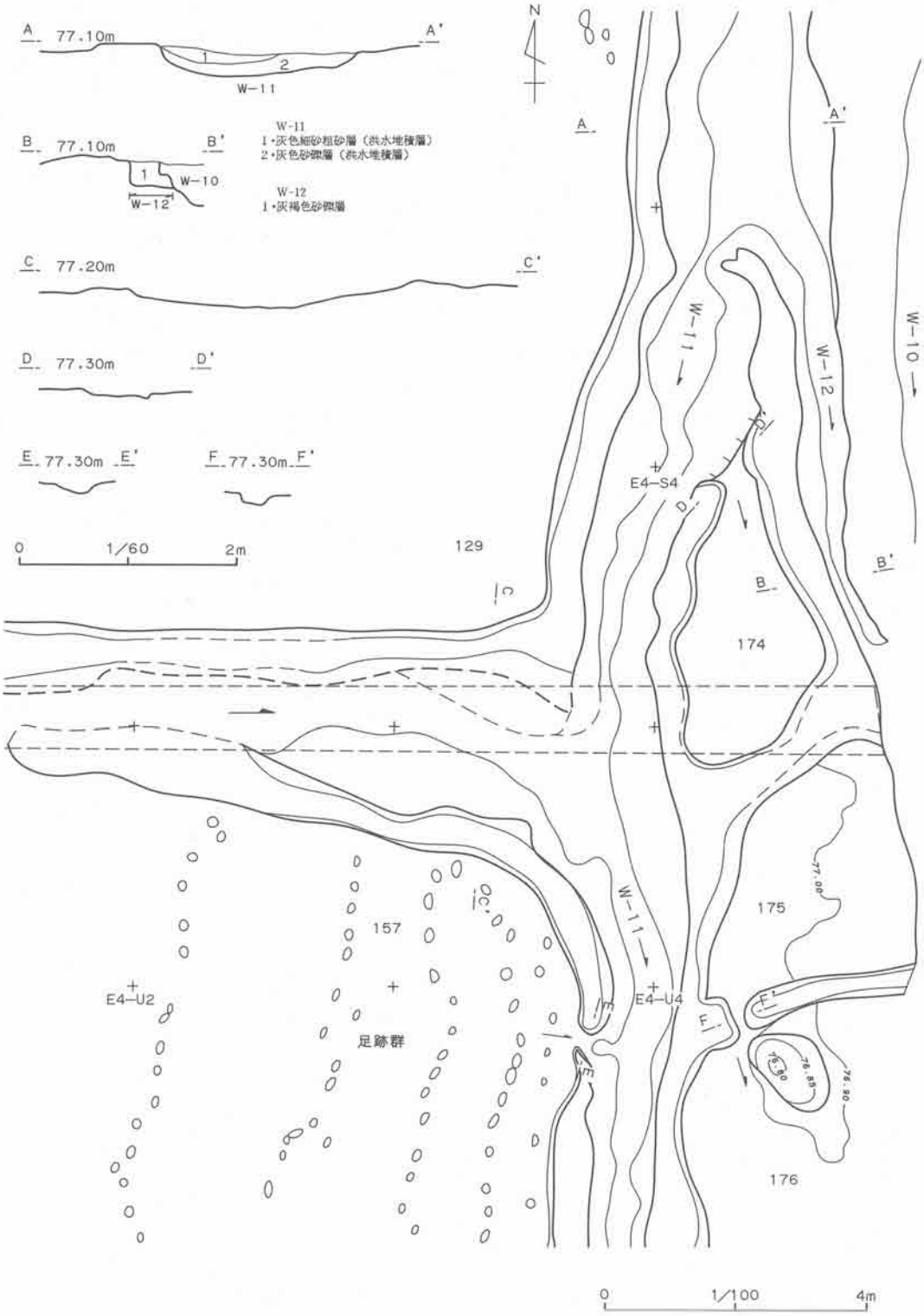
第26図　21・23・26号住居址・21号カマド1・2・23号カマド実測図



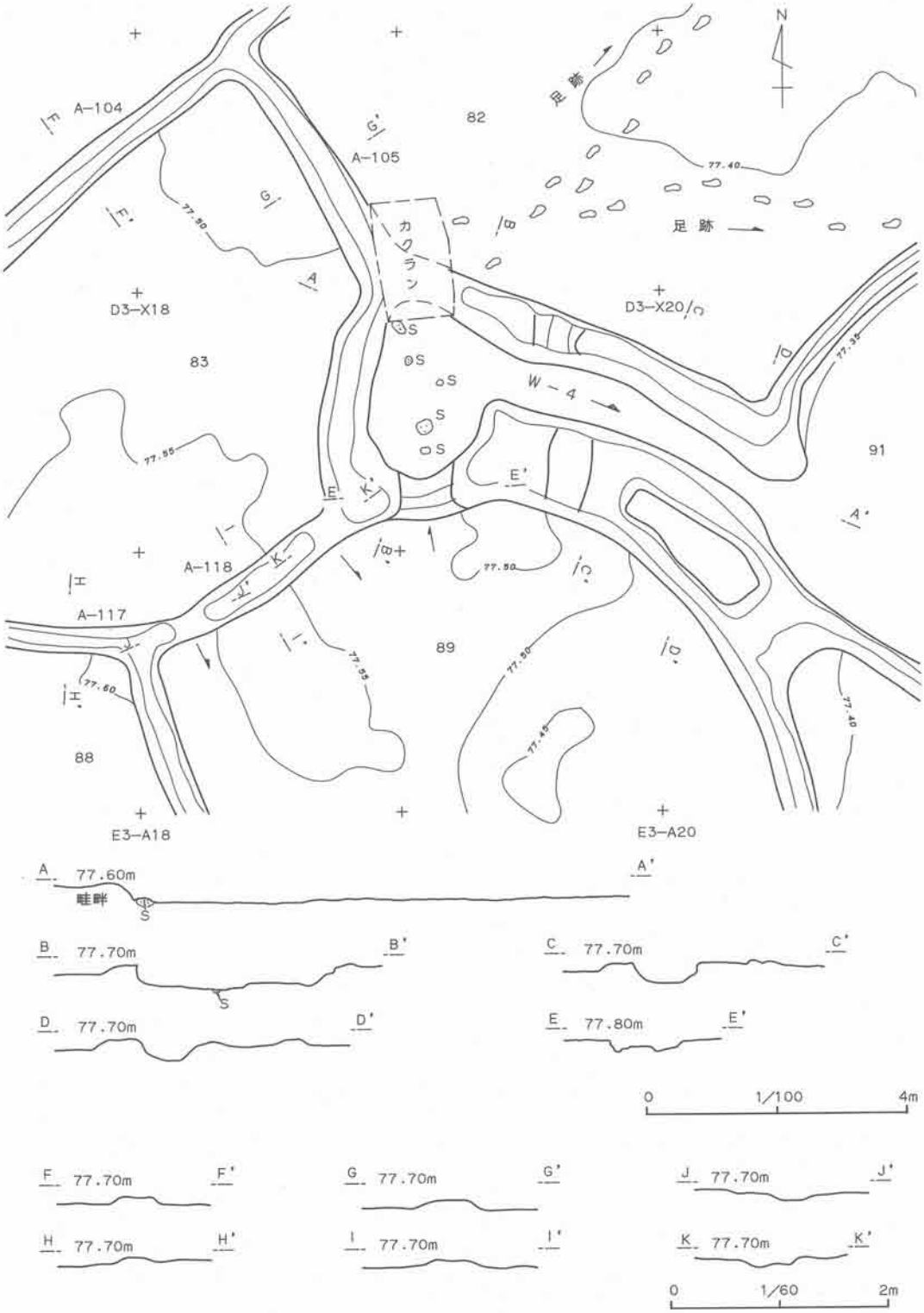
第27図　22号住居址・26号住居址カマド実測図



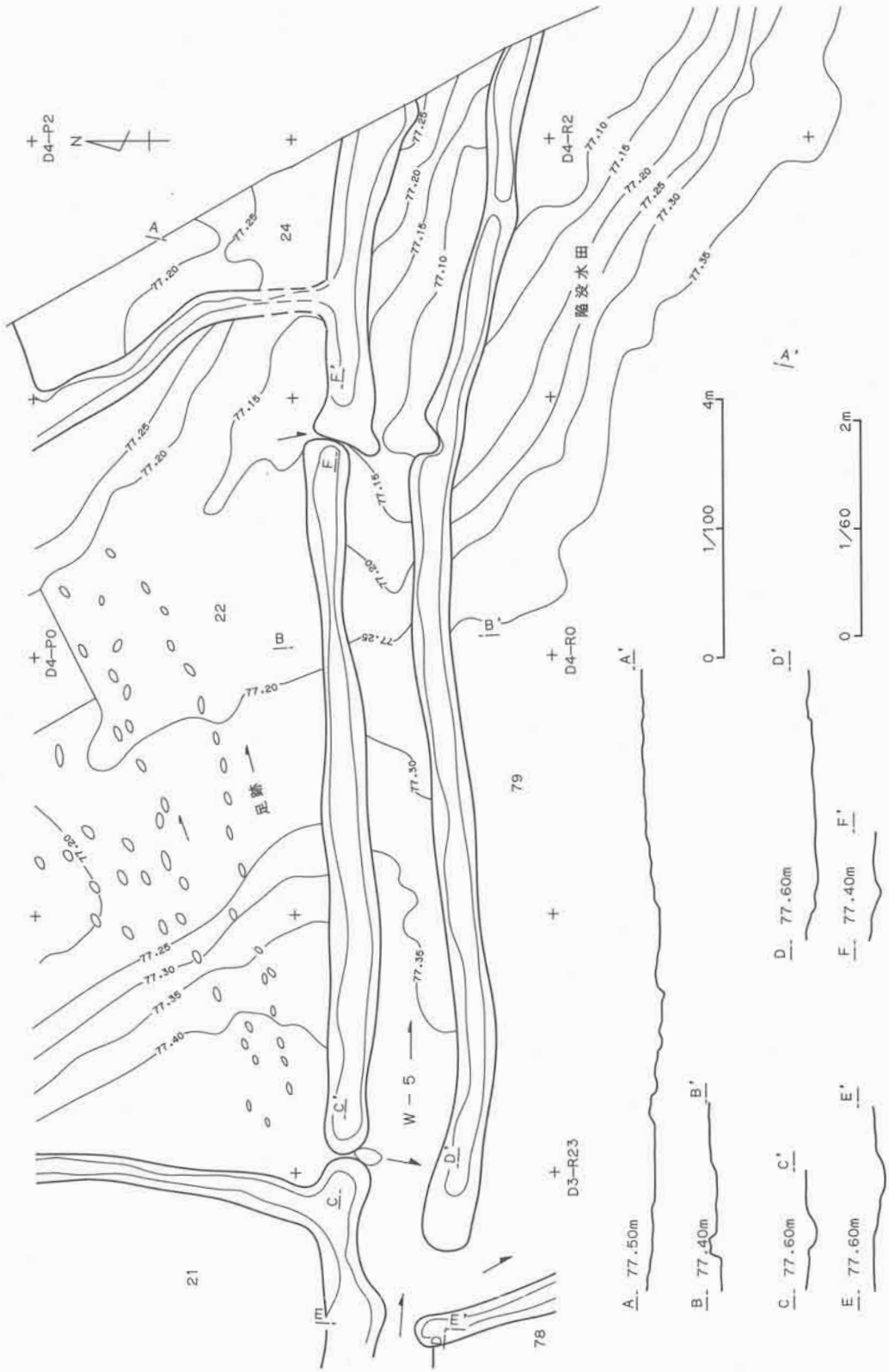
第28図　22号住居址カマド・24号住居址・カマド実測図



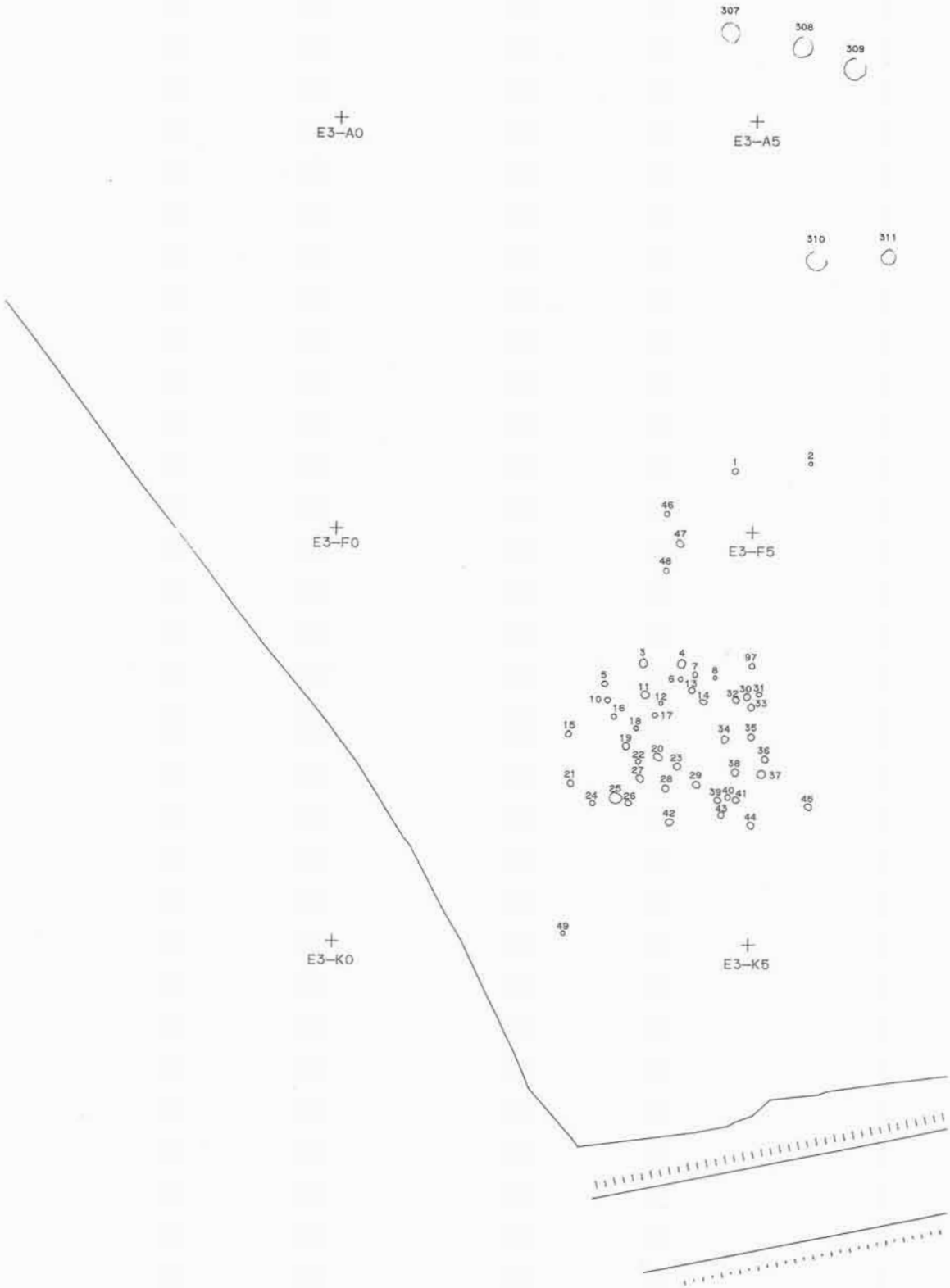
第29図　E 4 区W－10, 11, 12・129, 157, 174～176号水田・排水口・畦畔・水口・足跡実測図



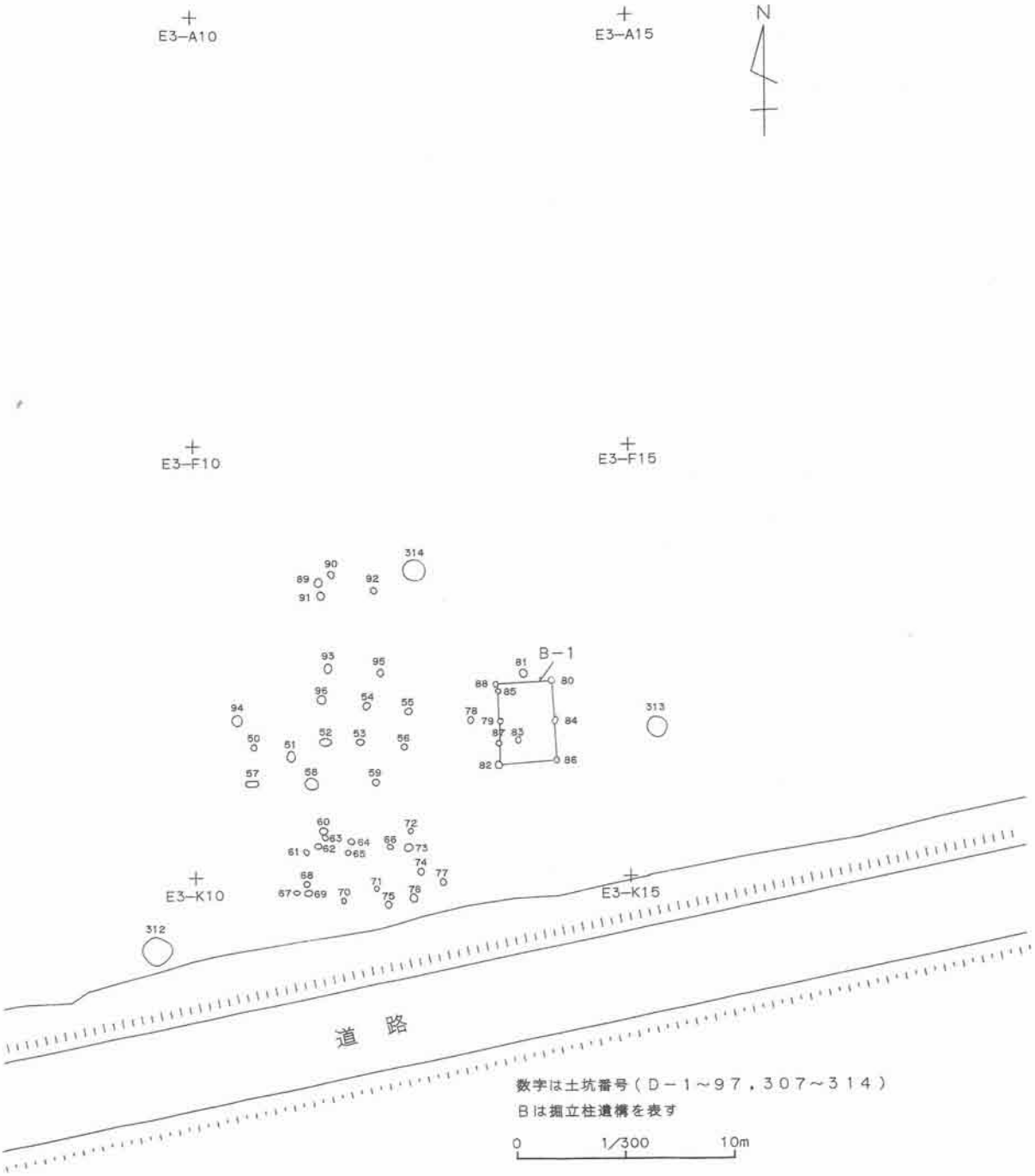
第30図　D３区W－４・82, 83, 88, 89, 91号水田・畦畔・水口・足跡実測図



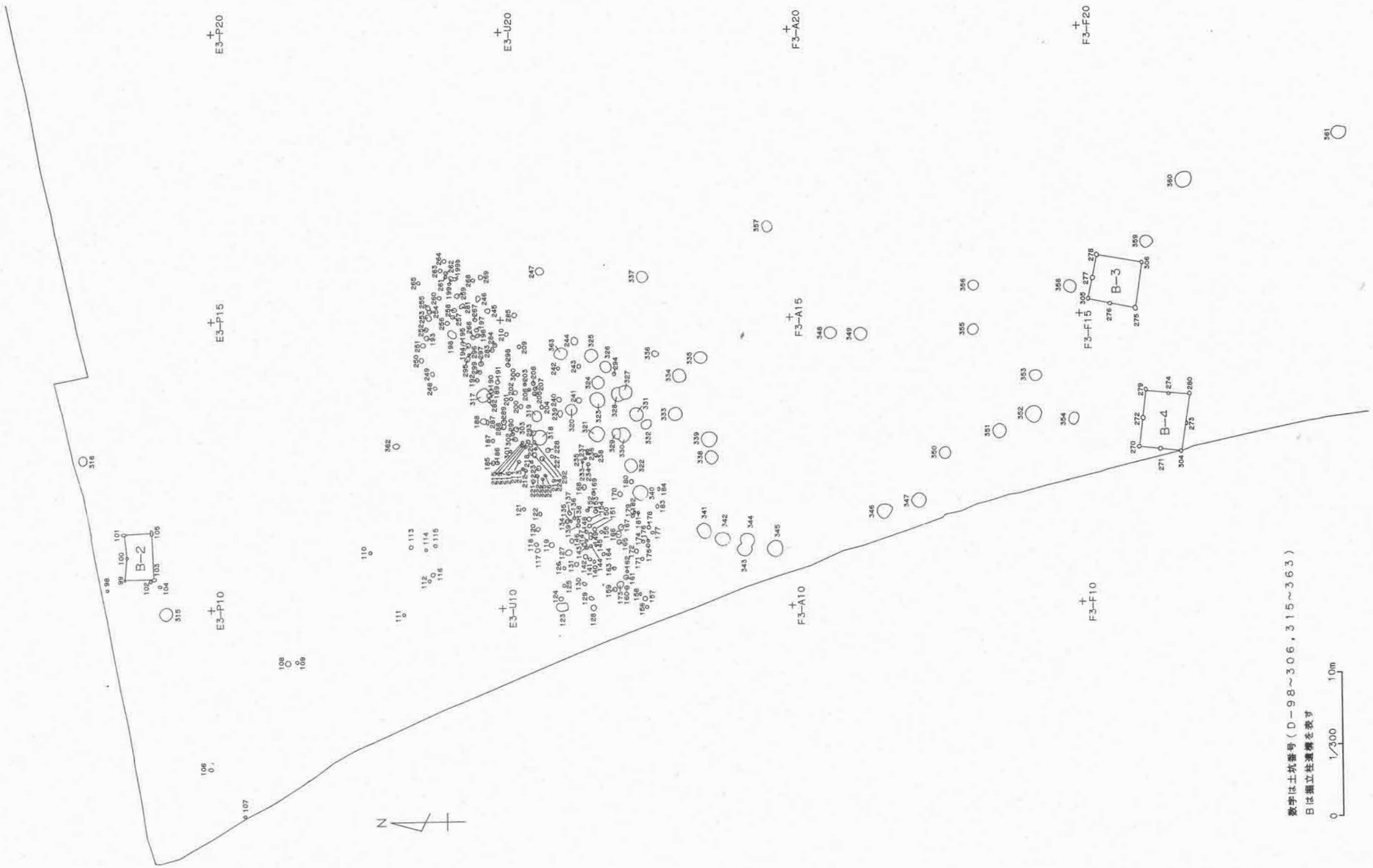
第31図　D３・４区W－５・21, 22, 24, 78, 79号水田・畦畔・水口・陥没水田・足跡実測図


307
308
309
E3-A0
E3-A5
310
311
1
2
46
47
48
E3-F0
E3-F5
3
4
7
97
5
6
13
8
11
30
31
10
12
14
32
33
16
17
18
15
19
34
35
20
22
23
36
21
27
28
29
38
37
24
25
26
39
40
41
45
42
43
44
49
E3-K0
E3-K5

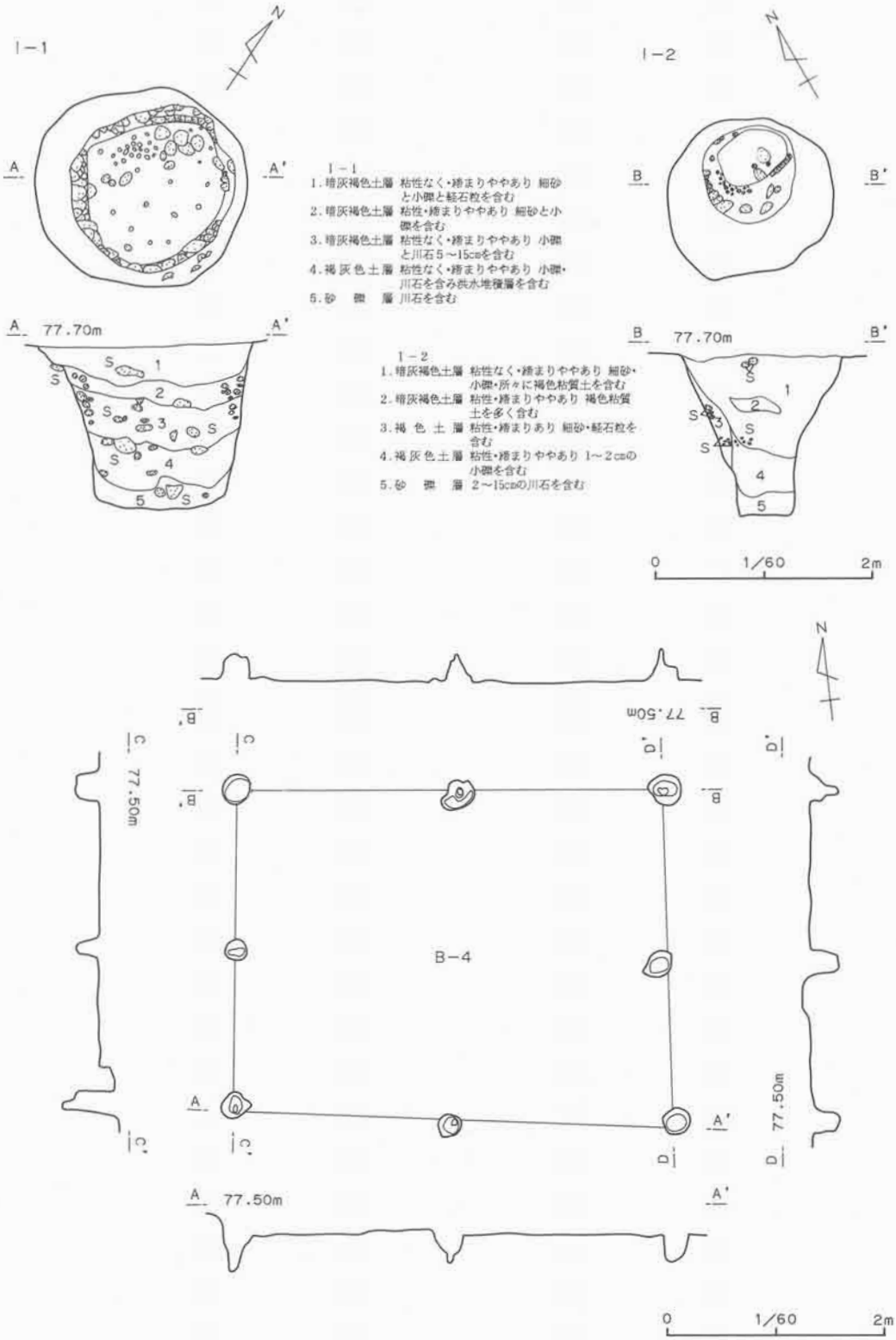
第32図　D3・E


E3-A10
E3-A15
N
E3-F10
E3-F15
E3-K10
E3-K15
B-1
道 路
数字は土坑番号（D－1～97，307～314）
Bは掘立柱遺構を表す
0
1/300
10m

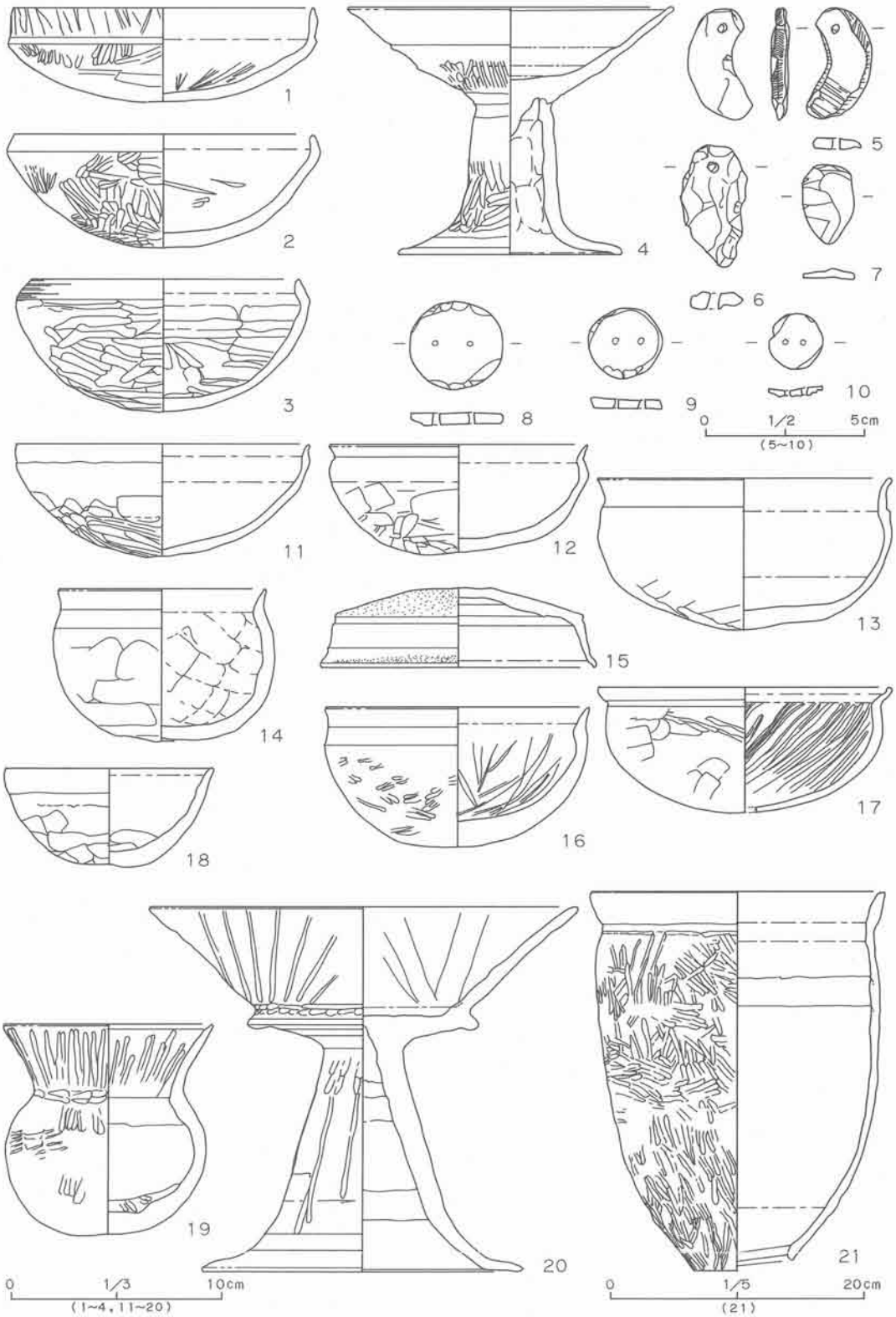
〈土坑・掘立柱遺構実測図



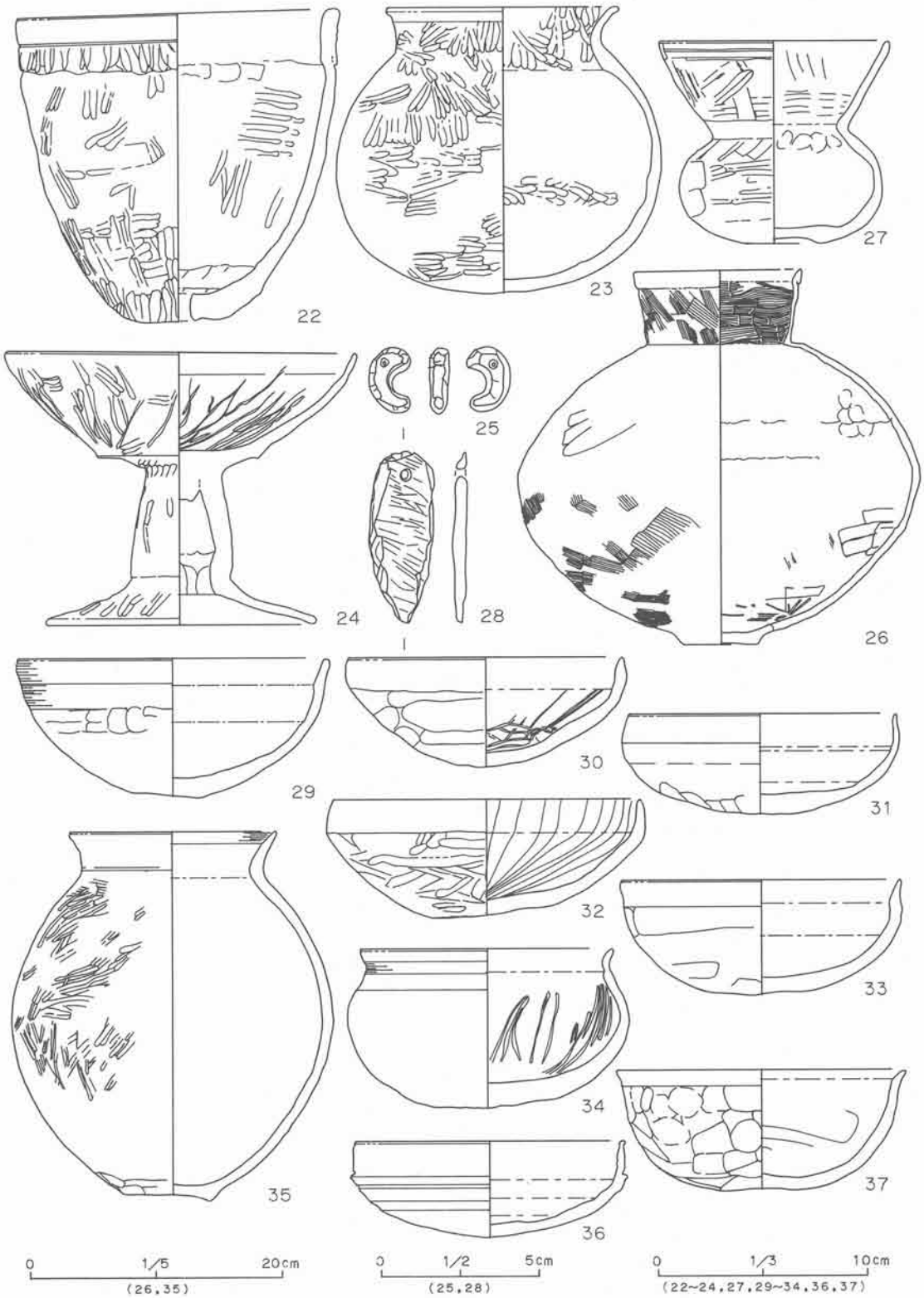
第33図　E３・F３区土坑・掘立柱遺構実測図



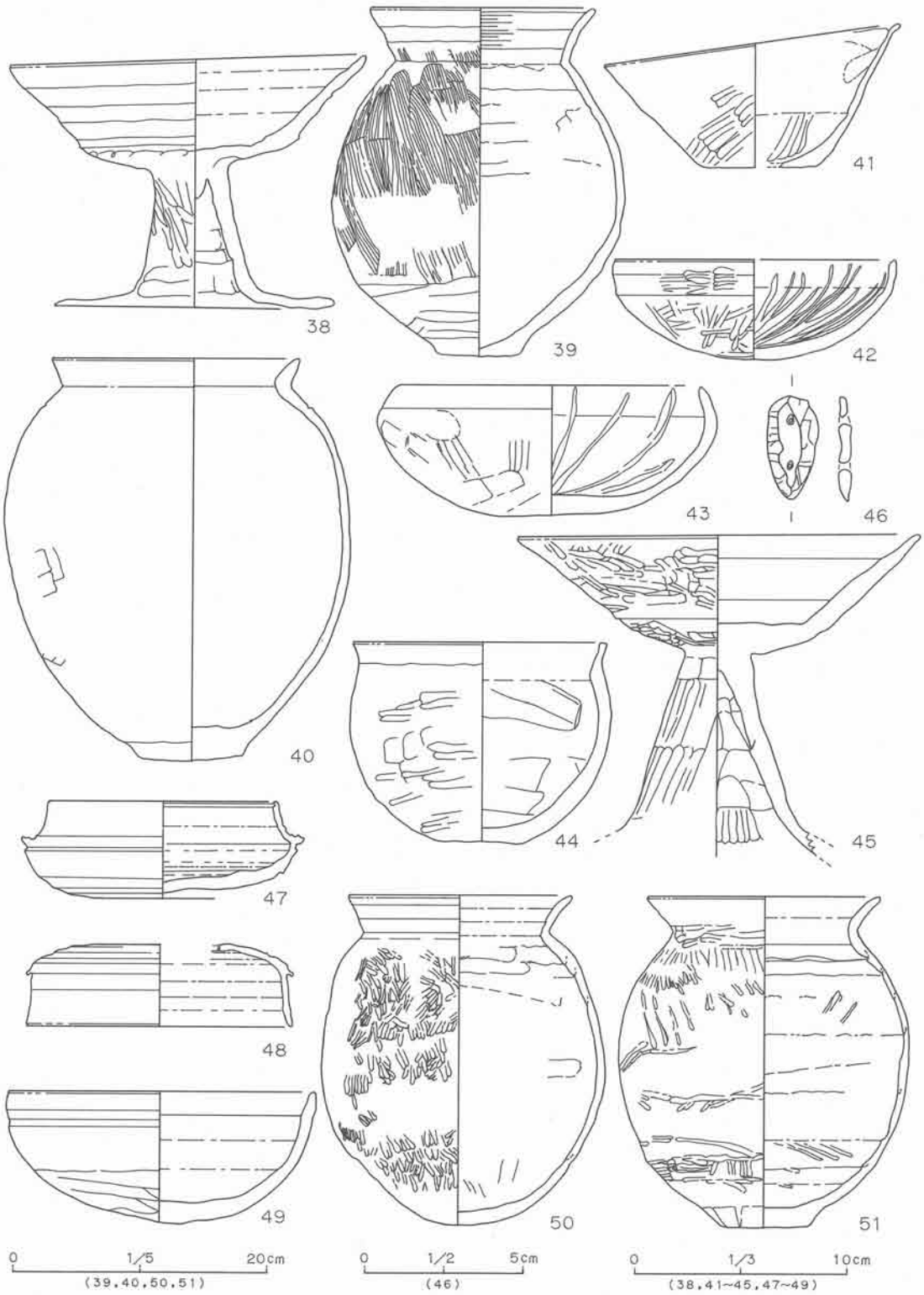
第34図　I－I・2・B－4実測図



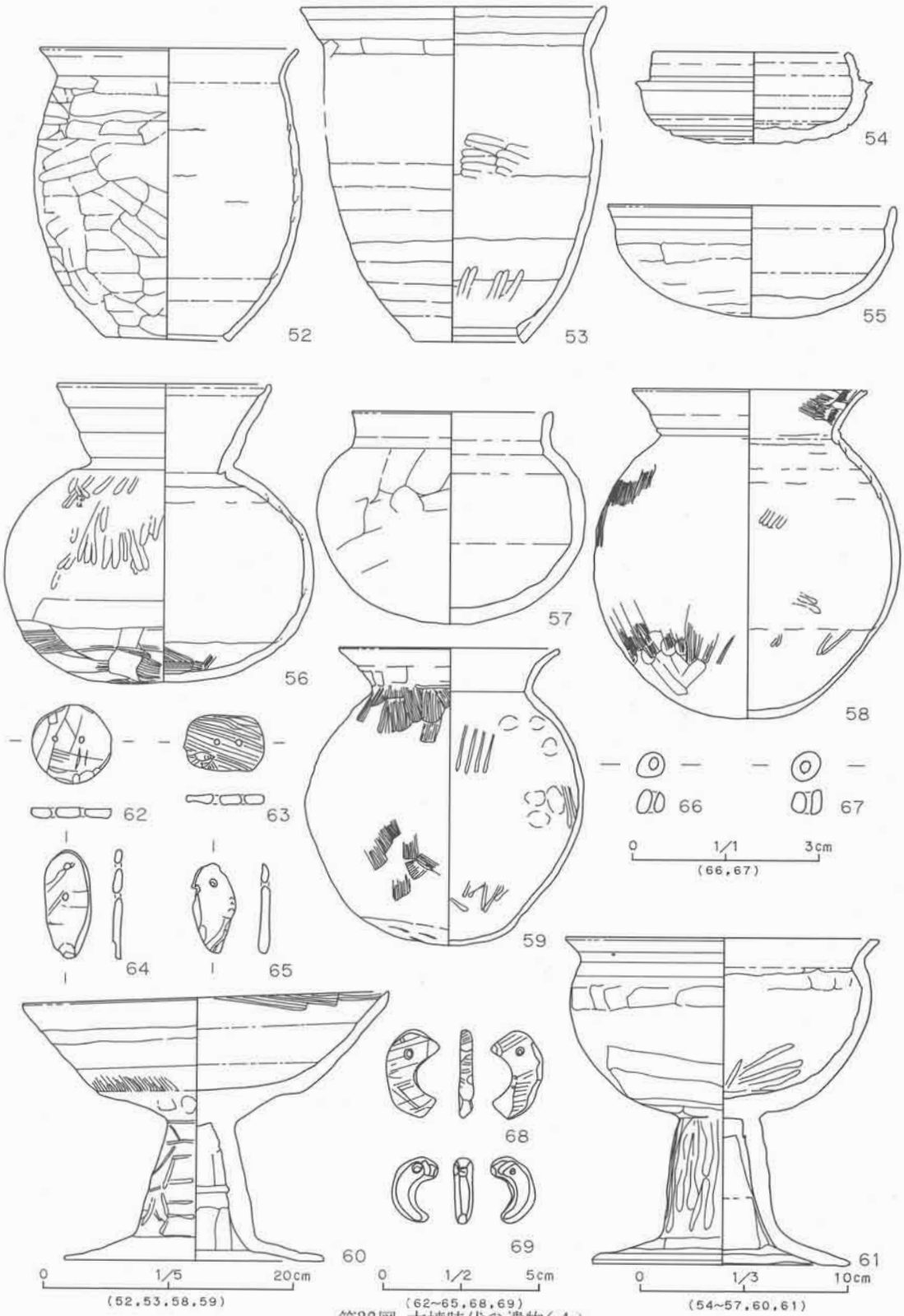
第35図 古墳時代の遺物(1)



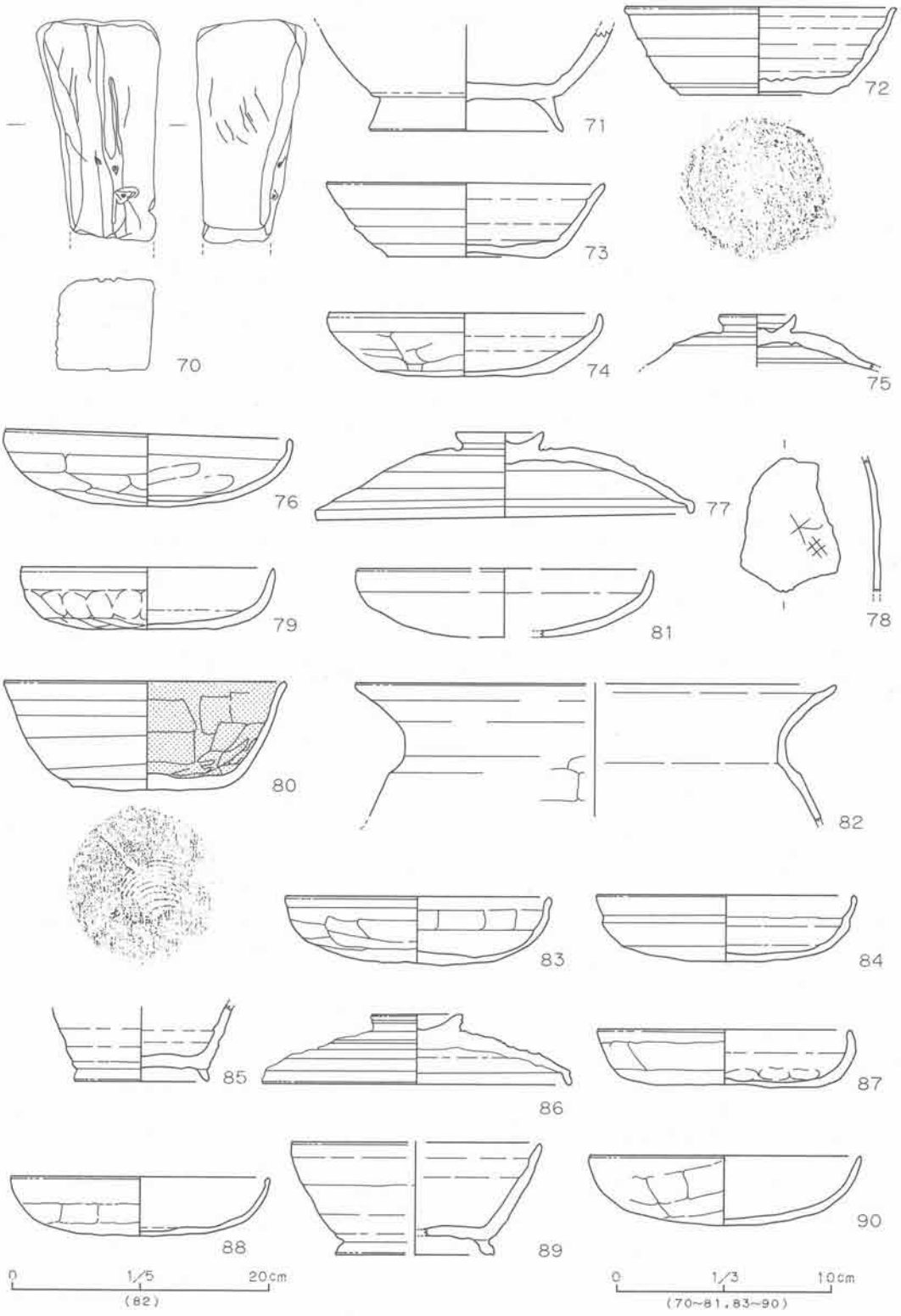
第36図 古墳時代の遺物(2)



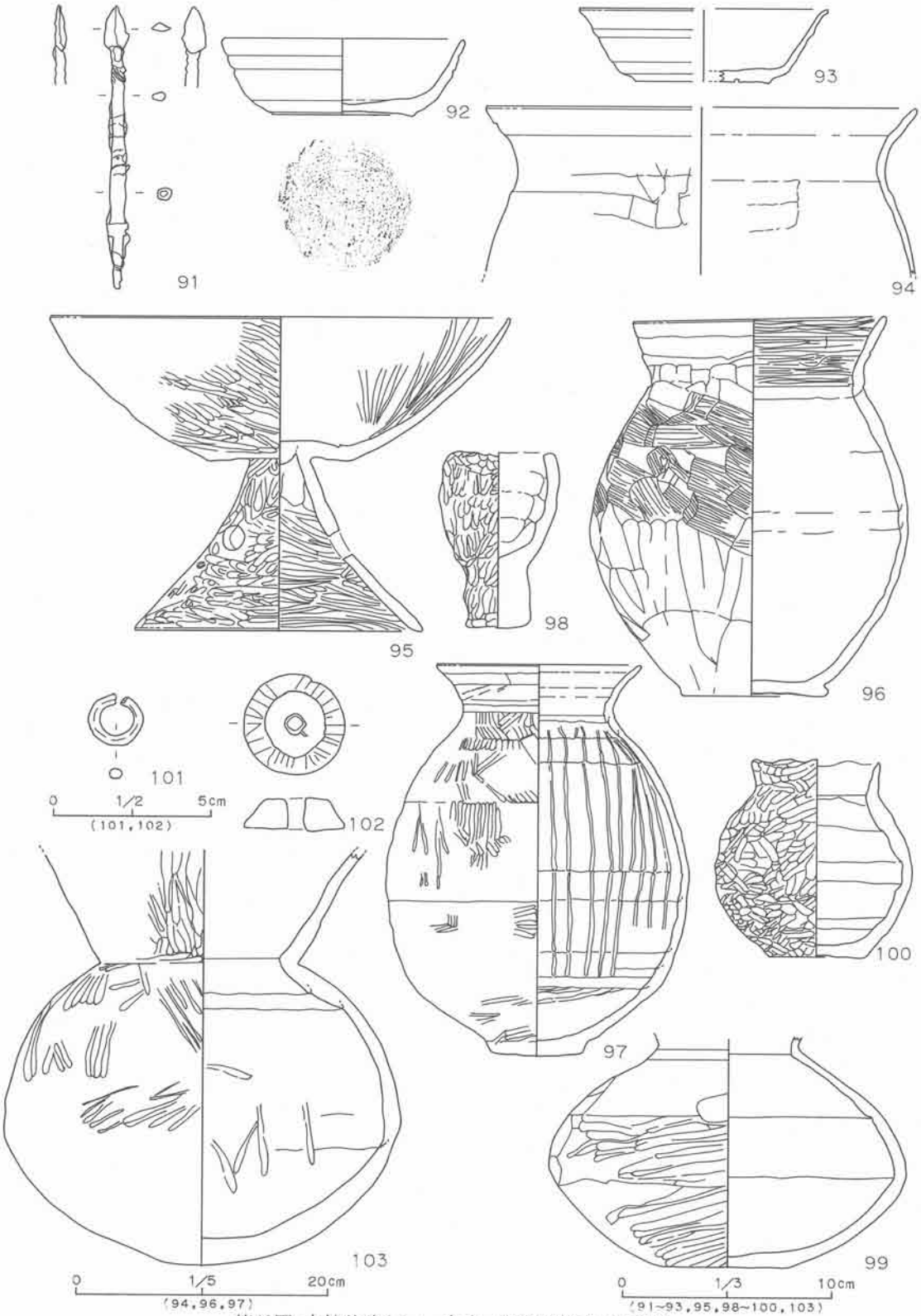
第37図 古墳時代の遺物(3)



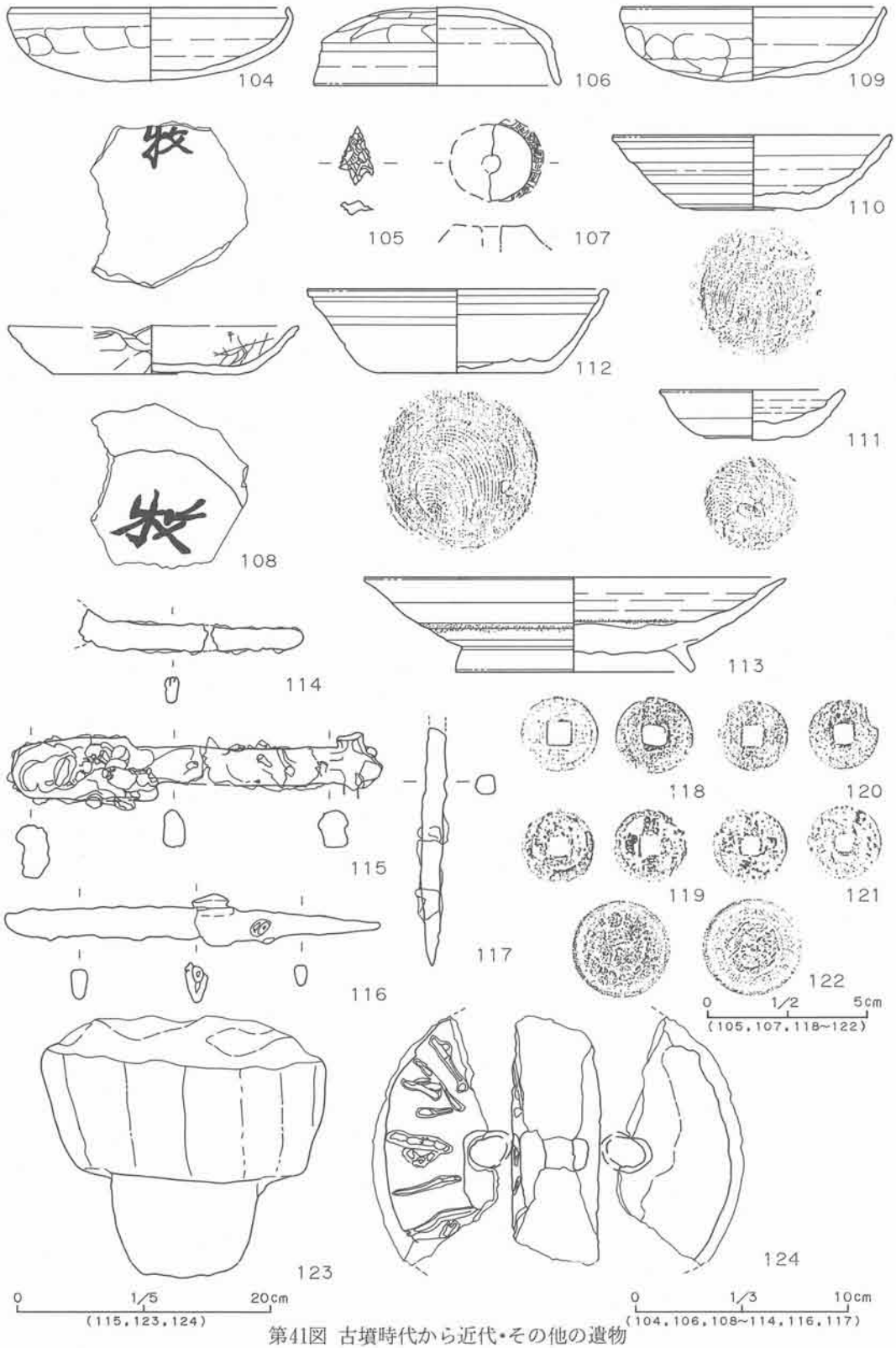
第38図 古墳時代の遺物(4)



第39図 奈良・平安時代の遺物(1)



第40図 古墳時代(５)～奈良・平安時代(２)の遺物



第41図 古墳時代から近代・その他の遺物

Ⅶ　中原遺跡群Ⅶ

1．概要

本年度の発掘調査では、水田址83面、溝・水路跡８条が検出されている。

水田址は、818（弘仁９）年の地震に起因する洪水堆積層で覆われて検出されていることから平成４、５、６年度調査で検出した水田址と同一のものである。また溝１条も水田址に伴うものがあり、水田址からの排水水口も検出されている。他は中世以降のものと思われる。

2．遺構と遺物

（1）平安時代の水田址

①水田の地形

現水田が広がる調査区は、赤城山南麓の末端に位置し、桃木川と荒砥川に挟まれた所に位置する。旧利根川の氾濫原といわれる広瀬川低地帯にあり、標高は約78.20m、基盤には礫層や砂層・シルト層などが堆積しており、旧利根川の氾濫堆積作用により形成された所と推定される。

本調査区の水田はＣ４、Ｄ４・５、Ｅ４・５区内に１号～83号水田まで検出され、Ｃ４区内の標高77.90mを最高地にＥ４区内の標高77.05mを最低地とする水田が検出されている。比高差は85cm程あり、北側の水田から南側の水田までは、直線距離で約175mを測り、北から南方向へ約4.85/1000の勾配を測る。また１区画に見る勾配も水口と同じく、北から南方向への勾配を利用している。

②水田の区画（全体図、図版27・28）

調査区の水田は、東西・南北方向に検出された大畦畔を挟んで検出されている。大半は残りのよい畦畔で区画され、方形状の区画はわずかで、変則的なものが多く、緩やかな勾配を利用し等高線に沿って作られたと推測される。また方形状の区画は平坦な所に直線的な畦畔によって区画されている。さらに自然地形を利用して水田を構築した所と微高地状の所を造成して作ったと推定される区画が全体の区画割によって読み取れる。

また、検出された東西・南北方向の大畦畔（大区画）は条里地割の坪境にほぼあてはまるが、坪の中は条里地割に言う半折型や長地型とは様相が異なり、区画がくずれていることがわかる。これは自然の地形をそのまま使用しているためか、災害などにより区画を作り替えたことによるものか不明である。他の調査区では部分的に半折型区画に類似するものもある。

③畦畔（全体図・第43図、図版27～29）

調査区内の畦畔は、緩やかな勾配を整地し作られ、走行は平坦な所では東西・南北方向に規則性を持って見られるが、ほとんどが地形に沿った曲線のものが多く、区画を囲む畦畔の走行性に違いが見られる。形状は台形状（かまぼこ形）を呈し、褐灰色粘質土層で作られている。

畦畔には大小２種類あり、幅の広い畦畔は条里水田の坪区画を形成する東西・南北方向にあてはまり、前回の調査区で検出した大畦畔からほぼ109mの間隔にあてはまる。また、幅の狭い畦畔は１区画の水田を区割りするもので、走行に統一性が見られない。Ｃ４、Ｄ４・５区内に検出された大畦畔の規模は、東西方向で確認長約53m、南北方向で推定長を含む長さ約64mを測る。

幅は、上端幅30～58cm、下端幅44～90cmまでのものが検出された。さらに水田面と大畦畔との比較差も東西方向のものでは南側12～28cm、北側５～25cmを測り、南北方向のものでは東側８～17.5cm、西側６～14cmの比較差を測る。また、小区画の畦畔は上端幅８～46cm、下端幅21～70cmを測り、水田面と畦畔の比較差は東側４～14cm、西側４～14cm、南側４～15cm、北側４～11cmまでの比較差を測る。畦畔は田に一定の水深で水を溜める為の囲いで、地形や高低差に合わせた水準面ごとの畦畔が必要とされ、平均化された範囲を囲むために、ある程度の幅や高さが必要とされる。ここで見られる畦畔も地形に沿った平均的水準面を囲むための畦畔作りがなされたと思われ、そのために大区画畦畔以外の畦畔は、等高線に沿った曲線のものが占める割合が多く見られる。

④水口、配水（全体図・第43図、図版27・28）

全体を砂礫層に覆われた水田は、１区画の面積や形状にあまり統一性が見られないが、区画を仕切った畦畔の要所要所には水口があり、この部分によって配水が行われている。水口は基本的に１区画の水田に水を取り入れる水口と下位水田への配水の水口とがあり、順次下位水田へ溜水しながら流している。調査区では水口が58か所検出された。水田の標高は１号水田の標高77.90mを最高地にＥ４区の70号水田の標高77.05mを最低地に85cmの比高差を測り、各水田へは勾配を利用し溜水させながら水を流している水管理の方法が見られる。各畦畔に見られる水口幅は、上端幅20～70cm、下端幅８～30cm幅のものがある。また畦畔の掘り込みは、３～17cm程の深さまである。さらに大畦畔に作られている水口は上端幅30～100cm、下端幅10～60cm、掘り込みは５～19cmまでの深さのものが検出されており、水口部分には流水による侵食の窪みがあり、流水していたことがわかる。

⑤足跡（全体図、図版28）

調査区内の水田面に人間の足跡が多数検出された。足跡の明瞭なものはＤ４・５、Ｅ４・５区内に多く見られ、１区画の水田面全体に検出された足跡もある。また、はっきりと連続して続く足跡や陥没した水田面にも検出されている。明瞭に残る足跡の大きさは、20～25cm程の大きさまであり、深さは2.5～６cmまでの窪みが検出されている。

歩行状況も水田面を東西・南北方向や反対方向など様々な歩行が見られる。このように足跡の残りが明瞭に検出されたのは、水田面全体を洪水砂礫層が厚く堆積していたためで、足跡の検出も洪水堆積物を精査した状態で形状だけが残り、さらに足跡内に残る砂層を取り除くと形がはっ

きり検出された。比較的見つけ易く、残りもよく歩行状況まで明瞭である。他の動物の足跡や稲株痕など形状がはっきりわかるものは検出されなかった。

⑥陥没水田（全体図・第43図、図版27）

調査区のD４、E４区にかけて陥没水田が帯状に検出された。陥没水田は37・44・63・65・66・67・69号水田面に見られ、幅は2.5～６m程まであり、通常の水田に比べ20～40cm程陥没している。さらに畦畔も同じく陥没前と比べると、18～20cm程陥没していた。また陥没水田面にトレンチを入れ断面を調査したところ、基盤には砂層、礫層、粘質土層などが帯状に弧を描いて陥没していた。全体の土層も水田面下より褐灰色土層や灰褐色粘質土、黒色粘質土などがラミナ状に堆積し下層には粘質土層と細砂層など見られた。中間層には小礫を含む土層が見られ食物等の酸化跡も見られた。陥没水田は水田耕作を行う前は小河川か窪み状の地形が存在したと考えられ、その後の堆積物で徐々に埋まり、地震による液状化現象により、弱い地層の所が陥没したと考えられる。

（２）溝・水路（全体図・第43図、図版28・29）

調査区全体で検出された溝、水路等は８条検出された。W－１～６は現耕作土層下より平安時代の水田面・畦畔を掘り込んで検出されている。いずれの溝も北から南方向に作られている。覆土は灰褐色土層とHr－FP・細砂を含む土層や洪水堆積砂礫層などを含む土層で埋まっている。またAs－B軽石層を掘り込んでいる溝やAs－B軽石を含む溝など見られ、土層から中世以後に作られたものと思われる。遺物は土師器・須恵器片等が検出されている。なかでも土師器片が多く、古墳時代～平安時代の遺物と思われ、摩耗状況から流れ込みと推定される。

W－７は調査区中央付近を南下して途中で西側に湾曲する。覆土は灰褐色砂質土層で軽石や小礫を含む土層で埋まっている。遺物は土師器片に混ざって古銭、砥石、茶碗片、ガラス片などの新しい遺物が多く検出されていることから、近年（土地改良）まで水路として使用されていたと思われる。W－８は水田と同じく、818年の地震に伴う洪水堆積砂礫層で覆われて検出された。溝の両端には水田との境を区切る畦畔が伴い、水田からの排水に使用したと思われる水口も検出されている。遺物はわずかに土師器片が検出されている。また前回の調査区（中原遺跡群II）で検出された溝と同じ溝で、水田に伴い接続する。

（検出された溝、水路等の計測値は一表に記載し報告する）

水田址計測表

（　）は推定値・検出面積及び推定形状，N・S・E・Wは畦畔位置を示す

田面No	面積(m²)	東畦(m)	南畦(m)	西畦(m)	北畦(m)	形状	水口(か所)	備考
1	(216.78)	(21.0)	—	(12.7)	—	—	—	東が大畦
2	39.69	4.3	—	(7.7)	(11.2)	(横長方形)	S＝1	
3	15.23	2.7	—	(5.4)	(7.7)	—	N＝1，S＝1	
4	20.43	6.1	—	(4.3)	(5.4)	—	N＝1，S＝1	
5	15.48	14.7	(15.6)	(3.7)	(1.5)	不定形	—	
6	23.78	—	—	(2.0)	(6.8)	—	N＝1	
7	20.70	(6.2)	—	(4.9)	(8.0)	—	E＝1	
8	21.50	9.7	—	(0.9)	(4.9)	—	E＝1	
9	0.37	(2.7)	—	—	(0.9)	—	—	
10	53.56	—	(10.2)	(12.7)	—	—	S＝1	
11	(67.57)	—	(1.5)	(19.8)	(12.7)	—	N＝1	
12	(95.90)	(24.2)	(24.5)	(5.2)	—	不定形	—	
13	(143.69)	(11.2)	(12.5)	(24.2)	(13.5)	不定形	—	
14	(62.31)	(11.5)	9.0	(9.6)	(8.8)	(長方形)	—	
15	20.59	(5.6)	6.9	3.8	(5.2)	台形	—	小区画
16	(145.25)	(7.2)	5.6	(24.3)	(23.2)	横長方形	S＝1	
17	8.61	(6.9)	4.3	—	3.8	おおぎ形	S＝1	小区画
18	(102.64)	(3.3)	8.5	(25.8)	(23.7)	横長方形	N＝1	
19	(4.35)	(7.0)	(6.0)	(3.2)	(3.7)	—	N＝1	小区画
20	(113.81)	(2.8)	(5.4)	(26.7)	(25.8)	横長方形	S＝1	
21	(102.52)	(3.6)	6.2	(25.3)	(23.9)	(横長方形)	N＝1，S＝1，W＝1	
22	(171.11)	(7.2)	5.1	(26.0)	(25.3)	(横長方形)	N＝1，S＝2，W＝1	
23	104.50	(18.5)	(7.8)	—	15.7	—	N＝2	西が大畦
24	(303.36)	(40.9)	(18.5)	—	(9.5)	—	—	
25	(136.09)	8.2	(11.8)	(11.2)	(16.4)	不定形	N＝1，S＝1	
26	18.14	4.5	—	7.4	9.4	三角形	S＝1	
27	(48.20)	6.6	—	11.5	12.1		—	
28	54.69	(7.6)	8.2	11.0	(15.7)	不定形	S＝1，W＝1	
29	(56.80)	5.6	(7.0)	(10.8)	(11.2)	(横長方形)	N＝1，S＝1	
30	(55.31)	6.0	(6.0)	(11.1)	(10.8)	(横長方形)	N＝1，S＝1，E＝1	
31	(36.50)	3.4	(3.8)	(11.1)	(11.1)	(横長方形)	N＝1，S＝1	
32	(150.13)	(14.2)	15.0	(10.9)	7.6	縦長方形	N＝1，W＝1	
33	(52.65)	4.8	(5.5)	(11.7)	(11.1)	横長方形	N＝1，S＝1	
34	68.41	5.2	(6.8)	(12.1)	(11.7)	横長方形	N＝1，S＝2，E＝1	
35	111.69	9.7	10.0	11.6	10.9	方形	S＝2	
36	(349.93)	(33.4)	24.8	(9.0)	(12.1)	(縦長方形)	N＝2	
37	(407.69)	(27.9)	(33.4)	(12.4)	(11.6)	縦長方形	N＝3	南が大畦
38	(77.93)	3.7	(10.8)	(18.8)	(23.0)	(横長方形)		
39	(80.30)	3.7	5.3	(19.5)	(25.3)	(横長方形)	—	
40	55.92	17.5	17.2	—	7.2	不定形	—	
41	(149.78)	4.5	8.6	(26.3)	34.0	不定形	—	
42	55.16	20.2	19.7	—	3.7	不定形	S＝1	
43	(110.26)	4.2	13.6	15.6	26.3	不定形	S＝1	
44	(179.43)	—	(21.0)	14.0	(26.2)	三角形	—	南が大畦
45	48.94	(10.2)	(10.6)	5	4.2	縦長方形	N＝1，S＝1，E＝1	南が大畦
46	56.90	(13.1)	(10.2)	4.1	4.5	不定形	N＝1S＝1E＝1W＝1	南が大畦
47	—	(4.4)	(16.2)	15.5	—	—	—	
48	—	—	(4.4)	(5.5)	—	—	—	

（　）は推定値・検出面積及び推定形状，N・S・E・Wは畦畔位置を示す

田面No.	面積(m²)	東畦(m)	南畦(m)	西畦(m)	北畦(m)	形状	水口(か所)	備考
49	83.11	9.6	5.5	10.8	12.0	台形	—	
50	70.06	—	10.3	(8.8)	(5.5)	—	—	
51	106.74	11.2	12.0	9.3	10.8	縦長方形	—	
52	84.77	(5.6)	10.5	8.5	(8.8)	(方形)	E＝1	
53	80.31	10.0	10.2	8.7	9.3	方形		
54	71.15	8.9	10.0	8.8	8.5	方形		
55	80.81	—	(24.3)		—	—	W＝1，S＝1	南が大畦
56	67.11	(7.8)	(7.2)	7.8	8.7	縦長方形	W＝1	南が大畦
57	78.59	8.8	(7.8)	8.6	8.8	方形	S＝1	南が大畦
58	5.37	—	—	(7.5)	—	—	—	
59	7.78	(22.1)	—	—	—	—	—	
60	2.87	(4.7)	—	(1.3)	—	—	—	
61	5.92	8.5	—	(0.7)	—	—	—	
62	0.69	(1.8)	(0.7)	—	—	—	—	
63	(175.76)	6.1	(11.8)	22.1	(28.1)	(横長方形)	N＝1，S＝1	陥没、北が大畦
64	186.09	9.0	17.0	18.5	22.1	不定形	N＝1，S＝1，	陥没水田
65	188.92	15.7	23.4	7.1	11.5	不定形	N＝1S＝1E＝1W＝2	北が大畦
66	156.78	8.3	8.1		18.5	横長方形	N＝1，S＝1，E＝1	陥没水田
67	53.88	4.3	4.5	12.7	13.4	横長方形	N＝1，S＝1，E＝1	陥没水田
68	56.69	7.1	4.3	10.0	10.5	不定形	N＝1，S＝1，W＝1	
69	233.08	(11.1)	(12.2)	16.1	22.7	台形	N＝2，S＝1	陥没水田
70	14.41	(8.4)	(9.4)	—	1.2	—	N＝1	
71	145.41	(19.0)	(8.4)	—	15.1	—	N＝2	
72	263.81		(39.2)	—	7.1	不定形	N＝1	足跡
73	83.45	16.6	18.6	—	8.1	不定形	N＝1，S＝1，W＝1	北が大畦
74	180.35	20.7	33.6	10.6	7.8	不定形	W＝1，E＝2	北が大畦
75	177.98	33.6	26.3		4.1	不定形	N＝1S＝2E＝1W＝1	北が大畦
76	117.48	—	(27.5)	—	(29.8)	—	N＝2，S＝1	
77	11.14	10.8	—	—	(5.6)	—	N＝1	
78	25.56		(14.5)		(5.9)	—		北が大畦
79	174.70	—	32.2	(2.9)	(14.5)	—	N＝1，S＝1	足跡
80	97.42		9.0		(21.4)	—	N＝1	
81	9.04	—	(7.9)	—	(2.9)	—	—	
82	84.44	—	(8.2)	10.3	(20.4)	—	S＝1	
83	32.27	—	(12.7)	—	10.3	—	N＝1	

畦畔断面計測表

単位：cm

No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ				No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
A-1	C4-Q4・5	31	52	—	—	10	8	49	D4-G・H8	18	31	—	—	5	6
2	C4-Q6	13	46	—	—	2	8	50	D4-G14・15	19	32	—	—	8	7
3	C4-R・S6	28	50	2	2	—	—	51	D4-G16	29	46	—	—	8	3
4	C4-R8	20	50	3	6	—	—	52	D4-G18	31	51	9	3	—	—
5	C4-S・T3	25	70	2	6	—	—	53	D4-G・H23	32	47	4	7	—	—
6	C4-S8	26	45	3	5	—	—	54	D4-G24	36	50	—	—	2	4
7	C4-S10	20	50	3	11	—	—	55	D4-H1011①	17	41	—	—	7	7
8	C4-U3	14	28	4	8	—	—	56	D4-H1011②	29	43	—	—	4	6
9	C4-U6	15	50	—	—	5	7	57	D4-H12	18	30	11	14	—	—
10	C4-U9	15	40	—	—	7	8	58	D4-H14・15	31	48	—	—	5	5
11	C4-V3	20	36	8	14	—	—	59	D4-H・I20	20	52	4	9	—	—
12	C4-V5	45	70	2	2	—	—	60	D4-H21	24	68	4	2	—	—
13	C4-V10	37	57	11	4	—	—	61	D4-I12	20	40	6	10	—	—
14	C4-W3	16	50	8	14	—	—	62	D4-I15	18	38	8	13	—	—
15	C4-W3・4	30	60	—	—	8	2	63	D4-I18・19	18	39	11	4	—	—
16	C4-W5	20	71	2	6	—	—	64	D4-I・J20	24	46	—	—	8	7
17	C4-X5	34	56	—	—	3	2	65	D4-I21	34	50	4	3	—	—
18	C4-X12	25	44	2	13	—	—	66	D4-I24	35	54	—	—	3	9
19	C4-X・Y13	20	45	2	2	—	—	67	D4-J・K20	32	42	2	5	—	—
20	C4-X・Y14	30	55	1	9	—	—	68	D4-J23	34	62	3	5	—	—
21	C4-X16	20	60	9	3	—	—	69	D4-K16	26	44	—	—	13	2
22	C4-Y3	40	58	7	9	—	—	70	D4-K20・21	22	42	—	—	8	4
23	C4-Y5	20	52	—	—	8	10	71	D4-K21	31	49	—	—	3	4
24	C4-Y8	8	21	6	10	—	—	72	D4-K24	40	55	—	—	4	2
25	D4-A・B15	46	55	3	8	—	—	73	D4-M13	28	44	—	—	9	11
26	D4-A16・17	16	45	—	—	6	4	74	D4-M・N19	24	47	—	—	15	5
27	D4-B・C4	18	44	10	11	—	—	75	D4-M20	24	48	—	—	6	4
28	D4-B4・5	23	37	—	—	6	13	76	D4-M22・23	32	47	2	6	—	—
29	D4-B9	16	33	4	7	—	—	77	D4-N18	34	47	—	—	3	3
30	D4-B14	25	43	—	—	6	5	78	D4-N20	29	44	4	11	—	—
31	D4-C9	18	35	6	10	—	—	79	D4-N21・22	27	50	—	—	4	4
32	D4-C4・5	30	45	—	—	7	9	80	D4-N24	37	45	—	—	6	3
33	D4-C12	20	38	—	—	6	5	81	D4-O19	22	34	2	10	—	—
34	D4-C13・14	23	50	—	—	8	10	82	D4-O21	28	45	—	—	9	4
35	D4-C15	28	48	5	9	—	—	83	D4-O23	42	72	2	4	—	—
36	D4-C16・17	23	40	—	—	9	8	84	D4-P19	19	33	—	—	7	9
37	D4-D9	24	39	7	11	—	—	85	D4-P20	34	42	—	—	8	4
38	D4-D12	21	32	5	10	—	—	86	D4-P22	25	50	—	—	6	4
39	D4-E4	40	70	—	—	6	14	87	D4-P24	40	65	—	—	8	6
40	D4-E6	21	36	6	9	—	—	88	D4-Q17	58	90	14	18	—	—
41	D4-E・F12	25	46	4	8	—	—	89	D4-Q・R19	46	84	25	28	—	—
42	D4-E13・14	20	38	—	—	10	4	90	D4-Q・R20	50	84	16	18	—	—
43	D4-F9	21	34	6	12	—	—	91	D4-Q・R21	55	85	9	21	—	—
44	D4-F・G13	23	41	7	12	—	—	92	D4-Q・R23	30	44	5	12	—	—
45	D4-F14・15	20	31	—	—	14	7	93	D4-R18	20	41	—	—	10	14
46	D4-F15	24	40	3	11	—	—	94	D4-S16	15	48	7	10	—	—
47	D4-F16	25	36	—	—	3	4	95	D4-S21	30	46	—	—	6	6
48	D4-F18	34	47	—	—	3	3	96	D4-T19	23	43	—	—	8	9

単位：cm

No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ N	S	E	W	No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ N	S	E	W
97	D4-T24	25	40	—	—	6	3	116	D5-Q・R0	50	70	12	19	—	—
98	D4-U19・20	19	48	—	—	10	10	117	D5-Q・R2	70	85	7	15	—	—
99	D4-V17	22	58	8	8	—	—	118	D5-S1	27	41	—	—	8	6
100	D4-V21	40	55	—	—	3	5	119	D5-S2	25	35	—	—	5	4
101	D4-W19	21	40	5	6	—	—	120	D5-W1	40	51	—	—	5	5
102	D4-W23	30	47	—	—	6	6	121	D5-W2	10	30	—	—	5	4
103	D4-W24	25	40	—	—	5	3	122	D5-X・Y3	24	40	3	5	—	—
104	D4-X16	19	40	9	11	—	—	123	D5-Y2	25	43	—	—	10	3
105	D4-X18	25	46	—	—	8	4	124	D5-Y3	40	47	—	—	7	2
106	D4-X21	40	61	—	—	5	8	125	E4-A20・21	35	45	10	5	—	—
107	D4-Y16	17	38	9	15	—	—	126	E4-C14	20	40	5	9	—	—
108	D4-Y20	19	39	8	8	—	—	127	E4-C18	30	46	7	4	—	—
109	D4-Y23	20	40	—	—	3	7	128	E4-C21	25	42	—	—	6	5
110	D4-Y24	27	50	—	—	7	8	129	E4-C24①	30	46	—	—	5	6
111	D5-G・H0	42	53	4	5	—	—	130	E4-C24②	25	44	—	—	7	6
112	D5-J0	27	53	4	5	—	—	131	E4-D16・17	22	40	—	—	11	9
113	D5-M0	30	48	6	6	—	—	132	E4-E15	20	60	2	12	—	—
114	D5-O0	25	50	5	9	—	—	133	E5-A1	35	50	—	—	6	5
115	D5-P1	30	40	—	—	5	2	134	E5-C1	30	42	—	—	8	5

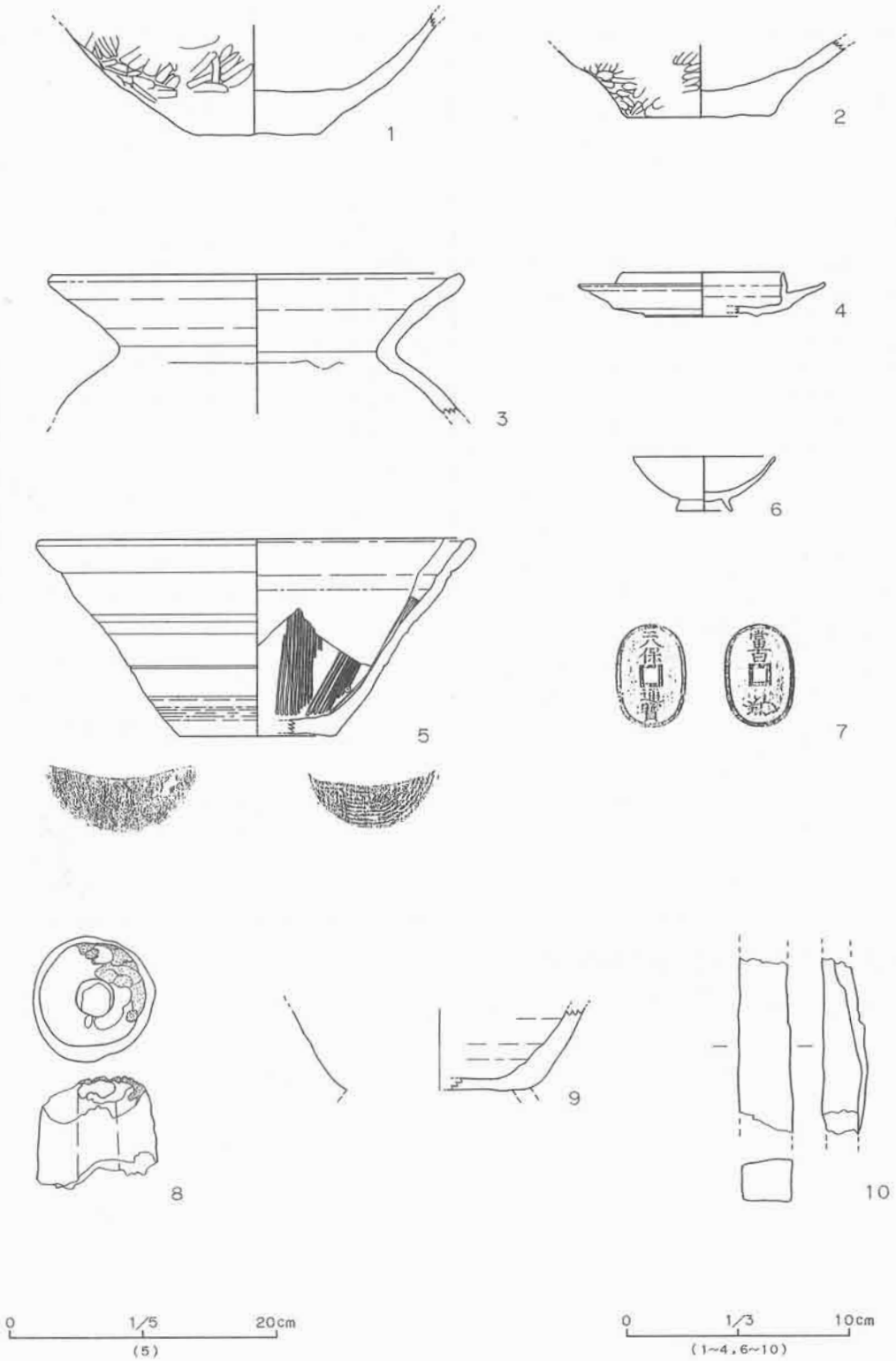
溝・水路計測表

No.	長さ (m)	深さ (cm)	底のレベル (m)	勾配 (%)	幅 (cm)	流水方向	位置 (グリッド)
W1	58.0	N70S60	N77.40S77.32	1.38	上100-220下30-140	N→S	C4-O4～D4-E4
2	73.2	N65S45	N77.35S77.15	2.73	上110-240下25-100	N→S	C4-P6～D4-J7
3	54.9	N34S30	N77.65S77.45	3.64	上20-120下20-60	N→S	C4-Q8～D4-F7
4	51.7	N42S25	N77.52S77.45	1.35	上50-120下20-60	N→S	C4-R10～D4-F9
5	83.8	N20S38	W77.50E77.24	3.10	上40-170下20-50	N→S	C4-S11～D4-O10
6	90.0	N64S45	N77.40S77.10	3.33	上70-220下20-80	N→S	C4-S11～D4-O11
7	103.0	N115S120	N76.50S76.20	5.59	上280-440下140-260	N→S	C4-V17～D[illegible]-Q10
8	53.7	N110S100	N76.20S76.14	1.12	上280-430下140-260	N→S	D4-S11～E4-F16

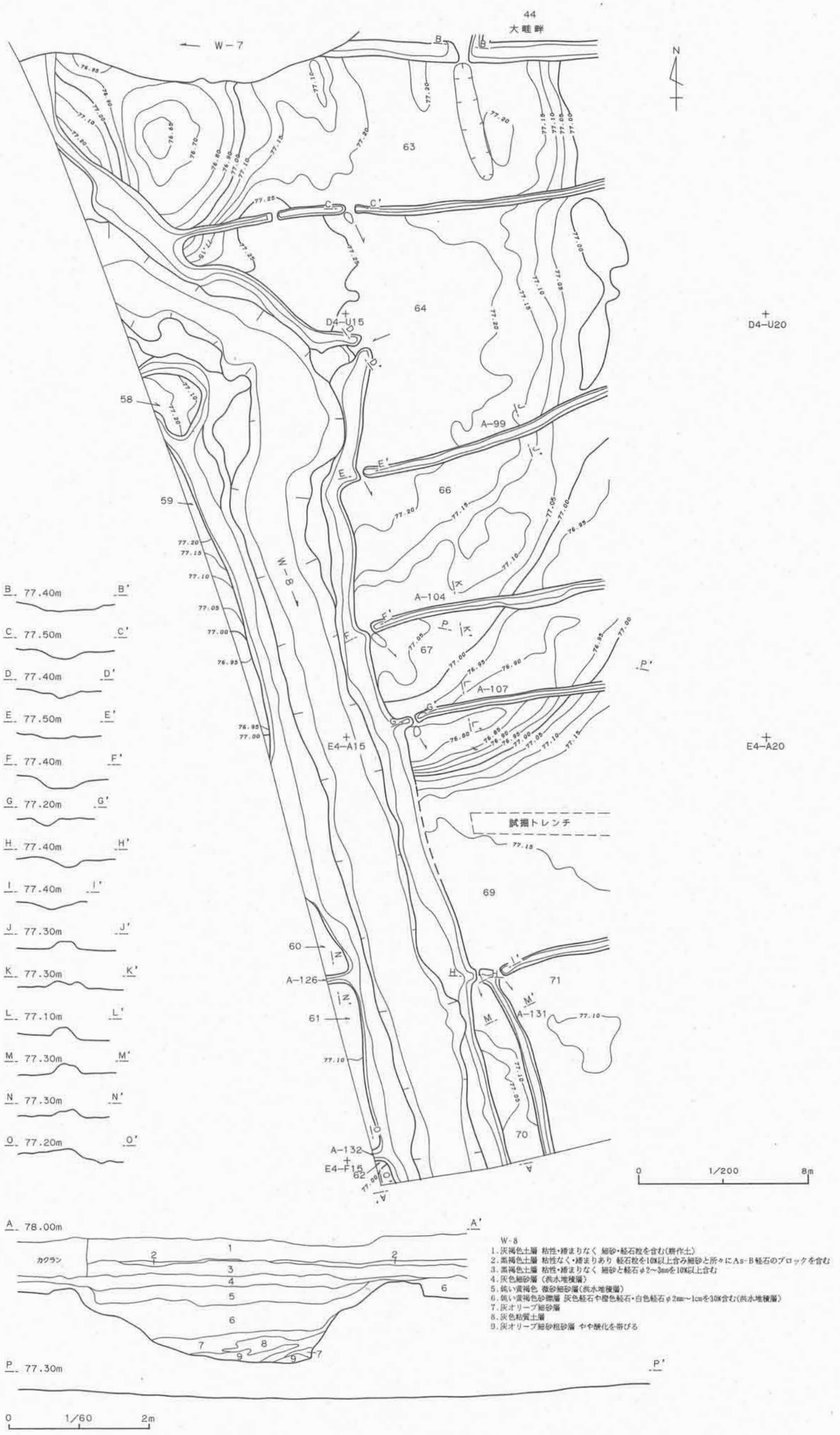
中原遺跡群Ⅶ出土遺物観察表

注：法量は①口径②底径③胴部最大径④頸部径⑤裾部径⑥器高⑦長さ⑧幅⑨厚み⑩穿孔をcmで⑪重量をgで表し、( )は推定値を示す。

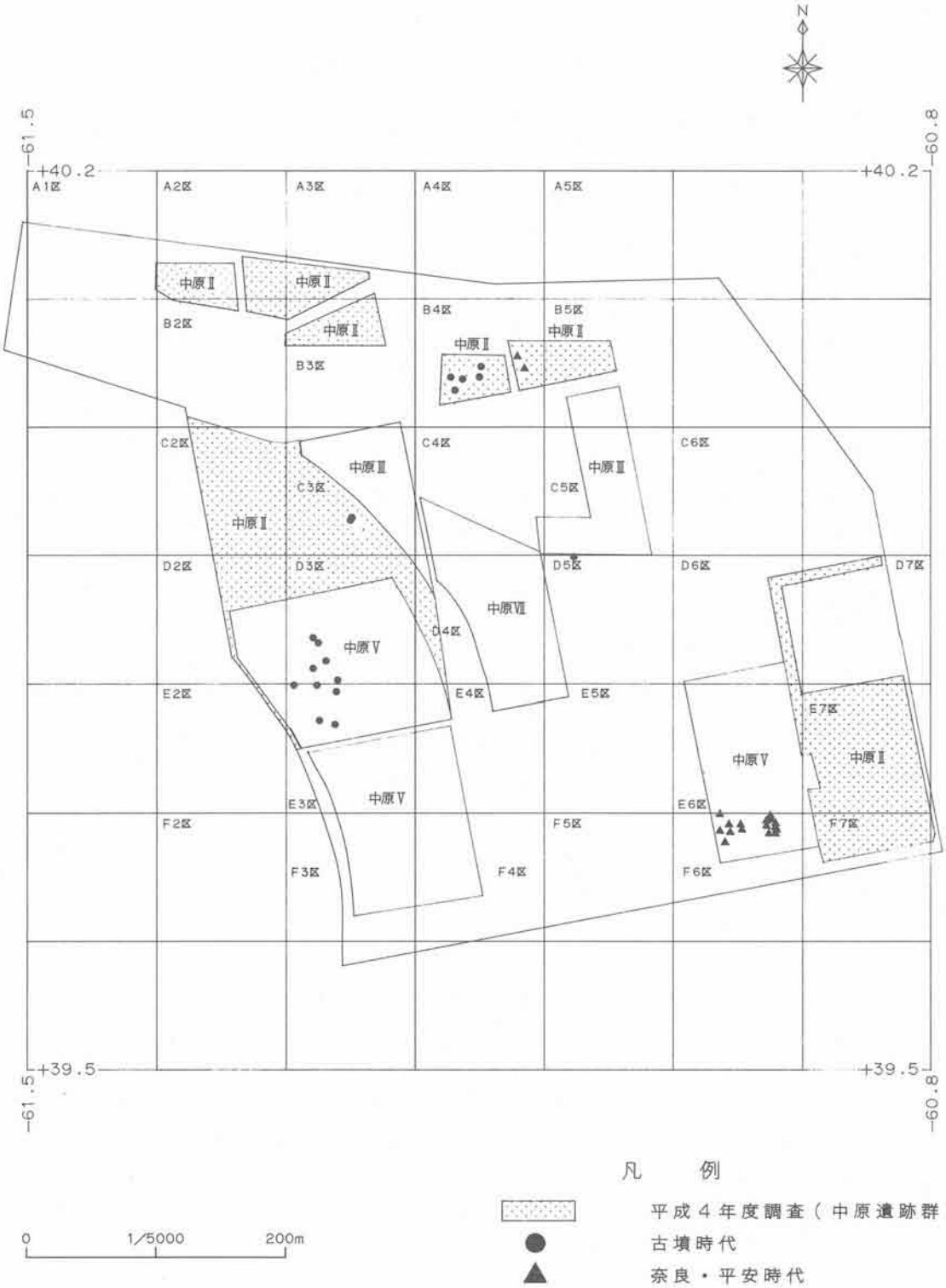
番号	出土位置	器形(種)	法量	①胎土②焼成③色調④残存	器形・製作技法の特徴
1	W-1 (C4-R4)	甕(土師)	②5.4⑥(4.9)	①雲母 軽石 長石 小礫 稠密②良好③にぶい褐7.5YR6/3④底部2/3	四角形の平底で肉厚な底部 外面胴部ヘラ削り後研磨 底部ナデ調整 内面胴部ヘラナデ 底部ヘラナデ調整
2	W-6 (C4-T18)	甕(土師)	②6.8⑥(3.1)	①雲母 石英 軽石 小礫 良②温度が低いが密③橙5YR6/6④底部	平底 外面胴部削り後研磨 底部回転ヘラ切り後周縁部ヘラ調整 内面底部ヘラ調整
3	W-6 (C4-U11)	甕(土師)	①(18.8)⑥(6.3)	①雲母 軽石 稠密②良好③オリーブ黒5Y3/1④口縁部1/5	「く」の字口縁。外面口縁部横ナデ 肩部ナデ 内面口縁部横ナデ 肩部ナデ
4	W-7 (D4-Q13)	灯明具 油受皿	①(7.2)⑥2.0	①稠密②良好③にぶい褐7.5YR6/3④1/4弱残	内面全体・外面一部に鉄釉
5	W-7 (D4-D13)	摺鉢	①(32.0)⑥14.9	①稠密②良好③赤褐10R4/4④1/4	上げ底気味の底部から「ハ」の字状に開く 外面3.0cm幅の口縁帯が廻り内面に軽い稜を設けてる 櫛目1単位13条
6	W-7 (D4-Q14)	小碗(磁器)	①6.3⑥2.5	①稠密陶土②良好③乳白④完形	小さな器。記念の盃
7	W-7 (D4-Q15)	古銭			天保通寶弘化4年(1847)
8	D4-F16 グリッド	羽口		①雲母 軽石 稠密②良好③にぶい橙5YR7/3④基部欠損	円錐形を呈す 先端部外径4.7 内穿孔径1.6 尻部外径5.4 内穿孔径1.9
9	D4-R24 (畦畔)	高台付椀 (須恵)	②(8.2)⑥(3.7)	①やや荒い②良好③灰N7/0④1/4	高台貼付痕 ロクロ整形
10	D4区 一括	砥石	⑦(7.5) ⑧2.2 ⑨1.9 ⑪57.13		長方形で使用面スロープ状砂岩



第42図　古墳時代～近世～近代の遺物



第43図 D・E 4区W-8・44,58~64,66,67,69~71号水田・畦畔・水口・陥没水田実測図



第44図　中原遺跡群 住居址分布図

Ⅷ まとめ

1．住居址について

中原遺跡群Ⅲ・Ⅴ・Ⅶの調査によって検出した住居址は、中原遺跡群Ⅲ（以下Ⅲと呼称する）の２面目調査で古墳時代の住居址１軒が、また中原遺跡群Ⅴ（以下Ⅴと呼称する）の１・２面目調査では、古墳時代の住居址10軒と奈良・平安時代の住居址16軒が検出されている。Ⅲから検出された住居址は、東壁にカマドを持ち、床面には炭化物や焼土の分布が見られる焼失の可能性が考えられる住居址で、古墳時代後期にあたる遺物を伴う。またⅤからは、古墳時代の中期中葉～後期前半までの遺物を伴う住居址が10軒検出され、時期的な差が少ないと思われる。さらに住居址はカマドを伴うものがほとんどだが、Ｈ－１・２はカマドがなく、Ｈ－５は炉址が検出されている。またＨ－１・２は全体が小さい住居址で、石製模造品などの遺物が検出されている。他にＨ－３は白色粘土で貼り床が施してある。形状は大小のものがあり、焼土・炭化物の分布が見られるものが多く検出されている。また奈良・平安時代の住居址は、重複やカマドの作り替えなどが見られ、北向きのカマド１軒を除き、他は東向きのものが検出されている。さらに出土遺物にみる時期も前回調査の中原遺跡群Ⅱ（平成４年度調査　以下Ⅱと呼称する）と近く、平安時代の水田址とも関わりを持つと思われる。

Ⅲ・Ⅴの出土遺物により時期区分をすると、以下に当てはまる。

時期区分	住居址編年表（住居址ナンバー）	
	中原遺跡群Ⅲ	中原遺跡群Ⅴ
５Ｃ中葉～５Ｃ末		5
６Ｃ前半	1	2・3・4・6・7・9・10
６Ｃ中葉		1・8
８Ｃ前半～８Ｃ末		13・19・23
９Ｃ前半～９Ｃ中葉		20・26
９Ｃ後半～10Ｃ前半		12・15・18・21・22・24
時期不明		11・14・16・17・25

また検出位置を遺跡別でみると、Ⅱで検出した住居址（Ｂ４区）とⅢで検出した古墳時代の住居址１軒は、共に平安時代水田址の検出されていない位置で、やや微高地状のところにある。さらにⅡ（Ｃ３区）で検出した古墳時代の住居址２軒と、Ⅴ（Ｄ３，Ｅ３区）で検出した住居址10軒とは２軒を除き、ともに２面目調査で検出され、位置も近く150m程の間に点在している。またⅤ（Ｆ６区）で検出された奈良・平安時代の住居址16軒と中原遺跡群Ⅳ（平成６年度調査、市調査団直営）の検出した古墳時代の住居址とは、60m程の間に隣接している。

さらに時代別でみると、古墳時代では東西・南北に300～350m程の間に広く点在し、奈良・平安時代では、北側と南東側に別れ、約400mの間にあり、平安時代の水田址と比べてやや微高地にある。このことから中原遺跡群で検出した住居址は、時代が移り変わっても、ほぼ同じ範囲で集落が形成されていたことがわかる。

2．水田址について

中原遺跡群は、桃木川と荒砥川に挟まれた細長く広がる水田地帯で、河川の影響を受け易く、上流から急な流れが弱まるところでもあり、河川の氾濫や耕作土等の移動が見られる肥沃な土砂の堆積する地形と思われる。また調査区全体では、地震に起因する洪水堆積層が10cmから最高47cmまでの厚さで堆積し、水田を覆っていた。その下の耕作土は、保水性に富む褐灰色土層で水田に適している。

水田には、東西・南北方向の大畦畔が検出され、角度も東西方向でN—92°—E前後で、南北方向ではほぼN—0°—Eを示し、東西・南北方向にほぼ直交する。またIIで検出した大畦畔とつながりを持ち、約109mの間隔にあてはまり、坪境をなすが、小畦畔は規則性が見られず、地形に沿った変則区画（曲線や斜め）が多く見られる。さらに条里制区割りにみる長地型や半折型にあてはめてみると、部分的に半折型に類似するところもあるが、ほとんど区割りが崩れ、水田面積も統一性がなく、大小様々な区画をなしていた。これは地形的に災害が多く発生したことにより、水田も影響を受けて、土砂の排除や復田が行なわれたためと考えられる。一方災害の影響が少なかったところは、半折型に類似する区割りが残ったと思われる。

また配水をみると、水田に伴う溝址が各調査区にあり、この溝から各水田に設けられた水口を通して配水が行なわれていたと思われる。そのために水を溜める湛水の深さを平均に保つ作業がなされていたと思われ、労働力も多く必要だったと思われる。こうしたことにより潅漑面積も次第に広範囲となっていったと考えられる。

さらに水田址全体の勾配をみると、B５区の78.10mを最高値に、F６区の76.40mを最低値で170cmの比高差を測り、B５区からF６区の間が約400mあることから4.25/1000となり、この傾斜を利用して配水していたことがわかる。また、溝も水田と同じく北から南への流水である。

埋没時期は、『類聚国史』によると818年に上野国を含む関東近県に地震があり、河川の決壊等による水害が発生したことが記されており、水田を覆った洪水堆積層がそのことを物語っている。さらに土層断面をからも、1108（天仁元）年のAs—B軽石が水田面より上層にあり、水田面下より古墳時代の住居址が検出していることから、６世紀から平安時代後期までの間であることがわかる。

参 考 文 献

・柳久保遺跡群Ⅰ　1985　前橋市埋蔵文化財発掘調査団

・芳賀団地遺跡群　第1巻　芳賀東部団地遺跡Ⅰ古墳時代編その1　1984　前橋市教育委員会

・芳賀団地遺跡群　第2巻　芳賀東部団地遺跡Ⅱ古墳時代編その2　1988　前橋市教育委員会

・元総社明神遺跡Ⅸ　1991　前橋市埋蔵文化財発掘調査団

・前箱田遺跡　1982　前橋市教育委員会

・中原遺跡群Ⅰ　1993　前橋市埋蔵文化財発掘調査団

・中原遺跡群Ⅳ　1995　前橋市埋蔵文化財発掘調査団

・資料集　赤城山麓の歴史地震　1991　新里村教育委員会

・大八木水田遺跡　1979　高崎市教育委員会

・芦田貝戸遺跡Ⅱ　1980　高崎市教育委員会

・昭和町Ⅰ遺跡　1992　高崎市教育委員会

・荒砥北部遺跡群発掘調査概要　1988　荒砥北部遺跡群調査会　群馬県教育委員会

・日高遺跡　1982　報告書　第5集　群馬県教育委員会（財）群馬県埋蔵文化財発掘調査事業団

・同道遺跡　1983　財団法人群馬県埋蔵文化財発掘調査事業団

・上越新幹線関係埋蔵文化財発掘調査報告第7集　洞Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ遺跡　平安時代須恵器生産工人集落と中・近世集落の調査　1986　群馬県教育委員会（財）群馬県埋蔵文化財発掘調査事業団・富士見遺跡群　田中田遺跡　窪谷戸遺跡　見眼遺跡　1986　富士見村教育委員会

・up 考古学選書［12］　水田の考古学　工楽善通　東京大学出版会　1991年10月14日初版

・寒川旭著　地震考古学　遺跡が語る地震の歴史　中公新書

・考古学ライブラリー45　出土渡来銭　～中世～
坂詰秀一編　ニューサイエンス社　1986　初版発行

・畑作文化の誕生　縄文農耕へのアプローチ
1988　佐々木隆明　松山利夫　日本放送出版協会

作業に参加した方々（順不同）

石川サワ子	内山恵美子	山崎勘治	三俣光江	中野鶴市	三川昭市
小沼あき	登坂　正	内田重二郎	内田喜久栄	内田三郎	新保松乃
飯島いし	井野大造	小淵丑子	宮前　実	新保勝太郎	佐野勝次郎
山田茂雄	主代仲治	岡田誉富	川島勝治	伏島克太	内藤　孝
角田正次郎	江口よしの	佐鳥直子	摩庭幸江	石井春江	萩原和子
富岡和子	堀越　豊	野口たかね	斉藤まき子	神沢方子	関　トシ子
木村とよ	横山佳子	野口栄一	伊藤　澄	堀越うめ子	井田晃一郎
井田年代	丸山好雄	丸山民江	金田友子	丸山金平	中沢　弘
榛沢よし子	高坂亜太郎	関　喜美江	原島さえ	関根時太	都丸保男
大沢光子	三俣　清	青木もとよ	鹿沼ヨシ子	福田義徳	木村勇蔵
木村省二	宮下貴冠	福田幸恵	石関加寿子	瀬下ゆき子	吉沢貴子
藤野弘子	小保方豊五郎	八木原きぬ子	高坂やすの		

写　真　図　版

中原遺跡群	III	1～4
〃	V	5～26
〃	VII	27～29

C・D 3，B，C 5 区調査前現況

1 号住居址

1 号住居址遺物出土状況

1 号住居址遺物出土状況

1 号住居址カマド

C 3 区調査区全景(北西より)

C 3 区調査区全景(南より)

C 3 区調査区全景(南より)

図版２

Ｃ３区調査区全景(東より)

Ｃ３区調査区全景(東より)

Ｃ３区陥没水田全景

Ｃ３区水田面全景(北より)

Ｃ３区大畦畔(西より)

Ｃ３区大畦畔(東より)

Ｃ３区 Ｎ１９グリッド内水口

Ｃ３区 Ｑ２２グリッド内足跡

C３区 W－１・２

B５区調査区全景(南より)

C５区調査区全景(北より)

B５区 V１２グリッド内水口

C５区大畦畔(西より)

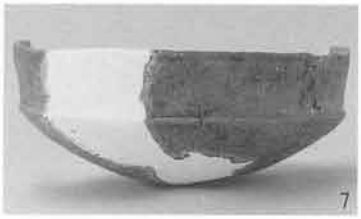
C５区 D１２グリッド内水口(大畦畔)

C５区 A１２グリッド内足跡

C５区 W－３

Ｃ５区 Ｗ－４

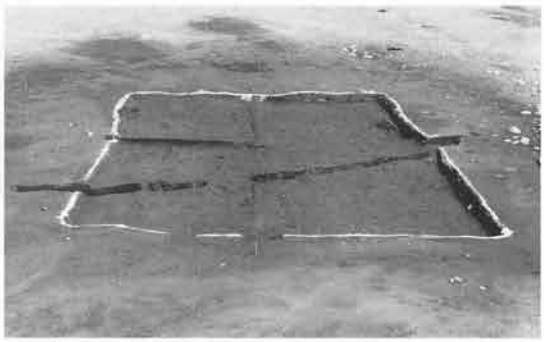
Ｃ５区道跡全景



Ｄ３・４区調査前現況

１号住居址

１号住居址遺物出土状況



２号住居址

２号住居址遺物出土状況

３号住居址

４号住居址

４号住居址遺物出土状況

4 号住居址カマド

4 号住居址カマド遺物出土状況

5 号住居址

5 号住居址遺物出土状況

5 号住居址炉完掘

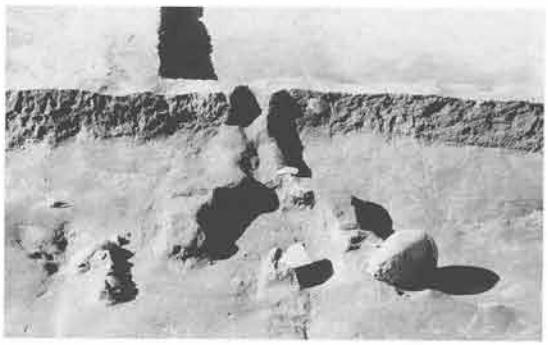
6 号住居址

6 号住居址遺物出土状況

6 号住居址カマド

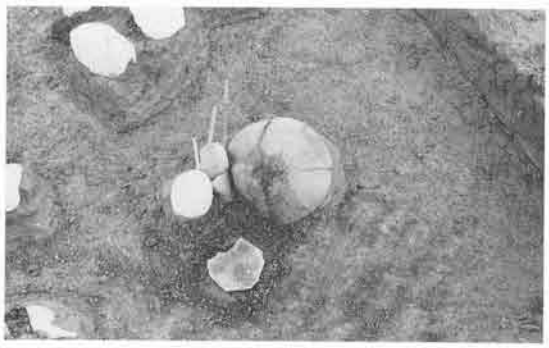
7 号住居址

7 号住居址遺物出土状況



7 号住居址カマド

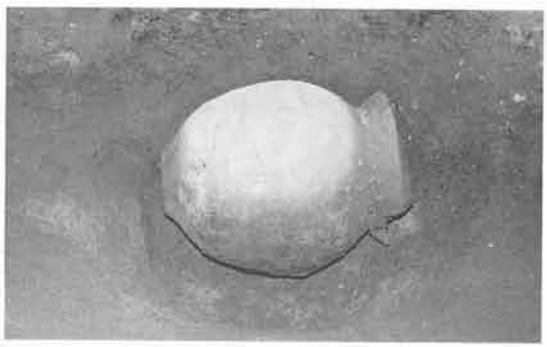
8 号住居址



8 号住居址遺物出土状況

8 号住居址カマド

9 号住居址



9 号住居址貯蔵穴遺物出土状況

図版８

９号住居址カマド

10号住居址

10号住居址遺物出土状況

10号住居址カマド

10号住居址カマド遺物出土状況

D・E－２・３・４区水田址全景(北より)

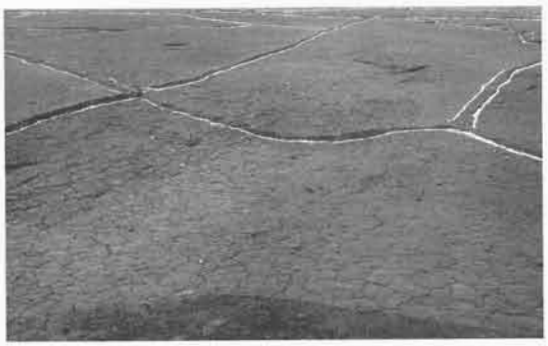
D・E－２・３・４区水田址全景(南より)

D・E－２・３・４区水田址全景(南より)

D・E－2・3・4区水田址全景(南より)

D3区 K・L4グリッド内水口

D3区 S・T17グリッド内水口



D3区陥没水田址(15, 16号水田)

D3区 N16グリッド内足跡(12, 16号水田)

E3区土坑群

E3区 H20～23グリッド内集石(東より)

B3区 W－1(東より)

E４区 W－２(北より)

E３区 W－３(北より)

D３区 W－４(東より)

D３・４区 W－５(西より)

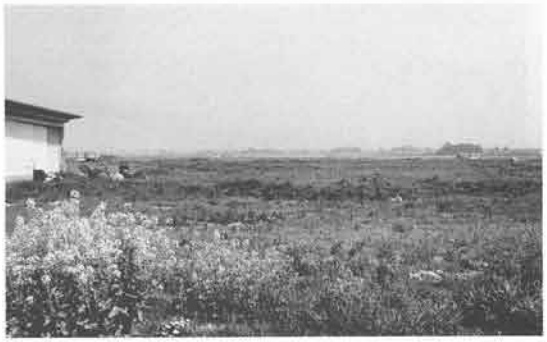
D３区 W－６(南より)

D２区 W－７(東より)

E２・３区 W－８(北より)

E３区 H13グリッド内１号井戸址

E３区　I 13グリッド内２号井戸址



E・F－３・４区調査前現況

E３区水田址(北より)

E・F－３・４区水田址全景(南より)

E・F－３・４区水田址全景(南より)

E４区157号水田址からW－11への水口

E４区　B３グリッド内足跡(163号水田)

E・F－３区土坑群

F３区G13グリッド内掘立Ｂ－４

Ｅ３区X13グリッド内３号井戸

E・F－３・４区 W－3・10・11・12(北より)

E・F－3・4区 W－10・11(南より)

D６・E・F－６・７区調査前現況

11号住居址

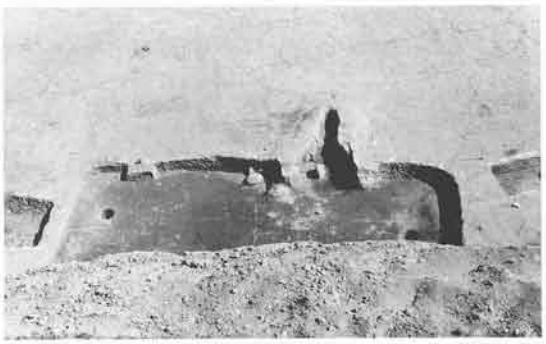
11号住居址遺物出土状況

11号住居址カマド

12号住居址

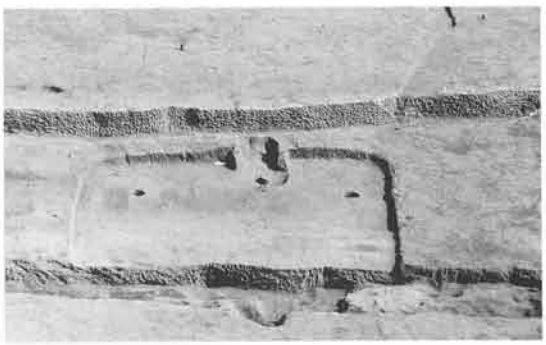
12号住居址遺物出土状況

12号住居址カマド1・2

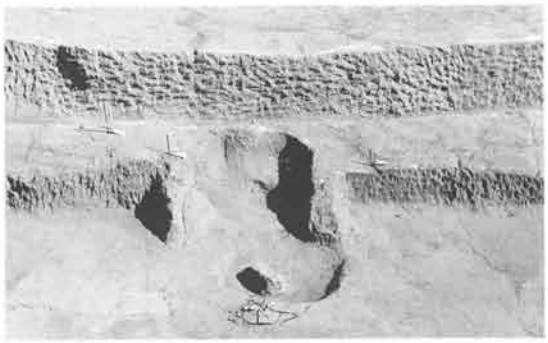


13号住居址

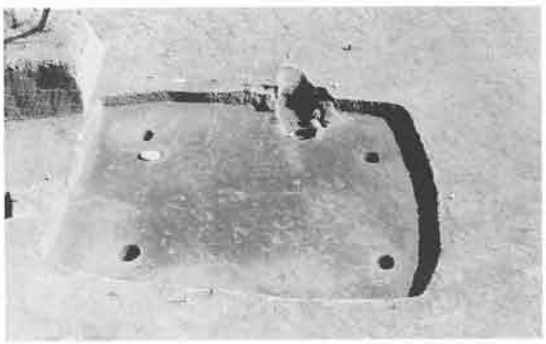
13号住居址カマド



14号住居址



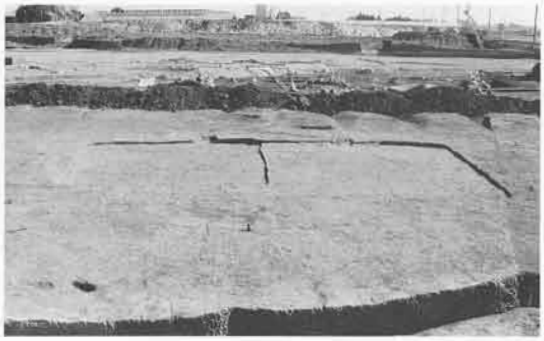
14号住居址カマド



15号住居址

15号住居址遺物出土状況

15号住居址カマド



16・17号住居址

16号住居址遺物出土状況

16号住居址カマド

17号住居址

17号住居址カマド

18号住居址

18号住居址遺物出土状況

18号住居址カマド

19号住居址

19号住居址遺物出土状況

19号住居址カマド

20号住居址

20号住居址遺物出土状況

20号住居址カマド

21・23号住居址

21号住居址遺物出土状況

21号住居址カマド1・2

22号住居址

22号住居址遺物出土状況

22号住居址カマド

23号住居址遺物出土状況

23号住居址カマド

24号住居址

24号住居址遺物出土状況

24号住居址カマド

25号住居址

25号住居址遺物出土状況

25号住居址カマド

21・23・26号住居址

26号住居址遺物出土状況

26号住居址カマド

D・E・F－6・7区水田址全景(南より)

D・E・F－6・7区水田址全景(南より)

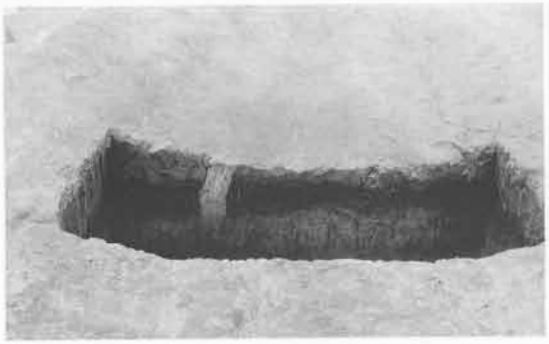
D・E・F－6・7区水田址全景(北より)

E 6区大畦畔全景(南より)

E 6区大畦畔全景(西より)

E 6区Y19グリッド内陥没水田(237号水田)

E 6区M10グリッド内足跡(201・202号水田)



地割れ跡(W－16内)

E・F 6区溜池状遺構

E・F 6区畝状遺構

D・E・F 6区 W－14(西より)

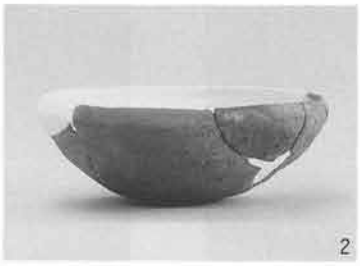
D 6区 W－13・15・16・18・19・20・24(西より)

D 6区 W－21(東より)

F 6区 W－17・22(南より)

F 6区 W－22・23(北より)

1


2

3

4

11

12

13

15

16

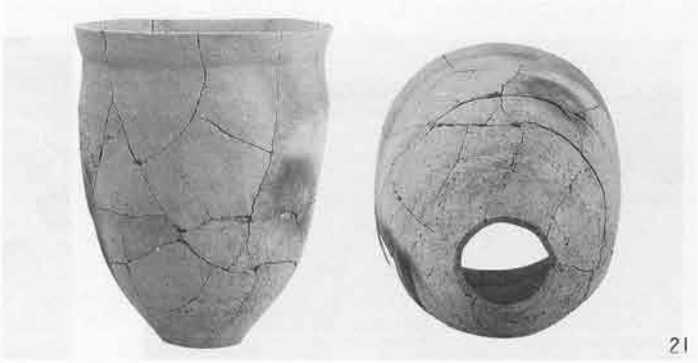
14

17

18

19

20


21

23

24

22

26

35

27

29

30

31

32

33

34

36

37

38

39

40

41

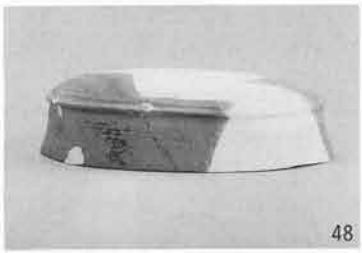
42

43

44

45

47


48

49

50

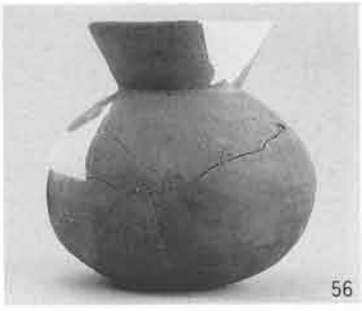
51

52

53

54

55


56

57

58

59

60

61

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

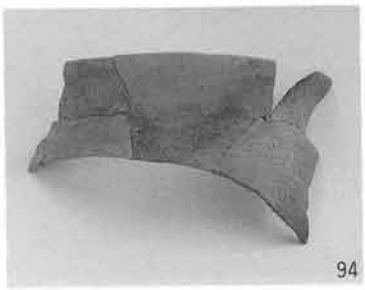
88

89

90

92

93

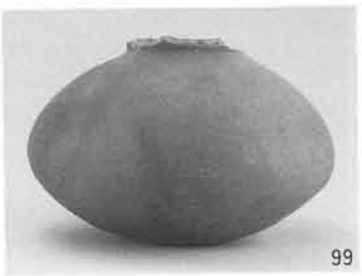

94

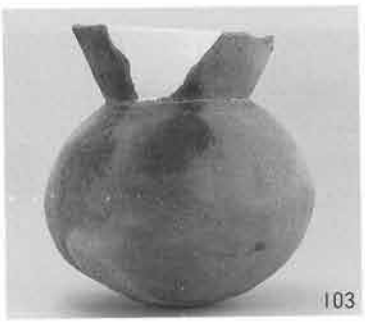
95

96

97

98


99


103

100

104

108

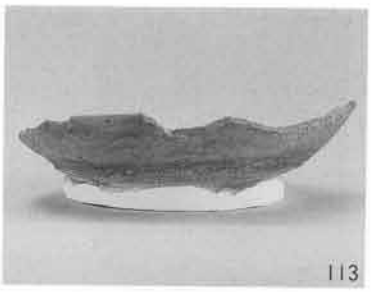
106

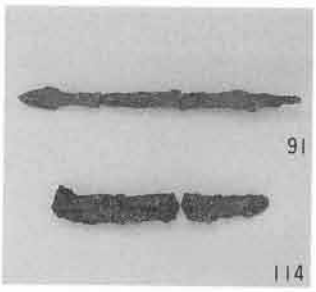
109

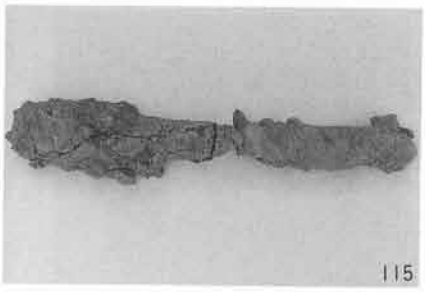
110

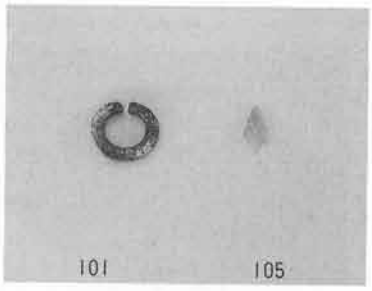
111

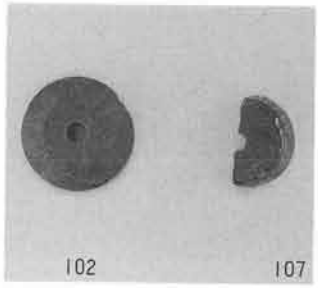
112

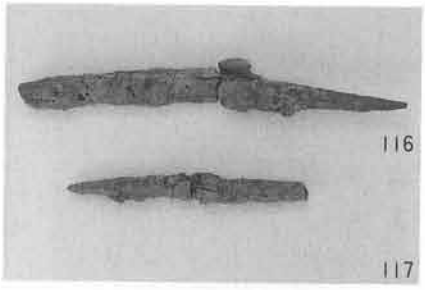

113

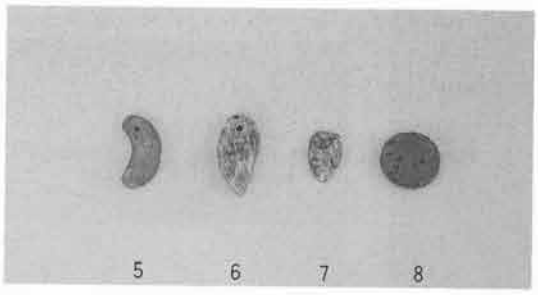

91
114

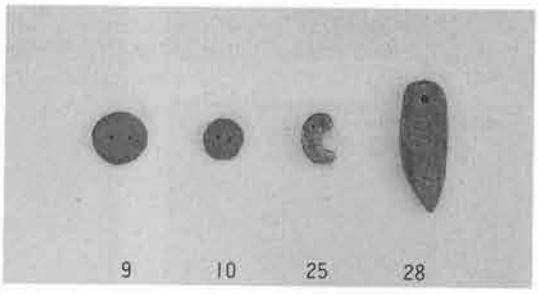

115

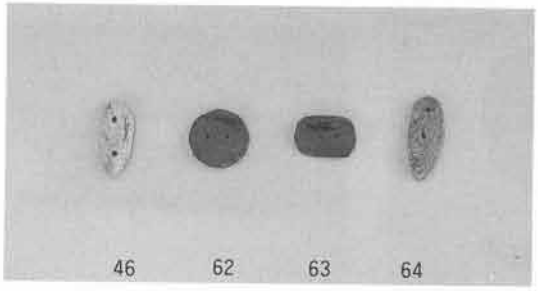

101
105

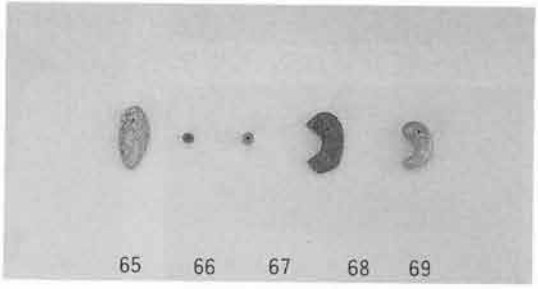

102
107

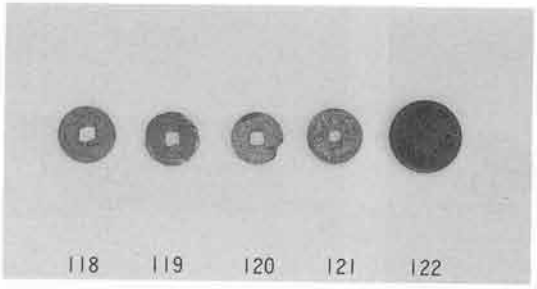

116
117

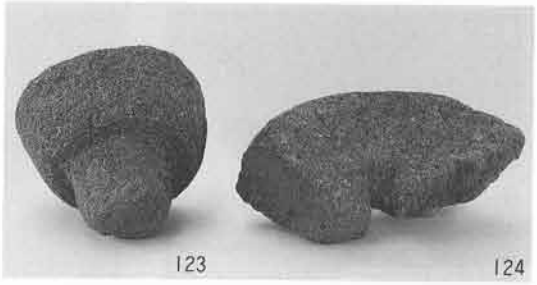

5
6
7
8


9
10
25
28


46
62
63
64


65
66
67
68
69


118
119
120
121
122


123
124

C４・D４区調査前現況

C・D４・D５・E４・５区調査区全景(南より)

C４・D４区調査区全景(南より)

D４区U11グリッド付近陥没水田

D４区A０グリッド内大畦畔

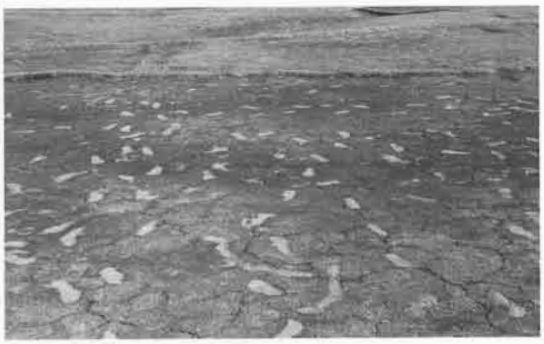
D４区B14～I13グリッド内畦畔

D４区P15･20グリッド内大畦畔

D４区C４・５グリッド内水口

Ｄ４区Ｑ21･22グリッド内水口

Ｄ４区Ｕ15グリッド内Ｗ－８への排水口



Ｅ４区Ａ20グリッド内足跡群

Ｄ４区Ｖ21･22～Ｅ４区Ｄ21～23グリッド内足跡群

Ｄ４区Ｘ22グリッド内足跡群

Ｄ４区Ｖ21･22グリッド内足跡計測

Ｃ４･Ｄ４区Ｗ－１

Ｃ４･Ｄ４区Ｗ－２･３

C4・D4区W－4・5・6

C4・D4区W－7

C4・D4区W－8

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

抄　　録

フリガナ	ナカハライセキグンサン・ゴ・ナナ
書名	中原遺跡群Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ
副書名	上増田工業団地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ	
編著者名	スナガ環境測設株式会社　荻野博巳
編集機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
編集機関所在地	〒371　群馬県前橋市上泉町664番地の4
発行年月日	西暦1996年3月25日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ナカハライセキグンサン 中原遺跡群Ⅲ	マエバシシカミマスダマチ 前橋市上増田町, ウツボイマチ　イマイマチ 筑井町, 今井町	10201	5 F 3	36°21′28″	139°11′02″	19931201 19940315	12,295㎡	工業団地造成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中原遺跡群Ⅲ	集落跡	古墳時代後期	竪穴住居址　1軒	土師器甕、高坏、甑、坏	
〃	水田址	平安時代	水田址　95面	土師器、須恵器	条里制水田
〃	溝・水路跡	平安時代～近代	溝・水路　4条	土師器、木杭、五輪塔、近世の遺物	
〃	道跡	近代	道跡　1か所	なし	

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ナカハライセキグンゴ 中原遺跡群Ⅴ	マエバシシカミマスダマチ 前橋市上増田町, ウツボイマチ　イマイマチ 筑井町, 今井町	10201	6 F 3	36°21′28″	139°11′02″	19940428 19950324	41,600㎡	工業団地造成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中原遺跡群Ⅴ	集落跡	古墳時代中期～後期	竪穴住居址　10軒	土師器甕、高坏、甑、坏、壺、須恵器、坏、蓋、石製模造品	
〃	集落跡	奈良・平安時代	竪穴住居址　16軒	土師器甕、埦、坏、須恵器高台付埦、蓋	
〃	水田址	平安時代	水田址　243面	土師器	条里制水田
〃	溝・水路跡	平安時代～近代	溝・水路跡　24条	土師器坏、須恵器甕、古銭、石臼、五輪塔	
〃	井戸址	中世～	井戸址　3か所	土師器	
〃	畝状跡	中世～	畝状跡　1か所	土師器	
〃	集石跡	中世～	集石跡　1か所		
〃	溜池状遺構	近代	溜池跡　1か所	近代の遺物	
〃	土坑	中世～	土坑　363基（うち掘立柱遺構を構成するものを含む）		
〃	掘立柱遺構	中世～	掘立柱遺構4か所		

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ナカハライセキグンナナ 中原遺跡群VII	マエバシシカミマスダマチ 前橋市上増田町, クツボイマチ　イマイマチ 笂井町, 今井町	10201	7F3	36°21′28″	139°11′02″	19950609 19950822	10,500㎡	工業団地造成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中原遺跡群VII	水田址	平安時代	水田址　83面	土師器、須恵器	条里制水田
〃	溝・水路跡	平安時代～近世～近代	溝・水路跡　8条	土師器・須恵器等、近世の遺物（古銭、磁器の破片他）	

中原遺跡群III・V・VII

1996年3月18日印刷
1996年3月25日発行

発　行　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
前橋市上泉町664番地の4

編　集　スナガ環境測設株式会社
前橋市青柳町221番地の1

印　刷　朝日印刷工業株式会社

X=40,060
Y=-61,300
B3-P5
B3-P15
B4-P0
B4-P10
C3-A5
C3-A15
C4-A0
C4-A10
C3-K5
C3-K15
C4-K0
C4-K10
トレンチ
カクラン

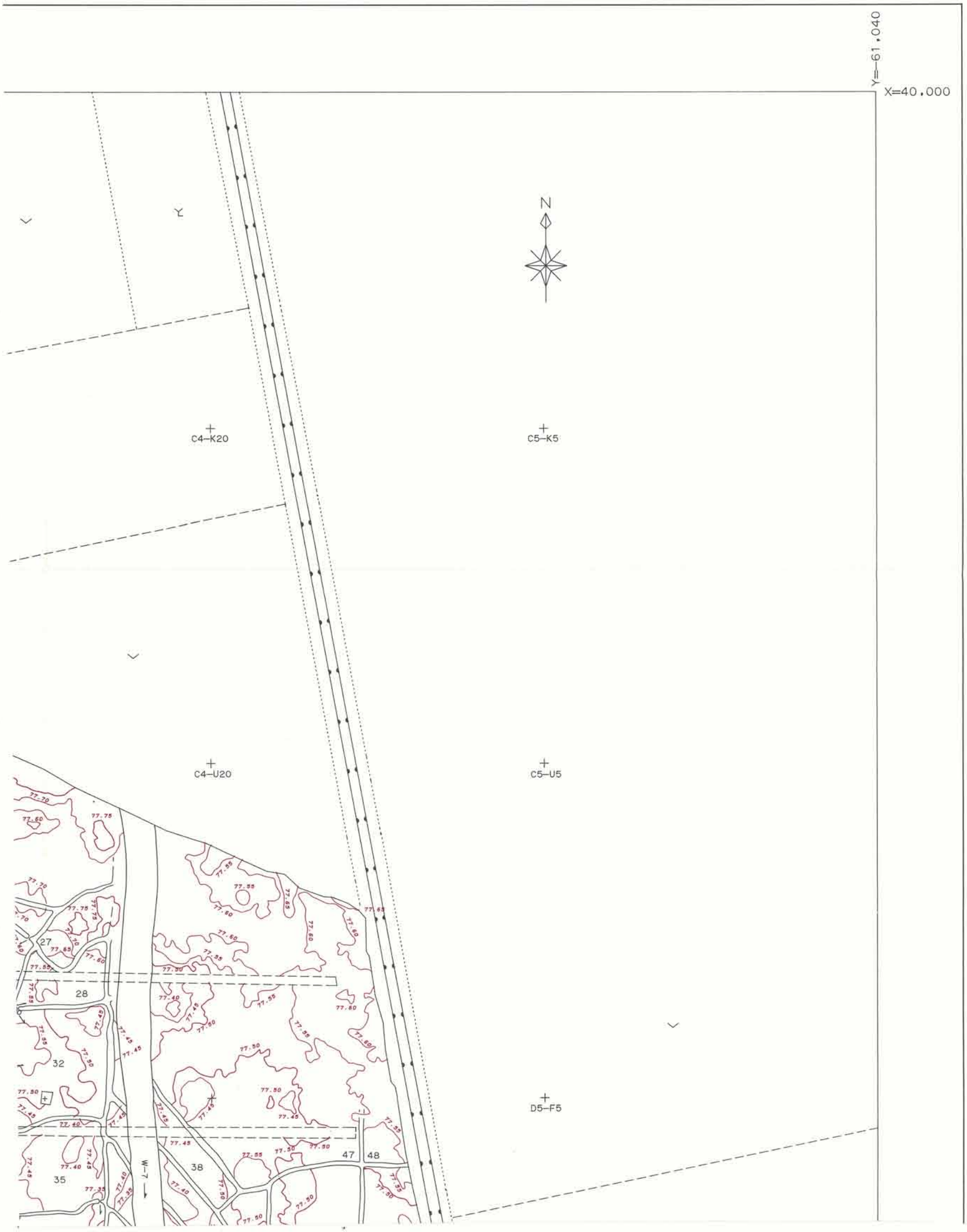
平面図　S＝1：500

Y=-61,000
X=40,060
B5-P0
B5-P10
B5-P20
C5-A0
C5-A20
C5-K0
C5-K10
C5-K20
N
BM.H=78.000m
カクラン
カクラン
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75

平成八年三月二十五日　スナガ環境測設株式会社作成

X=40.000
Y=-61.240
C4-K0
C4-K10
C4-U0
D4-F0
W-1
W-2
W-3
W-4
W-5
W-6
大畦畔

平面図　S＝1：500

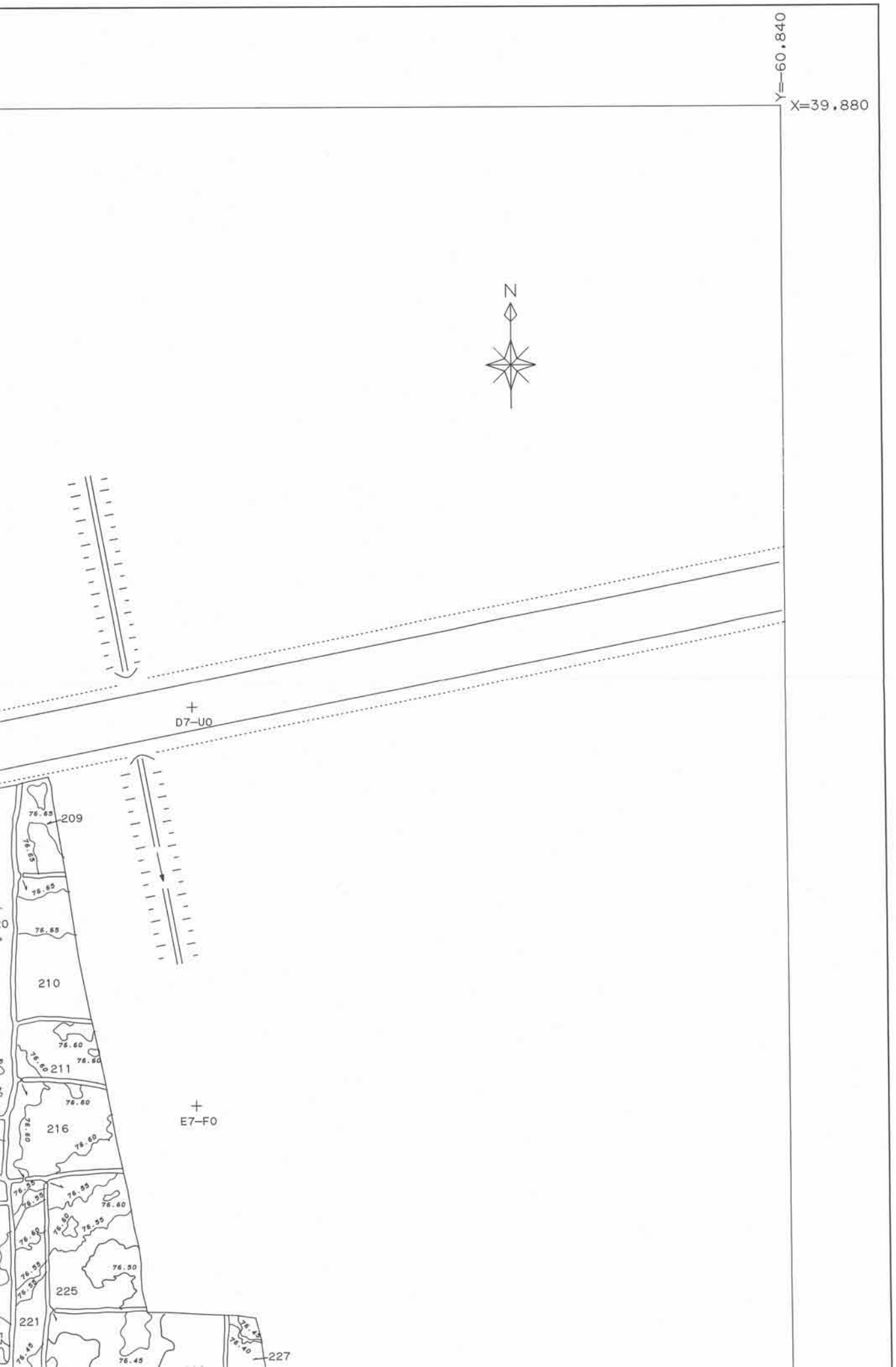

Y=-61.040
X=40.000
N
C4-K20
C5-K5
C4-U20
C5-U5
D5-F5
27
28
32
35
38
47
48
W-7

平成八年三月二十五日　スナガ環境測設株式会社作成

D5—P5
E5—A5
大畦畔
X=39.720
Y=-61.040

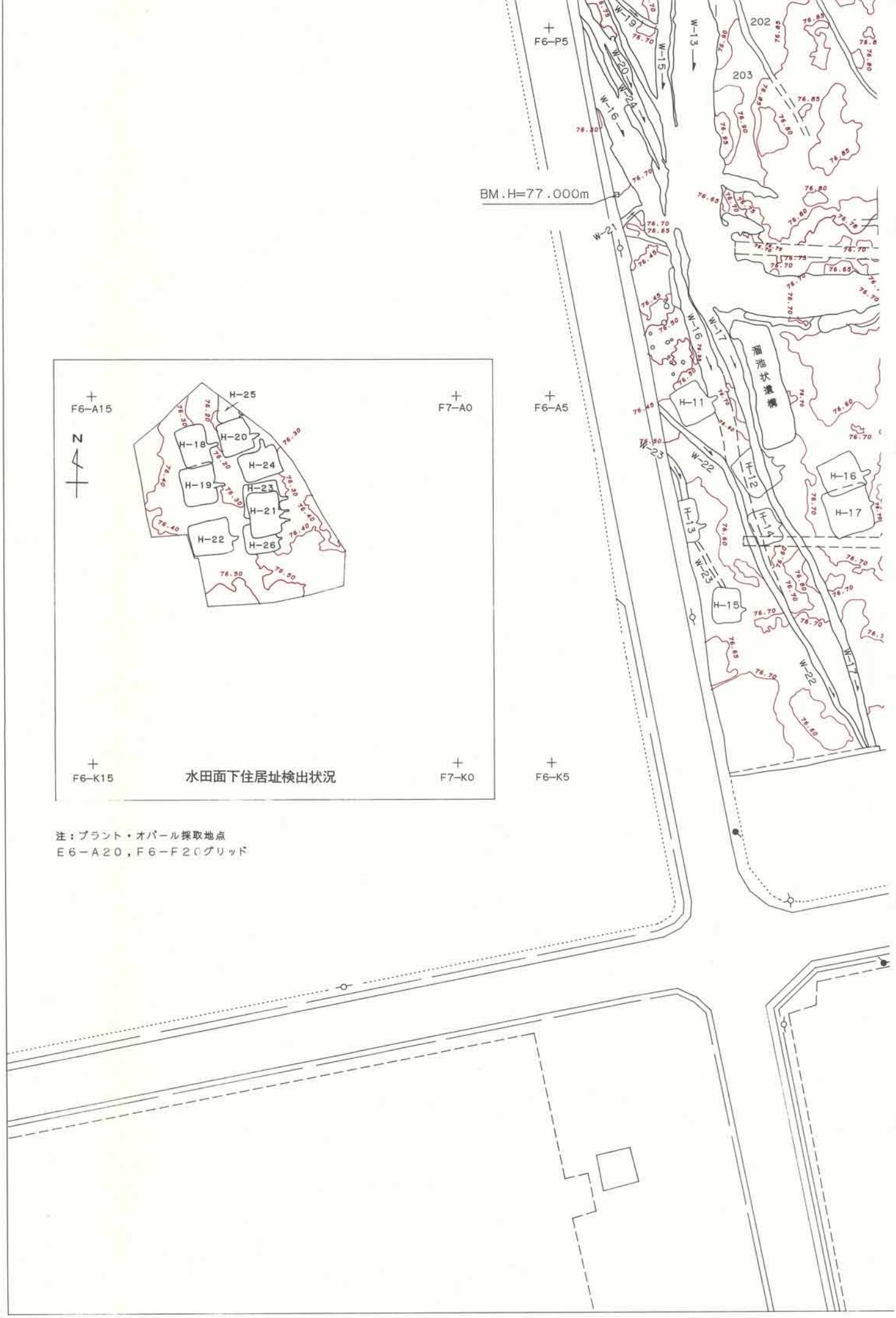
中原遺跡群Ⅴ平面図

X=39,880
Y=-61,040
D6-U5
D6-U15
198
199
195
196
206
194
200
197
213
212
218
201
W-1B
W-14


Y=-60.840
X=39.880
N
D7-U0
E7-F0
209
210
211
216
225
221
227
76.65
76.60
76.55
76.50
76.45
76.40

水田面下住居址検出状況

注：プラント・オパール採取地点
E6－A20，F6－F20グリッド



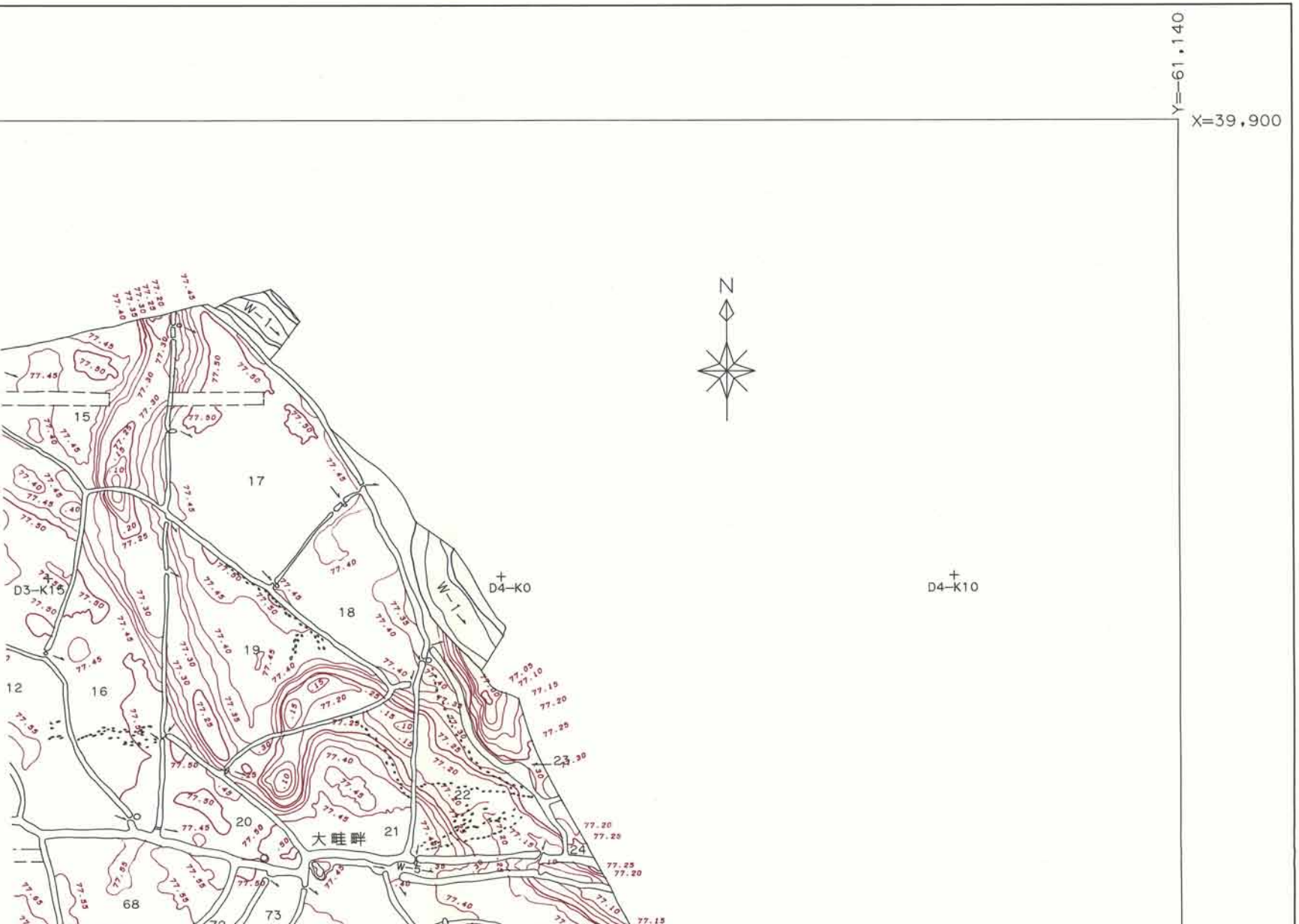
600

.040

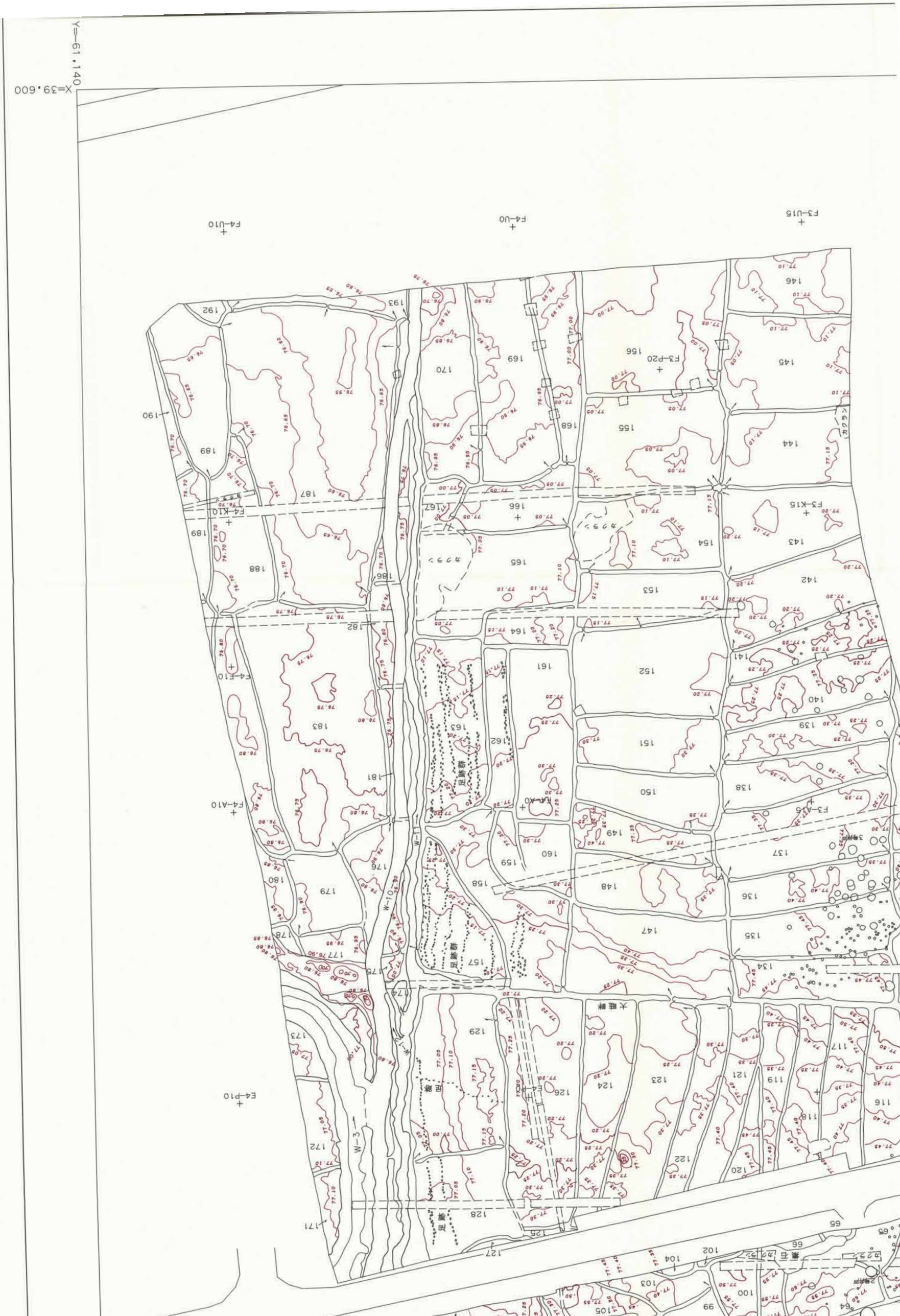
X=39,600
Y=-60,840
F7-K0
F6-K15
F6-F20
F6-A75
W-13
大崖野
220
222
223
217
204
205
224
228
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243

中原遺跡群Ⅴ平面図

S＝1：500　2の1


Y=-61,140
X=39,900
N
D3-K15
D4-K0
D4-K10
W-1
W-5
大畦畔
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
12
68
73

四井住宅内浸透層調査調査位置


X=39,600
Y=-61,140
F4-U10
F4-U0
F3-U15
F3-P20
F4-K10
F3-K15
F4-F10
F3-A15
F4-A10
F4-P10
W-1
W-10
W-3
足跡群
大建屋
カタクラン